

# 武蔵村山市 子育て支援に関する ニーズ調査 報告書

【調査対象】 就学前児童（0～5歳）の保護者  
小学生（1～6年生）の保護者

子育てニーズ



令和6年3月  
武蔵村山市

# 目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	結果の概要	2
1	就学前児童（0～5歳）の保護者	2
	(1) お住まいの地区について	2
	(2) お子さんご家族の状況などについて	2
	(3) ご家族の収入状況などについて	2
	(4) 子どもの育ちを取り巻く環境について	3
	(5) お子さんの保護者の就労状況について	4
	(6) お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	5
	(7) 子育てセンターの利用について	7
	(8) お子さんの土曜、日曜・祝日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望について	7
	(9) お子さんの病気等の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）	8
	(10) お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	8
	(11) 小学校就学後の放課後の過ごし方について（お子さんが5歳以上の方のみ）	9
	(12) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	10
	(13) 社会的養護施設について	11
	(14) 子どもの育ちをめぐる環境について	11
	(15) ヤングケアラーについて	11
	(16) 産後ケアと子育て支援策について	12
	(17) 多胎児家庭支援事業と多子世帯支援事業について	12
	(18) 子どもの権利について	12

2	小学生（1～6年生）の保護者	13
	（1）お住まいの地区について	13
	（2）お子さんとご家族の状況などについて	13
	（3）ご家族の収入状況などについて	13
	（4）子どもの育ちを取り巻く環境について	14
	（5）お子さんの保護者の就労状況について	15
	（6）学童クラブの利用について	16
	（7）お子さんの病気等の際の対応について	17
	（8）お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	18
	（9）社会的養護施設について	18
	（10）子どもの育ちをめぐる環境について	18
	（11）ヤングケアラーについて	19
	（12）産後ケアについて	19
	（13）子育て支援策について	19
	（14）子どもの権利について	19
Ⅲ	調査結果	20
1	就学前児童（0～5歳）の保護者	20
	（1）お住まいの地区について	20
	（2）お子さんとご家族の状況などについて	20
	（3）ご家族の収入状況などについて	23
	（4）子どもの育ちを取り巻く環境について	25
	（5）お子さんの保護者の就労状況について	32
	（6）お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	41
	（7）お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	55
	（8）お子さんの土曜、日曜、祝日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	60
	（9）お子さんの病気等の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）	64
	（10）お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	71
	（11）小学校就学後の放課後の過ごし方について（お子さんが5歳以上の方のみ）	79
	（12）育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	90
	（13）社会的養護施設について	102
	（14）子どもの育ちをめぐる環境について	103
	（15）ヤングケアラーについて	104
	（16）産後ケアと子育て支援策について	104
	（17）多胎児家庭支援事業と多子世帯支援事業について	110
	（18）子どもの権利について	110

2	小学生（1～6年生）の保護者	112
	（1）お住まいの地区について	112
	（2）お子さんご家族の状況などについて	112
	（3）ご家族の収入などについて	115
	（4）子どもの育ちを取り巻く環境について	117
	（5）お子さんの保護者の就労状況について	124
	（6）お子さんの「学童クラブ」の利用等について	133
	（7）お子さんの病気の際の対応について	153
	（8）お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	159
	（9）社会的養護施設について	166
	（10）子どもの育ちをめぐる環境について	167
	（11）ヤングケアラーについて	169
	（12）産後について	169
	（13）子育て支援策について	171
	（14）子どもの権利について	174
IV	主な自由意見	176
	1 就学前児童（0～5歳）の保護者	176
	2 小学生（1～6年生）の保護者	185



# I 調査の概要

## 1 調査の目的

「武蔵村山市次期子ども・子育て支援事業計画(令和7年度～令和11年度)」の策定にあたり、市民の教育・保育サービス等の利用状況や今後の利用希望、子どもと子育て世帯を取り巻く状況などを把握することを目的として実施したものです。

## 2 調査対象

調査の種類	調査対象者
就学前児童(0～5歳)の保護者	市内在住の小学校就学前(0～5歳)の子どもの保護者を無作為抽出
小学生(1～6年生)の保護者	市内在住の小学生(1～6年生)の子どもの保護者を無作為抽出

## 3 調査期間

令和5年12月1日から12月22日まで

## 4 調査方法

郵送配付・郵送回収及びインターネット回答

## 5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前児童の保護者	1,000通	329通 (うちWEB 109通)	32.9%
小学生の保護者	1,000通	359通 (うちWEB 114通)	35.9%
合計	2,000通	688通 (うちWEB 223通)	34.4%

## 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数(N)を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

## II 結果の概要

### 1 就学前児童（0～5歳）の保護者

#### （1）お住まいの地区について

- お住まいの地区で多いのは「大南」

「大南」の割合が27.1%となっています。【就学前児童の保護者：問1（20ページ）】

#### （2）お子さんご家族の状況などについて

- 「配偶者（パートナー）がいる」の割合が高い

「配偶者（パートナー）がいる」の割合が94.5%、「配偶者（パートナー）はいない」の割合が5.2%となっています。【就学前児童の保護者：問5（22ページ）】

- 子育てに関わっている方の66.0%が父母ともに関わっている

「父母ともに」の割合が66.0%と最も高く、次いで「母親」の割合が36.5%、「保育士」の割合が35.9%となっています。【就学前児童の保護者：問7（22ページ）】

#### （3）ご家族の収入状況などについて

- 「500～600万円未満」の割合が高い

「500～600万円未満」(20.1%)、「400～500万円未満」(15.2%)、「600～700万円未満」(14.6%)の回答が多く、世帯収入が400万円から700万円未満の世帯が多くなっています。一方、家庭類型別では、ひとり親で「300～400万円未満」(29.4%)「50～100万円未満」(17.6%)「100～200万円未満」(17.6%)が全体より高くなっています。

【就学前児童の保護者：問8（23ページ）】

- 経済的な理由で食料・衣類を買えなかったことが「まったくなかった」の割合が高い

経済的な理由で食料・衣類を買えなかったことが「まったくなかった」の割合は、72.9%となっています。一方、家庭類型別では、ひとり親世帯では「ときどきあった」の割合は、41.2%となっています。

【就学前児童の保護者：問9（24ページ）】

#### （4）子どもの育ちを取り巻く環境について

- 子育てに影響すると思う環境の95.1%が「家庭」となっている

子育てに影響すると思う環境については、「家庭」の割合が95.1%と最も高く、次いで「保育所」の割合が69.3%、「地域」の割合が51.7%となっています。

【就学前児童の保護者：問11（25ページ）】

- 「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が49.2%

緊急時等に親族に子どもをみてもらえるかについては、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合は、49.2%となっています。一方、「いずれもない」の割合は、23.1%となっています。【就学前児童の保護者：問12（26ページ）】

- 気軽に相談できる人で「いる／ある」の割合が87.5%

相談相手の有無については、「いる／ある」の割合が87.5%となっています。一方、相談相手が「いない／ない」が12.2%となっています。【就学前児童の保護者：問13（28ページ）】

- 子育てをしていて「楽しいと感じることの方が多い」の割合が最も高い

子育ての感じ方について、「楽しいと感じることの方が多い」の割合は60.2%となっています。一方、家庭類型別では、ひとり親世帯では、「楽しいと感じることの方が多い」が47.1%、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」が41.2%となっています。

【就学前児童の保護者：問14（29ページ）】

- 子育てをしていて不安や悩みが「少しある」の割合が高い

「少しある」の割合が63.2%、次いで「ほとんどない」の割合が20.7%です。「すごくある」の割合が15.2%となっています。【就学前児童の保護者：問15（30ページ）】

- 保護者の悩みの内容は「自分の時間が取れない」「経済的な不安」「子どもにきつくあたる」が多い

「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が42.6%、次いで「子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の割合が39.1%、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあってしまうこと」の割合が35.3%となっています。【就学前児童の保護者：問15-1（2）（31ページ）】

## (5) お子さんの保護者の就労状況について

### ● 母親の就労状況は、「フルタイム」の割合が高い

「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が 29.8%、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が 27.4%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 24.9%となっています。

【就学前児童の保護者：問 16（1）（32 ページ）】

### ● 父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が高い

「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が 91.3%と最も高くなっています。【就学前児童の保護者：問 16（2）（32 ページ）】

### ● 母親の1週当たりの就労日数は「5日」の割合が最も高い

「5日」の割合が 65.9%と最も高く、次いで「4日」の割合が 14.6%、「3日」の割合が 9.7%となっています。

【就学前児童の保護者：問 16（1）－1①（33 ページ）】

### ● 母親の1日当たりの就労時間は、「7時間～8時間未満」の割合が高い

「7時間～8時間未満」の割合が 26.1%、次いで「8時間～9時間未満」の割合が 25.7%、「6時間～7時間未満」の割合が 17.7%となっています。

【就学前児童の保護者：問 16（1）－1②（33 ページ）】

### ● 父親の1週当たりの就労日数は「5日」の割合が高い

「5日」の割合が 67.7%と最も高く、次いで「6日」の割合が 25.3%となっています。

【就学前児童の保護者：問 16（2）－1①（35 ページ）】

### ● 父親の1日当たりの就労時間は、「8時間～9時間未満」の割合が高い

「8時間～9時間未満」の割合が 40.6%、次いで「10時間以上」の割合が 29.9%、「9時間～10時間未満」の割合が 18.8%となっています。

【就学前児童の保護者：問 16（2）－1②（35 ページ）】

## （6）お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

### ● 定期的な教育・保育の事業を 84.8%の方が「利用している」

定期的な教育・保育事業を「利用している」の割合が 84.8%、「利用していない」の割合が 15.2%となっています。子どもの年齢別で見ると、「利用している」の割合は、0～2歳では 64.2%、3～5歳では 96.1%と、3歳以上の子どもの殆どが定期的な教育・保育事業を利用しています。また、家庭類型別で見ると、共働き家庭では「利用している」が 91.2%と高くなっており、「利用していない」が 8.8%となっています。【就学前児童の保護者：問 17（41 ページ）】

### ● 定期的に利用している事業は「認可保育所」の割合が最も高い

「認可保育所」の割合が 55.2%となっており、次いで「幼稚園」の割合が 39.8%となっています。【就学前児童の保護者：問 17-1（42 ページ）】

### ● 1週当たりの利用日数は「5日」の割合が高い

利用日数については、週に「5日」の割合が 84.9%と最も高くなっています。

【就学前児童の保護者：問 17-2（1）①（42 ページ）】

### ● 1日当たりの利用時間は「9時間～10時間未満」の割合が高い

利用時間については、1日当たり「9時間～10時間未満」の割合が 18.6%、次いで「10時間以上」の割合が 18.3%、「5時間～6時間未満」の割合が 16.8%となっています。【就学前児童の保護者：問 17-2（1）②（43 ページ）】

### ● 利用開始時間は「9時台」の割合が高い

利用開始時間は、「9時台」の割合が 46.2%、次いで「8時台」の割合が 39.8%となっています。【就学前児童の保護者：問 17-2（1）③（43 ページ）】

### ● 利用終了時間は「14時台」、「18時台」の割合が高い

利用終了時間は「14時台」、「18時台」の割合が 21.5%となっており、次いで「17時台」の割合が 21.1%となっています。【就学前児童の保護者：問 17-2（1）④（43 ページ）】

### ● 1週当たりの利用日数の希望は週当たり「5日」の割合が高い

希望する利用日数は、週当たり「5日」の割合が 64.9%となっています。

【就学前児童の保護者：問 17-2（2）①（44 ページ）】

### ● 希望する利用時間は1日当たり「8時間～9時間未満」の割合が高い

希望する利用時間については、1日当たり「8時間～9時間未満」の割合が 16.8%、次いで「9時間～10時間未満」の割合が 16.5%、「10時間以上」の割合が 15.1%となっています。【就学前児童の保護者：問 17-2（2）②（44 ページ）】

- 希望する利用開始時間は「9時台」の割合が高い

希望する利用開始時間は、「9時台」の割合が35.8%、次いで「8時台」の割合が30.1%となっています。【就学前児童の保護者：問17-2(2)③(44ページ)】

- 希望する利用終了時間は「16時台」の割合が高い

希望する利用終了時間は、「16時台」の割合が19.7%、次いで「18時台」の割合が19.4%、「17時台」の割合が18.3%となっています。

【就学前児童の保護者：問17-2(2)④(45ページ)】

- 平日に定期的に教育・保育事業を利用する理由は「子育てをしている人が現在就労している」「子どもの教育や発達のため」が多い

平日に定期的に教育・保育事業を利用する理由は、「子育てをしている人が現在就労している」が68.5%、「子どもの教育や発達のため」が61.3%となっています。子どもの年齢別では、0～2歳で「子育てをしている人が現在就労している」が77.9%にのぼっています。また、家庭類型別では、共働き家庭で「子育てをしている人が現在就労している」が90.3%、専業主婦・主夫では「子どもの教育や発達のため」が96.5%と、全体に比べて高くなっています。

【就学前児童の保護者：問17-4(46～47ページ)】

- 平日に定期的に利用したい教育・保育事業は「認可保育所」が多い

平日に定期的に利用したい教育・保育事業としては、「認可保育所」の割合が62.6%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が44.4%、「幼稚園の預かり保育」の割合が21.0%となっています。

【就学前児童の保護者：問18(49ページ)】

- 経済的負担が減るなら、専業主婦・主夫で「幼稚園の預かり保育」の希望が多い

経済的負担が減るなら現在の利用から変更・追加したい事業は「幼稚園」(16.1%)、「認可保育所」(14.6%)が多くなっています。家庭類型別では、ひとり親で「幼稚園」の割合が23.5%、専業主婦・主夫で「幼稚園の預かり保育」の割合が24.4%となっています。

【就学前児童の保護者：問20(50～51ページ)】

- 教育・保育サービス（施設）を選ぶ際に重視するのは「自宅との距離・移動時間」が多い

教育・保育サービス（施設）を選ぶ際に重視するのは、「自宅との距離・移動時間」の割合が83.6%と最も高く、次いで「園長・保育士・教員等の対応や施設の印象」の割合が71.7%、「給食を提供している」の割合が68.7%となっています。

家庭類型別では、ひとり親家庭で「園長・保育士・教員等の対応や施設の印象」の割合が76.5%、「自宅との距離・移動時間」の割合が70.6%、共働き家庭で83.3%、専業主婦・主夫で85.4%と高くなっています。【就学前児童の保護者：問21(52～53ページ)】

## (7) 子育てセンターの利用について

### ● 専業主婦・主夫で子育てセンターを「利用している」人は22.0%

子育てセンターの利用状況は、「利用していない」の割合が89.7%と、「利用している」(9.4%)より高くなっています。また、家庭類型別では、専業主婦・主夫で「利用していない」の割合が76.8%、「利用している」の割合が22.0%となっています。【就学前児童の保護者：問24（55ページ）】

## (8) お子さんの土曜、日曜・祝日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望について

### ● 土曜日に定期的な教育・保育事業を希望する人は、「ほぼ毎週利用したい（10.6%）」と「月に1～2回は利用したい（32.2%）」の合計で42.8%

土曜日の教育・保育事業を希望する人（「ほぼ毎週利用したい（10.6%）」と「月に1～2回は利用したい（32.2%）」の合計）の割合は、42.8%となっています。子どもの年齢別では、利用を希望する割合が3～5歳で44.9%となっています。【就学前児童の保護者：問27（1）（60ページ）】

### ● 日曜・祝日に教育・保育事業を希望する人は、「ほぼ毎週利用したい（2.1%）」と「月に1～2回は利用したい（22.2%）」の合計で、24.3%

日曜・祝日の教育・保育事業を希望する人（「ほぼ毎週利用したい（2.1%）」と「月に1～2回は利用したい（22.2%）」の合計）の割合は、24.3%となっています。また、家庭類型別では、ひとり親家庭で利用を希望する人の割合で41.2%となっています。

【就学前児童の保護者：問27（2）（61ページ）】

### ● 休暇期間中に教育・保育事業の利用を希望する人は66.7%

夏休み・冬休みなどの休暇期間中の幼稚園を希望する人（「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい（15.3%）」と「休みの期間中、週に数日利用したい（51.4%）」の合計）の割合は、66.7%となっています。【就学前児童の保護者：問28（62ページ）】

(9) お子さんの病気等の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

● 病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことが「あった」人は、78.9%

病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことが「あった」人の割合は、78.9%となっています。中でも、共働き家庭では 83.9%と、教育・保育事業を利用できなかった人の割合が高くなっています。【就学前児童の保護者：問 29（64 ページ）】

● お子さんが病気やケガの際に、この1年間で行った対処方法として「母親が休んだ」の割合が高い

病気やケガの際の対応としては、「母親が休んだ」の割合が 79.5%と最も高く、次に「父親が休んだ」の割合が 37.3%となっています。【就学前児童の保護者：問 29-1（65 ページ）】

● 病児保育施設等の利用希望は 25.2%

子どもの病気で教育・保育事業が利用できない際に病児保育施設等の利用を希望する人は、25.2%となっています。

【就学前児童の保護者：問 29-2（68 ページ）】

(10) お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

● 私用・親の通院・不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業を利用している人は 17.8%

不定期に利用している事業がある人(全体から「利用していない」(79.6%)と「無回答」(4.0%)を引いた割合)は、17.8%となっています。不定期に事業を利用している保護者が利用している事業としては「幼稚園の預かり保育」の割合が 11.2%となっています。【就学前児童の保護者：問 30（71 ページ）】

● 私用・親の通院・不定期の就労等の目的で事業を利用したい人は、47.4%

私用・親の通院・不定期の就労等の目的で事業を「利用したい」人の割合は、47.4%となっています。また、子どもの年齢が3～5歳の人では「利用したい」の割合が 53.6%と、半数以上が利用を希望しています。【就学前児童の保護者：問 31（74 ページ）】

● 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用を希望する人は 13.7%

泊りがけで子どもを預ける必要がある場合に短期入所生活援助事業（ショートステイ）を「利用したい」人の割合は、13.7%となっています。

【就学前児童の保護者：問 32（77 ページ）】

### (11) 小学校就学後の放課後の過ごし方について（お子さんが5歳以上の方のみ）

- 小学校入学後の放課後の過ごし方で希望が多いのは、小学校低学年のうち「学童クラブ（放課後児童クラブ）」、高学年では「自宅」の割合が高い

来年度小学校に入学する就学前児童が、入学後に放課後を過ごす場所としては、低学年のうち「学童クラブ（放課後児童クラブ）」を希望する人が50.0%、次に「自宅」が43.8%となっています。高学年になってからは、「自宅」の割合が50.0%、次に「習い事」が41.3%となっており、「学童クラブ（放課後児童クラブ）」の割合は30.0%となっています。

【就学前児童の保護者：問33（79ページ）、問33（2）（83ページ）】

- 土曜日に学童クラブの利用を希望する人は、低学年と高学年の合計で39.2%

来年度小学校に入学する就学前児童について、土曜日の学童クラブの利用希望をみると「利用する必要はない」の割合が60.8%と高く、次に「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が33.3%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が5.9%で、合計39.2%の人が利用を希望しています。

【就学前児童の保護者：問33-1（1）（87ページ）】

- 日曜・祝日に学童クラブの利用を希望する人は、低学年と高学年の合計で23.5%

来年度小学校に入学する就学前児童について日曜・祝日の学童クラブの利用希望をみると、「利用する必要はない」の割合が74.5%と最も高く、次に「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が15.7%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が7.8%で、合計23.5%の人が利用を希望しています。

【就学前児童の保護者：問33-1（2）（88ページ）】

- 休暇期間中に学童クラブの利用を希望する人は、低学年と高学年の合計で67.5%

来年度小学校に入学する就学前児童について、夏休み・冬休みなどの休暇期間中の学童クラブの利用希望をみると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が50.0%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が17.5%で、合計67.5%の人が利用を希望しています。【就学前児童の保護者：問34（89ページ）】

## (12) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

### ● 育児休業を「取得した（取得中である）」は、母親 45.0%、父親 17.3%

育児休業を「取得した（取得中である）」の割合は母親では 45.0%であるのに対し、父親では 17.3%と低くなっています。子どもの年齢別では、父親が育児休業を「取得した（取得中である）」人の割合は、3～5歳では 14.0%であるのに対し、0～2歳では 24.5%となっています。

【就学前児童の保護者：問 35（1）（2）（90～93 ページ）】

### ● 育児休業を取得していない理由は、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」、父親は「仕事が忙しかった」の割合が高い

育児休業を取得しなかった理由は、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が 28.9%となっています。一方、父親では「仕事が忙しかった」の割合が 39.2%、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が 35.9%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が 28.2%となっています。

「【就学前児童の保護者：問 35（1）（2）（90～93 ページ）】

### ● 健康保険・厚生年金保険の保険料免除の認知度は「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 48.6%

子どもが原則 1 歳になるまで育児休業給付が支給されるしくみ、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等期間について健康保険・厚生年金保険の保険料が免除になるしくみの認知度については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が 48.6%となっています。

【就学前児童の保護者：問 35-1（94 ページ）】

### ● 「育児休業取得後、職場に復帰した」割合は、母親 75.0%、父親 89.5%

「育児休業取得後、職場に復帰した」割合は、母親では 75.0%、父親では 89.5%と高い割合になっています。しかし、母親では、5.4%の人が「育児休業中に離職した」と答えています。

【就学前児童の保護者：問 35-2（1）、（2）（94 ページ）】

### ● 育児休業の取得期間は、母親では「6か月未満」が 6.3%であるのに対し、父親では、74.5%

育児休業の取得期間は、母親では「6か月未満」の割合が 6.3%、「1歳未満」の割合が 25.2%、「1歳6か月未満」の割合が 35.1%であるのに対し、父親では「6か月未満」の割合が 74.5%、「1歳未満」の割合が 11.8%、「1歳6か月未満」の割合が 3.9%となっています。

また、希望する育児休業期間をみると、母親では「1歳6か月未満」の割合が 27.0%と高く、次に「3歳未満」及び「3歳以上」の割合が 18.0%、「2歳未満」の割合は、14.4%となっています。一方、父親では、「1歳6か月未満」の割合が 27.5%と高く、次に「6か月未満」の割合が 25.5%、「3歳以上」が 11.8%となっています。

【就学前児童の保護者：問 35-4（1）、（2）（95～97 ページ）】

- 希望より早い職場復帰、遅い職場復帰ともに「保育所等」の入園が理由となっている

母親のうち、希望より早く職場復帰した場合の理由については、「希望する保育所等に入るため」が 74.6%を占めています。また、希望より遅く職場復帰した場合の理由については「希望する保育所等に入れなかったため」が 44.4%と、早い職場復帰、遅い職場復帰ともに保育園の入園が理由となっています。【就学前児童の保護者：問 35-6 (1) ①、(2) ① (98 ページ)】

### (13) 社会的養護施設について

- 社会的養護施設のうち、児童養護施設、里親（養育家庭）制度、（特別）養子縁組の認知度が高い

社会的養護施設の認知度については、「聞いたことはある（意味は知らない）(41.0%)」「少し説明できる(47.1%)」「制度の詳細まで説明できる(3.0%)」をあわせた“知っている”の割合が、『児童養護施設』で 91.1%となっています。同様に、『里親（養育家庭）制度』で 90.6%、『（特別）養子縁組』で 93.6%と割合が高くなっています。一方、『心理治療施設』については、「言葉自体を聞いたことがない」の割合が 65.0%と高くなっています。【就学前児童の保護者：問 36 (102 ページ)】

### (14) 子どもの育ちをめぐる環境について

- 子育てについて『子育てが楽しい』『子どもの成長が楽しみ』と感じる人が多い

子育てについて感じる事として、『①子育てが楽しい』と“感じる”（「よく感じる(62.6%)」と「ときどき感じる(33.4%)」の合計）人が 96.0%、『②子どもの成長が楽しみ』と“感じる”人の合計が 98.2%と割合が高くなっています。【就学前児童の保護者：問 37 (103 ページ)】

- 武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思う人は 71.4%

武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思う人（「そう思う(16.7%)」と「まあそう思う(54.7%)」の合計）の割合は、71.4%となっています。

【就学前児童の保護者：問 38 (103 ページ)】

### (15) ヤングケアラーについて

- ヤングケアラーという言葉を知っている人は 73.5%

『ヤングケアラー』という言葉を知っている（「言葉も内容も知っている(54.7%)」と「言葉は聞いたことがある(18.8%)」の合計）人の割合は 73.5%となっています。

【就学前児童の保護者：問 39 (104 ページ)】

## (16) 産後ケアと子育て支援策について

- 産後に不安や負担を感じた人は 75.7%

産後に不安や負担を感じた（「とても感じた（40.4%）」と「時々感じた（35.3%）」の合計）人の割合は、75.7%を占めています。【就学前児童の保護者：問 41（104 ページ）】

- 産後に受けたかった支援は「お子さんを預かるサービス付きの母親が休息できる宿泊サービス」

産後に受けたかった支援は、「お子さんを預かるサービス付きの母親が休息できる宿泊サービス」の割合が 63.5%と最も高く、次いで「宿泊しながらの赤ちゃんへのケア方法指導（ベビーマッサージやスキンケアなど）」の割合が 30.9%となっています。

【就学前児童の保護者：問 41-2（106 ページ）】

- 必要な子育て支援策は「保育料の減額や免除」

必要とする子育て支援策としては、「保育料の減額や免除」の割合が 45.3%、次いで「児童手当の増額」の割合が 38.0%となっています。

【就学前児童の保護者：問 42（107 ページ）】

## (17) 多胎児家庭支援事業と多子世帯支援事業について

- 多胎児家庭支援事業の認知度は「いずれの内容も知らない」が 72.3%

多胎児家庭支援事業の認知度については、「いずれの内容も知らない」の割合が 72.3%を占めています。【就学前児童の保護者：問 45（110 ページ）】

- 多子世帯支援事業・多胎児支援事業を要望する人は 14.6%

多子世帯支援事業・多胎児支援事業を希望するかについて「はい」と回答した人は 14.6%となっています。【就学前児童の保護者：問 46（110 ページ）】

## (18) 子どもの権利について

- 子どもからの意見や要望を聞き、取り入れるように意識しているのは、93.7%

子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしている（「常にしている（50.8%）」と「ときどきしている（42.9%）」の合計）人の割合は、93.7%と高くなっています。

【就学前児童の保護者：問 47（110 ページ）】

## 2 小学生（1～6年生）の保護者

### （1）お住まいの地区について

- お住まいの地区で多いのは「大南」

「大南」の割合が25.1%となっています。【小学生の保護者：問1（112ページ）】

### （2）お子さんご家族の状況などについて

- 「配偶者（パートナー）がいる」の割合が高い

「配偶者（パートナー）がいる」の割合が89.7%、「配偶者（パートナー）はいない」の割合が10.3%となっています。【小学生の保護者：問5（114ページ）】

- 子育てに関わっているのは、62.1%が「小学校」となっています。

「小学校」の割合が62.1%と高く、次いで「父母ともに」の割合が61.0%、「母親」の割合が34.3%となっています。【小学生の保護者：問7（114ページ）】

### （3）ご家族の収入状況などについて

- 「600～700万円未満」の割合が高い

「600～700万円未満」（13.1%）、「400～500万円未満」（12.5%）、「500～600万円未満」、「700～800万円未満」（11.7%）となっており、世帯収入が400万円から800万円未満の世帯が多くなっています。しかし、ひとり親家庭では「100～200万円未満」（21.6%）、「200～300万円未満」（18.9%）、「300～400万円未満」（18.9%）が全体より高くなっています。

【小学生の保護者：問8（115ページ）】

- 経済的な理由で食料・衣類を買えなかったことが「まったくなかった」の割合が高い

経済的な理由で食料・衣類を買えなかったことが「まったくなかった」の割合は、64.6%となっています。一方、家庭類型別では、ひとり親家庭で「ときどきあった」の割合が37.8%となっています。

【小学生の保護者：問9（116ページ）】

#### (4) 子どもの育ちを取り巻く環境について

- 子育てに影響すると思う環境の95.8%が「(小・中)学校」となっている

子育てに影響すると思う環境については、「(小・中)学校」の割合が95.8%と最も高く、次いで「家庭」の割合が94.4%、「塾や習い事」の割合が53.2%となっています。

【小学生の保護者：問11(117ページ)】

- 「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が43.5%

緊急時等に親族に子どもをみてもらえるかについては、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が43.5%となっています。一方、「いずれもない」の割合は、24.0%となっています。【小学生の保護者：問12(118ページ)】

- 気軽に相談できる人が「いる／ある」の割合が81.6%

相談相手の有無については、「いる／ある」の割合が81.6%となっています。一方、相談相手が「いない／ない」の割合が17.8%となっています。

【小学生の保護者：問13(119ページ)】

- 子育てをしていて「楽しいと感じることの方が多い」の割合が最も高い

子育ての感じ方について、「楽しいと感じることの方が多い」の割合は、59.1%と6割程度を占めています。一方、家庭類型別では、ひとり親家庭で「楽しいと感じることの方が多い」の割合は、48.6%、「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」の割合が43.2%となっています。

【小学生の保護者：問14(121ページ)】

- 子育てをしていて不安や悩みが「少しある」の割合が高い

「少しある」の割合が61.0%、次いで「ほとんどない」の割合が19.8%、「すごくある」の割合が18.1%となっています。【小学生の保護者：問15(122ページ)】

- 保護者の悩みの内容は「経済的な不安」「自分の時間が取れない」「子どもにきつくあたる」が多い

「子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の割合が50.7%と高く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が28.2%、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」の割合が27.1%となっています。

【小学生の保護者：問15-1(2)(123ページ)】

## （5）お子さんの保護者の就労状況について

### ● 母親の就労状況は「パート・アルバイト等」の割合が高い

「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が44.0%、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が29.2%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が16.2%となっています。

【小学生の保護者：問16（1）（124ページ）】

### ● 父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が高い

「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が89.2%と最も高くなっています。【小学生の保護者：問16（2）（124ページ）】

### ● 母親の1週当たりの就労日数は「5日」の割合が最も高い

「5日」の割合が47.4%、次いで「4日」の割合が25.2%、「3日」の割合が11.5%となっています。【小学生の保護者：問16（1）－1①（125ページ）】

### ● 母親の1日当たりの就労時間は「8時間～9時間未満」の割合が高い

「8時間～9時間未満」の割合が27.0%、次いで「6時間～7時間未満」の割合が17.4%、「7時間～8時間未満」の割合が14.8%となっています。

【小学生の保護者：問16（1）－1②（125ページ）】

### ● 父親の1週当たりの就労日数は「5日」の割合が高い

「5日」の割合が66.6%と最も高く、次いで「6日」の割合が24.6%となっています。

【小学生の保護者：問16（2）－1①（127ページ）】

### ● 父親の1日当たりの就労時間は「10時間以上」の割合が高い

「10時間以上」の割合が41.3%、次いで「8時間～9時間未満」の割合が34.8%、「9時間～10時間未満」の割合が15.4%となっています。

【小学生の保護者：問16（2）－1②（127ページ）】

## (6) 学童クラブの利用について

### ● 学童クラブを利用している人は、17.5%

現在、学童クラブを「利用している」割合は17.5%となっており、「利用していない」割合が78.0%と高くなっています。子どもの年齢別では、「利用している」割合は1～3年生で33.6%、4～6年生で5.2%となっています。【小学生の保護者：問17（133ページ）】

### ● 平日に学童クラブを利用している理由は、「子育てをしている人が現在就労している」が96.8%

平日に学童クラブを利用している理由は「子育てをしている人が現在就労している」が96.8%と、割合が高くなっています。【小学生の保護者：問17-2（135ページ）】

### ● 学童クラブを利用していない理由は、「利用する必要がない」が45.4%

学童クラブを利用していない理由は「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が45.4%となっています。家庭類型別では、ひとり親家庭で「子どもの祖父母や親戚の人がみている」の割合が32.1%と高くなっています。【小学生の保護者：問17-3（136～137ページ）】

### ● 現在、利用していないが、今後、学童クラブを利用したい人は、9.3%

今後の学童クラブの利用をしたい人の割合は、9.3%であり、「今後も利用しない」の割合の方が89.6%と高くなっています。【小学生の保護者：問17-4（138ページ）】

## お子さんの土曜、日曜・祝日や長期休暇中の学童クラブの利用希望について

### ● 土曜日に定期的な教育・保育事業、学童クラブの利用を希望する人は14.8%

土曜日の学童クラブを希望する人（「ほぼ毎週利用したい（5.3%）」と「月に1～2回は利用したい（9.5%）」の合計）の割合は、14.8%となっており、「利用する必要はない」の割合が83.0%と最も高くなっています。子どもの年齢別では、利用を希望する人の割合は1～3年生で22.6%、4～6年生で8.8%となっています。【小学生の保護者：問18（1）（141ページ）】

### ● 日曜・祝日に学童クラブの利用を希望する人は7.5%

日曜・祝日の学童クラブを希望する人（「ほぼ毎週利用したい（1.9%）」と「月に1～2回は利用したい（5.6%）」の合計）の割合は、7.5%となっており、「利用する必要はない」の割合が89.4%と最も高くなっています。

【小学生の保護者：問18（2）（143ページ）】

### ● 休暇期間中に学童クラブの利用を希望する人は35.1%

夏休み・冬休みなどの休暇期間中の学童クラブを希望する人（「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい（27.9%）」と「休みの期間中、月に1～2回は利用したい（7.2%）」の合計）の割合は、35.1%となっており、「利用する必要はない」の割合が62.7%と最も高くなっています。【小学生の保護者：問19（144ページ）】

## （7）お子さんの病気等の際の対応について

### ● 病気やケガで学校を休んだり、学童クラブなどの預かりサービスを利用できないことが「あった」人は54.6%

学校を休んだり、学童クラブなどの預かりサービスを利用できないことが「あった」の割合は54.6%で、特に1～3年生では62.3%にのぼっています。【小学生の保護者：問22（153ページ）】

### ● お子さんが病気やケガの際に、この1年間で行った対処方法として「母親が休んだ」の割合が高い

病気やケガの際の対応としては、「母親が休んだ」の割合が68.9%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が25.5%となっています。

【小学生の保護者：問22-1（154ページ）】

### ● 病児保育施設等の利用希望は17.7%

子どもの病気やケガで通常の事業が利用できない際に病児保育施設等の利用を希望する人は、17.7%となっており、「利用したいとは思わない」の割合が82.3%となっています。

【小学生の保護者：問22-2（157ページ）】

## (8) お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

- **私用・親の通院・不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業を利用している人は 3.7%**

不定期に利用している事業がある人(全体から「利用していない」(91.6%)と「無回答」(4.7%)を引いた割合)は、3.7%となっています。【小学生の保護者：問 23 (159 ページ)】

- **私用・親の通院・不定期の就労等の目的で事業を利用したい人は 19.2%**

私用・親の通院・不定期の就労等の目的で事業を「利用したい」人の割合は、19.2%となっており、「利用する必要はない」の割合が 77.4%となっています。【小学生の保護者：問 24 (161 ページ)】

- **短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用を希望する人は 10.3%**

泊りがけで子どもを預ける必要がある場合に短期入所生活援助事業（ショートステイ）を「利用したい」人の割合は、10.3%となっており、「利用する必要はない」の割合が 86.4%となっています。【小学生の保護者：問 25 (164 ページ)】

## (9) 社会的養護施設について

- **社会的養護施設のうち、児童養護施設、里親（養育家庭）制度、（特別）養子縁組の認知度が高い**

社会的養護施設の認知度については、「聞いたことはある（意味は知らない）(34.5%)」「少し説明できる (51.3%)」「制度の詳細まで説明できる (5.3%)」をあわせた“知っている”の割合が、『児童養護施設』で 91.1%となっています。同様に『里親（養育家庭）制度』で 90.5%、『（特別）養子縁組』で 91.0%と高くなっています。一方、『心理治療施設』については、「言葉自体を聞いたことがない」の割合が 54.3%と高くなっています。【小学生の保護者：問 26 (166 ページ)】

## (10) 子どもの育ちをめぐる環境について

- **子育てについて『子育てが楽しい』『子どもの成長が楽しみ』と感じる人が多い**

子育てについて感じることとして、『①子育てが楽しい』と“感じる”（「よく感じる (57.4%)」と「ときどき感じる (37.3%)」の合計)人が 94.7%、『②子どもの成長が楽しみ』と“感じる”人の合計が 98.0%と割合が高くなっています。【小学生の保護者：問 27 (167 ページ)】

- **武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思う人は 64.0%**

武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思う人（「そう思う (8.6%)」と「まあそう思う (55.4%)」の合計)は、64.0%となっています。家庭類型別でみると、全ての区分で、「まあそう思う」の割合が高くなっています。【小学生の保護者：問 28 (168 ページ)】

### (11) ヤングケアラーについて

- ヤングケアラーという言葉を知っている人は 75.0%

『ヤングケアラー』という言葉を知っている（「言葉も内容も知っている（63.0%）」と「言葉は聞いたことがある（12.0%）」の合計）人の割合は 75.0%と、7割以上の人に認知されています。【小学生の保護者：問 29（169 ページ）】

### (12) 産後ケアについて

- 産後に不安や負担を感じた人は 67.1%

産後に不安や負担を感じた（「とても感じた（30.9%）」と「時々感じた（36.2%）」の合計）人の割合は、67.1%を占めています。【小学生の保護者：問 31（169 ページ）】

- 産後に受けなかった支援は「お子さんを預かるサービス付きの母親が休息できる宿泊サービス」

産後に受けなかった支援は、「お子さんを預かるサービス付きの母親が休息できる宿泊サービス」の割合が 45.7%、次いで「宿泊しながらの赤ちゃんへのケア方法指導（ベビーマッサージやスキンケアなど）」の割合が 26.2%となっています。【小学生の保護者：問 31-1（170 ページ）】

### (13) 子育て支援策について

- 必要な子育て支援策は「児童手当の増額」

必要とする子育て支援策としては、「児童手当の増額」の割合が 46.8%、「保育料の減額や免除」の割合も 27.0%を占めています。また、「安全な通園・通学ができる歩道等の整備促進」の割合が 27.3%を占めています。【小学生の保護者：問 32（171 ページ）】

### (14) 子どもの権利について

- 子どもからの意見や要望を聞き、取り入れるように意識しているのは 93.1%

子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしている（「常にしている（43.2%）」と「ときどきしている（49.9%）」の合計）人の割合は、93.1%と高い割合となっています。【小学生の保護者：問 35（174 ページ）】

### Ⅲ 調査結果

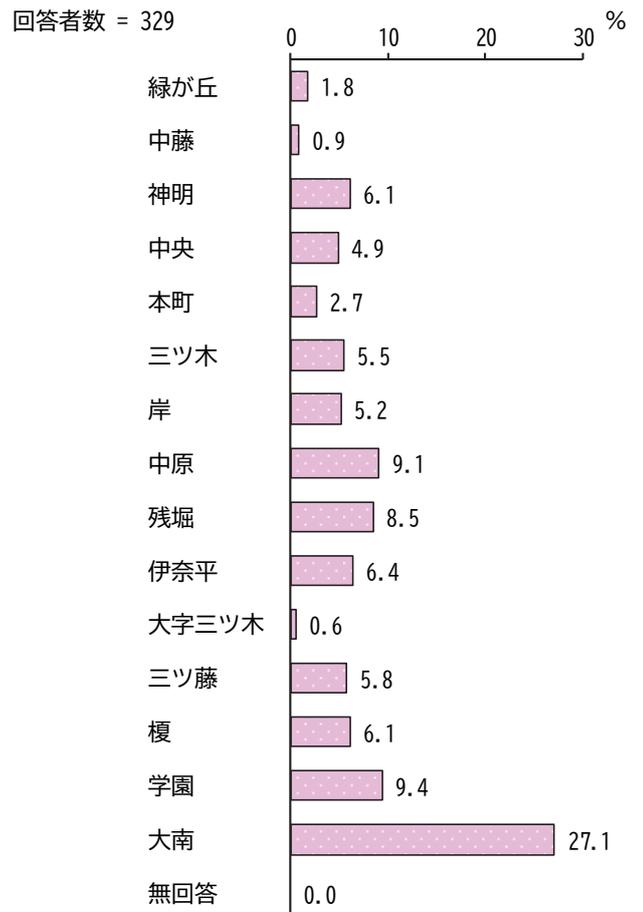
#### 1 就学前児童（0～5歳）の保護者

##### （1）お住まいの地区について

問1 武蔵村山市のどちらにお住まいですか。（1つに○）

「大南」の割合が27.1%となっています。

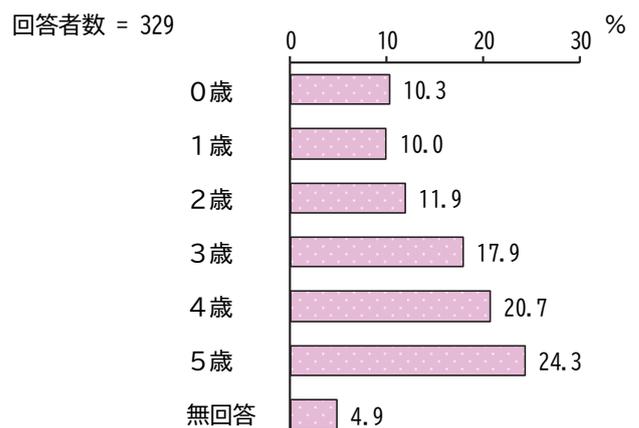
No.	地区名	配布数	回収数	回収率
1	緑が丘	41	6	14.6%
2	中藤	26	3	11.5%
3	神明	63	20	31.7%
4	中央	51	16	31.4%
5	本町	40	9	22.5%
6	三ツ木	57	18	31.6%
7	岸	45	17	37.8%
8	中原	65	30	46.2%
9	残堀	86	28	32.6%
10	伊奈平	55	21	38.2%
11	大字三ツ木	13	2	15.4%
12	三ツ藤	75	19	25.3%
13	榎	49	20	40.8%
14	学園	110	31	28.2%
15	大南	222	89	40.1%
	その他	2	-	-
	全体	1,000	329	32.9%



##### （2）お子さんご家族の状況などについて

問2 お子さんの生年月はいつですか。（数字を記入）

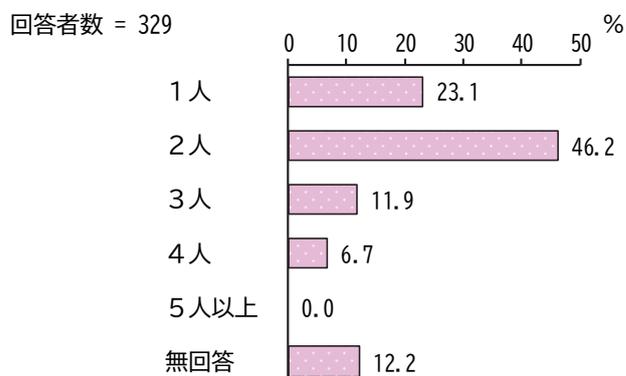
「5歳」の割合が24.3%、次いで「4歳」の割合が20.7%、「3歳」の割合が17.9%となっています。



問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください。お子さんが2人以上いらっしゃる場合は、いちばん下のお子さんの生年月もご記入ください。

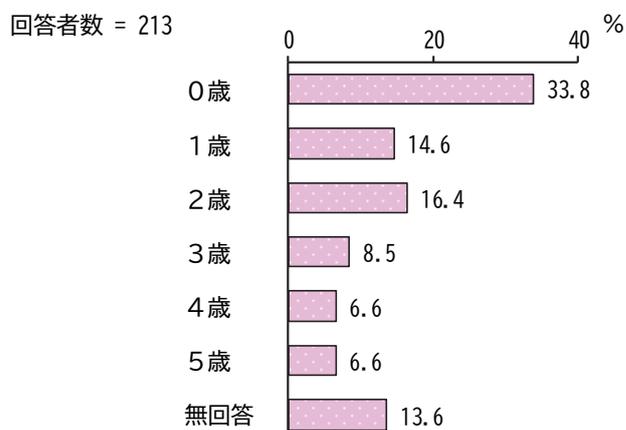
① きょうだい数

「2人」の割合が46.2%、次いで「1人」の割合が23.1%、「3人」の割合が11.9%となっています。



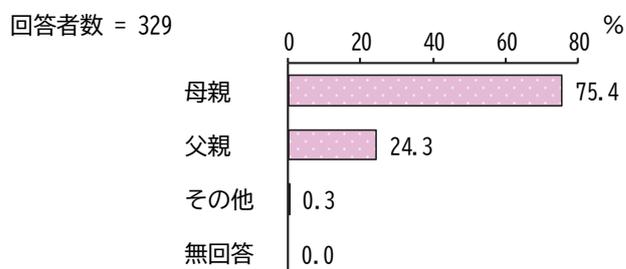
② 末子の年齢

「0歳」の割合が33.8%、次いで「2歳」の割合が16.4%、「1歳」の割合が14.6%となっています。



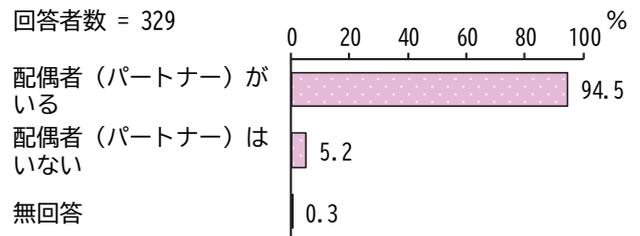
問4 この調査にご回答くださっている方はどなたですか。お子さんからみた関係をお答えください。(1つに○)

「母親」の割合が75.4%、「父親」の割合が24.3%となっています。



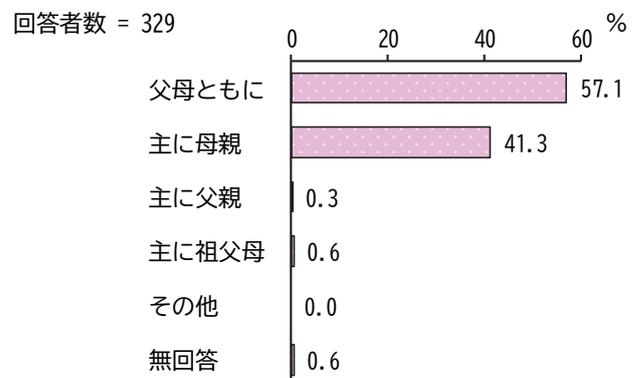
問5 この調査にご回答くださっている方には、配偶者（パートナー）はいらっしゃいますか。（1つに○）

「配偶者（パートナー）がいる」の割合が94.5%と最も高く、「配偶者（パートナー）はいない」の割合が5.2%となっています。



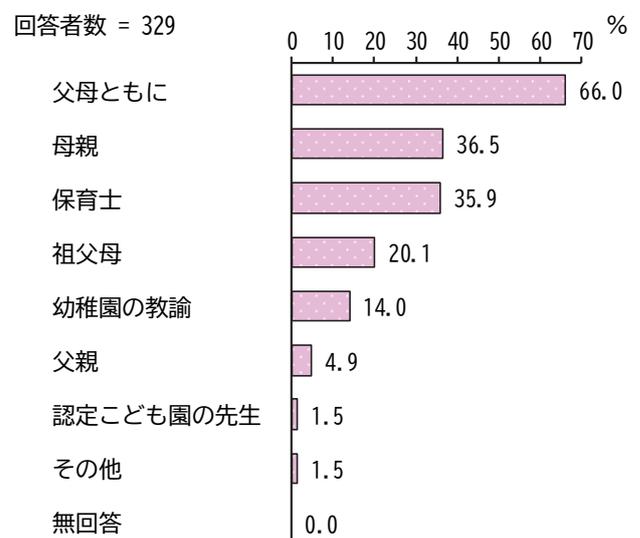
問6 お子さんの子育てを主に行っている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（1つに○）

「父母ともに」の割合が57.1%と高く、次いで「主に母親」の割合が41.3%となっています。



問7 お子さんの子育てに日常的に関わっている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまるものすべてに○）

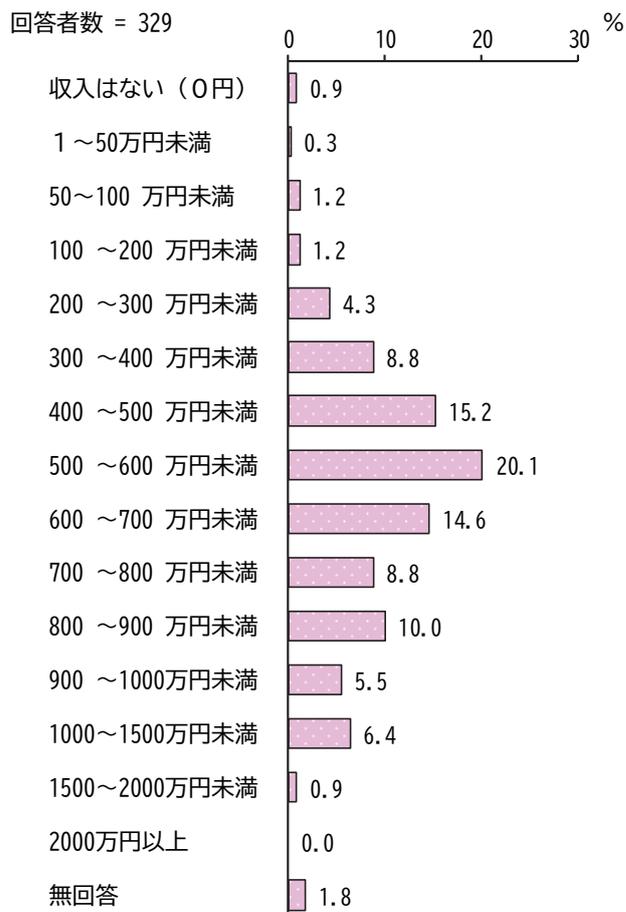
「父母ともに」の割合が66.0%と高く、次いで「母親」の割合が36.5%、「保育士」の割合が35.9%となっています。



### (3) ご家族の収入状況などについて

#### 問8 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（1つに○）

「500～600万円未満」の割合が20.1%と高く、次いで「400～500万円未満」の割合が15.2%、「600～700万円未満」の割合が14.6%となっています。



#### 【家庭類型別】

家庭類型別にみると、ひとり親家庭では「300～400万円未満」の割合が29.4%と高く、次いで「50～100万円未満」及び「100～200万円未満」の割合が17.6%となっています。

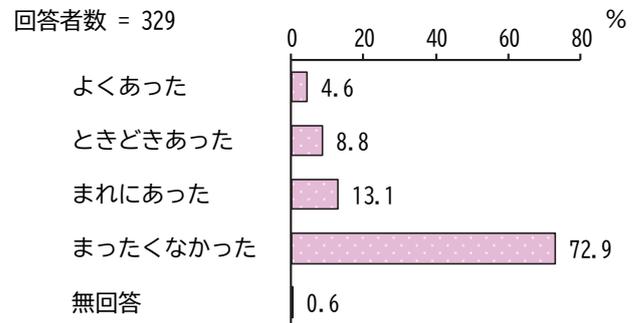
単位：%

区分	回答者数(件)	収入はない(0円)	1～50万円未満	50～100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～600万円未満	600～700万円未満	700～800万円未満	800～900万円未満	900～1000万円未満	1000～1500万円未満	1500～2000万円未満	2000万円以上	無回答
全体	329	0.9	0.3	1.2	1.2	4.3	8.8	15.2	20.1	14.6	8.8	10.0	5.5	6.4	0.9	-	1.8
ひとり親家庭	17	11.8	5.9	17.6	17.6	5.9	29.4	-	5.9	-	-	-	-	-	-	-	5.9
共働き家庭	204	-	-	-	-	3.4	6.9	14.2	18.1	15.2	12.3	11.8	7.8	8.3	0.5	-	1.5
専業主婦・主夫	82	1.2	-	1.2	1.2	6.1	8.5	18.3	25.6	14.6	4.9	9.8	2.4	2.4	1.2	-	2.4

※クロス集計のため、有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。

問9 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料や衣服が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品や高価な衣服・貴金属・宝飾品は含みません。(1つに○)

「まったくなかった」の割合が72.9%と最も高く、次いで「まれにあった」の割合が13.1%となっています。



#### 【家庭類型別】

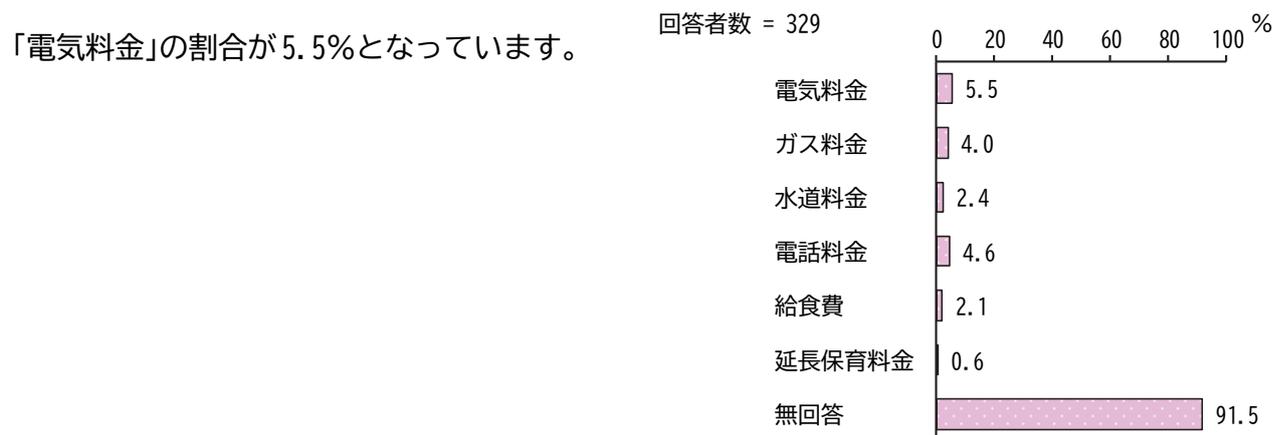
家庭類型別にみると、ひとり親家庭で「ときどきあった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった	無回答
全体	329	4.6	8.8	13.1	72.9	0.6
ひとり親家庭	17	5.9	41.2	23.5	29.4	-
共働き家庭	204	5.4	3.9	12.7	77.0	1.0
専業主婦・主夫	82	2.4	13.4	11.0	73.2	-

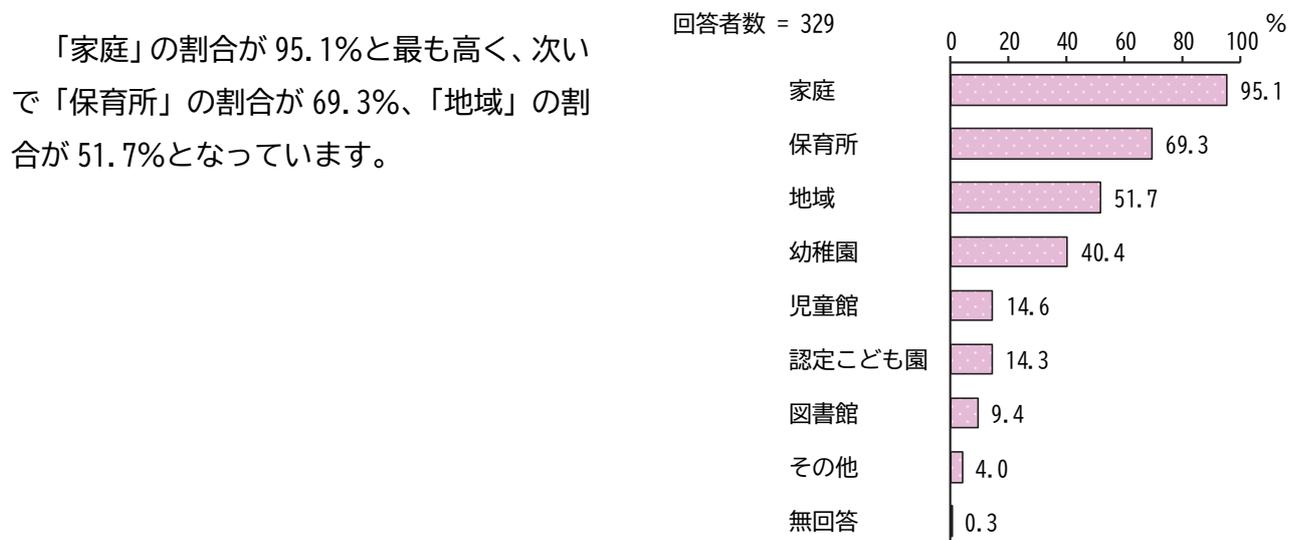
※クロス集計のため、有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。

問10 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(あてはまるものすべてに○)



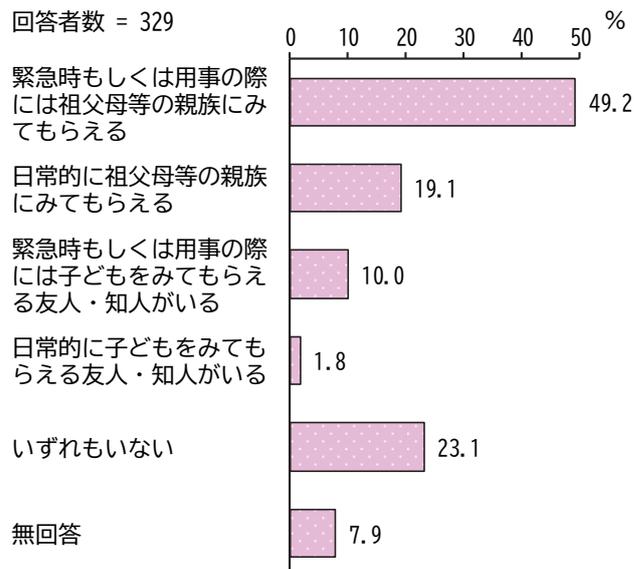
#### (4) 子どもの育ちを取り巻く環境について

問11 お子さんの子育てに影響すると思う環境はどれですか。(あてはまるものすべてに○)



問 12 日頃、お子さんを見てもらえる親族や知人等はいですか。  
(あてはまるものすべてに○)

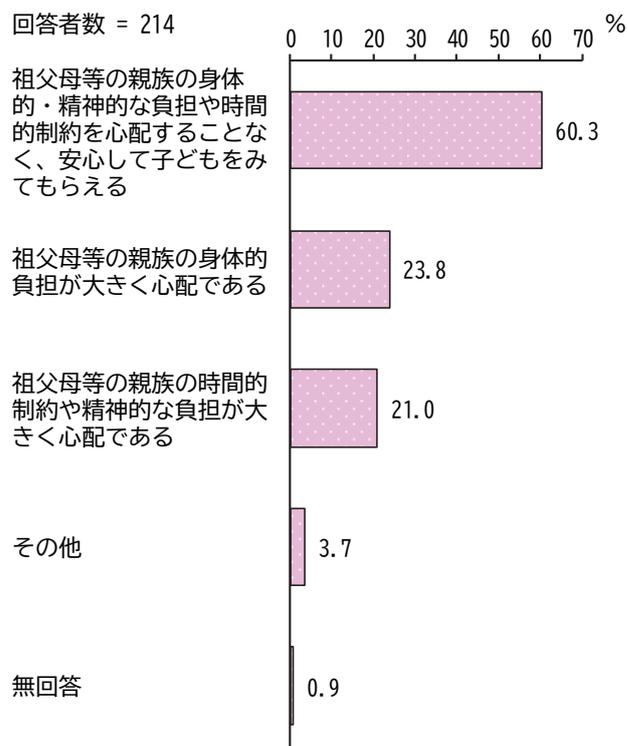
「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 49.2%と高く、次いで「いずれもない」の割合が 23.1%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 19.1%となっています。



問 12 で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。

問 12-1 祖父母等の親族にみてもらっている状況についてお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)

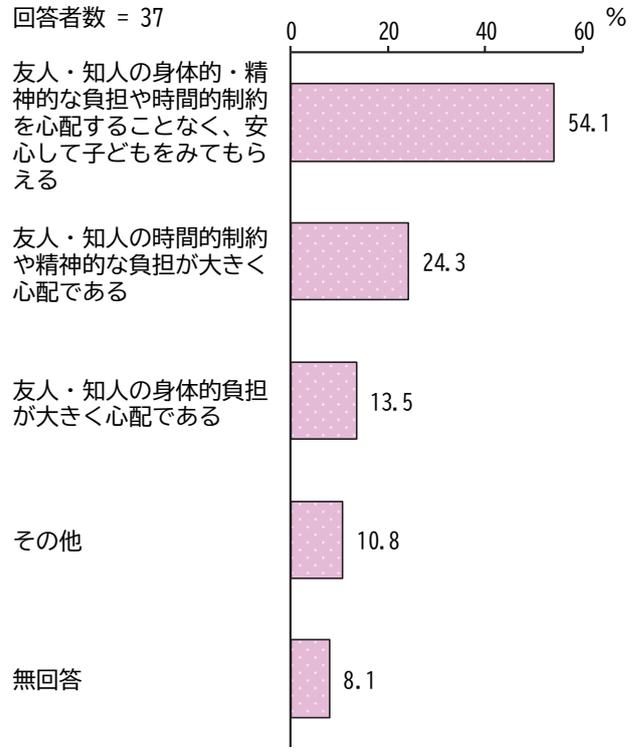
「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもを見てもらえる」の割合が 60.3%と高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が 23.8%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が 21.0%となっています。



問12で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。

問12-2 友人・知人にみてもらっている状況についてお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)

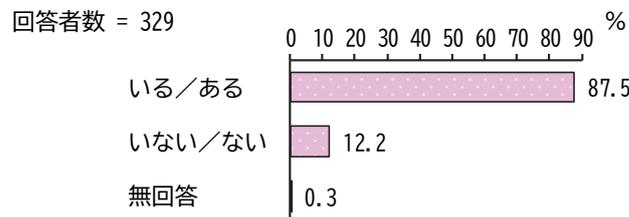
「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が54.1%と高く、次いで「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が24.3%、「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」の割合が13.5%となっています。



すべての方にうかがいます。

問 13 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(1つに○)

「いる／ある」の割合が 87.5%、「いない／ない」の割合が 12.2%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、全年齢で「いる／ある」の割合が高くなっています。

単位：%

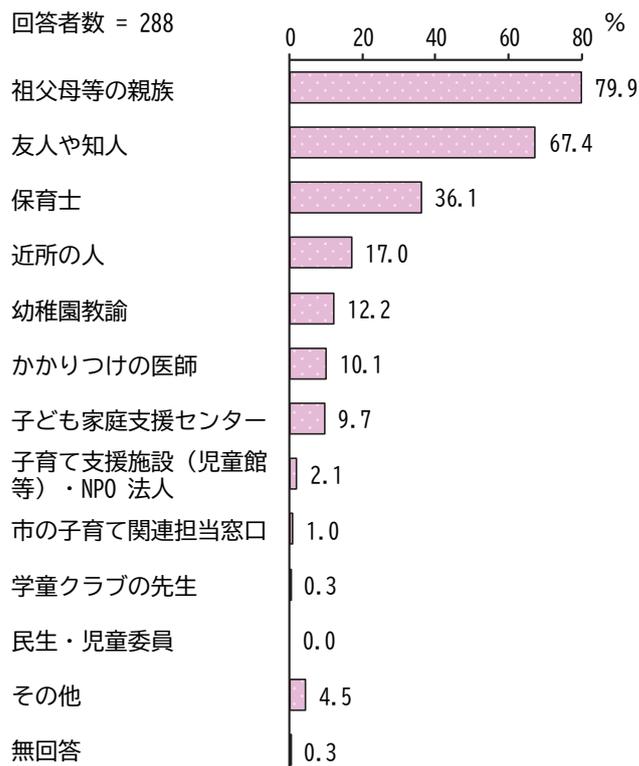
区分	回答者数 (件)	いる／ある	いない／ない	無回答
全体	329	87.5	12.2	0.3
0～2歳	106	92.5	7.5	-
3～5歳	207	84.5	15.0	0.5

※クロス集計のため、有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。

問 13 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

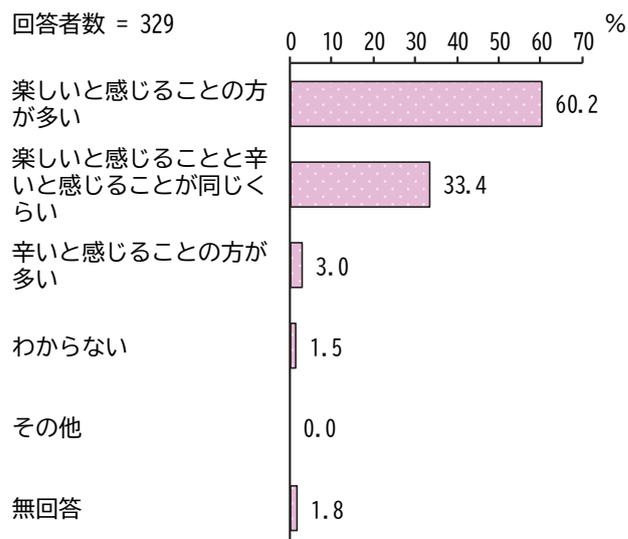
問 13-1 お子さんの子育てについて、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。(あてはまるものすべてに○)

「祖父母等の親族」の割合が 79.9%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が 67.4%、「保育士」の割合が 36.1%となっています。



問 14 子育てを楽しんでいると感じることは多いですか。(1つに○)

「楽しいと感じることの方が多い」の割合が60.2%と高く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」の割合が33.4%となっています。



【家庭類型別】

全ての世帯において「楽しいと感じることの方が多い」の割合が高いものの、家庭類型別で見ると、ひとり親家庭では、「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」の割合が41.2%となっています。

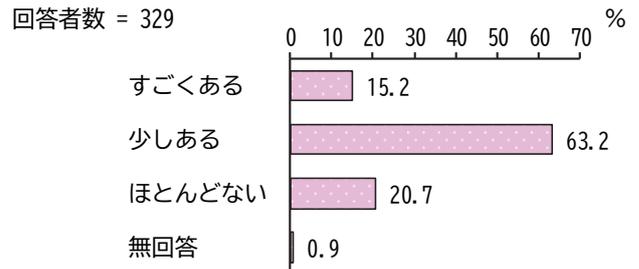
単位：%

区分	回答者数(件)	楽しいと感じることの方が多い	楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい	辛いと感じることの方が多い	わからない	その他	無回答
全体	329	60.2	33.4	3.0	1.5	-	1.8
ひとり親家庭	17	47.1	41.2	-	11.8	-	-
共働き家庭	204	64.2	31.9	1.0	1.5	-	1.5
専業主婦・主夫	82	59.8	30.5	7.3	-	-	2.4

※クロス集計のため、有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。

問 15 あなたは、子育てをしていて、不安や悩みなどはありますか。(1つに○)

「少しある」の割合が63.2%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が20.7%、「すごくある」の割合が15.2%となっています。

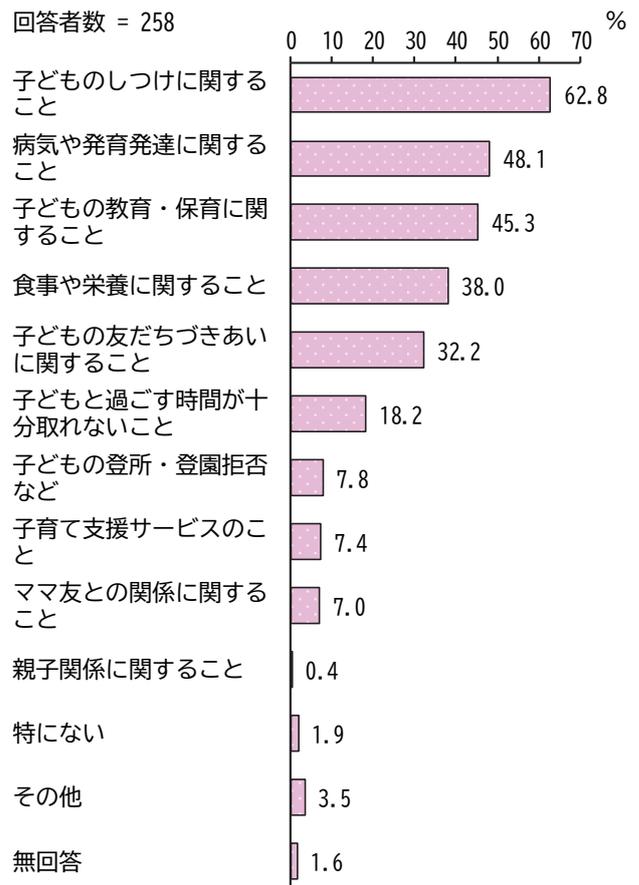


問 15で「1. すごくある」、「2. 少しある」に○をつけた方がいます。

問 15-1 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。  
((1)、(2) それぞれあてはまるものすべてに○)

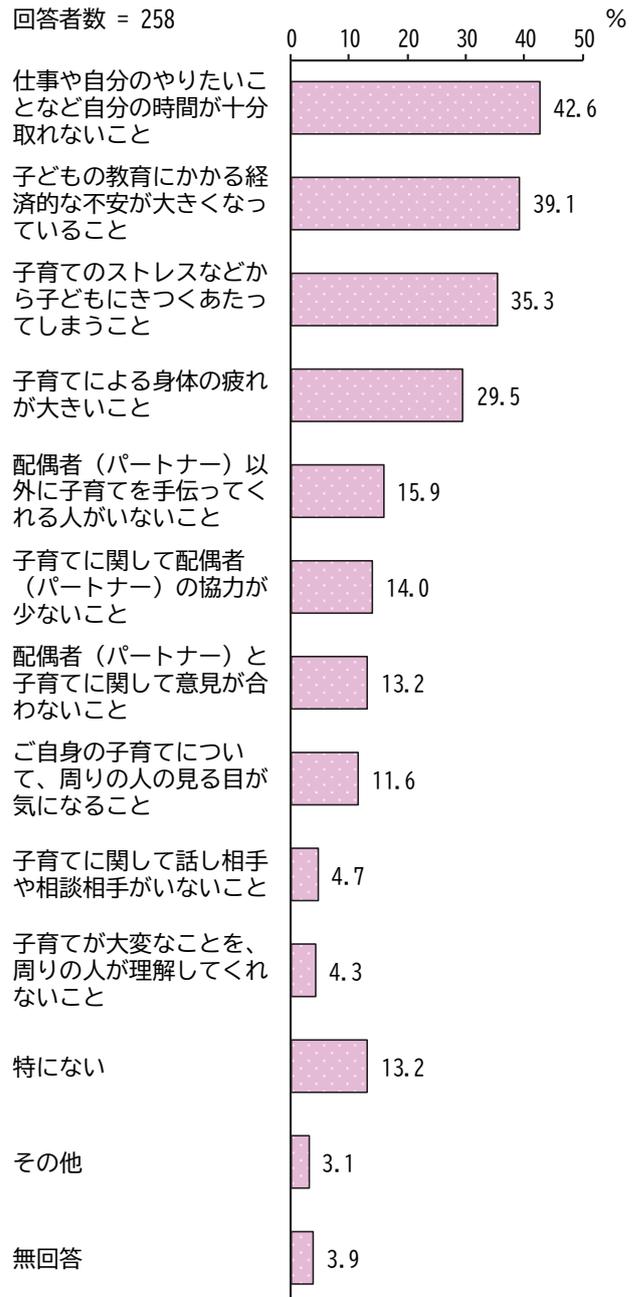
(1) 子どもに関すること

「子どものしつけに関すること」の割合が62.8%と高く、次いで「病気や発育発達に関すること」の割合が48.1%、「子どもの教育・保育に関すること」の割合が45.3%となっています。



## (2) ご自身に関すること

「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が 42.6% と高く、次いで「子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の割合が 39.1%、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」の割合が 35.3%となっています。



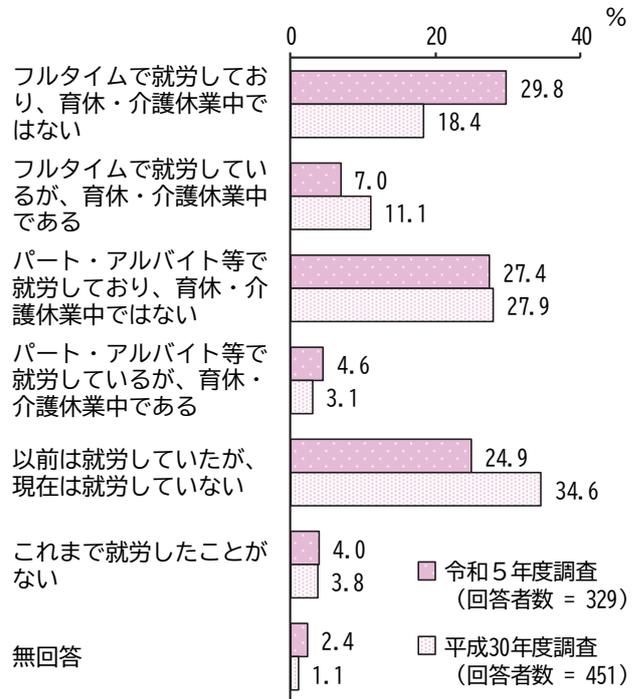
(5) お子さんの保護者の就労状況について

問 16 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）は下記のどれですか。

(1) 「お母さん」について（1つに○）

「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が29.8%と高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が27.4%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が24.9%となっています。

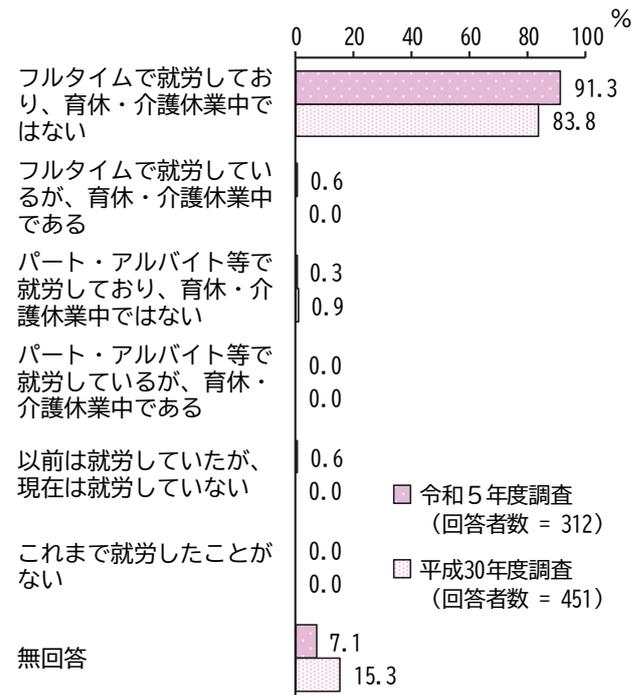
平成30年度調査と比較すると「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加している一方で、「パート・アルバイトで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合及び「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。



(2) 「お父さん」について（1つに○）

「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が91.3%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。

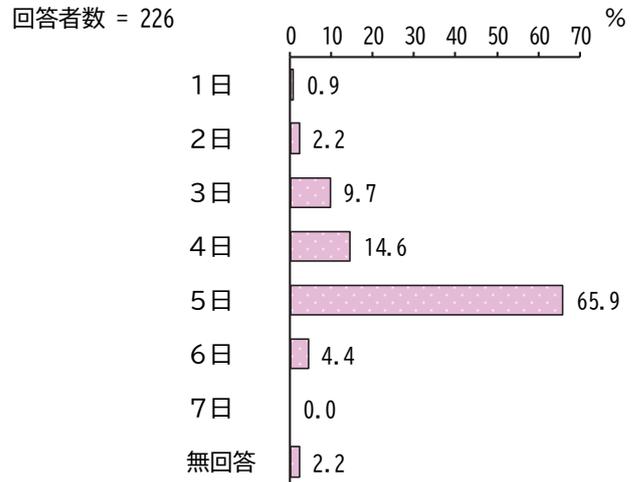


問16の(1)で「1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」～「4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」(就労している)に○をつけた「お母さん」にうかがいます。

問16-(1)-1 1週当たりの「就労日数」、また1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。(数字を記入)

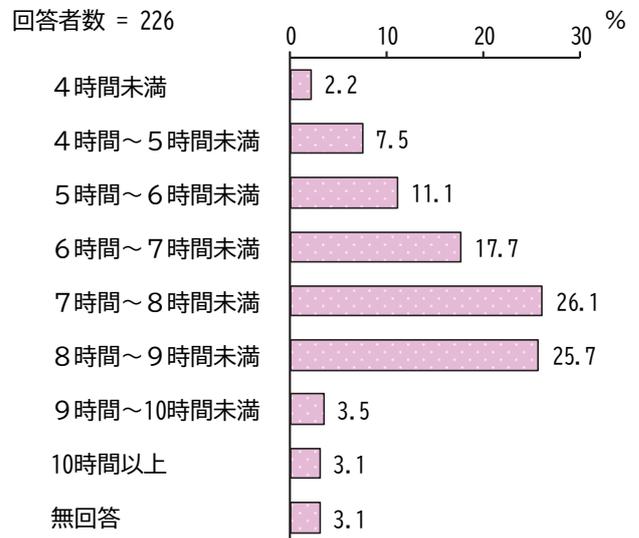
① 1週当たりの就労日数

「5日」の割合が65.9%と最も高く、次いで「4日」の割合が14.6%となっています。



② 1日当たりの就労時間(残業時間を含む)

「7時間～8時間未満」の割合が26.1%と高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が25.7%、「6時間～7時間未満」の割合が17.7%となっています。

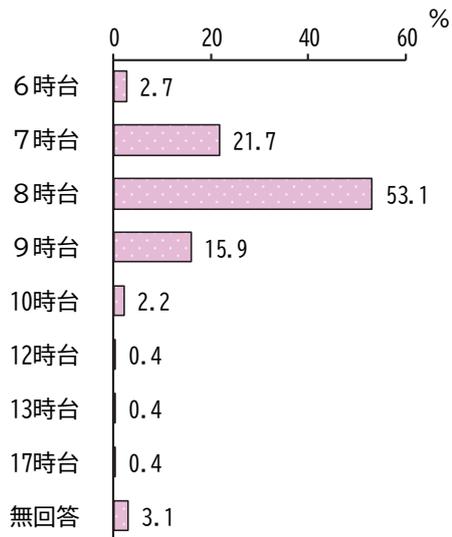


問 16－（1）－2 家を出る時刻と帰宅の時刻は何時頃かをお答えください。  
 （数字を記入。必ず「8時頃～18時頃」のように、24時間制でお答えください。）

① 家を出る時刻

「8時台」の割合が53.1%と高く、次いで「7時台」の割合が21.7%、「9時台」の割合が15.9%となっています。

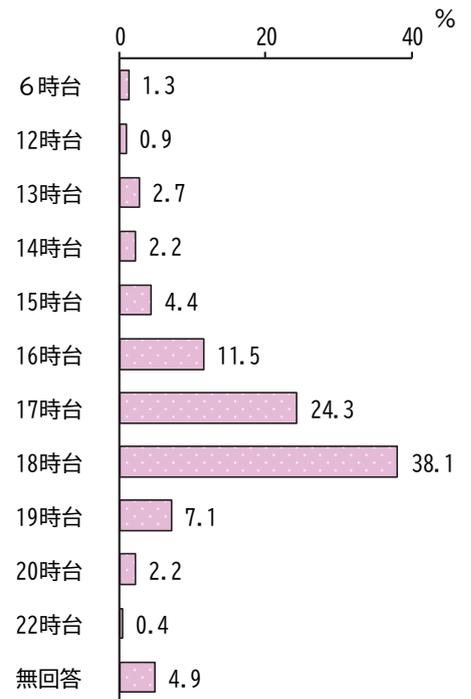
回答者数 = 226



② 帰宅時刻

「18時台」の割合が38.1%と高く、次いで「17時台」の割合が24.3%、「16時台」の割合が11.5%となっています。

回答者数 = 226

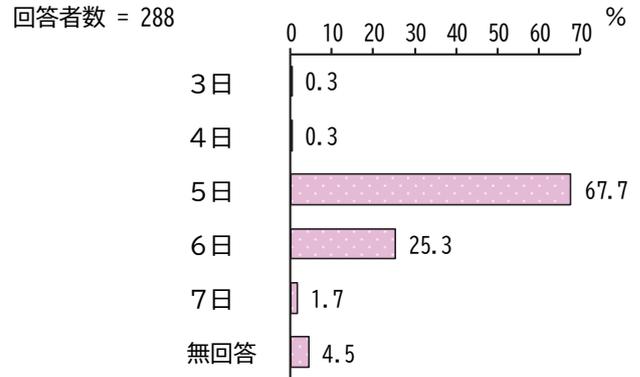


問16の(2)で「1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」～「4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」(就労している)に○をつけた「お父さん」にうかがいます。

問16-(2)-1 1週当たりの「就労日数」、また1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。(数字を記入)

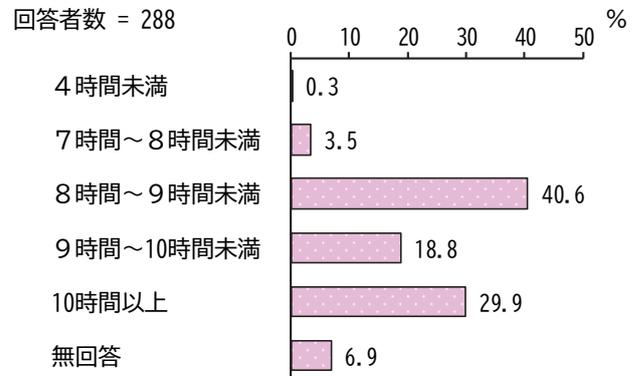
① 1週当たりの就労日数

「5日」の割合が67.7%と最も高く、次いで「6日」の割合が25.3%となっています。



② 1日当たりの就労時間(残業時間を含む)

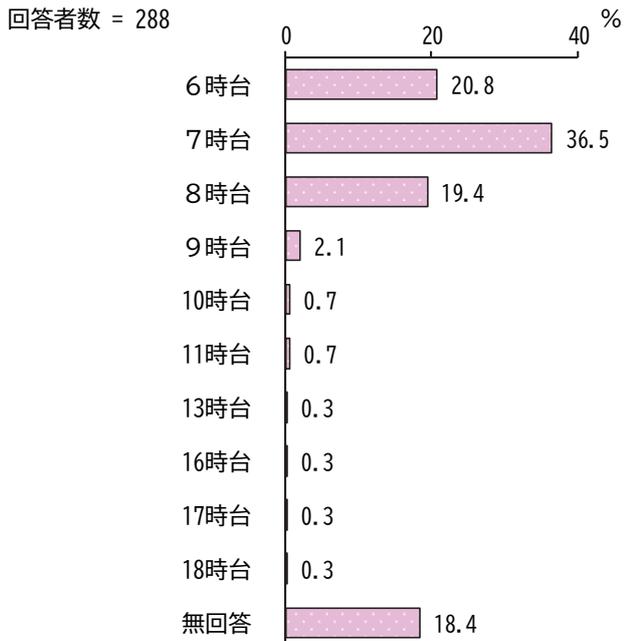
「8時間～9時間未満」の割合が40.6%と高く、次いで「10時間以上」の割合が29.9%、「9時間～10時間未満」の割合が18.8%となっています。



問 16－（2）－2 家を出る時刻と帰宅の時刻は何時頃かをお答えください。  
 （数字を記入。必ず「8時頃～18時頃」のように、24時間制でお答えください。）

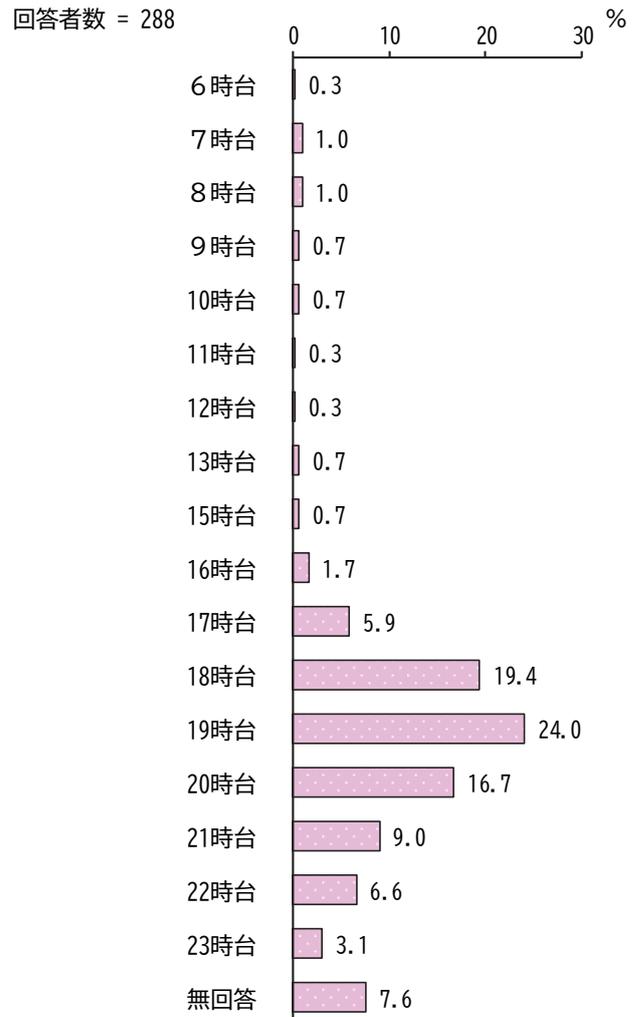
① 家を出る時刻

「7時台」の割合が36.5%と高く、次いで「6時台」の割合が20.8%、「8時台」の割合が19.4%となっています。



② 帰宅時刻

「19時台」の割合が24.0%と高く、次いで「18時台」の割合が19.4%、「20時台」の割合が16.7%となっています。

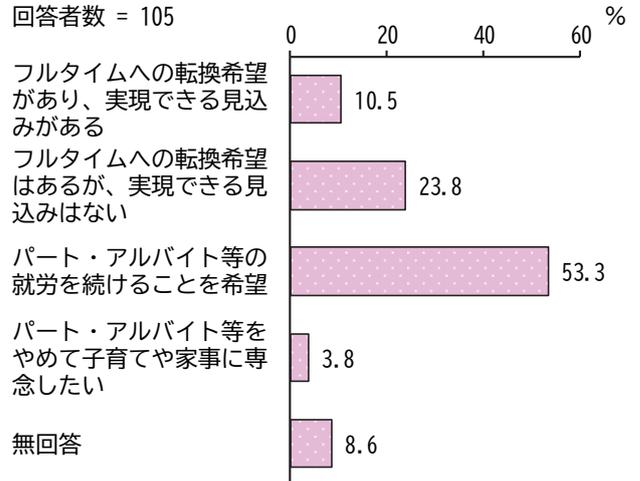


問16の(1)または(2)で「3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」または「4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」(パート・アルバイト等で就労)に○をつけた方にうかがいます。

問16-3 フルタイムへの転換希望はありますか。(1つに○)

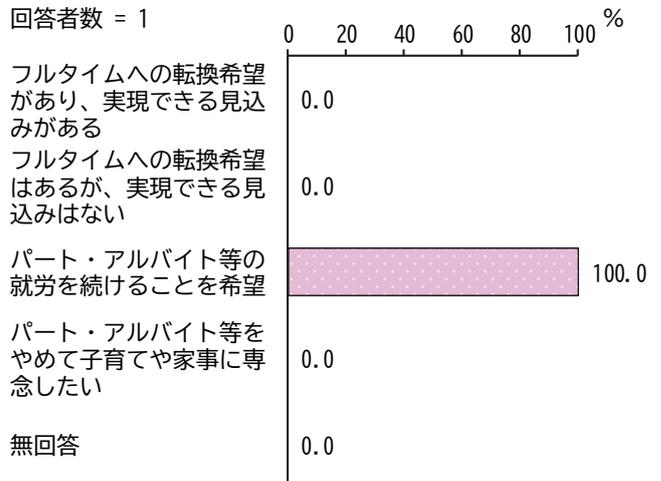
(1) お母さん

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が53.3%と高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が23.8%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が10.5%となっています。



(2) お父さん

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が1件(100%)となっています。

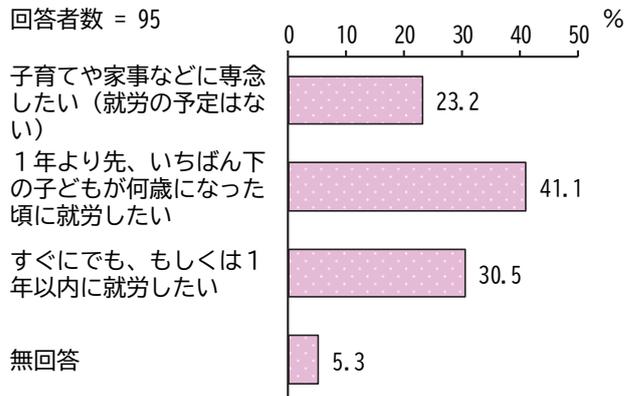


問 16 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」(現在就労していない)、または「6. これまで就労したことがない」(就労したことがない) に○をつけた方にうかがいます。

問 16-4 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する( )内には数字をご記入ください。

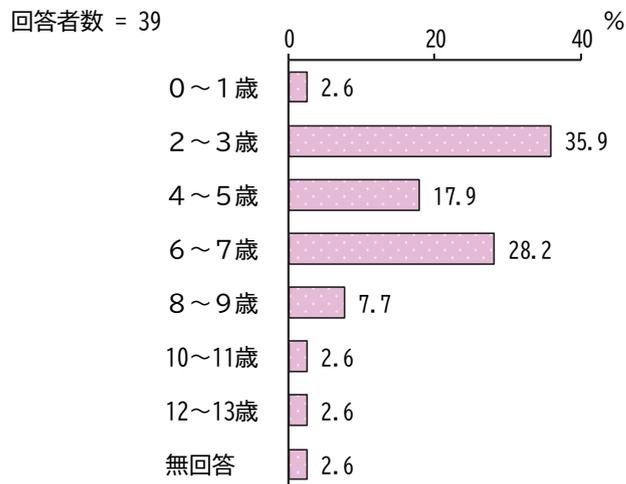
(1) お母さん

「1年より先、いちばん下の子どもが何歳になった頃に就労したい」の割合が41.1%と高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が30.5%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が23.2%となっています。



<一番下の子どもが何歳になった頃に就労したいか>

「2~3歳」の割合が35.9%と高く、次いで「6~7歳」の割合が28.2%、「4~5歳」の割合が17.9%となっています。

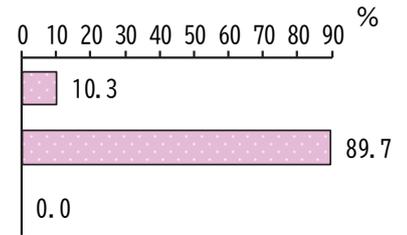


<希望する就労形態>

「フルタイム」の割合が10.3%、「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」の割合が89.7%となっています。

回答者数 = 29

フルタイム  
パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）  
無回答

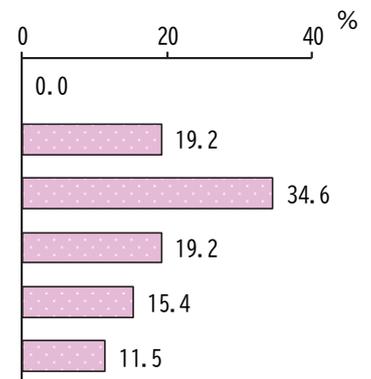


<パートタイム、アルバイト等で希望する週あたり就労日数>

「3日」の割合が34.6%と高く、次いで「2日」、「4日」の割合がそれぞれ19.2%となっています。

回答者数 = 26

1日  
2日  
3日  
4日  
5日  
無回答

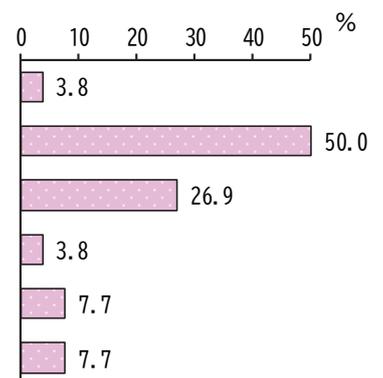


<パートタイム、アルバイト等で希望する1日あたり就労時間>

「4時間～5時間未満」の割合が50.0%と高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が26.9%となっています。

回答者数 = 26

4時間未満  
4時間～5時間未満  
5時間～6時間未満  
6時間～7時間未満  
7時間～8時間未満  
無回答

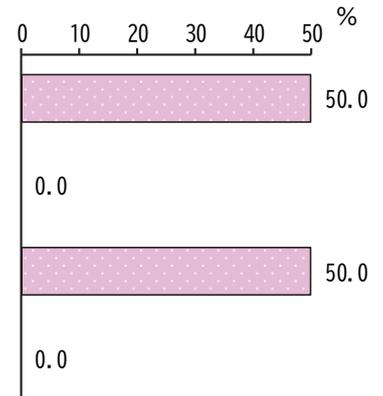


(2) お父さん

「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」がそれぞれ1件(50.0%)となっています。

回答者数 = 2

子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)  
 1年より先、いちばん下の子どもが何歳になった頃に就労したい  
 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい  
 無回答



<一番下の子どもが何歳になった頃に就労したいか>

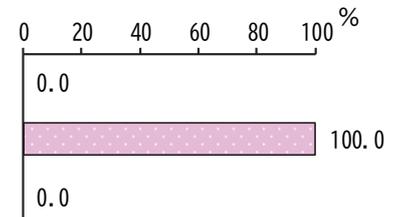
有効回答がありませんでした。

<希望する就労形態>

「パートタイム、アルバイト等」が1件(100%)となっています。

回答者数 = 1

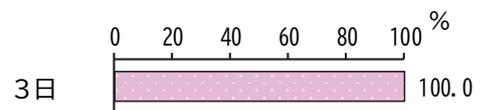
フルタイム  
 パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)  
 無回答



<パートタイム、アルバイト等で希望する週当たり就労日数>

「3日」が1件(100%)となっています。

回答者数 = 1

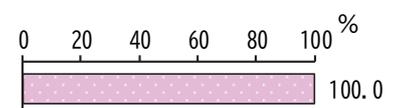


<パートタイム、アルバイト等で希望する1日当たり就労時間>

「5時間～6時間未満」が1件(100%)となっています。

回答者数 = 1

5時間～6時間未満

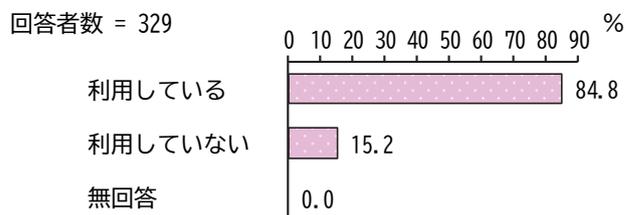


## (6) お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

すべての方にかかっています。

問 17 お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。(1つに○)

「利用している」の割合が 84.8%、「利用していない」の割合が 15.2%となっています。



### 【子どもの年齢別】

子どもの年齢別で見ると、3～5歳で「利用している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	利用している	利用していない	無回答
全体	329	84.8	15.2	-
0～2歳	106	64.2	35.8	-
3～5歳	207	96.1	3.9	-

※クロス集計のため、有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。

### 【家庭類型別】

全ての世帯で「利用している」の割合が高くなっています。

単位：%

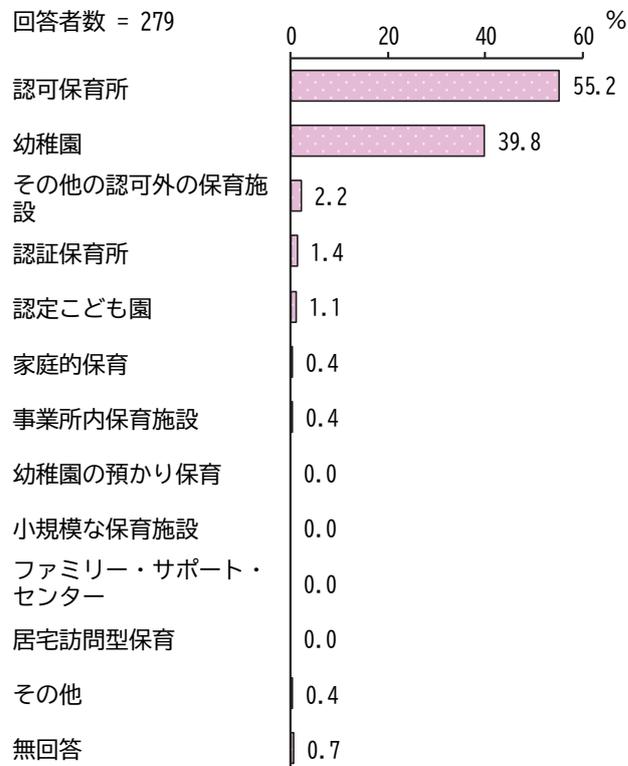
区分	回答者数(件)	利用している	利用していない	無回答
全体	329	84.8	15.2	-
ひとり親家庭	17	88.2	11.8	-
共働き家庭	204	91.2	8.8	-
専業主婦・主夫	82	69.5	30.5	-

※クロス集計のため、有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。

問 17-1 ~ 問 17-4 は、問 17 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 17-1 お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)

「認可保育所」の割合が 55.2%と高く、次いで「幼稚園」の割合が 39.8%となっています。

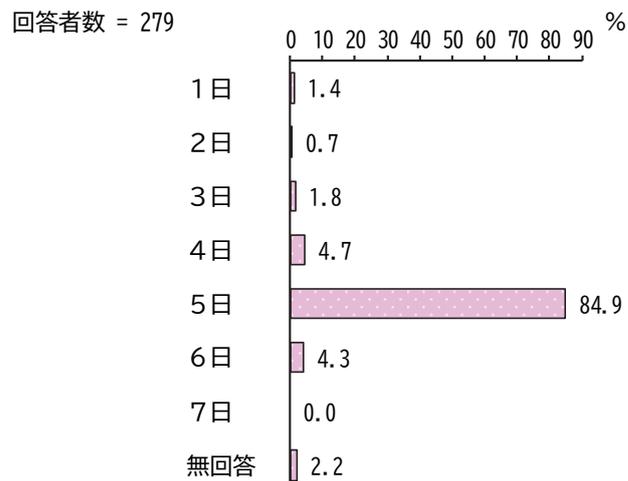


問 17-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず「9時~18時」のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

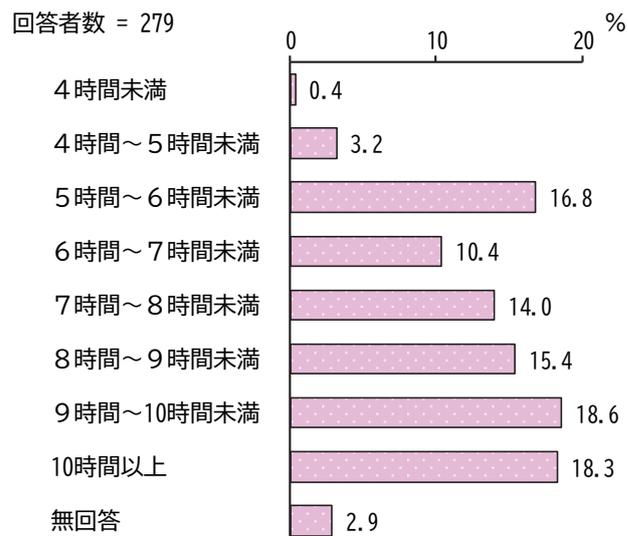
① 1週当たりの利用日数

「5日」の割合が 84.9%と最も高くなっています。



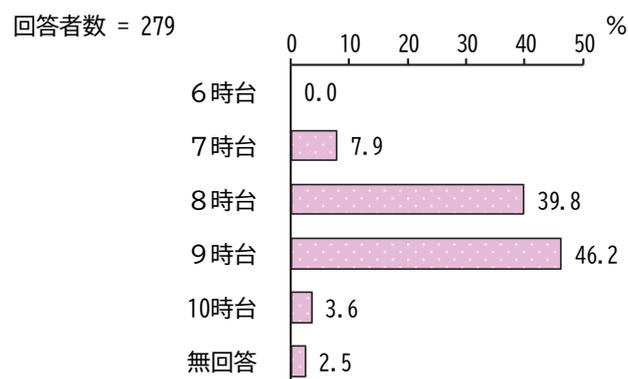
② 1日当たりの利用時間

「9時間～10時間未満」の割合が18.6%と高く、次いで「10時間以上」の割合が18.3%、「5時間～6時間未満」の割合が16.8%となっています。



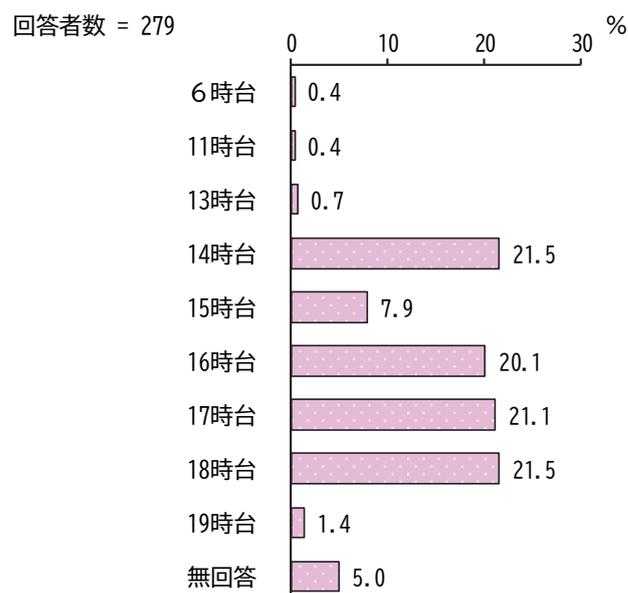
③ 利用開始時間

「9時台」の割合が46.2%と高く、次いで「8時台」の割合が39.8%となっています。



④ 利用終了時間

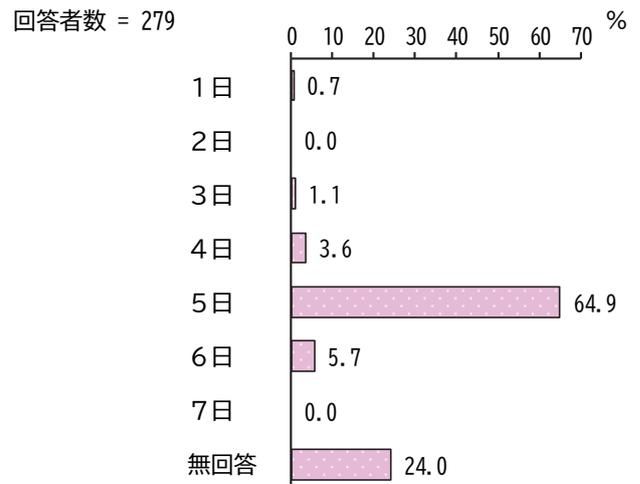
「14時台」、「18時台」の割合がそれぞれ21.5%と高く、次いで「17時台」の割合が21.1%となっています。



## (2) 希望

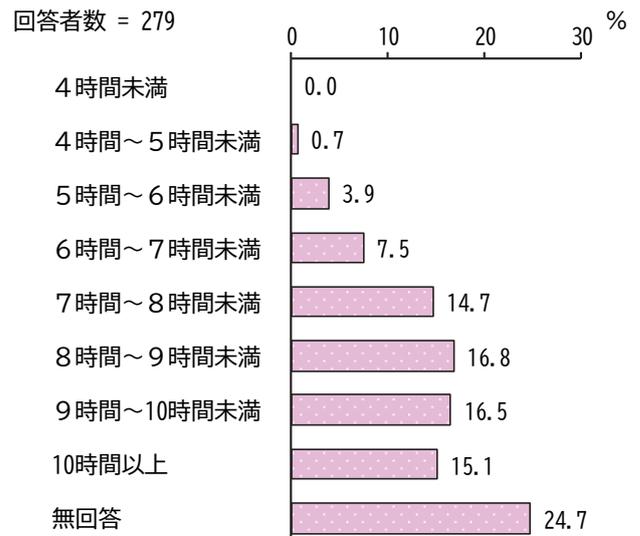
### ① 1週当たりの利用日数

「5日」の割合が64.9%と最も高くなっています。



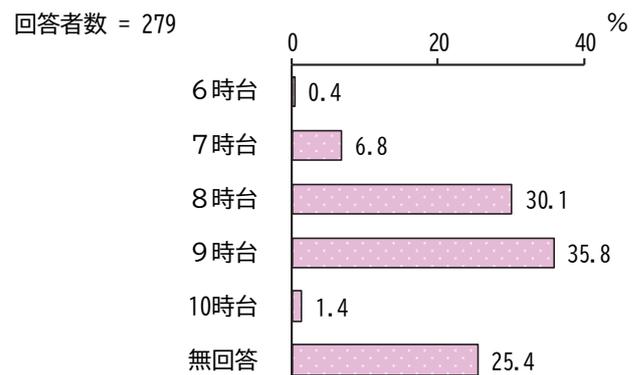
### ② 1日当たりの利用時間

「8時間～9時間未満」の割合が16.8%と高く、次いで「9時間～10時間未満」の割合が16.5%、「10時間以上」の割合が15.1%となっています。



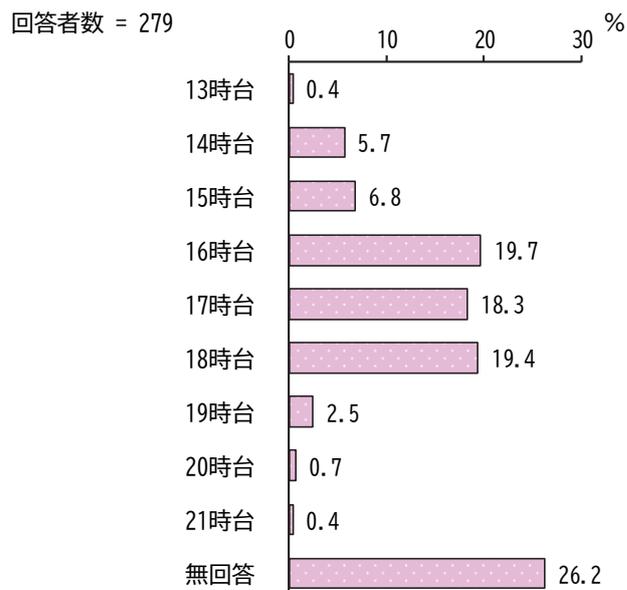
### ③ 利用開始時間

「9時台」の割合が35.8%と高く、次いで「8時台」の割合が30.1%となっています。



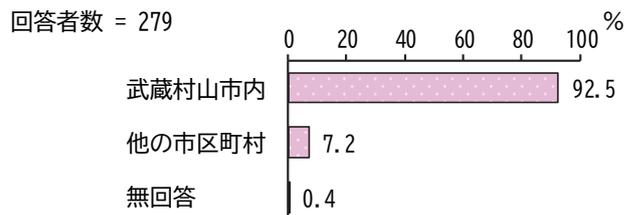
④ 利用終了時間

「16 時台」の割合が 19.7%と高く、次いで「18 時台」の割合が 19.4%、「17 時台」の割合が 18.3%となっています。



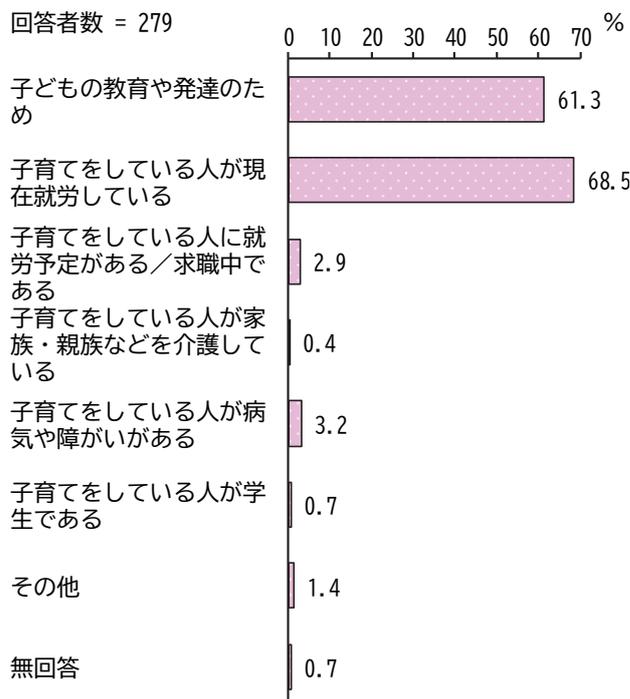
問 17-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。（1つに○）

「武蔵村山市内」の割合が 92.5%と最も高く、「他の市区町村」の割合が 7.2%となっています。



問 17-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「子育てをしている人が現在就労している」の割合が 68.5%と高く、次いで「子どもの教育や発達のため」の割合が 61.3%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、0～2歳で「子育てをしている人が現在就労している」の割合が最も高くなっています。また、3～5歳では、「子育てをしている人が現在就労している」の割合と「子どもの教育や発達のため」の割合がほぼ同程度となっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	子どもの教育や発達のため	子育てをしている人が現在就労している	子育てをしている人に就労予定がある/求職中である	子育てをしている人が家族・親族などを介護している	子育てをしている人が病気や障がいがある	子育てをしている人が学生である	その他	無回答
全体	279	61.3	68.5	2.9	0.4	3.2	0.7	1.4	0.7
0～2歳	68	54.4	77.9	4.4	-	4.4	-	1.5	1.5
3～5歳	199	63.8	64.3	2.0	0.5	3.0	1.0	1.5	0.5

※クロス集計のため、有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。

【家庭類型別】

家庭類型別でみると、共働き家庭及びひとり親家庭では、「子育てをしている人が現在就労している」の割合が最も高く、専業主婦・主夫では、「子どもの教育や発達のため」の割合が最も高くなっています。

単位：％

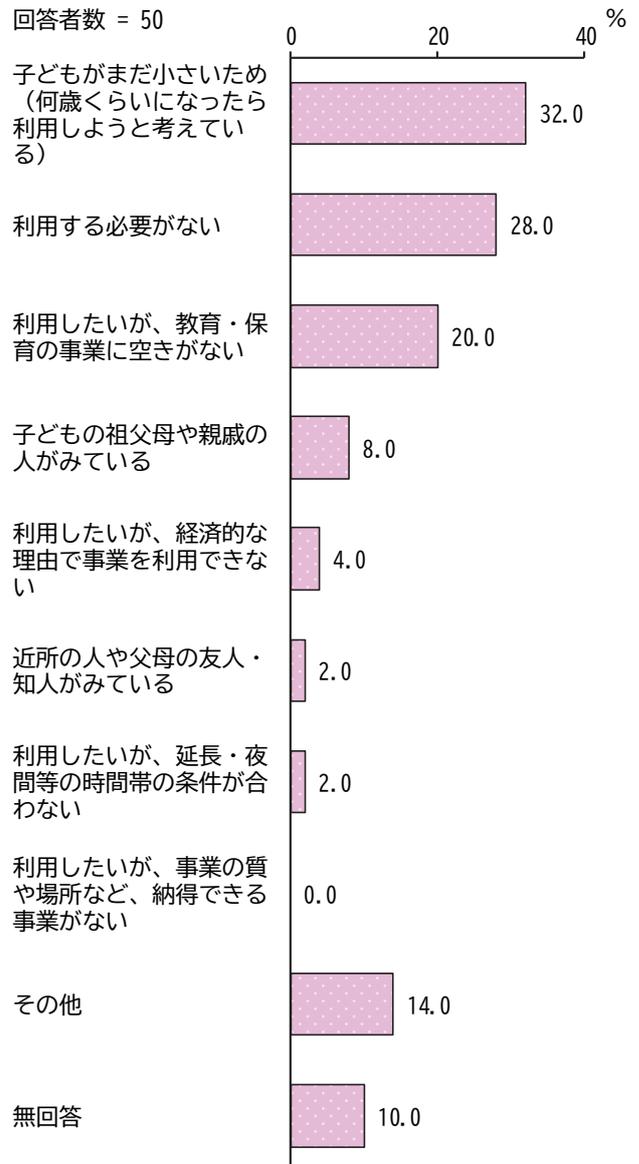
区分	回答者数(件)	子どもの教育や発達のため	子育てをしている人が現在就労している	子育てをしている人に就労予定がある／求職中である	子育てをしている人が家族・親族などを介護している	子育てをしている人が病気や障がいがある	子育てをしている人が学生である	その他	無回答
全体	279	61.3	68.5	2.9	0.4	3.2	0.7	1.4	0.7
ひとり親家庭	15	66.7	73.3	-	-	-	6.7	-	-
共働き家庭	186	48.4	90.3	3.2	0.5	2.2	-	2.2	0.5
専業主婦・主夫	57	96.5	3.5	3.5	-	7.0	1.8	-	1.8

※クロス集計のため、有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。

問 17 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

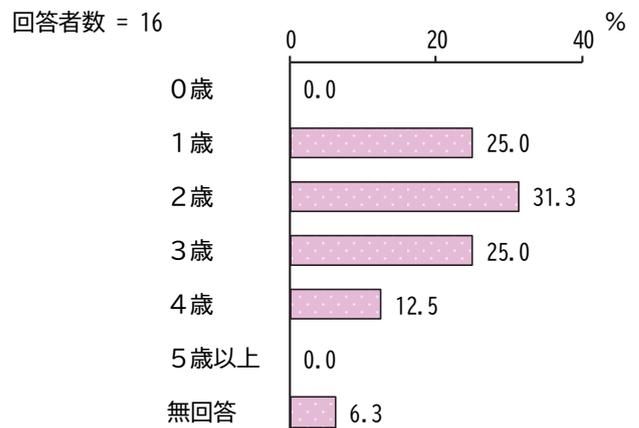
問 17-5 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「子どもがまだ小さいため(何歳くらいになったら利用しようと考えている)」の割合が 32.0%と高く、次いで「利用する必要がない」の割合が 28.0%となっています。



<利用を開始しようと考えている子どもの年齢>

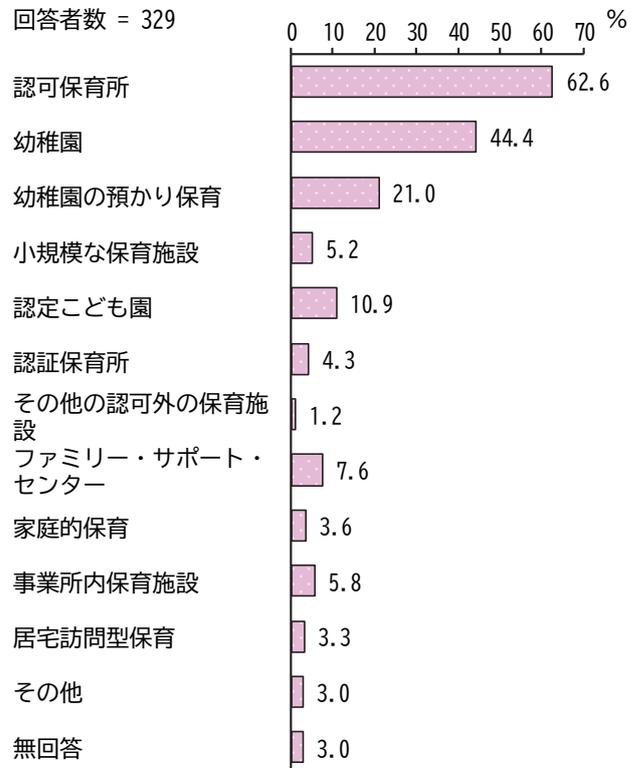
「2歳」の割合が 31.3%と高く、次いで「1歳」、「3歳」の割合が 25.0%となっています。



すべての方にうかがいます。

問18 現在利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)

「認可保育所」の割合が62.6%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が44.4%、「幼稚園の預かり保育」の割合が21.0%となっています。



### 【家庭類型別】

家庭類型別でみると、共働き家庭及びひとり親家庭では、「認可保育所」の割合が最も高く、専業主婦・主夫では、「幼稚園」の割合が最も高くなっています。

単位：%

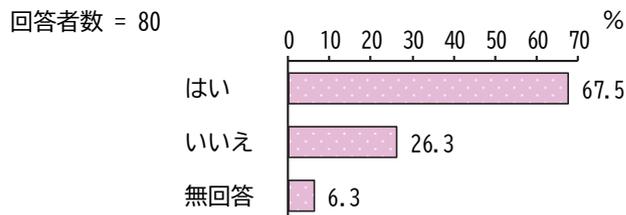
区分	回答者数(件)	認可保育所	幼稚園	幼稚園の預かり保育	小規模な保育施設	認定こども園	認証保育所	その他の認可外の保育施設	ファミリー・サポート・センター	家庭的保育	事業所内保育施設	居宅訪問型保育	その他	無回答
全体	329	62.6	44.4	21.0	5.2	10.9	4.3	1.2	7.6	3.6	5.8	3.3	3.0	3.0
ひとり親家庭	17	64.7	23.5	5.9	5.9	17.6	5.9	5.9	5.9	11.8	5.9	-	-	-
共働き家庭	204	78.9	30.4	17.2	5.9	9.8	4.9	1.0	9.3	3.9	7.4	4.4	2.9	2.9
専業主婦・主夫	82	24.4	79.3	32.9	4.9	12.2	3.7	1.2	6.1	1.2	3.7	2.4	4.9	3.7

※クロス集計のため、有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。

問 18 で「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」に○をし、かつ「認可保育所」または「小規模な保育施設」～「その他」のいずれかにも○をした方にうかがいます。

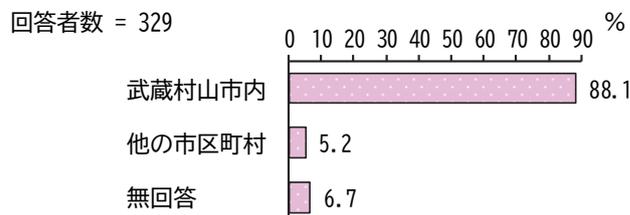
**問 18-1 幼稚園（預かり保育含む）の利用を強く希望しますか。（1つに○）**

「はい」の割合が 67.5%、「いいえ」の割合が 26.3%となっています。



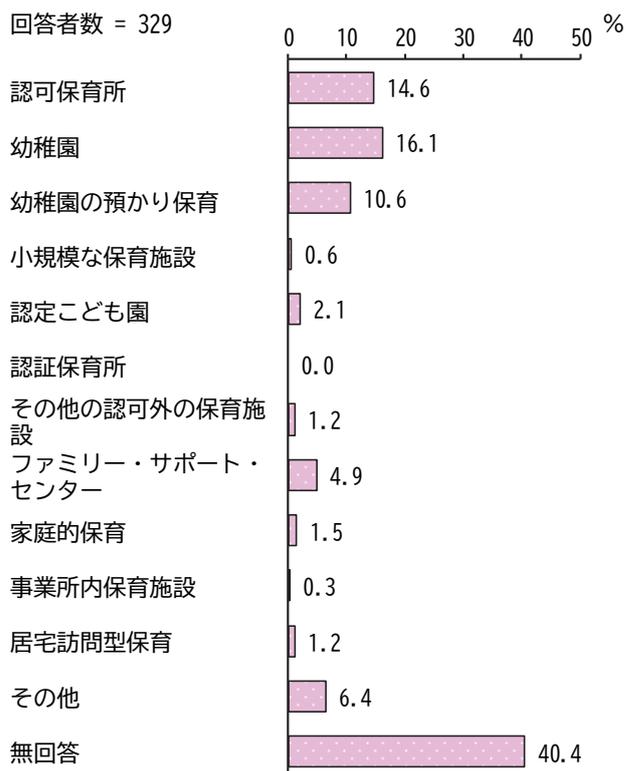
**問 19 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。（1つに○）**

「武蔵村山市内」の割合が 88.1%、「他の市区町村」の割合が 5.2%となっています。



**問 20 もし、教育・保育サービスにかかっている現在の経済的負担が減るとしたら、現在の利用から変更・追加したいと思うものはありますか。何に変更したいか、何を追加したいかをお答えください。（1つに○）**

「幼稚園」の割合が 16.1%と高く、次いで「認可保育所」の割合が 14.6%、「幼稚園の預かり保育」の割合が 10.6%となっています。



【家庭類型別】

家庭類型別でみると、ひとり親家庭では、「幼稚園」の割合が高く、専業主婦・主夫では、「幼稚園の預かり保育」の割合が高くなっています。

単位：％

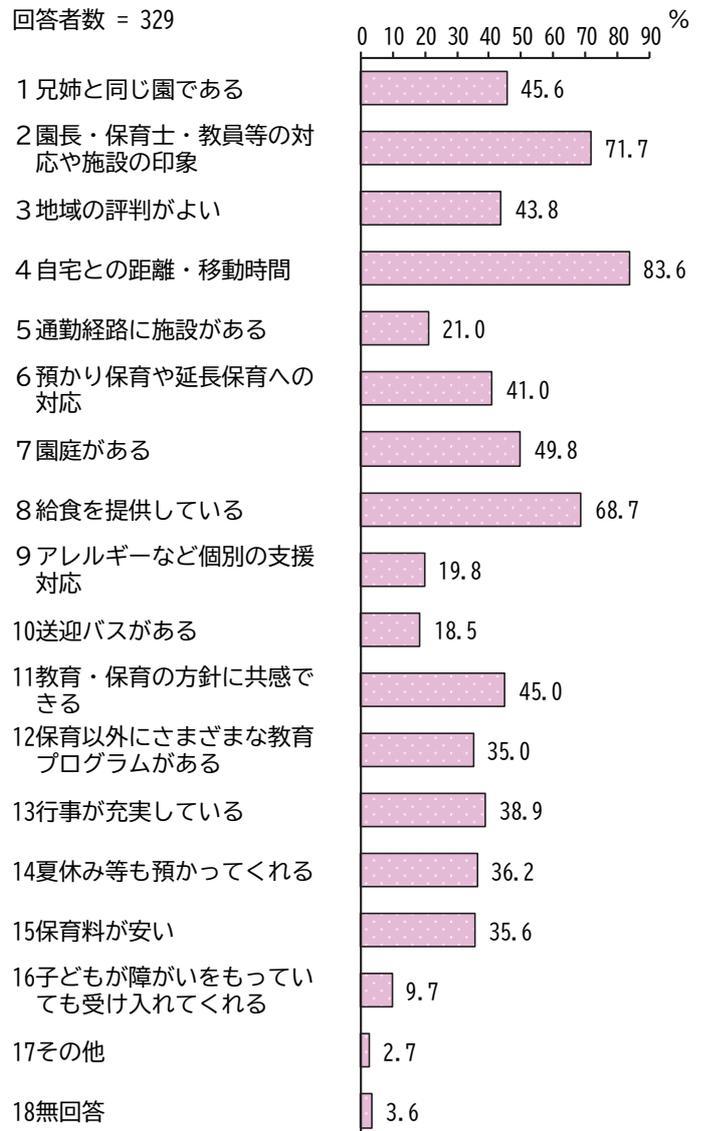
区分	回答者数(件)	認可保育所	幼稚園	幼稚園の預かり保育	小規模な保育施設	認定こども園	認証保育所	その他の認可外の保育施設	ファミリー・サポート・センター	家庭的保育	事業所内保育施設	居宅訪問型保育	その他	無回答
全体	329	14.6	16.1	10.6	0.6	2.1	-	1.2	4.9	1.5	0.3	1.2	6.4	40.4
ひとり親家庭	17	17.6	23.5	5.9	-	-	-	-	5.9	-	-	-	-	47.1
共働き家庭	204	18.6	16.2	5.9	0.5	2.0	-	1.0	6.9	1.5	-	1.0	4.9	41.7
専業主婦・主夫	82	4.9	15.9	24.4	1.2	1.2	-	1.2	-	1.2	-	2.4	11.0	36.6

※クロス集計のため、有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。

問21 教育・保育サービス（施設）を選ぶ際に、重視することは何ですか。  
（あてはまるものすべてに○）

「4 自宅との距離・移動時間」の割合が  
83.6%と最も高く、次いで「2 園長・保育士・  
教員等の対応や施設の印象」の割合が71.7%、  
「8 給食を提供している」の割合が 68.7%  
となっています。

回答者数 = 329



【家庭類型別】

家庭類型別でみると、ひとり親家庭では、「2 園長・保育士・教員等の対応や施設の印象」の割合が最も高く、共働き家庭では、「4 自宅との距離・移動時間」の割合が最も高く、専業主婦・主夫では、「4 自宅との距離・移動時間」の割合が最も高くなっています。

単位：%

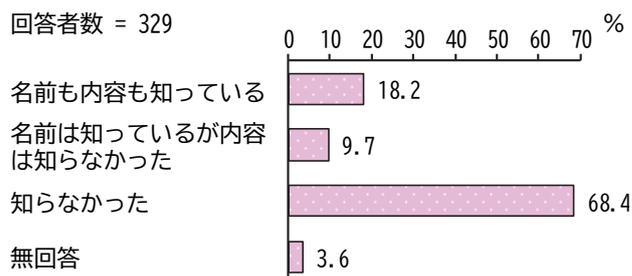
区分	回答者数(件)	1 兄弟と同じ園である	2 園長・保育士・教員等の対応や施設の印象	3 地域の評判がよい	4 自宅との距離・移動時間	5 通勤経路に施設がある	6 預かり保育や延長保育への対応	7 園庭がある	8 給食を提供している	9 アレルギーなど個別の支援対応
全体	329	45.6	71.7	43.8	83.6	21.0	41.0	49.8	68.7	19.8
ひとり親家庭	17	29.4	76.5	41.2	70.6	17.6	47.1	41.2	70.6	29.4
共働き家庭	204	48.5	68.1	41.7	83.3	29.4	42.2	48.0	67.2	18.6
専業主婦・主夫	82	42.7	76.8	48.8	85.4	-	35.4	52.4	69.5	18.3

区分	10 送迎バスがある	11 教育・保育の方針に共感できる	12 保育以外にさまざまな教育プログラムがある	13 行事が充実している	14 夏休み等も預かってくれる	15 保育料が安い	16 子どもが障がいをもっていても受け入れてくれる	17 その他	18 無回答
全体	18.5	45.0	35.0	38.9	36.2	35.6	9.7	2.7	3.6
ひとり親家庭	5.9	41.2	35.3	29.4	29.4	29.4	17.6	-	5.9
共働き家庭	8.8	41.2	31.9	38.2	43.1	35.3	7.8	2.5	3.9
専業主婦・主夫	43.9	51.2	42.7	40.2	20.7	34.1	11.0	3.7	3.7

※クロス集計のため、有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。

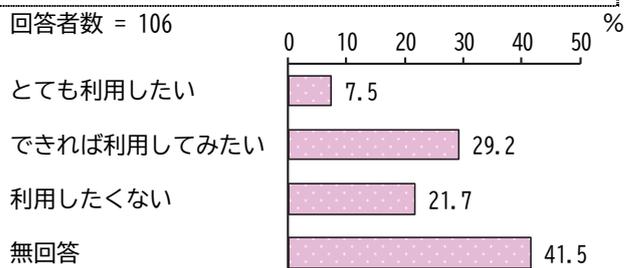
問 22 こども誰でも通園制度を知っていますか。(1つに○)

「知らなかった」の割合が68.4%と高く、次いで「名前も内容も知っている」の割合が18.2%となっています。



問 23 0～2歳の未就園児の親で家庭保育をしているまたは予定している方にお聞きします。こども誰でも通園制度を利用したいですか。(1つに○)

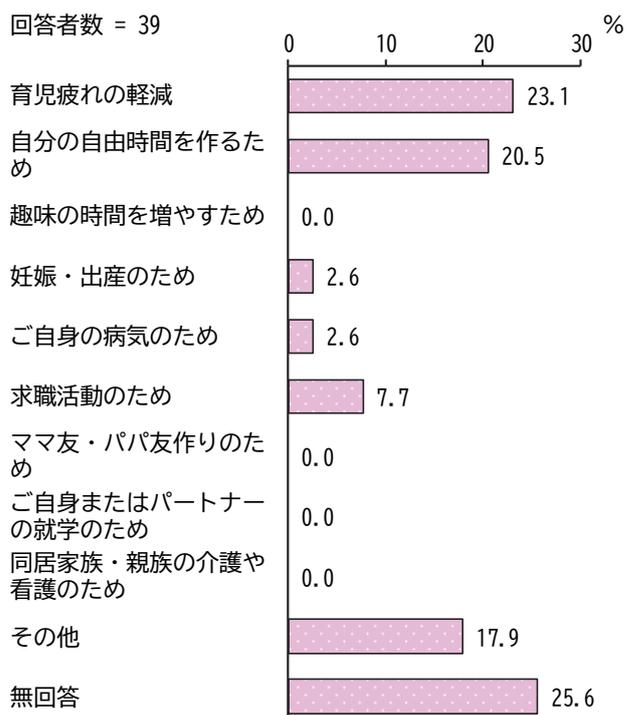
「できれば利用してみたい」の割合が29.2%と高く、次いで「利用したくない」の割合が21.7%となっています。



問 23 で「1. とても利用したい」、「2. できれば利用してみたい」に○をつけた方にかがいます。

問 23-1 利用したい・してみたい理由は何ですか。(1つに○)

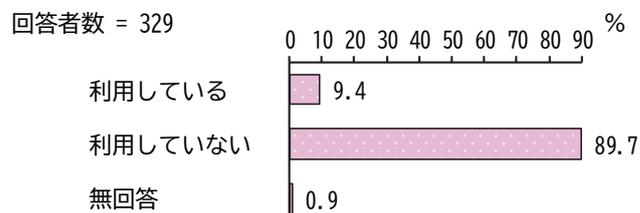
「育児疲れの軽減」の割合が23.1%と高く、次いで「自分の自由時間を作るため」の割合が20.5%となっています。



(7) お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 24 お子さんは現在、市内保育所で実施している『子育てセンター』（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、国の事業名では「地域子育て支援拠点事業」と呼ばれています）を利用されていますか。（1つに○）  
また、おおよその利用回数（頻度）を数字でご記入ください。

「利用している」の割合が9.4%、「利用していない」の割合が89.7%となっています。



【家庭類型別】

全ての区分で「利用していない」の割合が高くなっています。

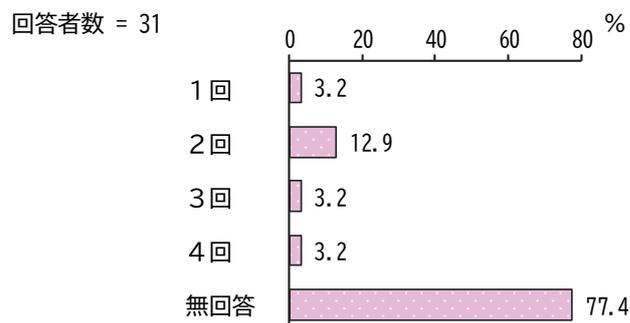
単位：%

区分	回答者数 (件)	利用している	利用していない	無回答
全体	329	9.4	89.7	0.9
ひとり親家庭	17	-	94.1	5.9
共働き家庭	204	4.9	94.6	0.5
専業主婦・主夫	82	22.0	76.8	1.2

※クロス集計のため、有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。

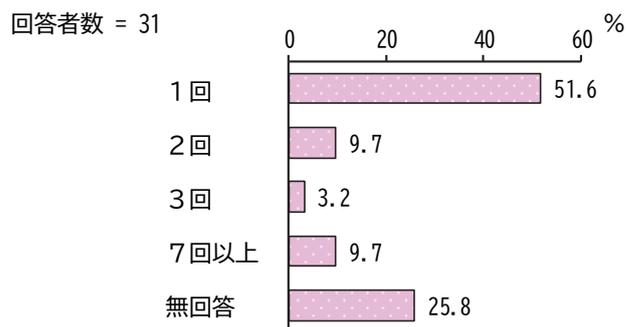
① 1週当たりの利用回数

「2回」の割合が12.9%と高くなっています。



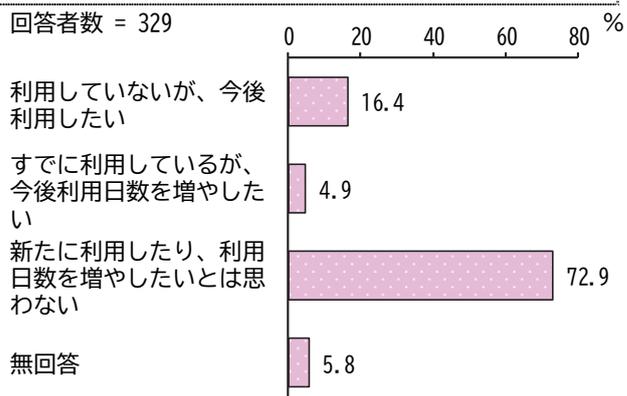
② 1か月当たりの利用回数

「1回」の割合が51.6%と高くなっています。



問25 問24のような「地域子育て支援拠点事業」(『子育てセンター』)について、「今は利用していないができれば今後利用したい」、あるいは「利用日数を増やしたい」と思いますか。あてはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を数字でご記入ください。

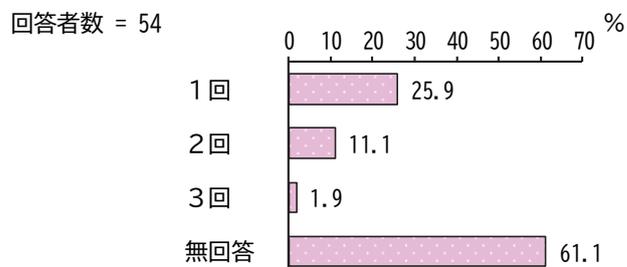
「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が72.9%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が16.4%となっています。



(1) 今後利用したい

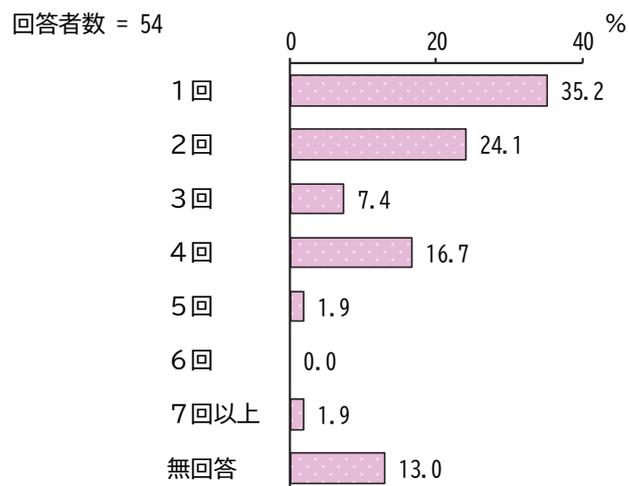
① 1週当たりの利用回数

「1回」の割合が25.9%と高く、次いで「2回」の割合が11.1%となっています。



② 1か月当たりの利用回数

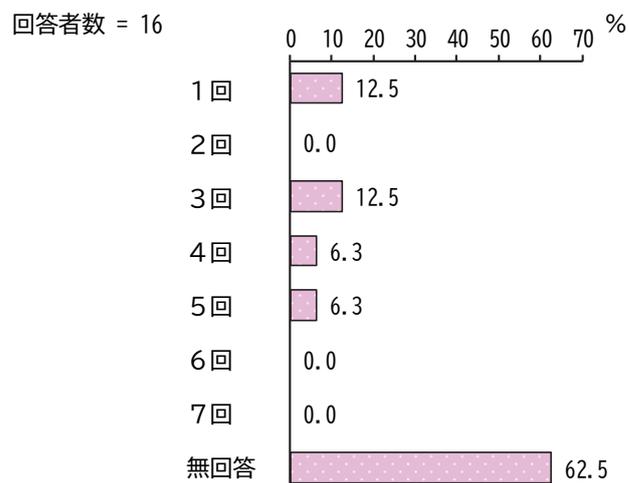
「1回」の割合が35.2%と高く、次いで「2回」の割合が24.1%、「4回」の割合が16.7%となっています。



(2) 今後利用回数を増やしたい

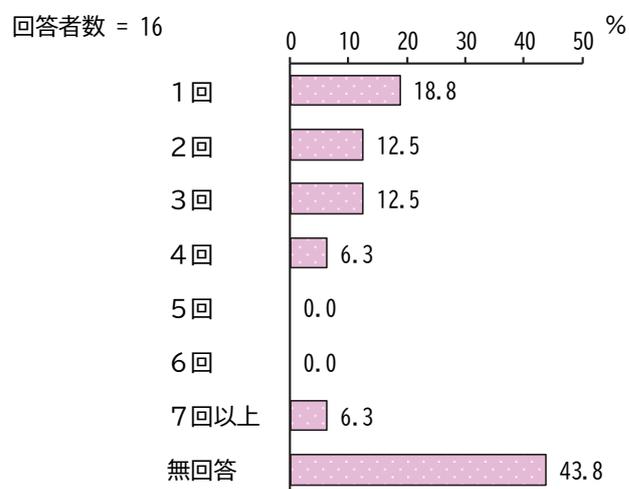
① 1週当たりの利用回数

「1回」、「3回」の割合が12.5%と高くなっています。



② 1か月当たりの利用回数

「1回」の割合が18.8%と高く、次いで「2回」、「3回」の割合が12.5%となっています。

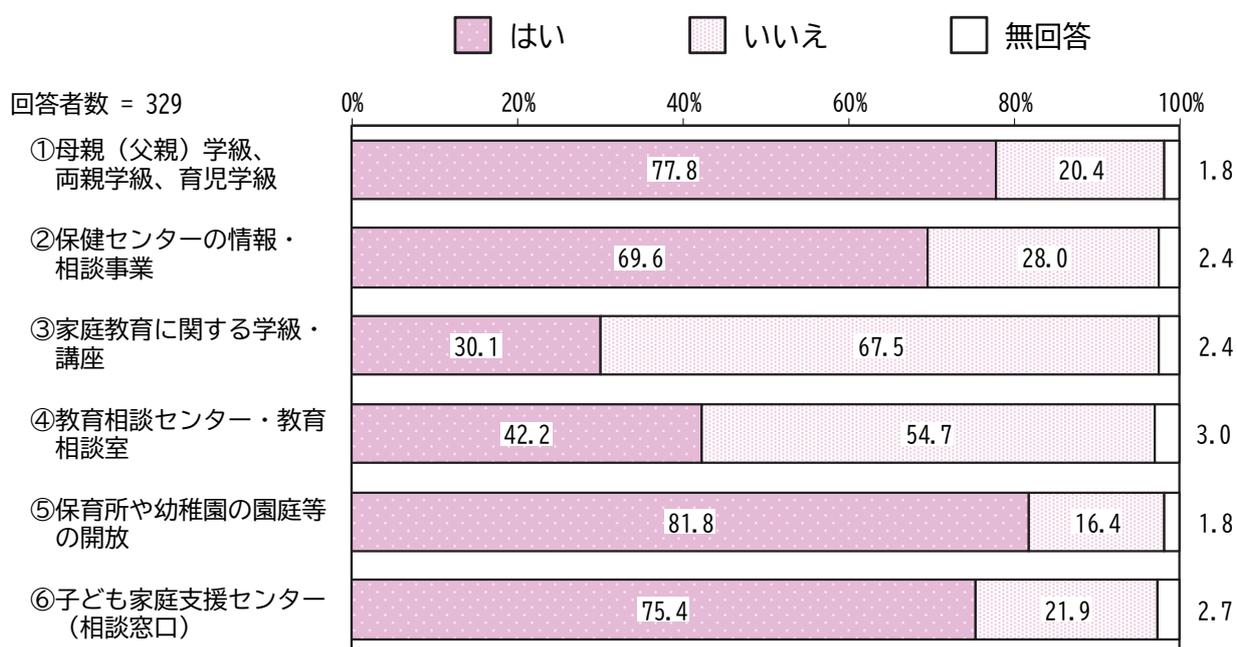


問 26 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。  
 (①～⑥の事業ごとに、A～Cそれぞれ「はい・いいえ」のどちらかに○)

A 知っている

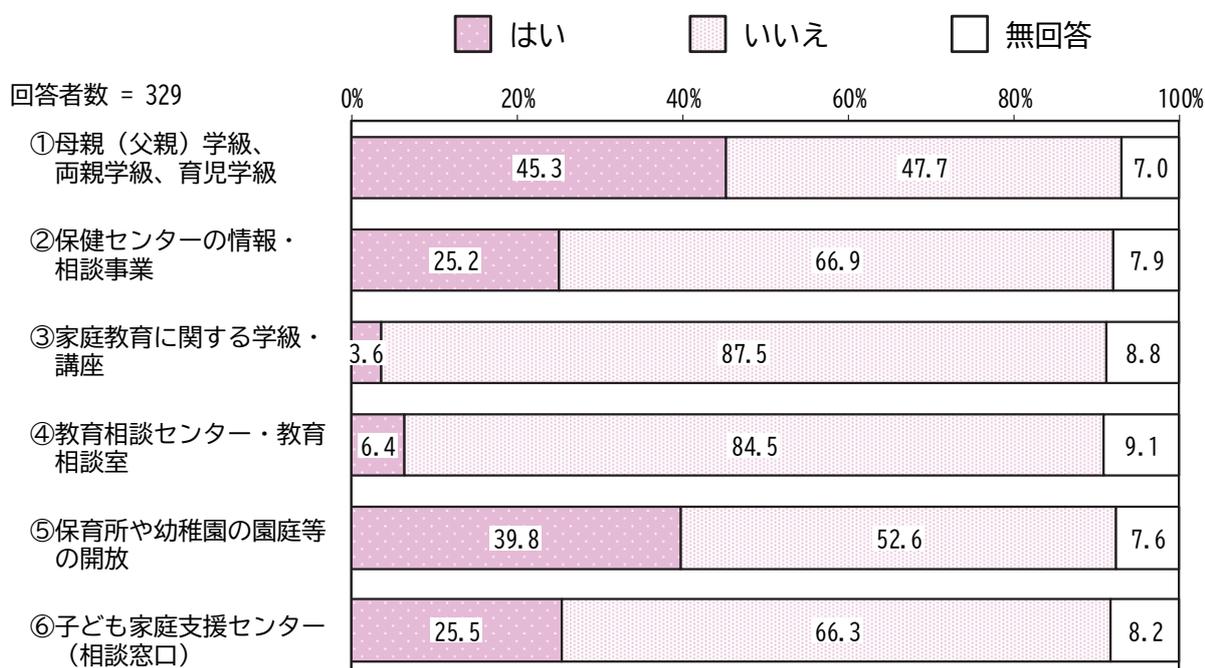
『①母親（父親）学級、両親学級、育児学級』、『②保健センターの情報・相談事業』、『⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放』、『⑥子ども家庭支援センター（相談窓口）』で「はい（知っている）」の割合が高くなっています。

一方、『③家庭教育に関する学級・講座』、『④教育相談センター・教育相談室』で「いいえ（知らない）」の割合が高くなっています。



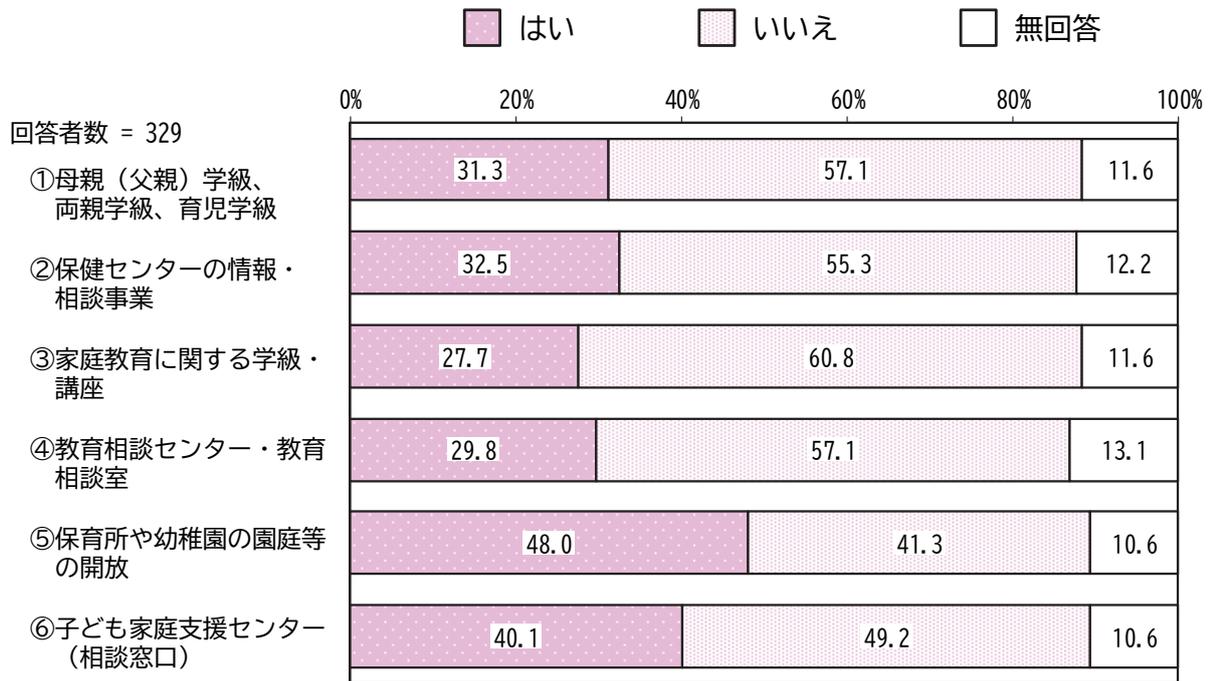
B これまでに利用したことがある

①から⑥までの全ての事業で「いいえ（利用したことがない）」の割合が高くなっています。



C 今後（も）利用したい

『⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放』で「はい（利用したい）」の割合が高くなっています。

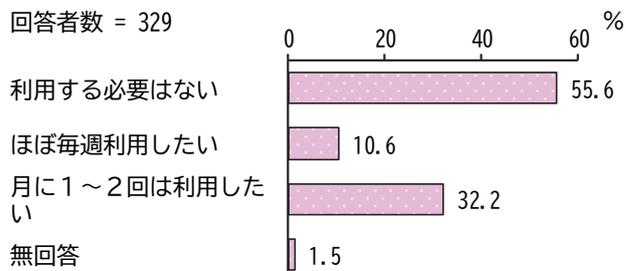


(8) お子さんの土曜、日曜・祝日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 27 お子さんについて、土曜日や日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。1つに○をつけ、希望がある場合は利用したい時間帯を「9時～18時」のように24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が55.6%と高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が32.2%、「ほぼ毎週利用したい」の割合が10.6%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、3～5歳で「月に1～2回は利用したい」の割合が高くなっています。

単位：%

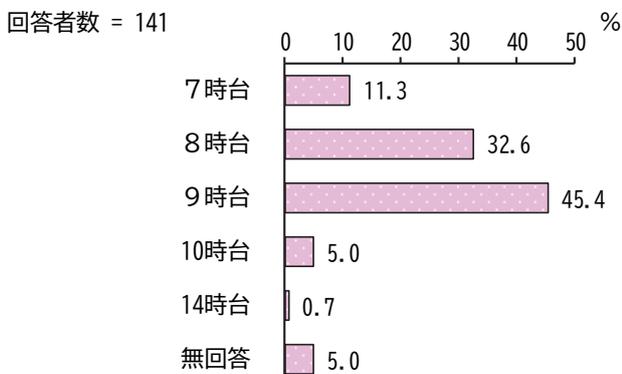
区分	回答者数 (件)	利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回は利用したい	無回答
全体	329	55.6	10.6	32.2	1.5
0～2歳	106	64.2	9.4	24.5	1.9
3～5歳	207	53.6	11.1	33.8	1.4

※クロス集計のため、有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。

<利用したい時間帯>

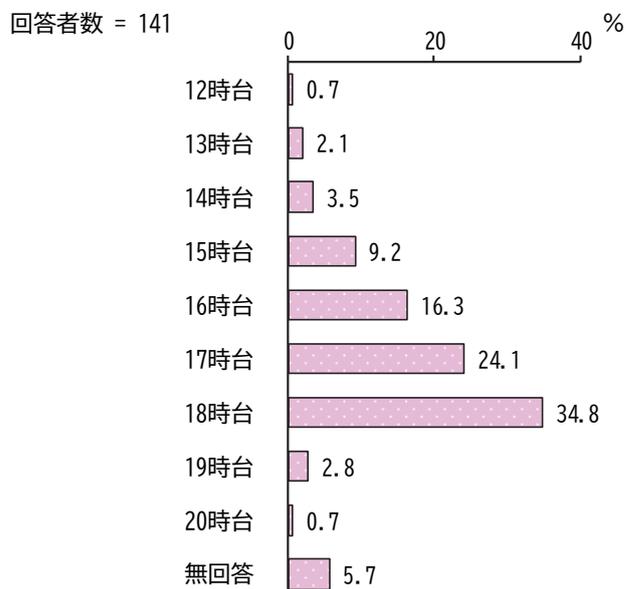
① 開始時間

「9時台」の割合が45.4%と高く、次いで「8時台」の割合が32.6%、「7時台」の割合が11.3%となっています。



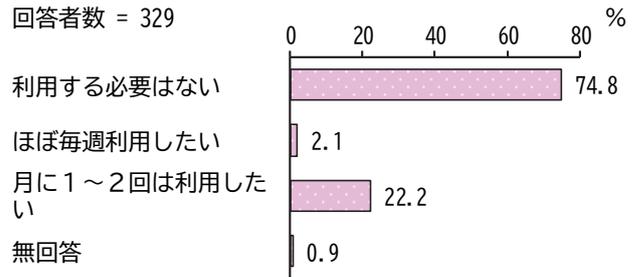
② 終了時間

「18時台」の割合が34.8%と高く、次いで「17時台」の割合が24.1%、「16時台」の割合が16.3%となっています。



(2) 日曜・祝日

「利用する必要はない」の割合が74.8%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が22.2%となっています。



【家庭類型別】

家庭類型別でみると、全ての区分で「利用する必要はない」の割合が高くなっています。

単位：%

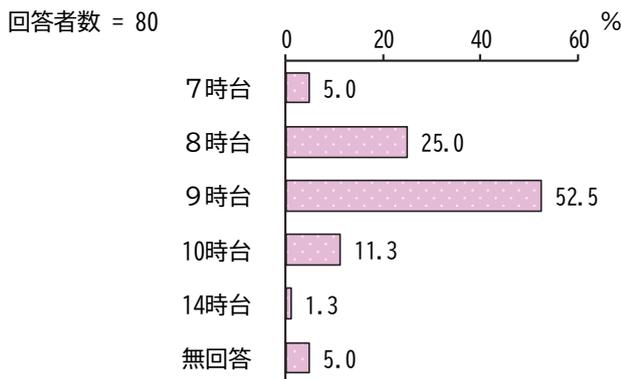
区分	回答者数 (件)	利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回は利用したい	無回答
全体	329	74.8	2.1	22.2	0.9
ひとり親家庭	17	58.8	5.9	35.3	-
共働き家庭	204	75.5	2.0	22.1	0.5
専業主婦・主夫	82	80.5	1.2	15.9	2.4

※クロス集計のため、有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。

<利用したい時間帯>

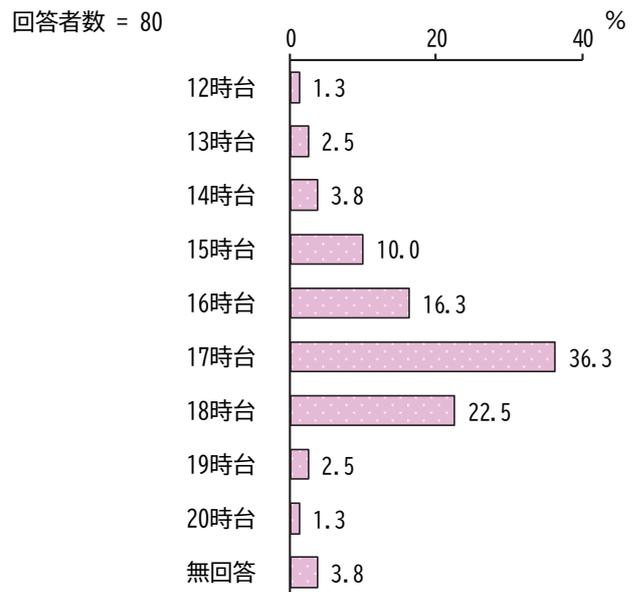
① 開始時間

「9時台」の割合が52.5%と高く、次いで「8時台」の割合が25.0%、「10時台」の割合が11.3%となっています。



② 終了時間

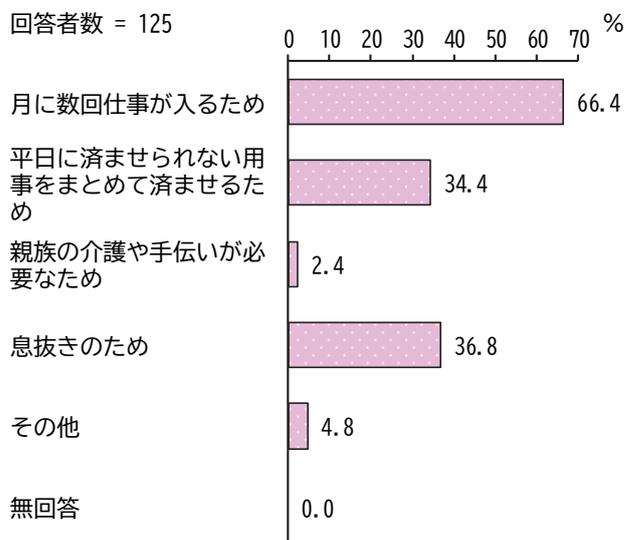
「17時台」の割合が36.3%と高く、次いで「18時台」の割合が22.5%、「16時台」の割合が16.3%となっています。



問27の(1)または(2)で「3.月に1~2回は利用したい」を選択した方にかがいます。

問27-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

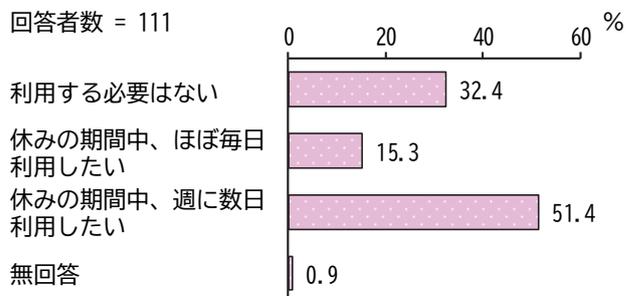
「月に数回仕事が入るため」の割合が66.4%と高く、次いで「息抜きのため」の割合が36.8%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が34.4%となっています。



「幼稚園」を利用されている方にかがいます。

問28 お子さんについて、夏休み・冬休みなど休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。1つに○をつけ、希望がある場合は利用したい時間帯を「9時~18時」のように24時間制でご記入ください。

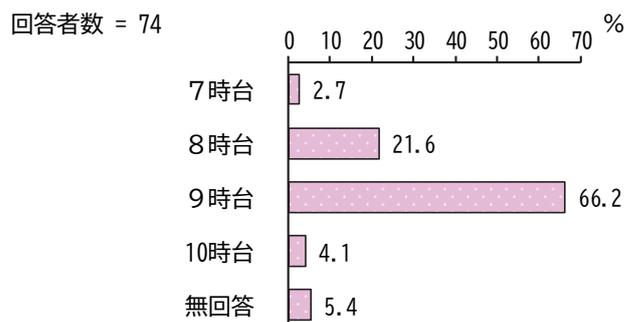
「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が51.4%と高く、次いで「利用する必要はない」の割合が32.4%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が15.3%となっています。



<利用したい時間帯>

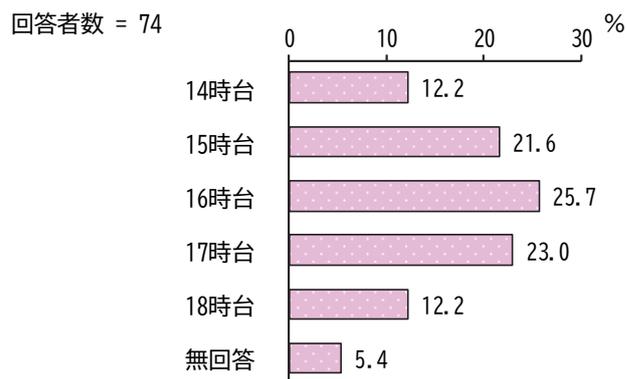
① 開始時間

「9時台」の割合が66.2%と最も高く、次いで「8時台」の割合が21.6%となっています。



② 終了時間

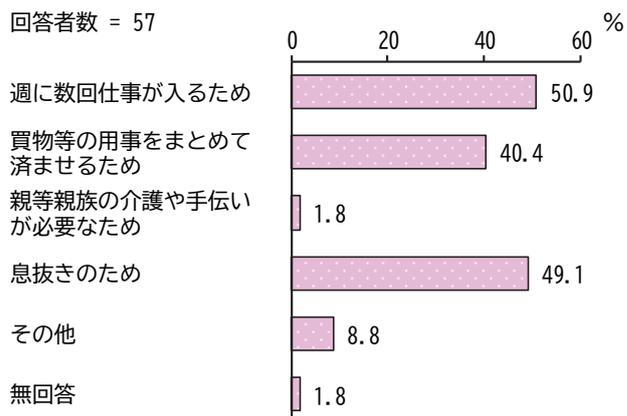
「16 時台」の割合が 25.7%と高く、次いで「17 時台」の割合が 23.0%、「15 時台」の割合が 21.6%となっています。



問 28 で「3. 週に数日利用したい」を選択した方にうかがいます。

問 28-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

「週に数回仕事が入るため」の割合が 50.9%と高く、次いで「息抜きのため」の割合が 49.1%、「買物等の用事をまとめて済ませるため」の割合が 40.4%となっています。



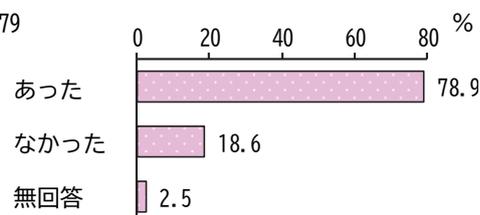
(9) お子さんの病気等の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

問 17 で「1. 利用している」（平日の定期的な教育・保育の事業を利用している）に○をつけた方にかがいます。

問 29 この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業を利用できなかったことはありましたか。（1つに○）

「あった」の割合が 78.9%、「なかった」の割合が 18.6%となっています。

回答者数 = 279



【家庭類型別】

全ての区分で「あった」の割合が高くなっています。

単位：%

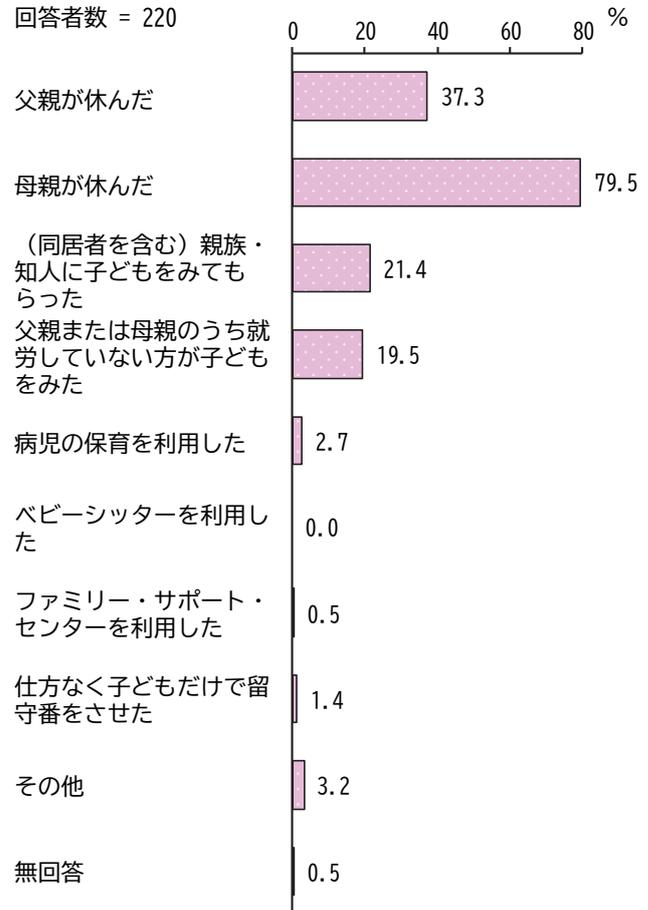
区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
全体	279	78.9	18.6	2.5
ひとり親家庭	15	66.7	33.3	-
共働き家庭	186	83.9	14.5	1.6
専業主婦・主夫	57	66.7	29.8	3.5

※クロス集計のため、有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。

問 29 で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問 29-1 お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数を数字でご記入ください。

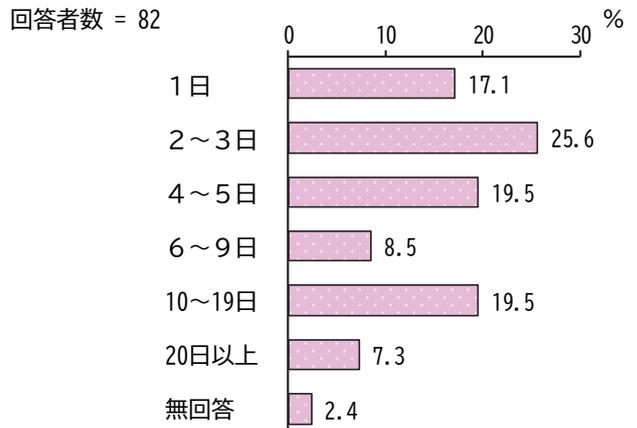
「母親が休んだ」の割合が 79.5%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が 37.3%、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が 21.4%となっています。



<1年当たりの日数>

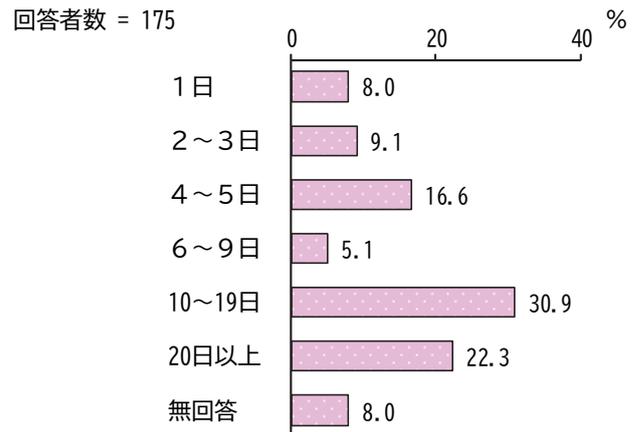
ア. 父親が休んだ

「2～3日」の割合が 25.6%と高く、次いで「4～5日」、「10～19日」の割合がそれぞれ 19.5%となっています。

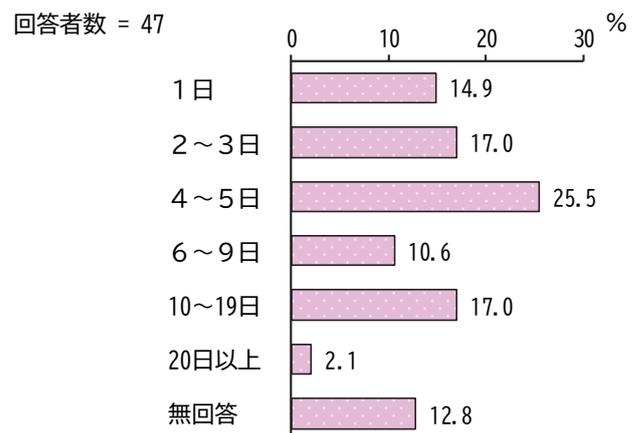


### イ. 母親が休んだ

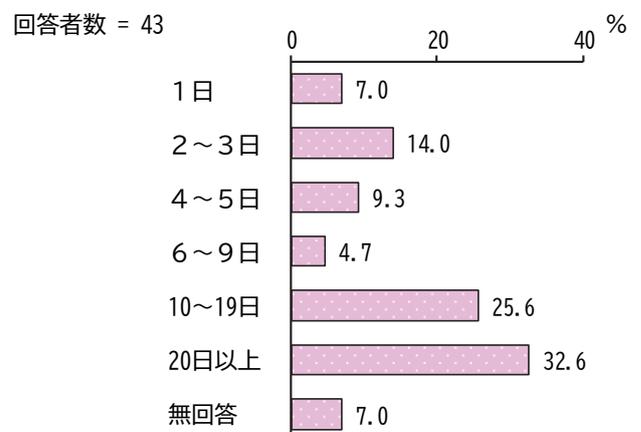
「10～19日」の割合が30.9%と高く、次いで「20日以上」の割合が22.3%、「4～5日」の割合が16.6%となっています。



ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった「4～5日」の割合が25.5%と高く、次いで「2～3日」、「10～19日」の割合が17.0%となっています。

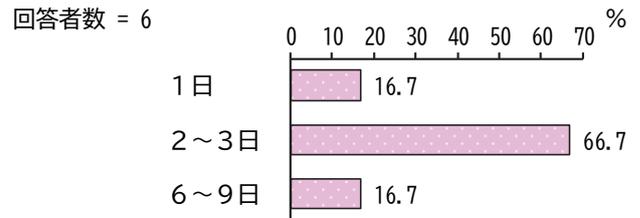


エ. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた「20日以上」の割合が32.6%と高く、次いで「10～19日」の割合が25.6%、「2～3日」の割合が14.0%となっています。



オ. 病児の保育を利用した

「2～3日」が4件（66.7%）となっています。「1日」、「6～9日」がそれぞれ1件（16.7%）となっています。

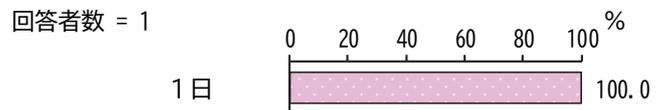


カ. ベビーシッターを利用した

有効回答がありませんでした。

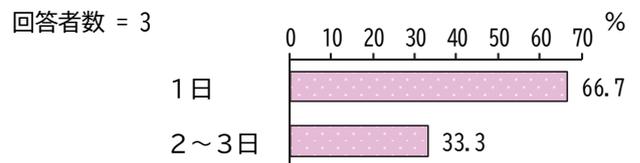
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した

「1日」が1件（100%）となっています。



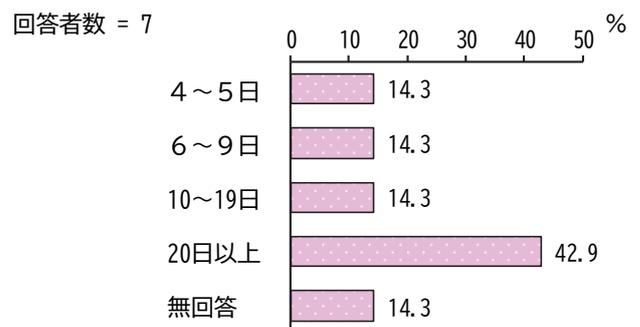
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

「1日」が2件（66.7%）となっています。「2～3日」が1件（33.3%）となっています。



ケ. その他

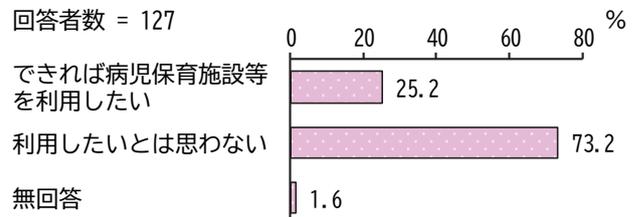
「20日以上」が3件（42.9%）となっています。「4～5日」、「6～9日」、「10～19日」がそれぞれ1件（14.3%）となっています。



問 29-1 で「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」のいずれかのみに○をつけた方（「ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」～「ケ. その他」には○をつけなかった方）にうかがいます。

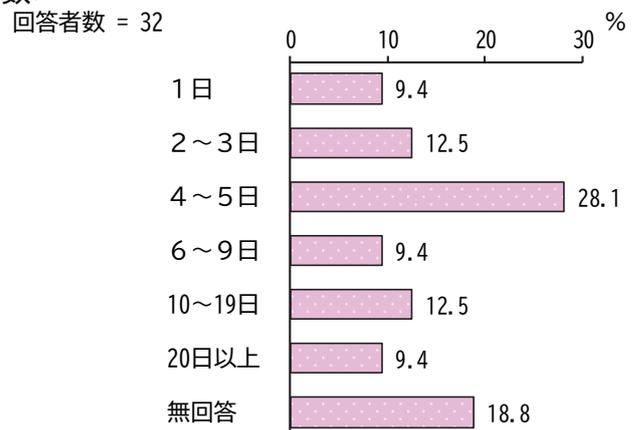
問 29-2 その際、「できれば病児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数について数字でご記入ください。

「できれば病児保育施設等を利用したい」の割合が25.2%、「利用したいとは思わない」の割合が73.2%となっています。



<できれば病児保育施設等を利用したい 年間の日数>

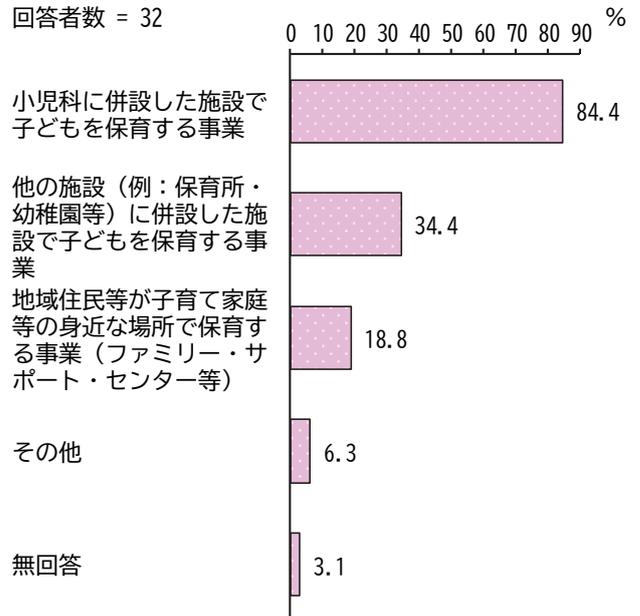
「4～5日」の割合が28.1%と高く、次いで「2～3日」、「10～19日」の割合がそれぞれ12.5%となっています。



問 29-2 で「1. できれば病児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 29-3 上記の目的で子どもを預ける場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（あてはまるものすべてに○）

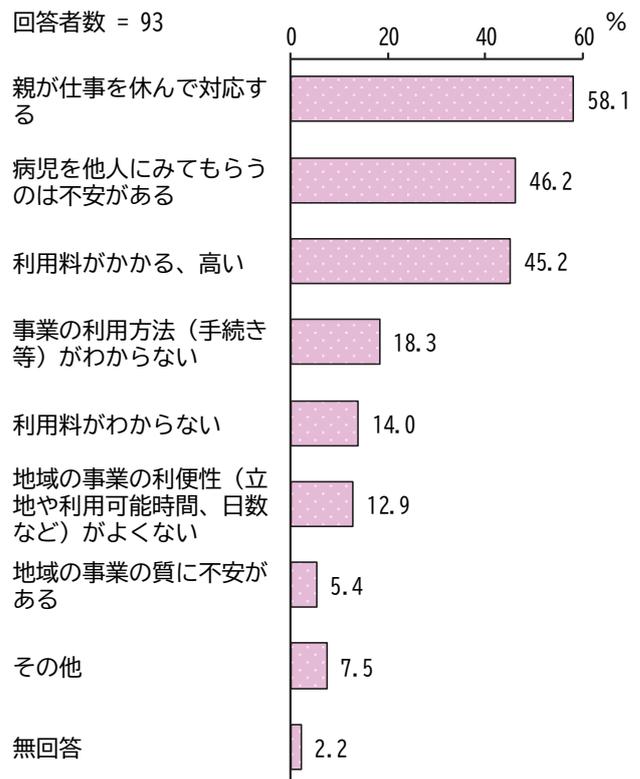
「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 84.4%と最も高く、次いで「他の施設（例：保育所・幼稚園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 34.4%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（ファミリー・サポート・センター等）」の割合が 18.8%となっています。



問 29-2 で（病児保育施設等を）「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問 29-4 そう思われる理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

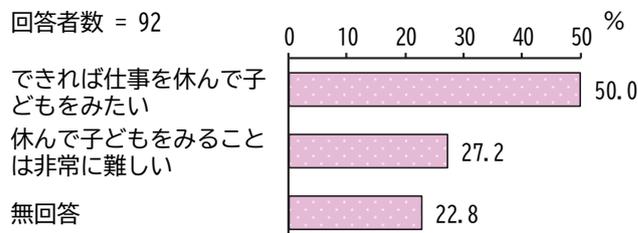
「親が仕事を休んで対応する」の割合が 58.1%と高く、次いで「病児を他人にみてもらうのは不安がある」の割合が 46.2%、「利用料がかかる、高い」の割合が 45.2%となっています。



問 29-1 で「ウ。(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」～「ケ. その他」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

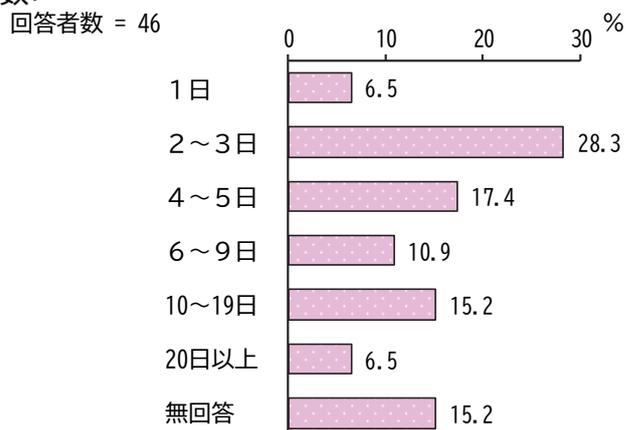
問 29-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、「ウ」～「ケ」の日数のうち仕事を休んで子どもをみたかった日数について数字でご記入ください。

「できれば仕事を休んで子どもをみたい」の割合が 50.0%、「休んで子どもをみることは非常に難しい」の割合が 27.2%となっています。



<できれば仕事を休んで子どもをみたい 年間の日数>

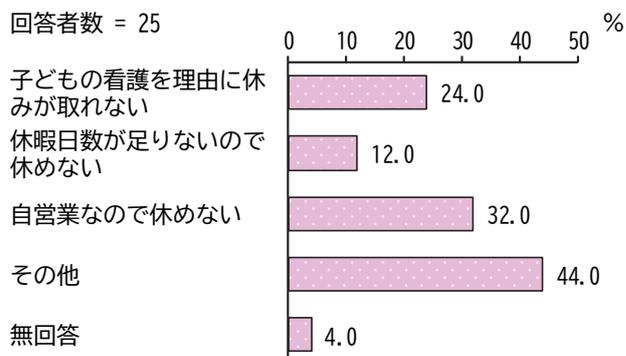
「2～3日」の割合が 28.3%と高く、次いで「4～5日」の割合が 17.4%、「10～19日」の割合が 15.2%となっています。



問 29-5 で「2. 休んで子どもをみることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問 29-6 そう思われる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

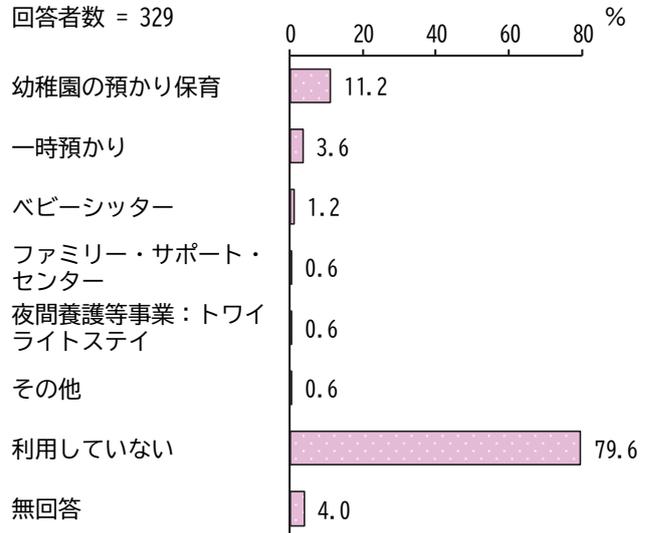
「自営業なので休めない」の割合が 32.0%と高く、次いで「子どもの看護を理由に休みが取れない」の割合が 24.0%、「休暇日数が足りないので休めない」の割合が 12.0%となっています。



(10) お子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について  
 すべての方にうかがいます。

問 30 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用・親の通院・不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を数字でご記入ください。

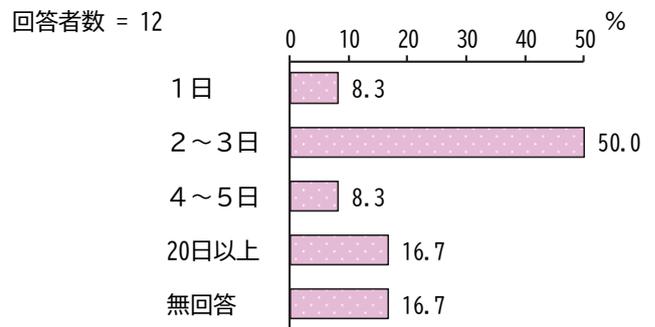
「利用していない」の割合が 79.6%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」の割合が 11.2%となっています。



<年間の日数>

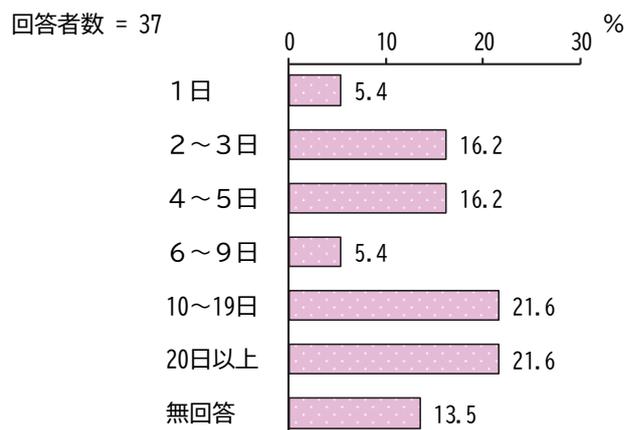
1. 一時預かり

「2～3日」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が 16.7%となっています。



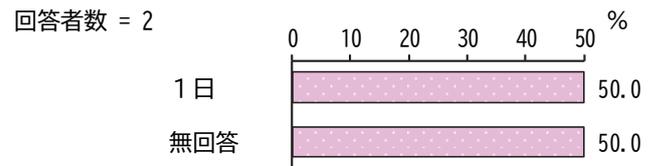
2. 幼稚園の預かり保育

「10～19日」、「20日以上」の割合がそれぞれ 21.6%と高く、次いで「2～3日」、「4～5日」の割合がそれぞれ 16.2%となっています。



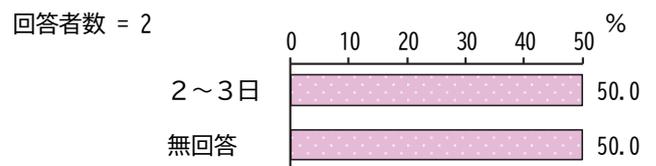
### 3. ファミリー・サポート・センター

「1日」が1件(50.0%)となっています。



### 4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ

「2～3日」が1件 (50.0%) となっています。



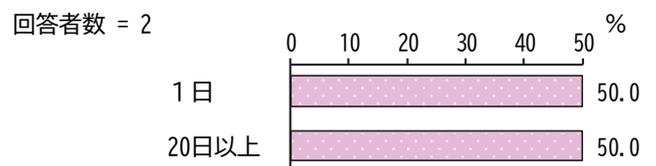
### 5. ベビーシッター

「1日」、「10～19日」、「20日以上」がそれぞれ1件 (25.0%) となっています。



### 6. その他

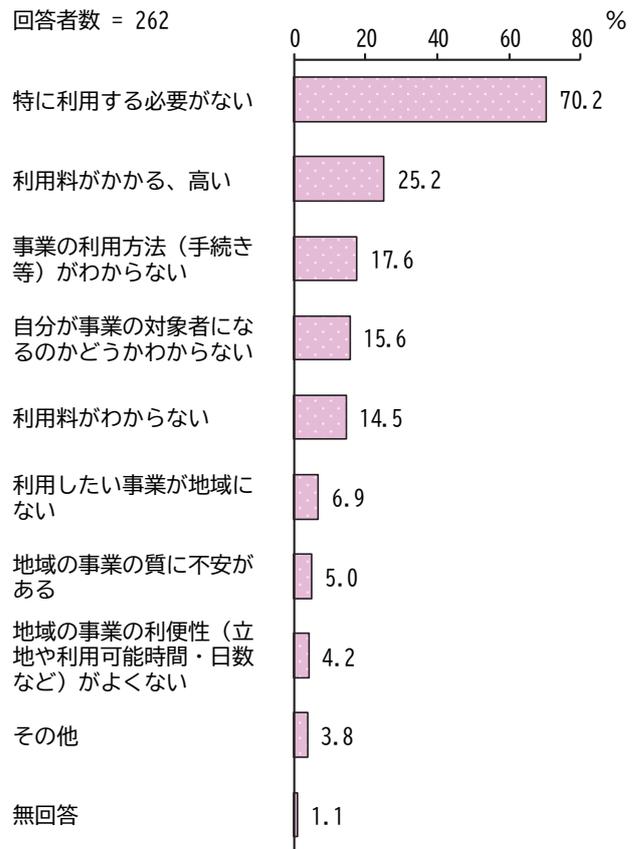
「1日」、「20日以上」がそれぞれ1件 (50.0%) となっています。



問 30 で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-1 現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

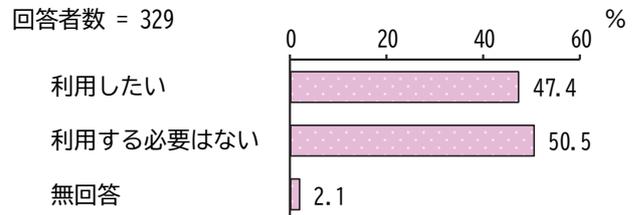
「特に利用する必要がない」の割合が 70.2%と最も高く、次いで「利用料がかかる、高い」の割合が 25.2%、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」の割合が 17.6%となっています。



すべての方にかかっています。

問 31 お子さんについて、私用・親の通院・不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号1つに○をつけ、「利用したい」場合は必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください）。

「利用したい」の割合が47.4%、「利用する必要はない」の割合が50.5%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、3～5歳で「利用したい」の割合が高くなっています。

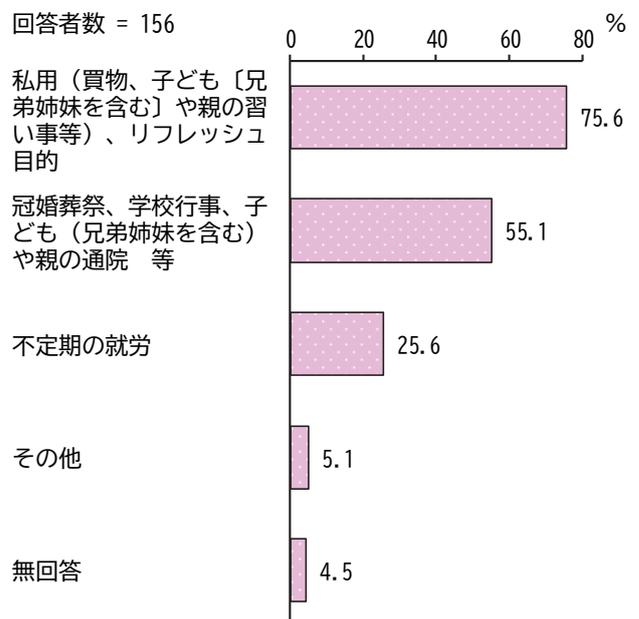
単位：%

区分	回答者数 (件)	利用したい	利用する必要はない	無回答
全体	329	47.4	50.5	2.1
0～2歳	106	34.9	64.2	0.9
3～5歳	207	53.6	44.0	2.4

※クロス集計のため、有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。

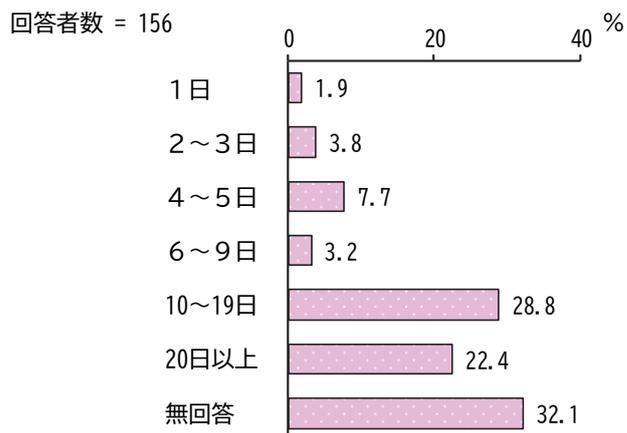
<利用目的>

「私用（買物、子ども〔兄弟姉妹を含む〕や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が75.6%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」の割合が55.1%、「不定期の就労」の割合が25.6%となっています。



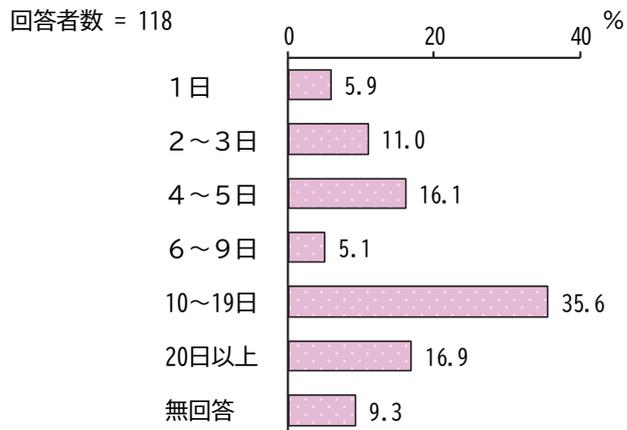
<利用したい 年間の日数>

「10～19日」の割合が28.8%と高く、次いで「20日以上」の割合が22.4%となっています。



<年間の日数>

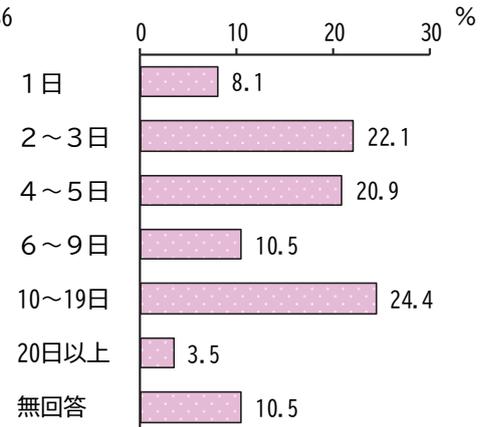
ア. 私用（買物、子ども〔兄弟姉妹を含む〕や親の習い事等）、リフレッシュ目的「10～19日」の割合が35.6%と高く、次いで「20日以上」の割合が16.9%、「4～5日」の割合が16.1%となっています。



イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）

や親の通院等「10～19日」の割合が24.4%と高く、次いで「2～3日」の割合が22.1%、「4～5日」の割合が20.9%となっています。

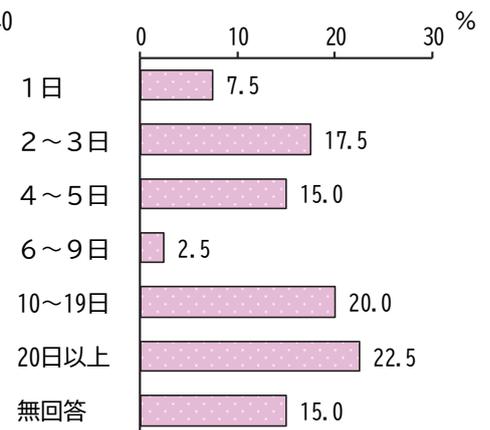
回答者数 = 86



ウ. 不定期の就労

「20日以上」の割合が22.5%と高く、次いで「10～19日」の割合が20.0%、「2～3日」の割合が17.5%となっています。

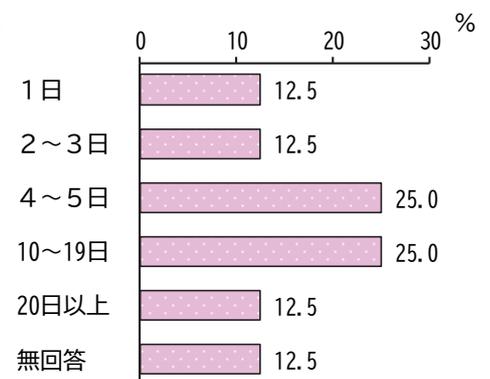
回答者数 = 40



エ. その他

「4～5日」、「10～19日」がそれぞれ2件（25.0%）となっています。「1日」、「2～3日」がそれぞれ1件（12.5%）となっています。

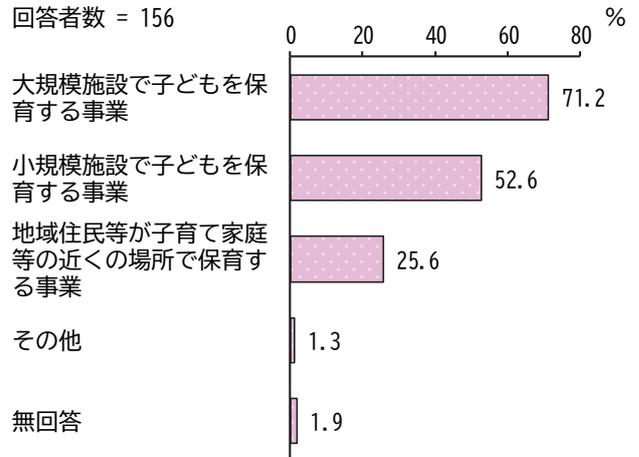
回答者数 = 8



問31で「1. 利用したい」に○をつけた方にかがいます。

問31-1 問31の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（あてはまるものすべてに○）

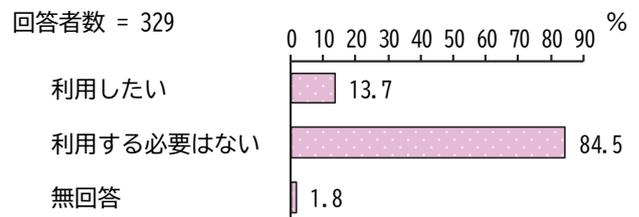
「大規模施設で子どもを保育する事業」の割合が71.2%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」の割合が52.6%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」の割合が25.6%となっています。



すべての方にかがいます。

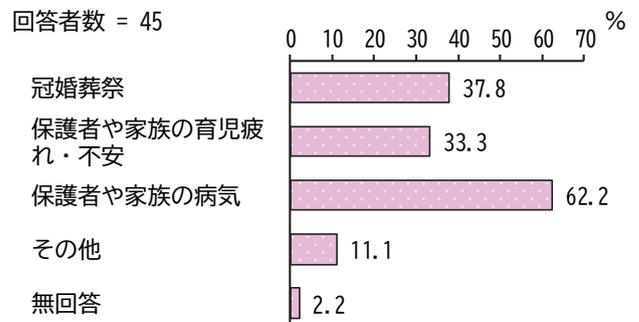
問32 お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭など）により、泊りがけで家族以外に預ける必要がある場合、短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数を（ ）内に数字でご記入ください。

「利用したい」の割合が13.7%、「利用する必要はない」の割合が84.5%となっています。



<利用したい理由>

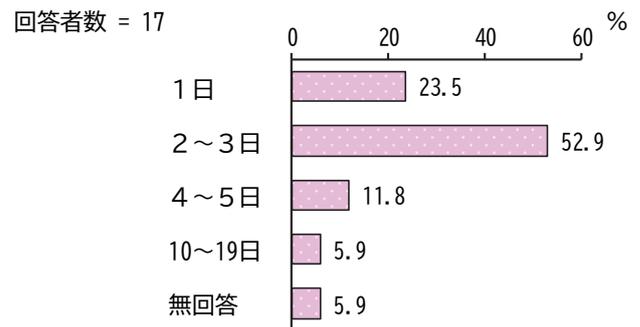
「保護者や家族の病気」の割合が62.2%と最も高く、次いで「冠婚葬祭」の割合が37.8%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が33.3%となっています。



## <年間の泊数>

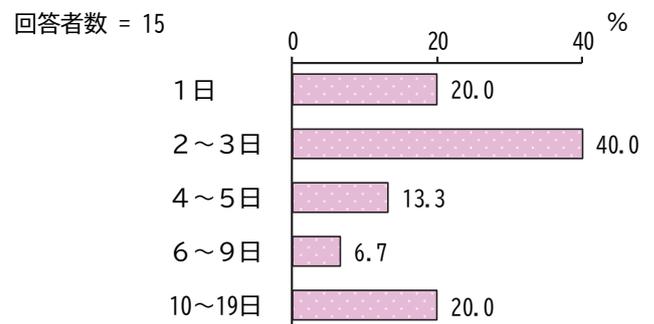
### ア. 冠婚葬祭

「2～3日」の割合が52.9%と高く、次いで「1日」の割合が23.5%、「4～5日」の割合が11.8%となっています。



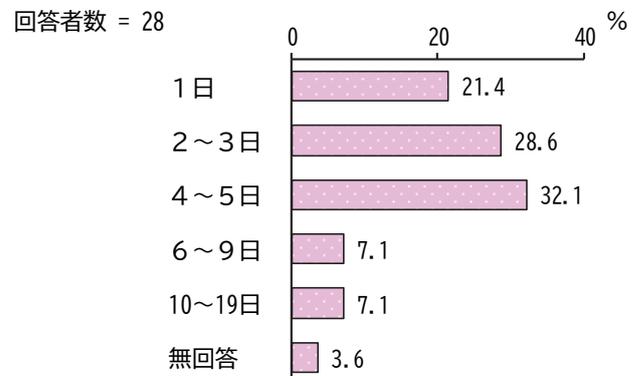
### イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安

「2～3日」の割合が40.0%と高く、次いで「1日」、「10～19日」の割合がそれぞれ20.0%となっています。



### ウ. 保護者や家族の病気

「4～5日」の割合が32.1%と高く、次いで「2～3日」の割合が28.6%、「1日」の割合が21.4%となっています。



### エ. その他

「2～3日」が2件 (40.0%) となっています。「1日」が1件 (20.0%) となっています。



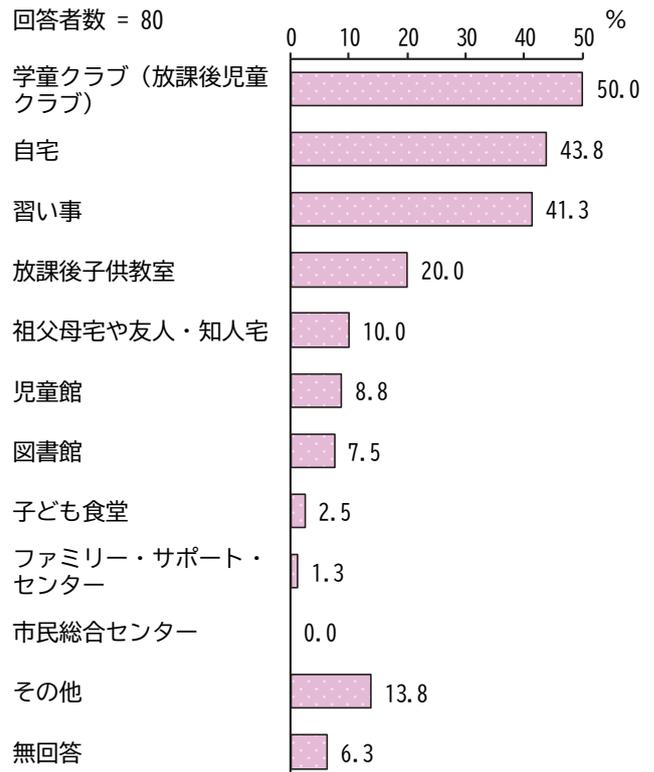
(11) 小学校就学後の放課後の過ごし方について（お子さんが5歳以上の方のみ）

お子さんが5歳以上であるすべての方にうかがいます。

問 33 将来、お子さんが小学校に入ってから、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数をご記入ください。また「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間を数字でご記入ください。  
 時間は必ず「18時」のように24時間制でご記入ください。曜日等により時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお考えください。

(1) 小学校低学年（1～3年生）

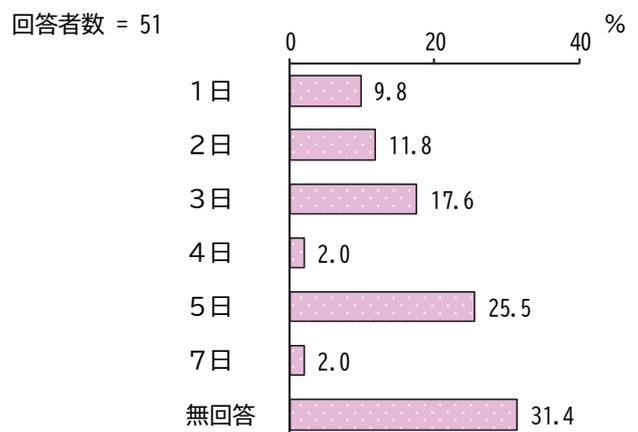
「学童クラブ（放課後児童クラブ）」の割合が50.0%と高く、次いで「自宅」の割合が43.8%、「習い事」の割合が41.3%となっています。



<放課後を過ごさせたい日数>

1. 自宅

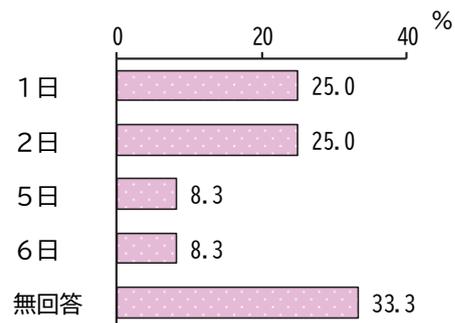
「5日」の割合が25.5%と高く、次いで「3日」の割合が17.6%、「2日」の割合が11.8%となっています。



## 2. 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」、「2日」の割合がそれぞれ25.0%と高くなっています。

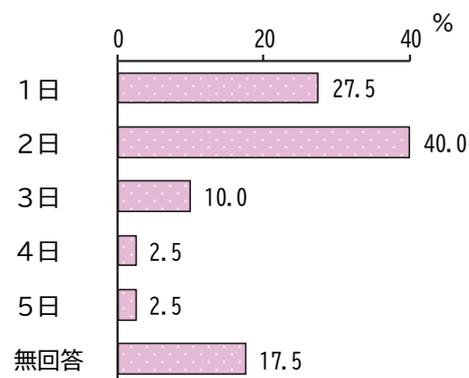
回答者数 = 12



## 3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

「2日」の割合が40.0%と高く、次いで「1日」の割合が27.5%、「3日」の割合が10.0%となっています。

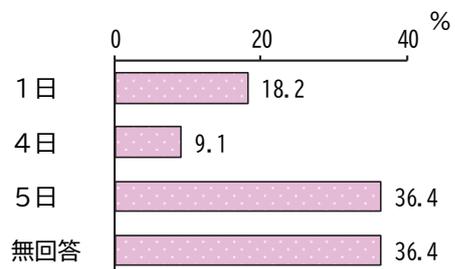
回答者数 = 40



## 4. 児童館

「5日」の割合が36.4%と高く、次いで「1日」の割合が18.2%となっています。

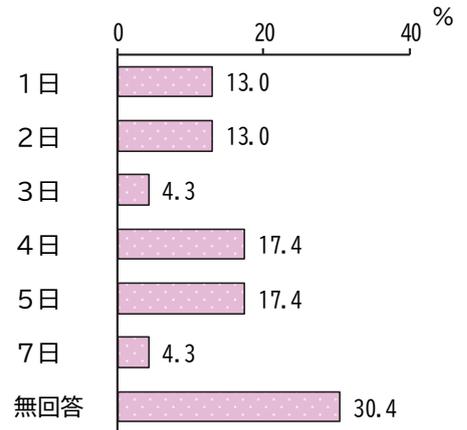
回答者数 = 11



5. 放課後子ども教室

「4日」、「5日」の割合が17.4%と高く、次いで「1日」、「2日」の割合がそれぞれ13.0%となっています。

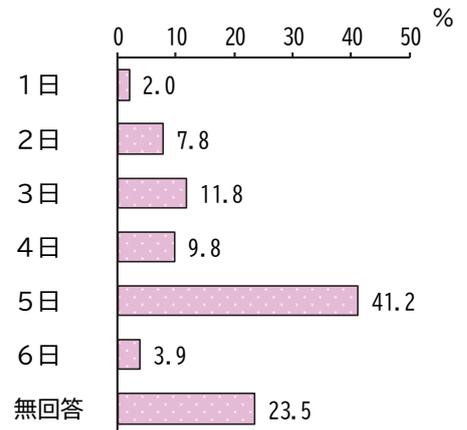
回答者数 = 23



6. 学童クラブ（放課後児童クラブ）

「5日」の割合が41.2%と高く、次いで「3日」の割合が11.8%となっています。

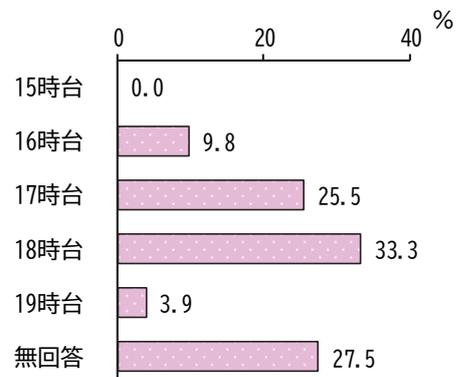
回答者数 = 51



◆下校時から何時まで学童クラブで過ごさせたいか

「18時台」の割合が33.3%と高く、次いで「17時台」の割合が25.5%となっています。

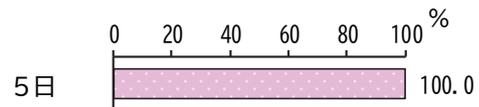
回答者数 = 51



7. ファミリー・サポート・センター

「5日」が1件(100%)となっています。

回答者数 = 1



8. 市民総合センター

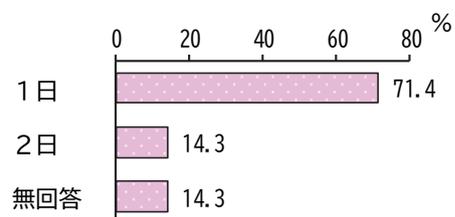
有効回答がありませんでした。

9. 図書館

「1日」が5件(71.4%)となっています。

「2日」が1件(14.3%)となっています。

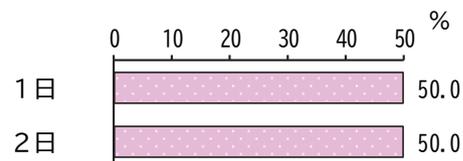
回答者数 = 7



10. 子ども食堂

「1日」、「2日」が1件(50.0%)となっています。

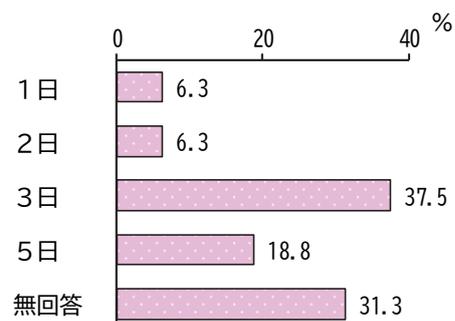
回答者数 = 2



11. その他(公民館、公園など)

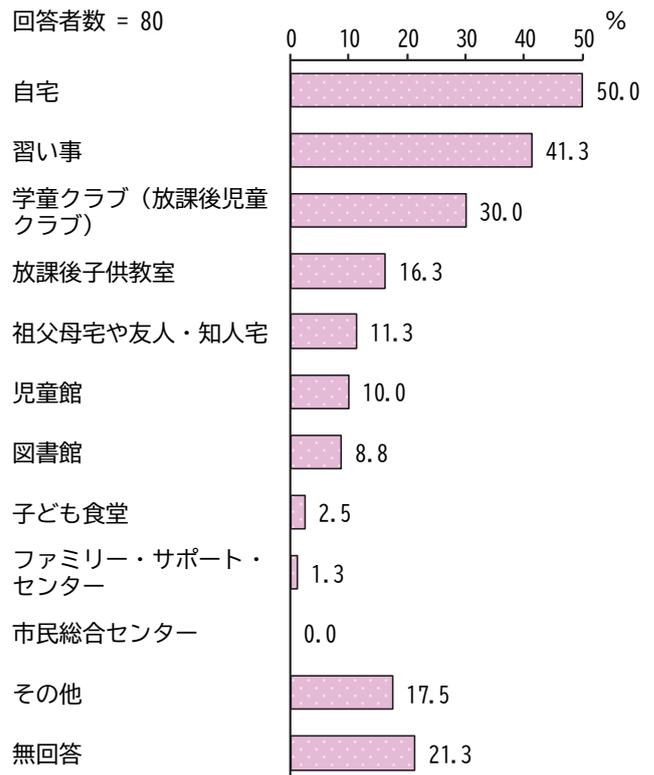
「3日」の割合が37.5%と高く、次いで「5日」の割合が18.8%となっています。

回答者数 = 16



(2) 小学校高学年（4～6年生）

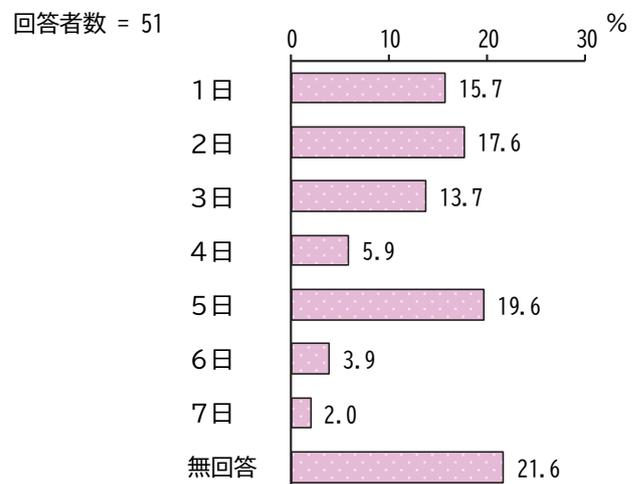
「自宅」の割合が 50.0%と高く、次いで「習い事」の割合が 41.3%、「学童クラブ（放課後児童クラブ）」の割合が 30.0%となっています。



<放課後を過ごさせたい日数>

1. 自宅

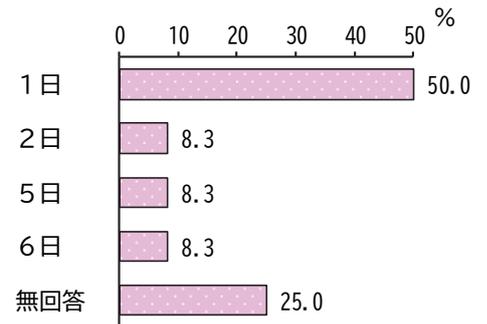
「5日」の割合が 19.6%と高く、次いで「2日」の割合が 17.6%、「1日」の割合が 15.7%となっています。



## 2. 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が50.0%と高くなっています。

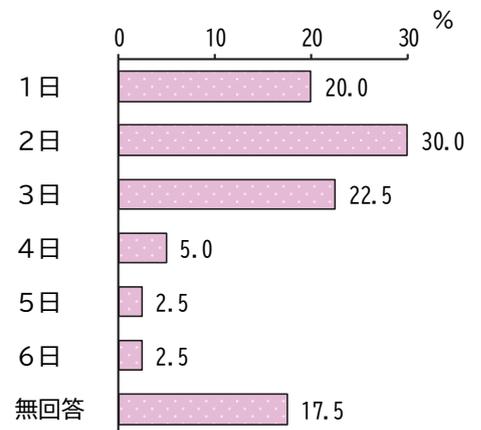
回答者数 = 12



## 3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

「2日」の割合が30.0%と高く、次いで「3日」の割合が22.5%、「1日」の割合が20.0%となっています。

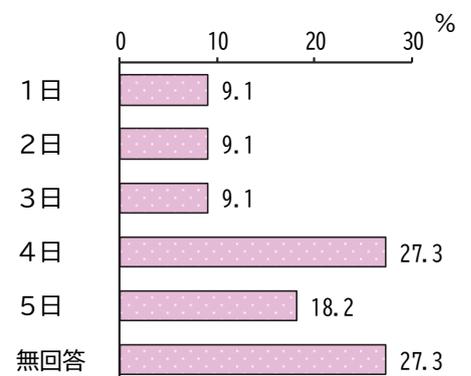
回答者数 = 40



## 4. 児童館

「4日」の割合が27.3%と高く、次いで「5日」の割合が18.2%となっています。

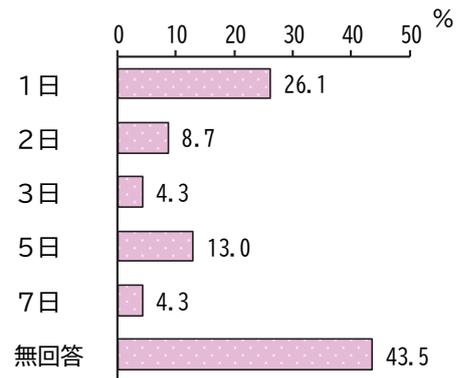
回答者数 = 11



5. 放課後子ども教室

「1日」の割合が 26.1%と高く、次いで「5日」の割合が 13.0%となっています。

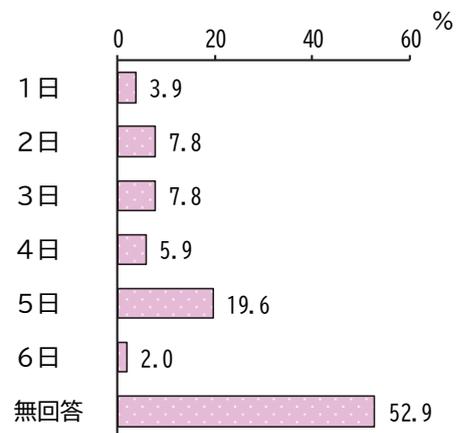
回答者数 = 23



6. 学童クラブ（放課後児童クラブ）

「5日」の割合が 19.6%と高くなっています。

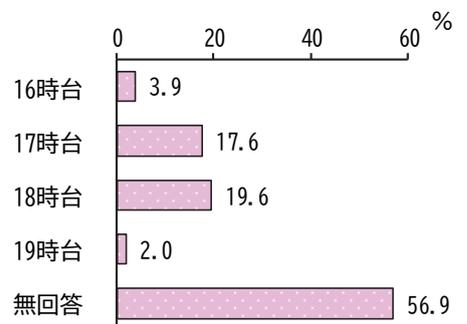
回答者数 = 51



◆下校時から何時まで学童クラブで過ごさせたいか

「18時台」の割合が 19.6%と高く、次いで「17時台」の割合が 17.6%となっています。

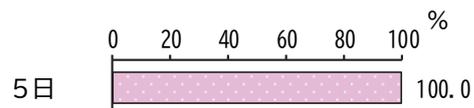
回答者数 = 51



7. ファミリー・サポート・センター

「5日」が1件(100%)となっています。

回答者数 = 1



8. 市民総合センター

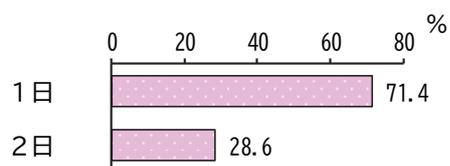
有効回答がありませんでした。

9. 図書館

「1日」が5件(71.4%)となっています。

「2日」が2件(28.6%)となっています。

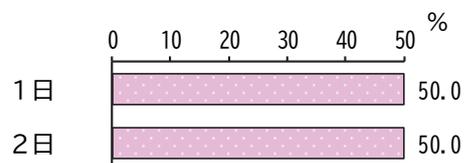
回答者数 = 7



10. 子ども食堂

「1日」、「2日」がそれぞれ1件(50.0%)  
となっています。

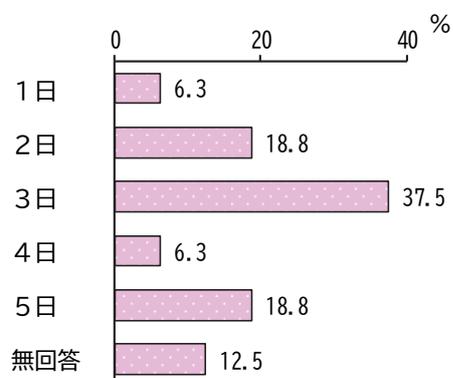
回答者数 = 2



11. その他(公民館、公園など)

「3日」の割合が37.5%と高く、次いで  
「2日」、「5日」の割合が18.8%となっ  
ています。

回答者数 = 16



問 33 で「6. 学童クラブ（放課後児童クラブ）」に○をつけた方にうかがいます。

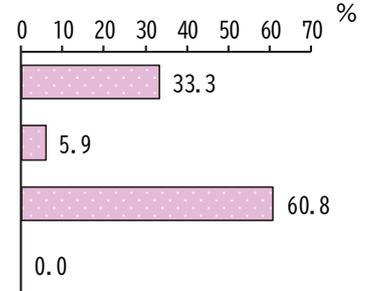
問 33-1 土曜日や日曜日・祝日に学童クラブの利用希望はありますか。(1)、(2) それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。  
また、利用したい時間帯を「9時～18時」のように24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が 60.8% と高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が 33.3% となっています。

回答者数 = 51

低学年（1～3年生）の間は利用したい  
高学年（4～6年生）になっても利用したい  
利用する必要はない  
無回答

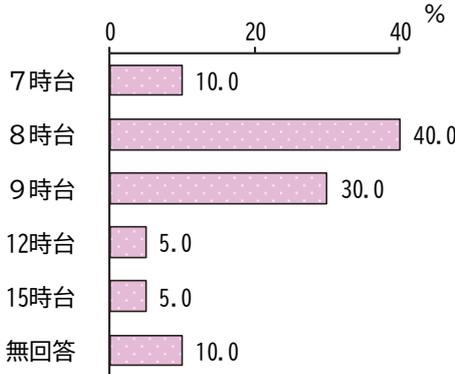


<利用したい時間帯>

① 開始時間

「8時台」の割合が 40.0% と高く、次いで「9時台」の割合が 30.0%、「7時台」の割合が 10.0% となっています。

回答者数 = 20



② 終了時間

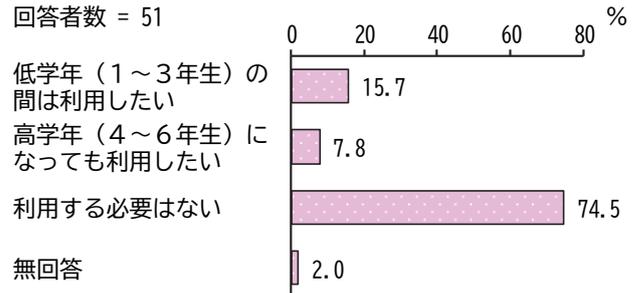
「18時台」の割合が 40.0% と高く、次いで「17時台」の割合が 30.0%、「15時台」、「19時台」の割合が 10.0% となっています。

回答者数 = 20



## (2) 日曜・祝日

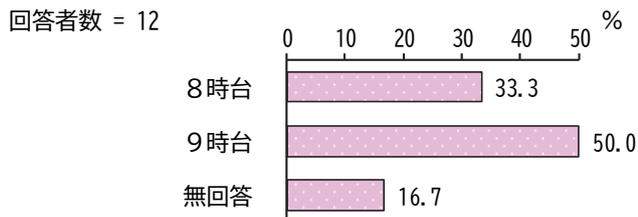
「利用する必要はない」の割合が 74.5%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が 15.7%となっています。



### <利用したい時間帯>

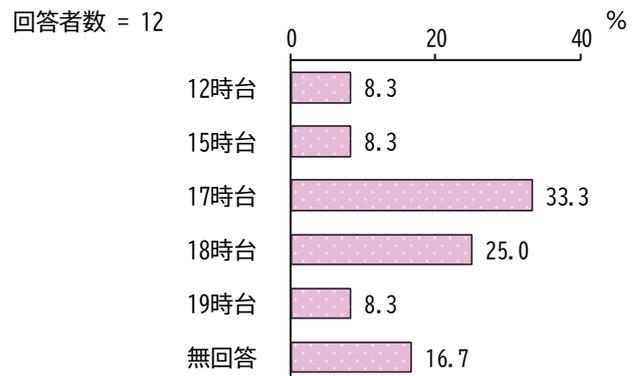
#### ① 開始時間

「9時台」の割合が 50.0%と高く、次いで「8時台」の割合が 33.3%となっています。



#### ② 終了時間

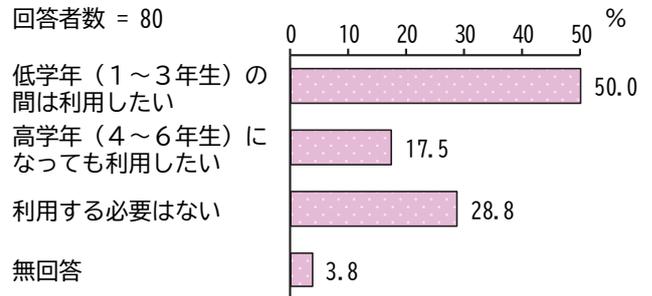
「17時台」の割合が 33.3%と高く、次いで「18時台」の割合が 25.0%となっています。



お子さんが5歳以上であるすべての方にうかがいます。

問 34 お子さんの夏休み・冬休みなどの休暇期間中の学童クラブの利用希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を「9時～18時」のように24時間制でご記入ください。

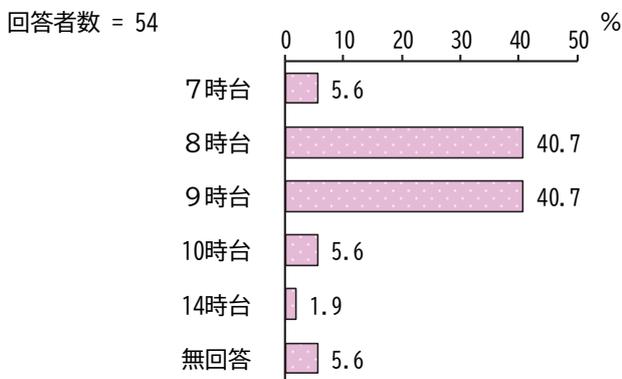
「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が50.0%と高く、次いで「利用する必要はない」の割合が28.8%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が17.5%となっています。



<利用したい時間帯>

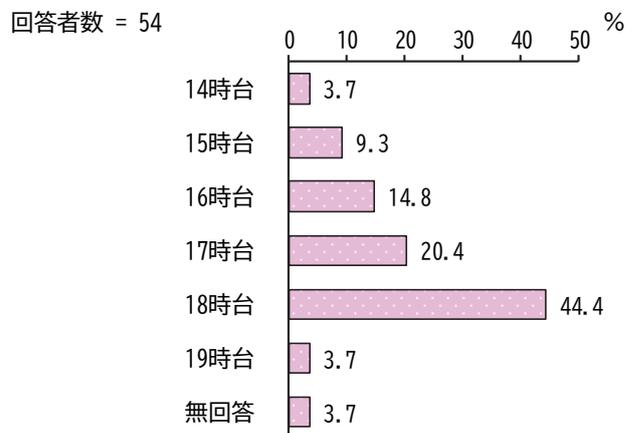
① 開始時間

「8時台」、「9時台」の割合がそれぞれ40.7%と高くなっています。



② 終了時間

「18時台」の割合が44.4%と高く、次いで「17時台」の割合が20.4%、「16時台」の割合が14.8%となっています。



## (12) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

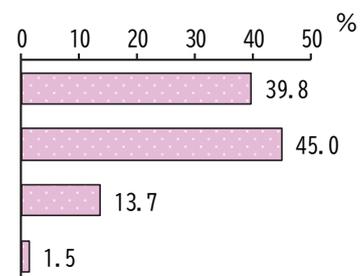
問 35 お子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。  
お母さん、お父さんそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方は、その理由を下の表から選んで番号を記入してください。

### (1) お母さん (1つに○)

「取得した (取得中である)」の割合が45.0%と高く、次いで「働いていなかった」の割合が39.8%、「取得していない」の割合が13.7%となっています。

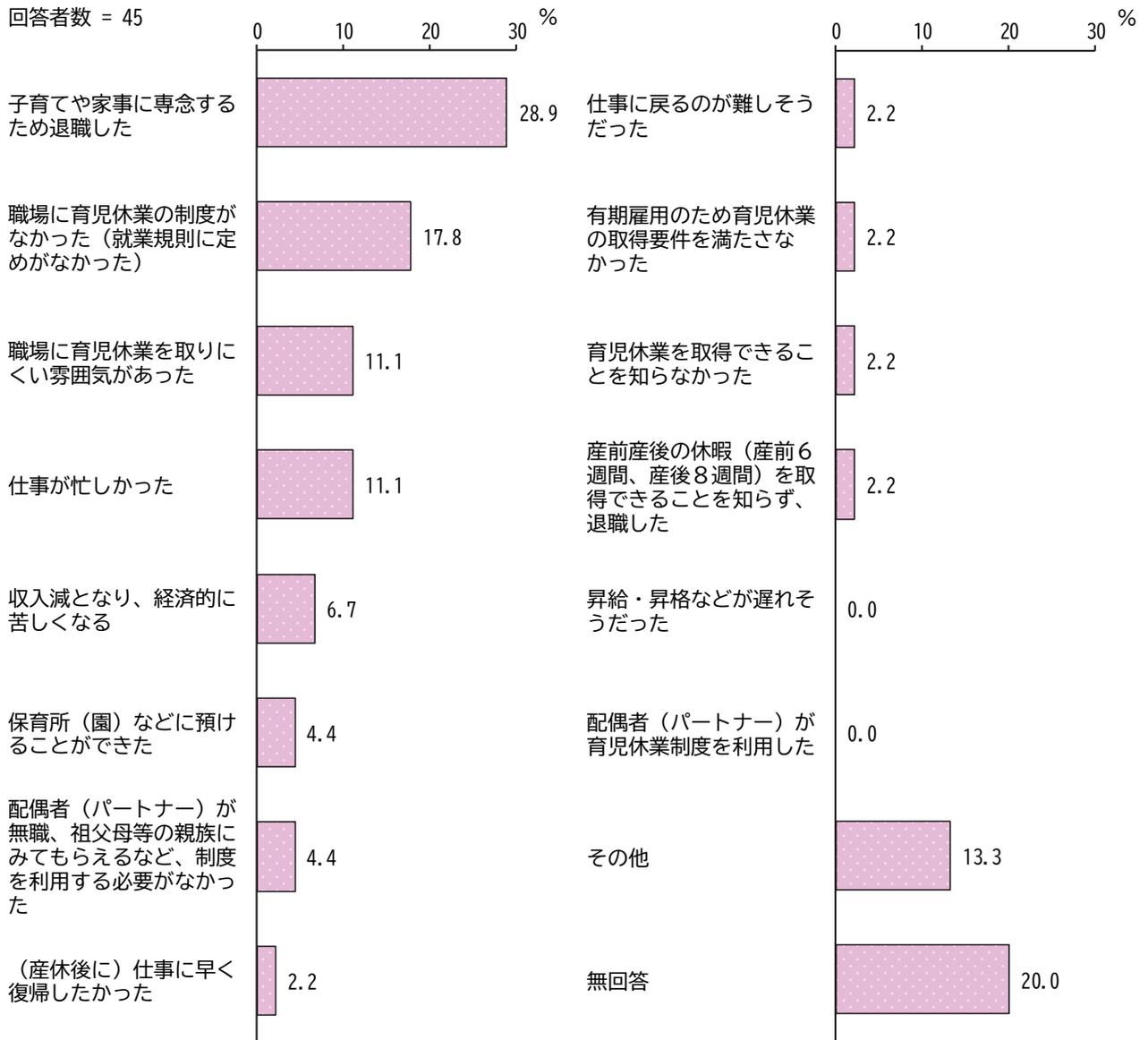
回答者数 = 329

働いていなかった  
取得した (取得中である)  
取得していない  
無回答



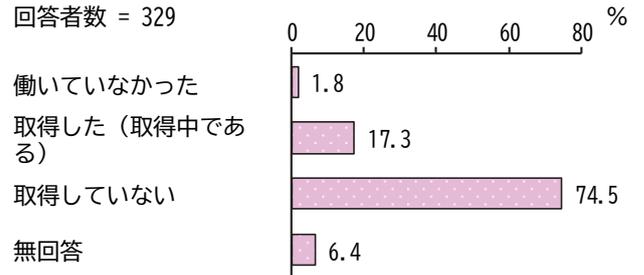
<取得していない理由>

「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が28.9%と高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が17.8%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「仕事が忙しかった」の割合が11.1%となっています。



(2) お父さん (1つに○)

「取得していない」の割合が 74.5%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」の割合が 17.3%となっています。



【子どもの年齢別】

全ての区分で「取得していない」の割合が高くなっています。

単位：%

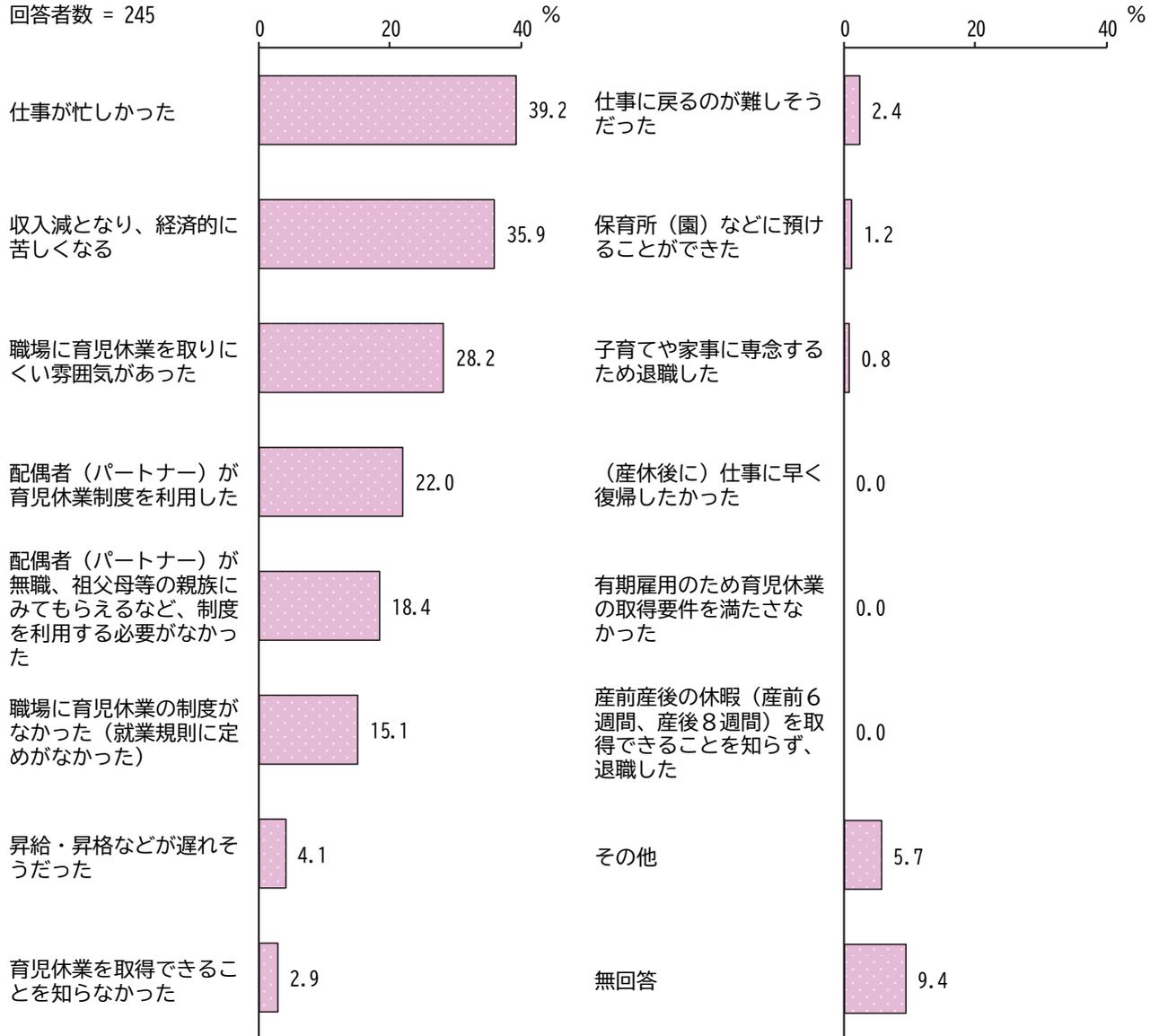
区分	回答者数(件)	働いていなかった	取得した(取得中である)	取得していない	無回答
全体	329	1.8	17.3	74.5	6.4
0～2歳	106	0.9	24.5	68.9	5.7
3～5歳	207	2.4	14.0	76.8	6.8

※クロス集計のため、有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。

<取得していない理由>

「仕事が忙しかった」の割合が 39.2%と高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が 35.9%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が 28.2%となっています。

回答者数 = 245



問 35-1 子どもが原則1歳（保育所に入所できないなど一定の要件を満たす場合は1歳6か月又は2歳）になるまで育児休業給付が支給されるしくみ、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険・厚生年金保険の保険料が免除になるしくみがありますが、そのことをご存じでしたか。（1つに○）

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が48.6%と高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が26.1%、「育児休業給付のみ知っていた」の割合が18.8%となっています。

回答者数 = 329

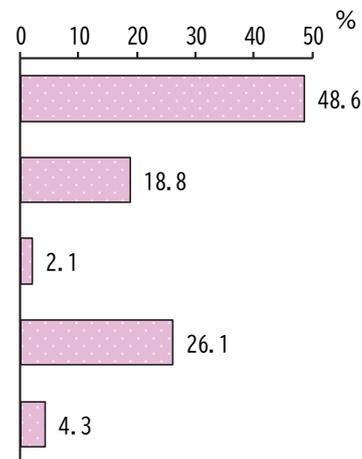
育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた

育児休業給付のみ知っていた

保険料免除のみ知っていた

育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

無回答



問 35 で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。

問 35-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（1つに○）

(1) お母さん（1つに○）

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が75.0%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が17.6%となっています。

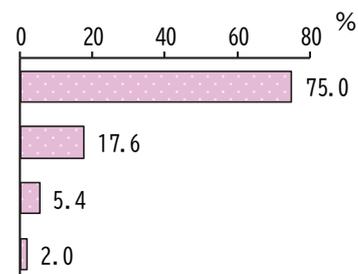
回答者数 = 148

育児休業取得後、職場に復帰した

現在も育児休業中である

育児休業中に離職した

無回答



(2) お父さん（1つに○）

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が89.5%と最も高くなっています。

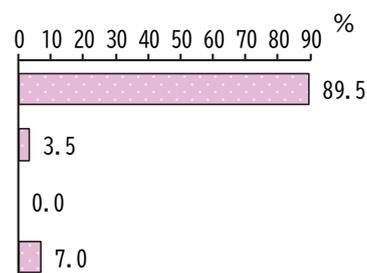
回答者数 = 57

育児休業取得後、職場に復帰した

現在も育児休業中である

育児休業中に離職した

無回答

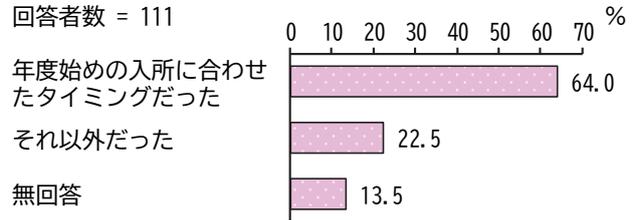


問 35-2 で母または父が「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にかがいます。

問 35-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度始めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか、あるいはそれ以外でしたか。（1つに○）

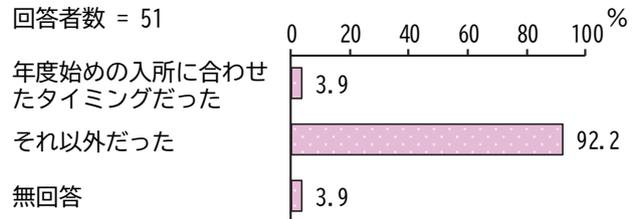
(1) お母さん（1つに○）

「年度始めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が64.0%、「それ以外だった」の割合が22.5%となっています。



(2) お父さん（1つに○）

「年度始めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が3.9%、「それ以外だった」の割合が92.2%となっています。

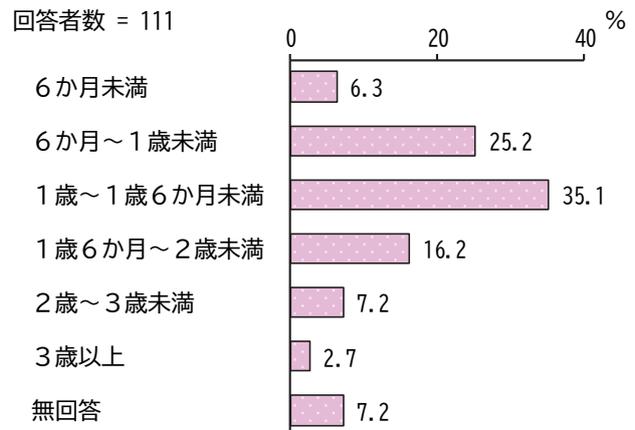


問 35-4 実際には、お子さんが何歳何か月のときに育児休業から職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。数字でご記入ください。

(1) お母さん

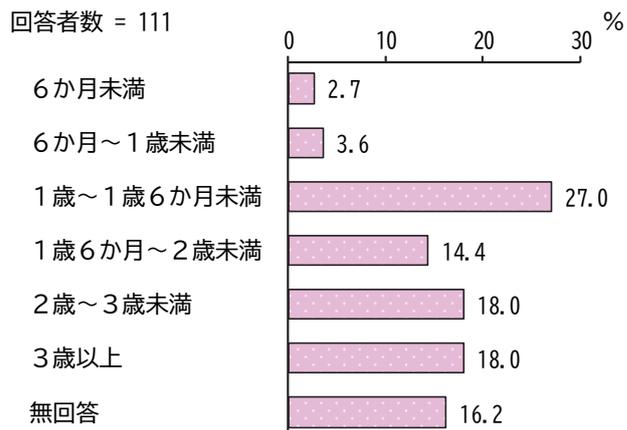
① 実際の取得期間

「1歳～1歳6か月未満」の割合が35.1%と高く、次いで「6か月～1歳未満」の割合が25.2%、「1歳6か月～2歳未満」の割合が16.2%となっています。



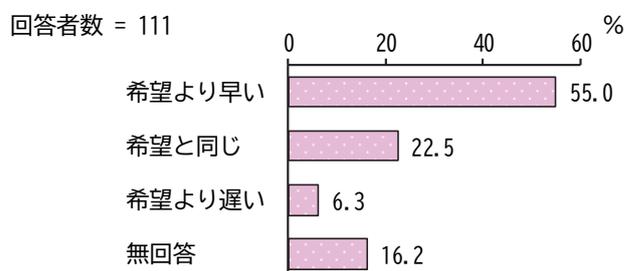
## ② 希望

「1歳～1歳6か月未満」の割合が27.0%と高く、次いで「2歳～3歳未満」、「3歳以上」の割合が18.0%となっています。



## ③ 復帰時期

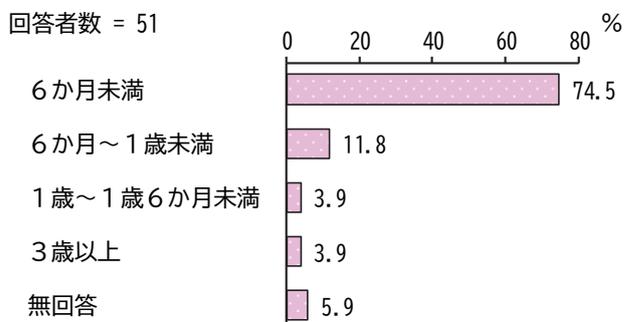
「希望より早い」の割合が55.0%と高く、次いで「希望と同じ」の割合が22.5%となっています。



## (2) お父さん

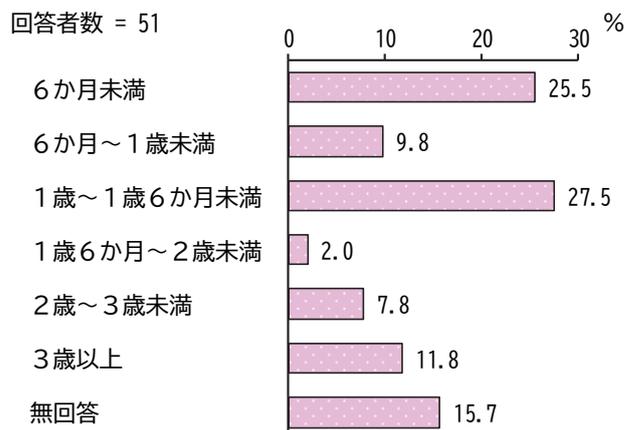
### ① 実際の取得期間

「6か月未満」の割合が74.5%と最も高く、次いで「6か月～1歳未満」の割合が11.8%となっています。



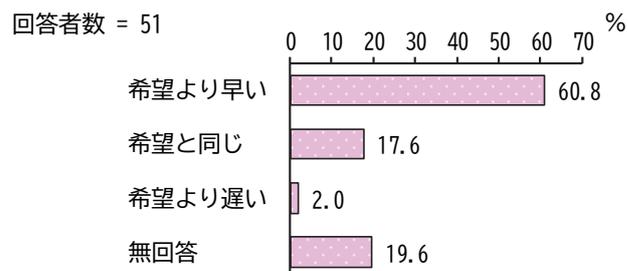
## ② 希望

「1歳～1歳6か月未満」の割合が27.5%と最も高く、次いで「6か月未満」の割合が25.5%、「3歳以上」の割合が11.8%となっています。



### ③ 復帰時期

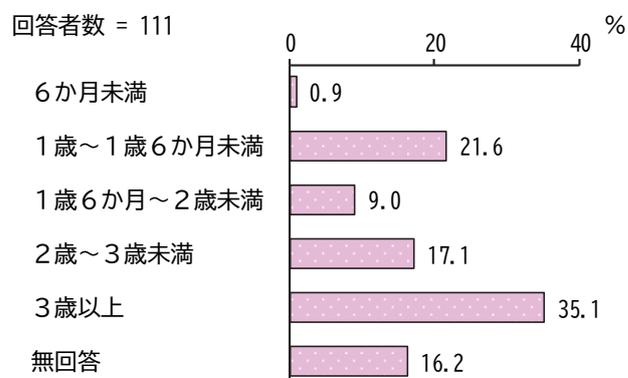
「希望より早い」の割合が 60.8%と最も高く、次いで「希望と同じ」の割合が 17.6%となっています。



問 35-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。数字でご記入ください。

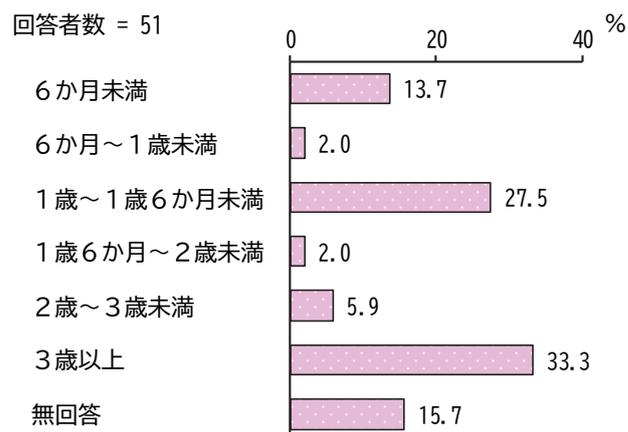
#### (1) お母さん

「3歳以上」の割合が 35.1%と高く、次いで「1歳～1歳6か月未満」の割合が 21.6%、「2歳～3歳未満」の割合が 17.1%となっています。



#### (2) お父さん

「3歳以上」の割合が 33.3%と高く、次いで「1歳～1歳6か月未満」の割合が 27.5%、「6か月未満」の割合が 13.7%となっています。



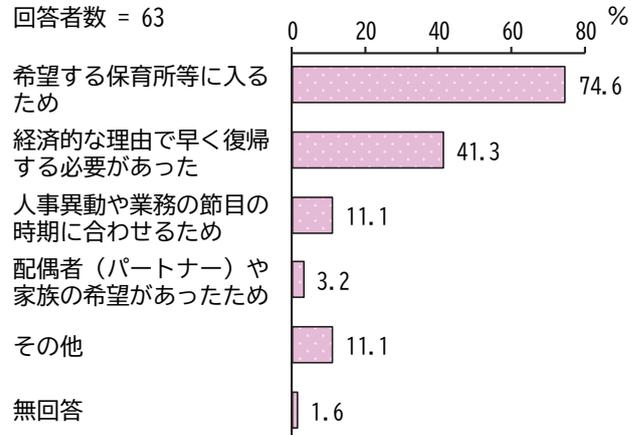
問 35-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

**問 35-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。**

(1) 「希望」より早く復帰した方（あてはまるものすべてに○）

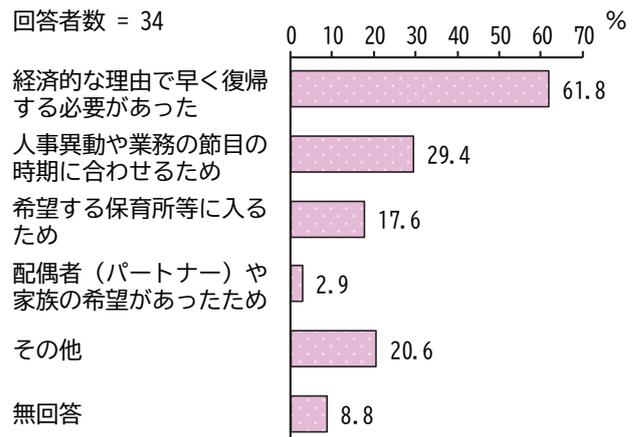
① お母さん

「希望する保育所等に入るため」の割合が74.6%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が41.3%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が11.1%となっています。



② お父さん

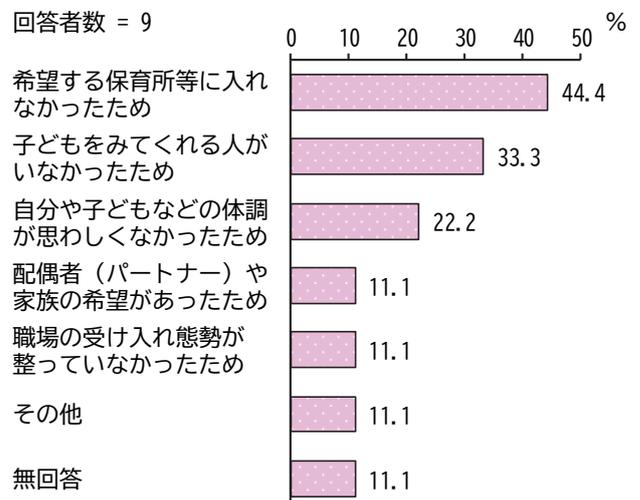
「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が61.8%と高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が29.4%、「希望する保育所等に入るため」の割合が17.6%となっています。



(2) 「希望」より遅く復帰した方（あてはまるものすべてに○）

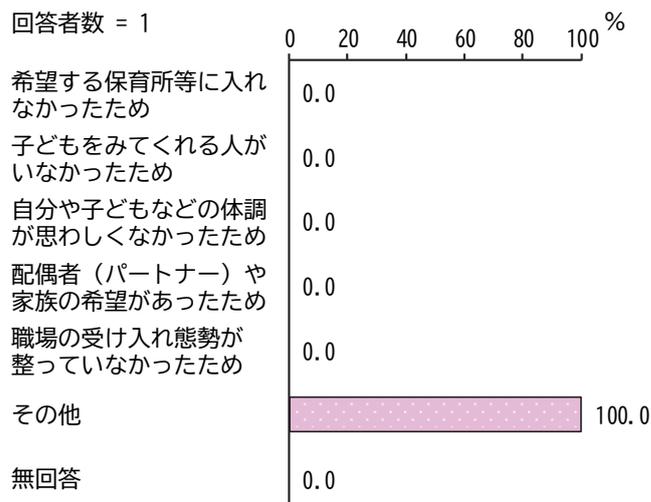
① お母さん

「希望する保育所等に入れなかったため」が4件（44.4%）となっています。「子どもをみてくれる人がいなかったため」が3件（33.3%）、「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」が2件（22.2%）となっています。



② お父さん

「その他」が1件（100%）となっています。

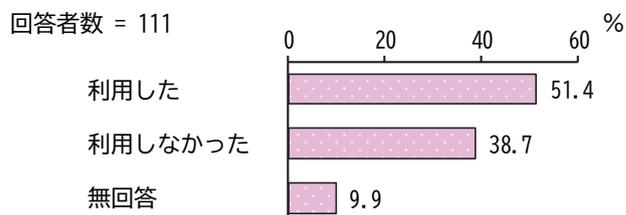


問 35-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にかがいます。

問 35-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。（1つに○）

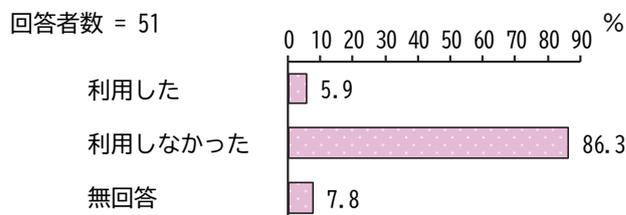
(1) お母さん

「利用した」の割合が 51.4%、「利用しなかった」の割合が 38.7%となっています。



(2) お父さん

「利用した」の割合が 5.9%、「利用しなかった」の割合が 86.3%となっています。



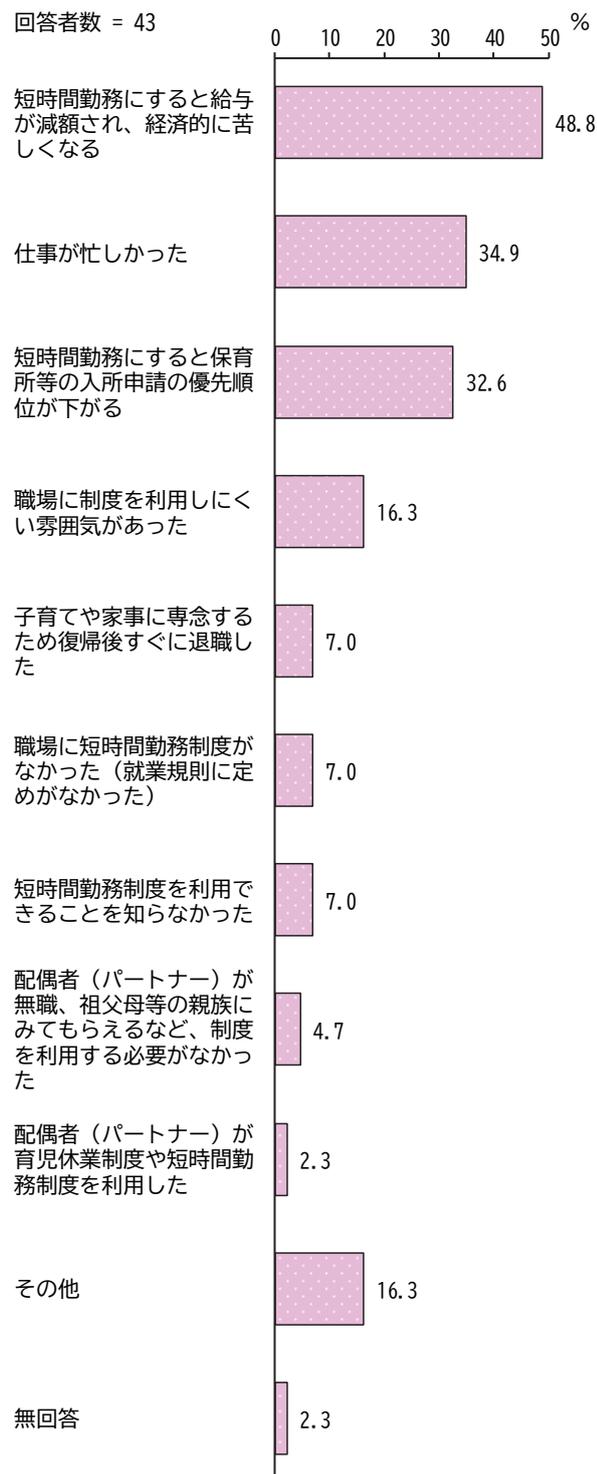
問 35-7で「2. 利用しなかった」に○をつけた方にかがいます。

問 35-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

(1) お母さん

「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」の割合が48.8%と高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が34.9%となっています。

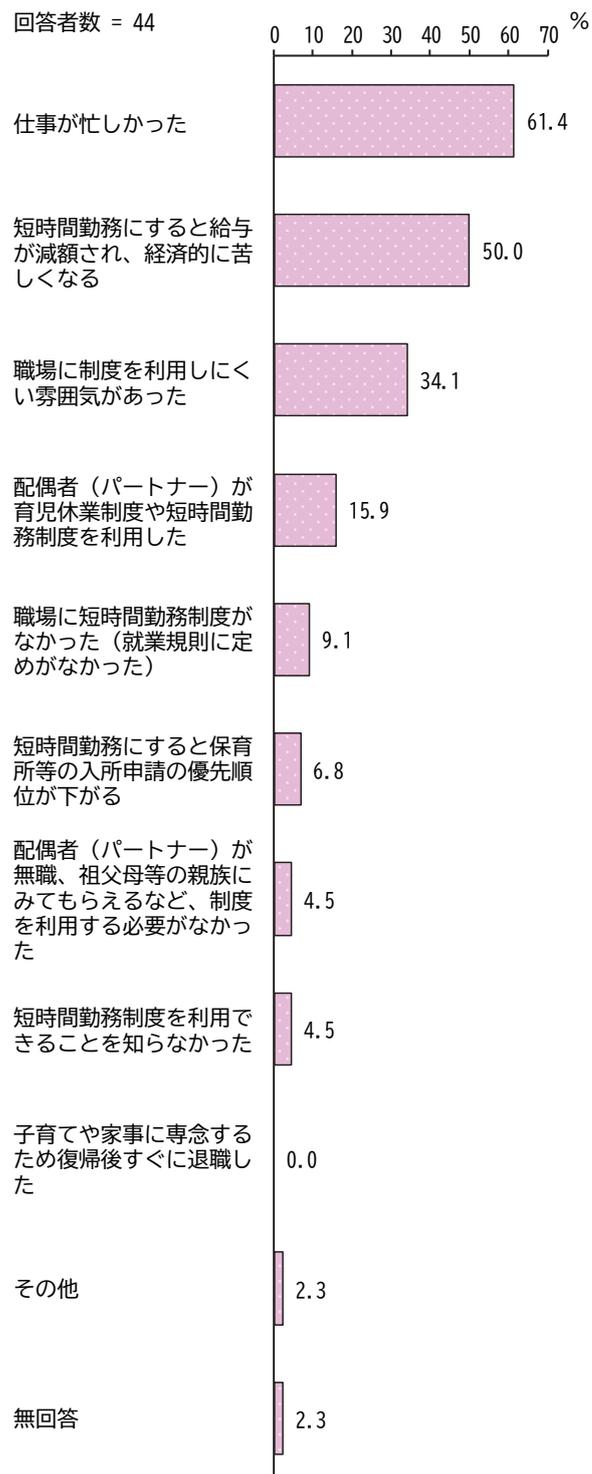
回答者数 = 43



(2) お父さん

「仕事が忙しかった」の割合が61.4%と高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」の割合が50.0%となっています。

回答者数 = 44



問 35-2 で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

問 35-9 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(1つに○)

(1) お母さん

「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が69.2%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が30.8%となっています。

回答者数 = 26

1歳になるまで育児休業  
を取得したい  
1歳になる前に復帰した  
い  
無回答

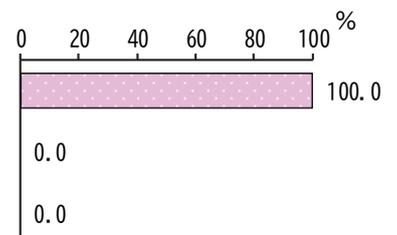


(2) お父さん

「1歳になるまで育児休業を取得したい」が2件(100%)、「1歳になる前に復帰したい」が0件となっています。

回答者数 = 2

1歳になるまで育児休業  
を取得したい  
1歳になる前に復帰した  
い  
無回答

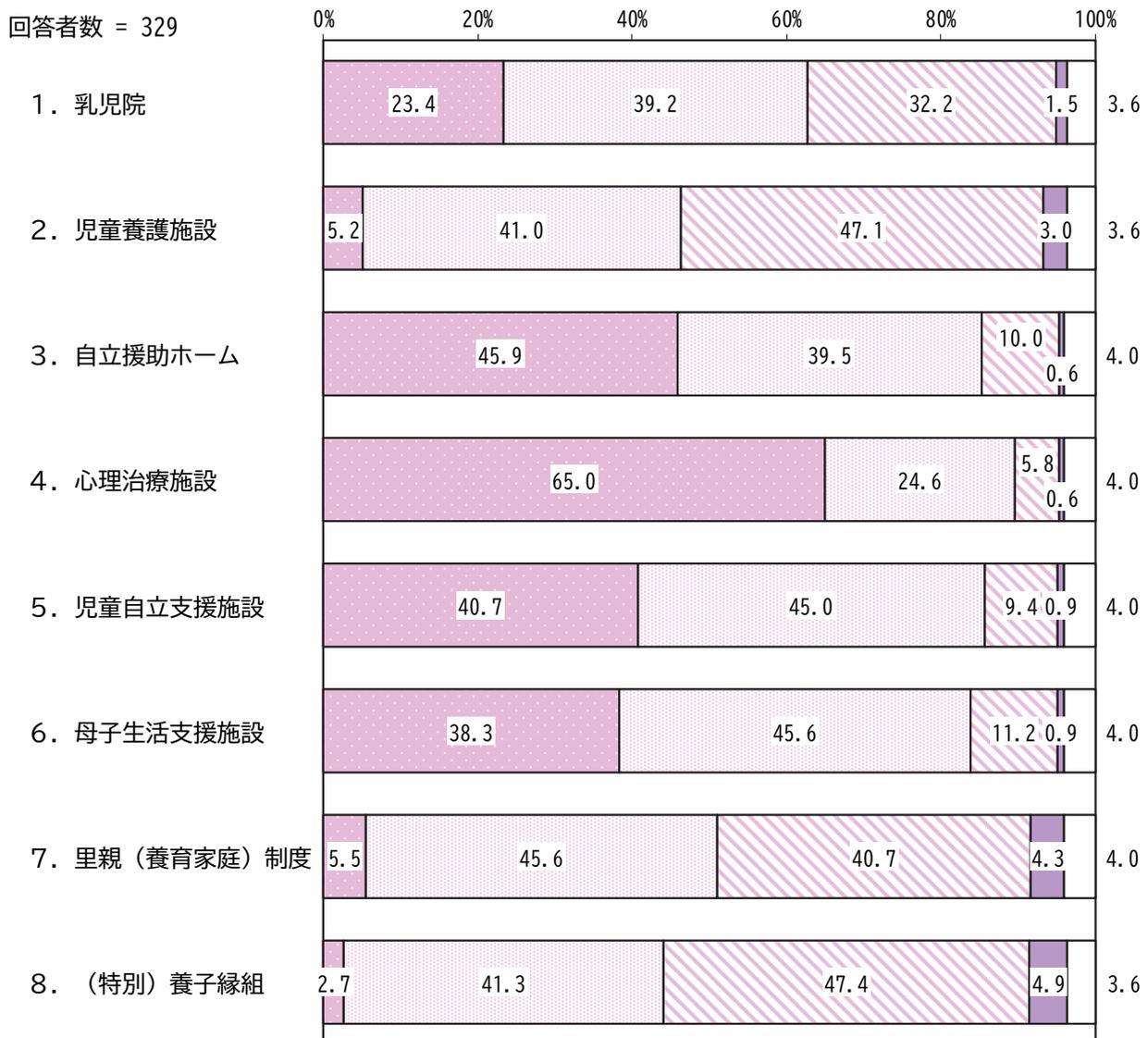
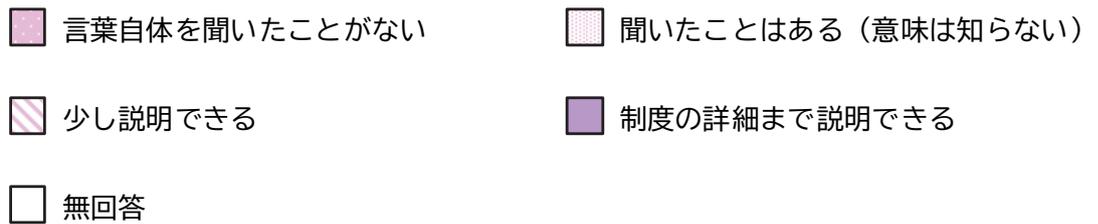


(13) 社会的養護施設について

問 36 社会的養護とは、「保護者のない児童や、保護者に監護させることが適当でない児童を、公的責任で社会的に養育し、保護するとともに、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行うこと」であります。次の施設・制度の認知度についてあてはまるアルファベットを各施設・制度毎に（ ）内に記入してください。

『2. 児童養護施設』、『7. 里親（養育家庭）制度』、『8.（特別）養子縁組』で「聞いたことはある（意味は知らない）」「少し説明できる」「制度の詳細まで説明できる」をあわせた“知っている”の割合が高くなっています。

方、『4. 心理治療施設』で「言葉自体を聞いたことがない」の割合が高くなっています。

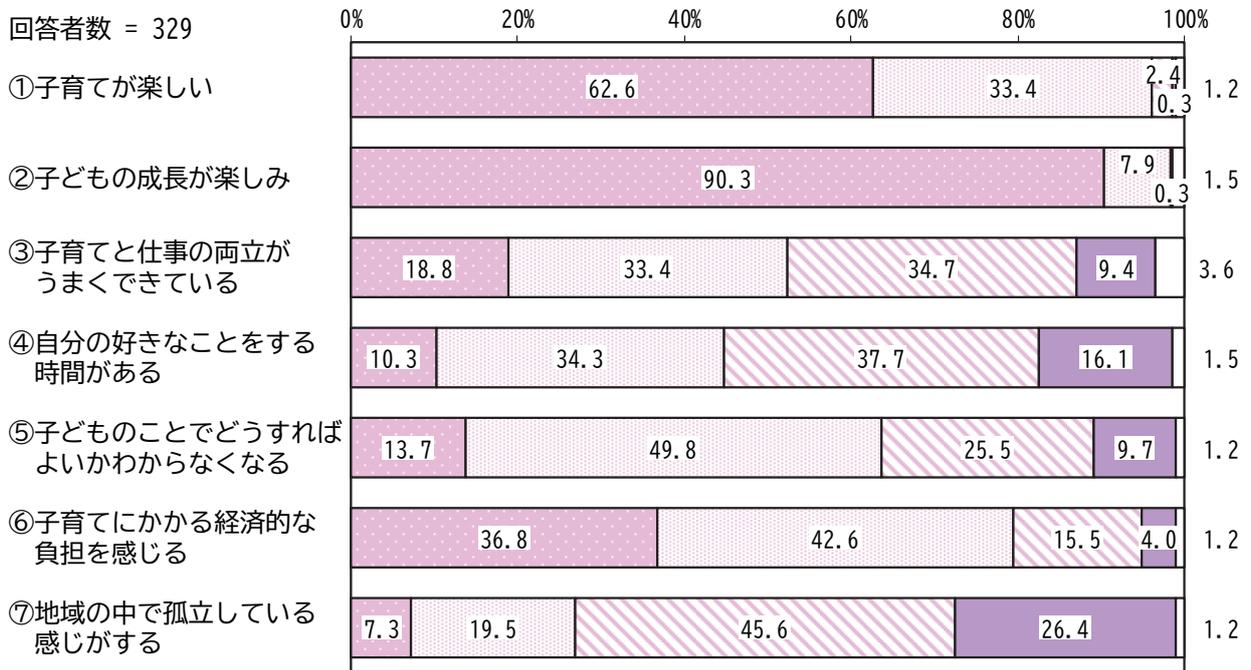
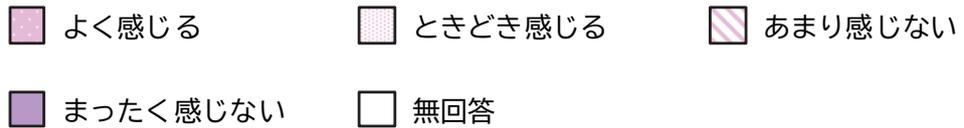


(14) 子どもの育ちをめぐる環境について

問 37 子育てをしていて以下のようなことを感じることはありますか。  
(①～⑦のそれぞれで1つに○)

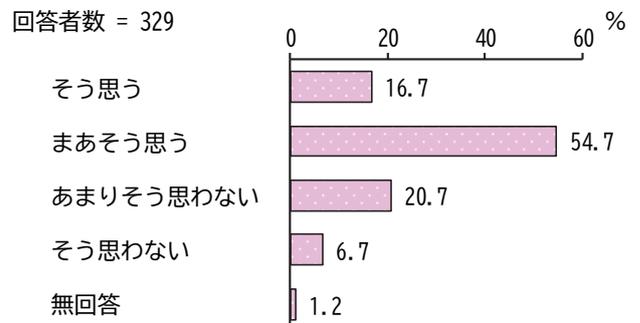
『①子育てが楽しい』、『②子どもの成長が楽しみ』で「よく感じる」と「ときどき感じる」をあわせた“感じる”の割合が高くなっています。

一方、『⑦地域の中で孤立している感じがする』で「あまり感じない」と「まったく感じない」をあわせた“感じない”の割合が高くなっています。



問 38 武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思えますか。  
(1つに○)

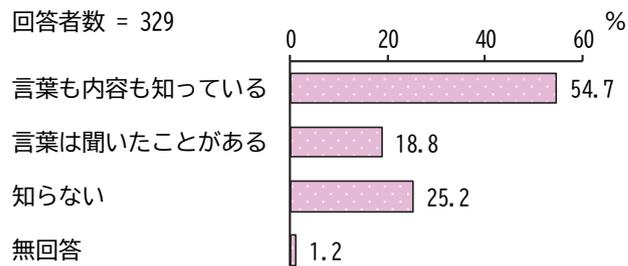
「まあそう思う」の割合が54.7%と高く、次いで「あまりそう思わない」の割合が20.7%、「そう思う」の割合が16.7%となっています。



## (15) ヤングケアラーについて

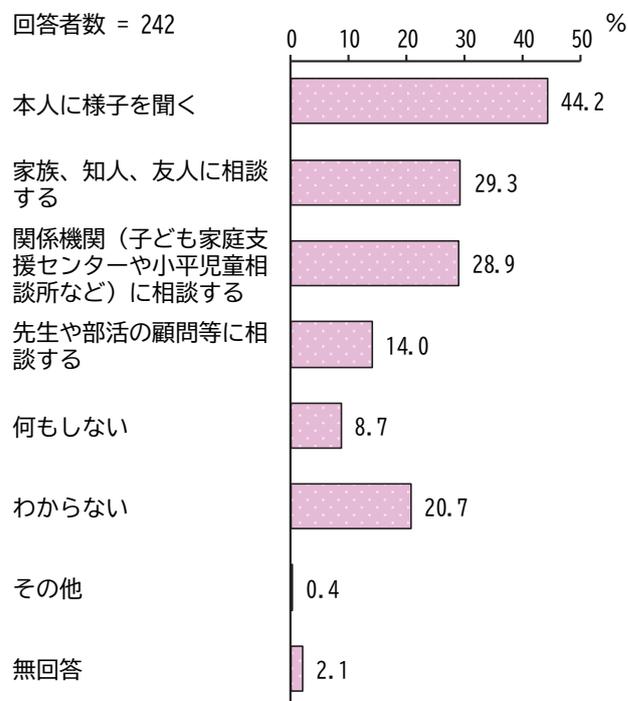
### 問 39 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。(1つに○)

「言葉も内容も知っている」の割合が54.7%と高く、次いで「知らない」の割合が25.2%、「言葉は聞いたことがある」の割合が18.8%となっています。



### 問 40 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。(あてはまるものすべてに○)

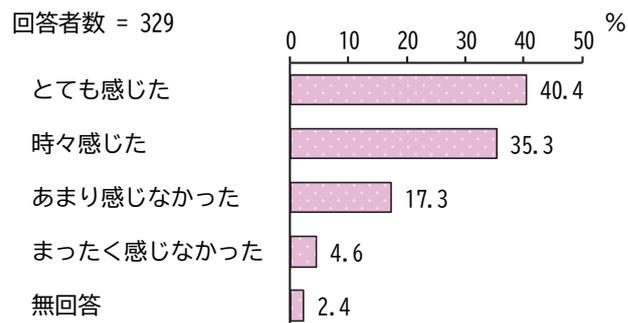
「本人に様子を聞く」の割合が44.2%と高く、次いで「家族、知人、友人に相談する」の割合が29.3%、「関係機関（子ども家庭支援センターや小平児童相談所など）に相談する」の割合が28.9%となっています。



## (16) 産後ケアと子育て支援策について

### 問 41 産後に不安や負担は感じましたか。(1つに○)

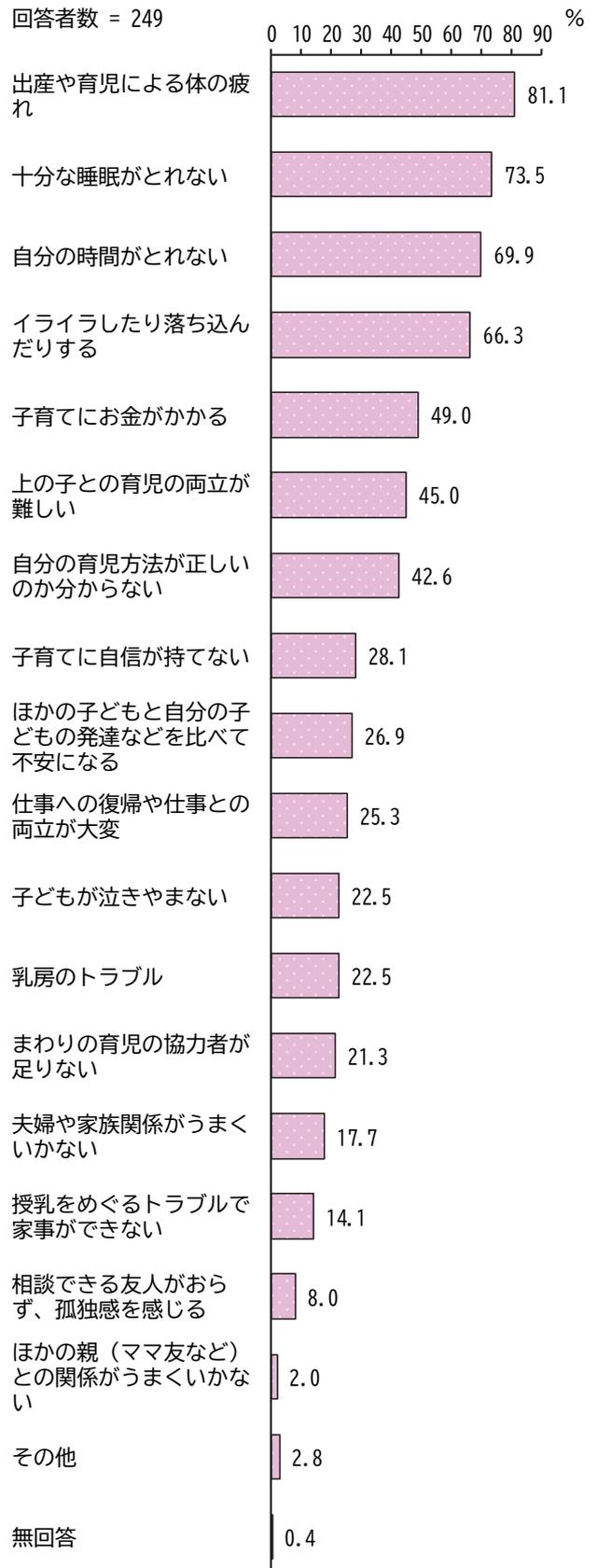
「とても感じた」の割合が40.4%と高く、次いで「時々感じた」の割合が35.3%、「あまり感じなかった」の割合が17.3%となっています。



問41で「1. とても感じた」、「2. 時々感じた」に○をつけた方にうかがいます。

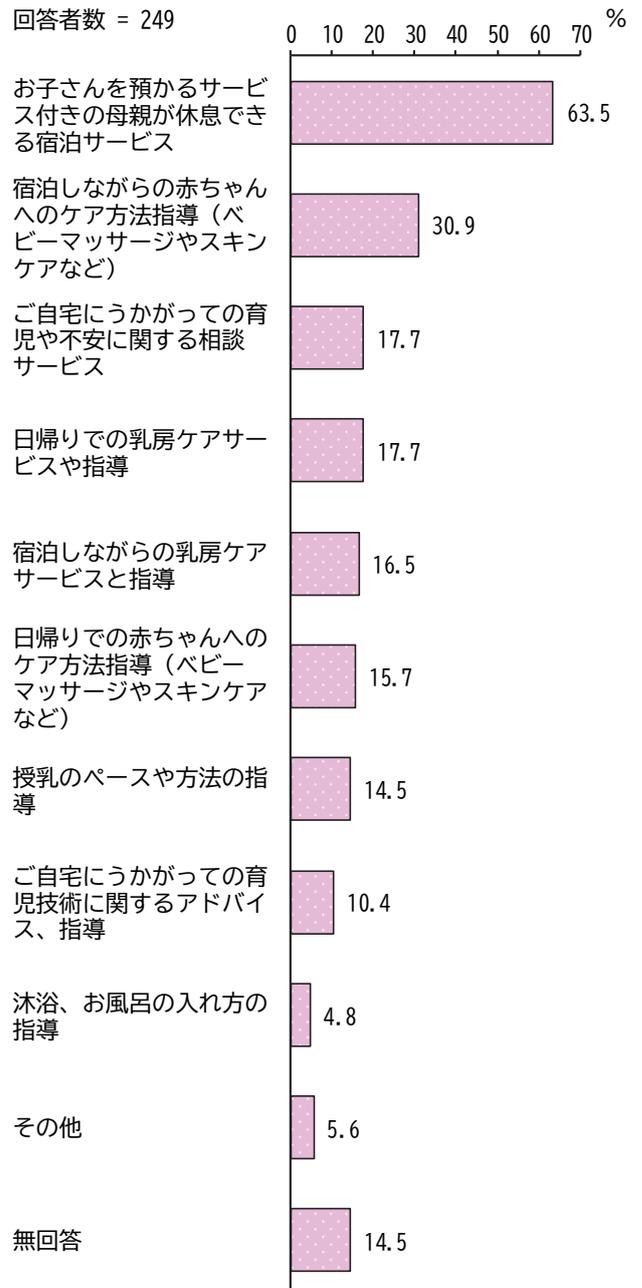
問41-1 それはどんな内容ですか。(あてはまるものすべてに○)

「出産や育児による体の疲れ」の割合が81.1%と最も高く、次いで「十分な睡眠がとれない」の割合が73.5%、「自分の時間がとれない」の割合が69.9%となっています。



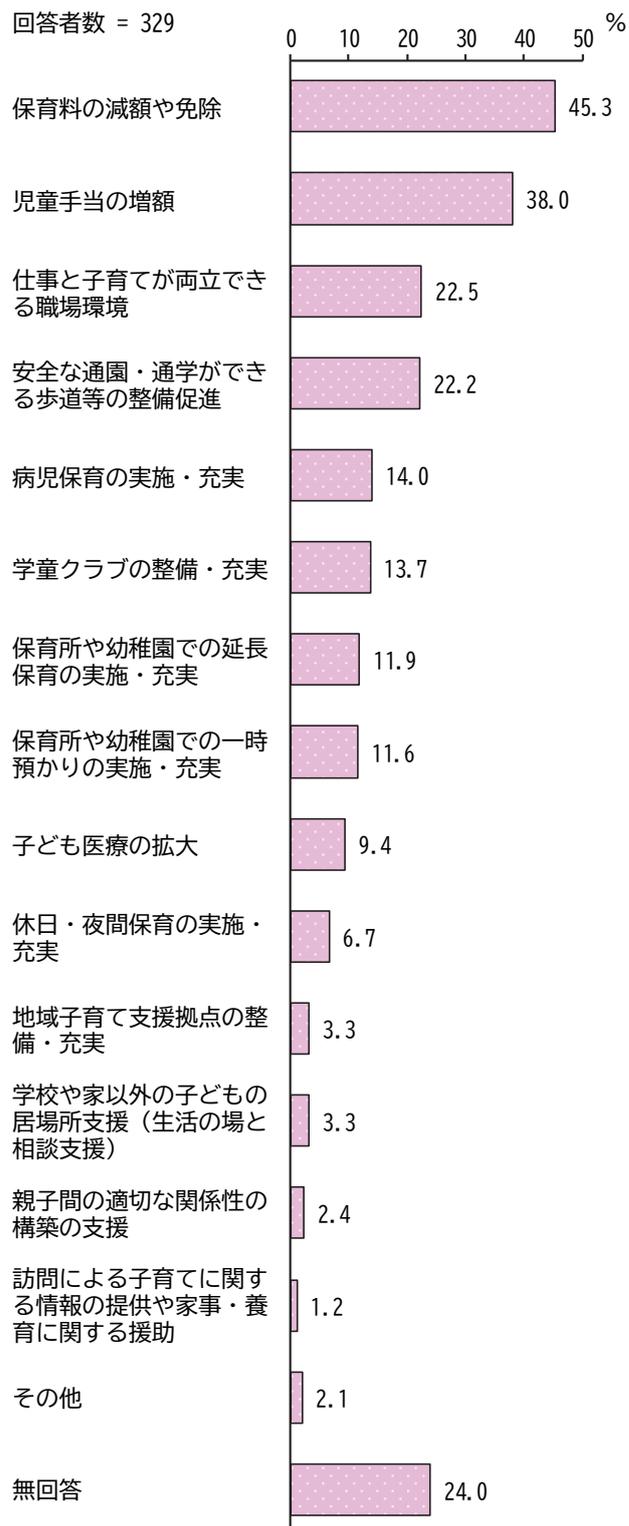
問 41-2 産後にどのような支援を受けたかったですか。  
(あてはまるものすべてに○)

「お子さんを預かるサービス付きの母親が休息できる宿泊サービス」の割合が63.5%と高く、次いで「宿泊しながらの赤ちゃんへのケア方法指導(ベビーマッサージやスキンケアなど)」の割合が30.9%、「ご自宅にうかがっての育児や不安に関する相談サービス」、「日帰りでの乳房ケアサービスや指導」の割合が17.7%となっています。



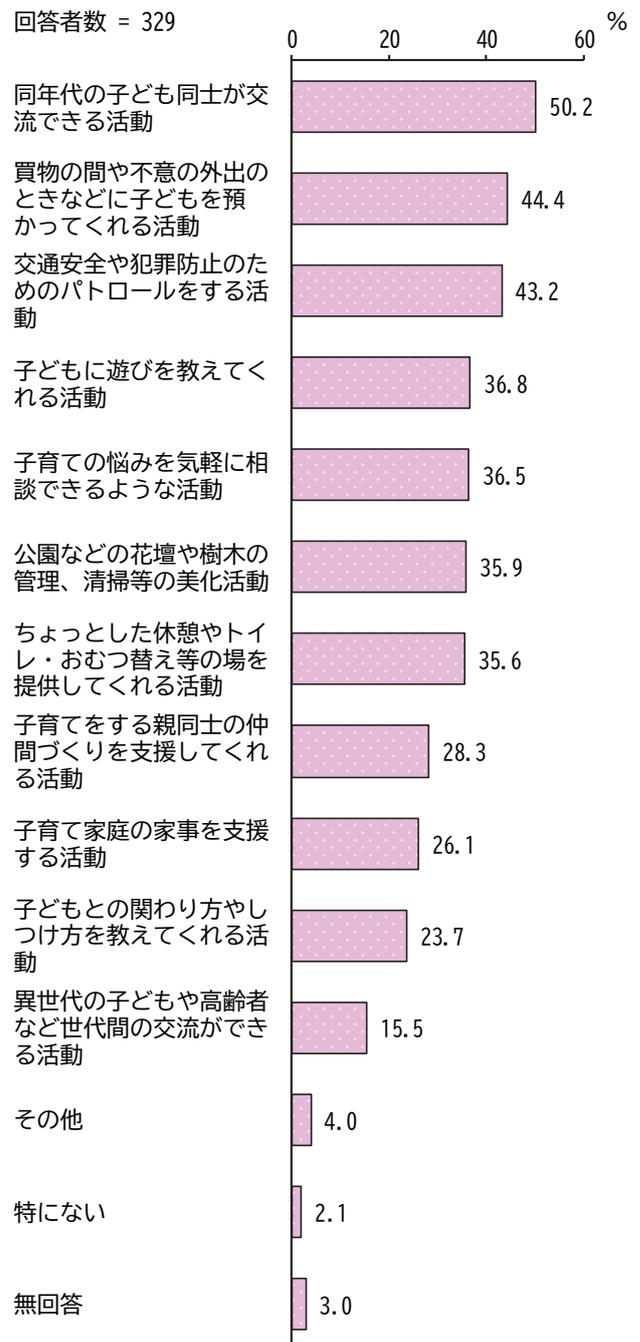
問 42 あなたが必要と思われる子育て支援策は次のどれですか。(3つまで○)

「保育料の減額や免除」の割合が 45.3%と高く、次いで「児童手当の増額」の割合が 38.0%、「仕事と子育てが両立できる職場環境」の割合が 22.5%となっています。



問 43 子を持つ親にとって、身近な地域にどのような活動があるとよいと思いますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

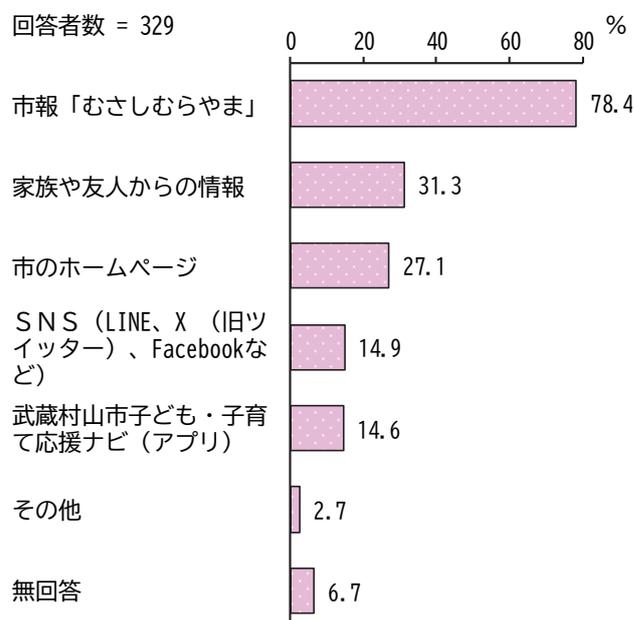
「同年代の子ども同士が交流できる活動」の割合が 50.2%と高く、次いで「買物の間や不意の外出のときなどに子どもを預かってくれる活動」の割合が 44.4%、「交通安全や犯罪防止のためのパトロールをする活動」の割合が 43.2%となっています。



問 44 子どもに関する市の施策や行事などの情報をどのような方法で受け取っていますか。また、今後、どのような方法で受け取りたいですか。  
(A、Bそれぞれあてはまるものすべてに○)

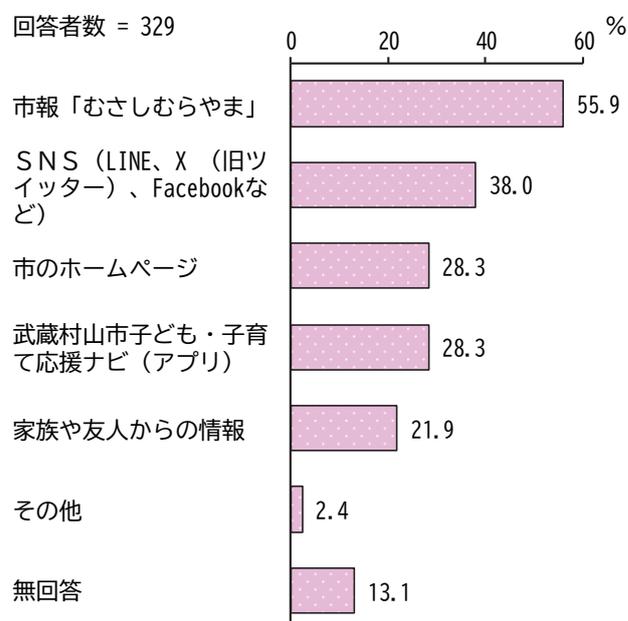
A 現在の受け取り方法

「市報「むさしむらやま」」の割合が78.4%と最も高く、次いで「家族や友人からの情報」の割合が31.3%、「市のホームページ」の割合が27.1%となっています。



B 今後、受け取りたい方法

「市報「むさしむらやま」」の割合が55.9%と高く、次いで「SNS (LINE、X (旧ツイッター)、Facebook など)」の割合が38.0%、「市のホームページ」、「武蔵村山市子ども・子育て応援ナビ (アプリ)」の割合が28.3%となっています。



(17) 多胎児家庭支援事業と多子世帯支援事業について

問 45 下記の多胎児家庭支援事業について、知っていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

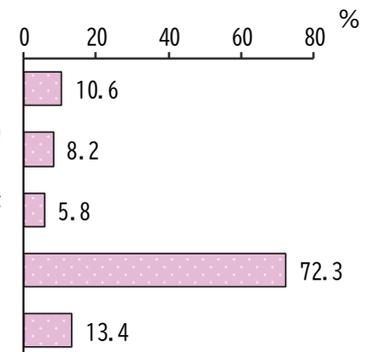
「いずれの内容も知らない」の割合が72.3%と最も高く、次いで「多胎児家庭家事育児サポーター」の割合が10.6%となっています。

回答者数 = 329

多胎児家庭家事育児サポーター  
多胎妊婦健康診査費用助成  
多胎児家庭移動経費支援事業

いずれの内容も知らない

無回答



未就学児童が2人以上いる世帯（多胎児家庭世帯も含む）の方にかがいます。

問 46 武蔵村山市に実施してほしい多子世帯支援事業または多胎児支援事業はありますか。

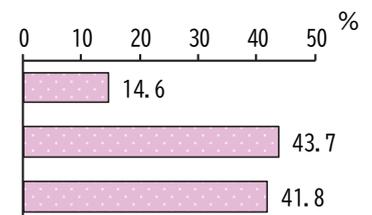
「はい」の割合が14.6%、「いいえ」の割合が43.7%となっています。

回答者数 = 213

はい

いいえ

無回答



(18) 子どもの権利について

問 47 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。(1つに○)

「常にしている」の割合が50.8%と高く、次いで「ときどきしている」の割合が42.9%となっています。

回答者数 = 329

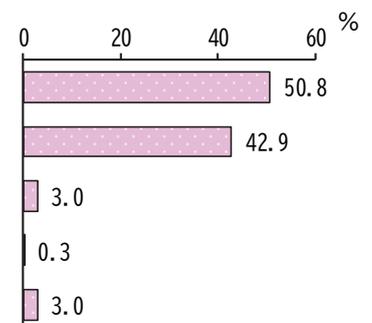
常にしている

ときどきしている

あまりしていない

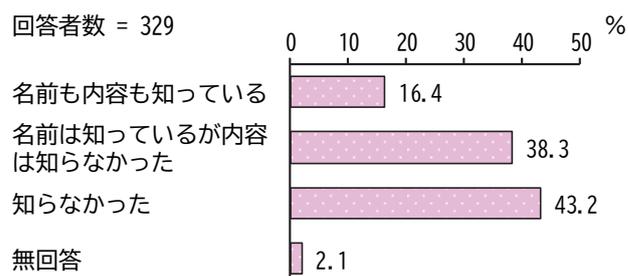
まったくしたことがない

無回答



問 48 あなたは、児童の権利に関する条約（通称：子どもの権利条約）を知っていますか。（1つに○）

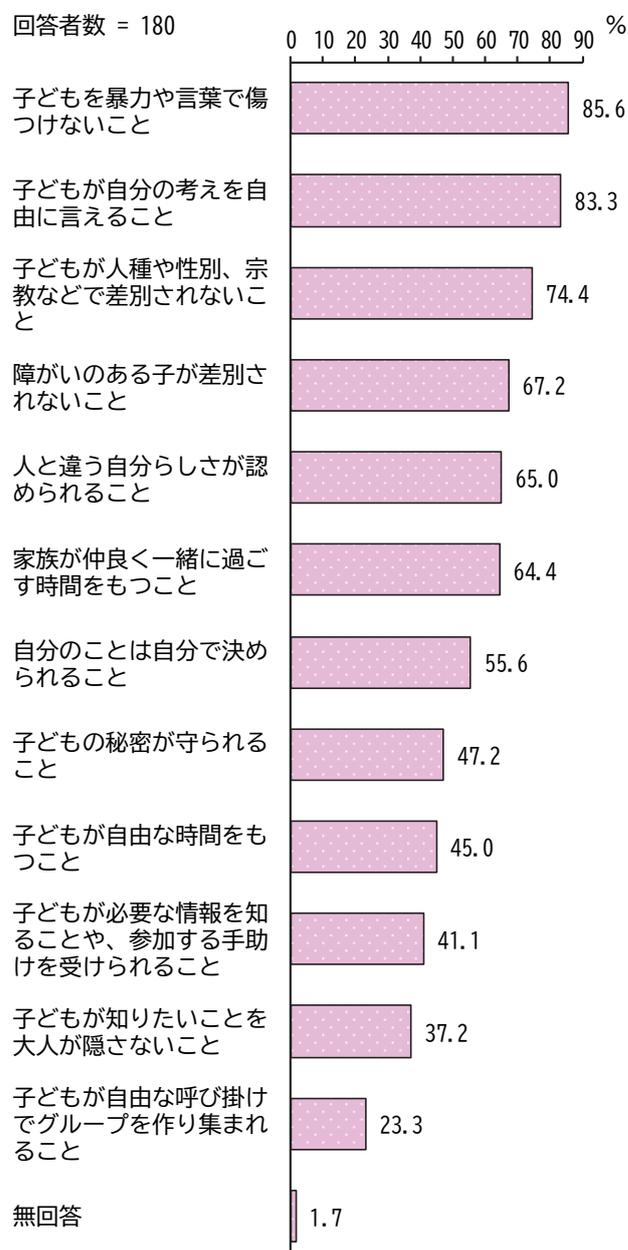
「知らなかった」の割合が43.2%と高く、次いで「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が38.3%、「名前も内容も知っている」の割合が16.4%となっています。



問 48 で「1. 名前も内容も知っている」、「2. 名前は知っているが内容は知らなかった」に○をつけた方にうかがいます。

問 48-1 子どもの権利条約の中で特に大切だと思うことはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

「子どもを暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が85.6%と最も高く、次いで「子どもが自分の考えを自由に言えること」の割合が83.3%、「子どもが人種や性別、宗教などで差別されないこと」の割合が74.4%となっています。



## 2 小学生（1～6年生）の保護者

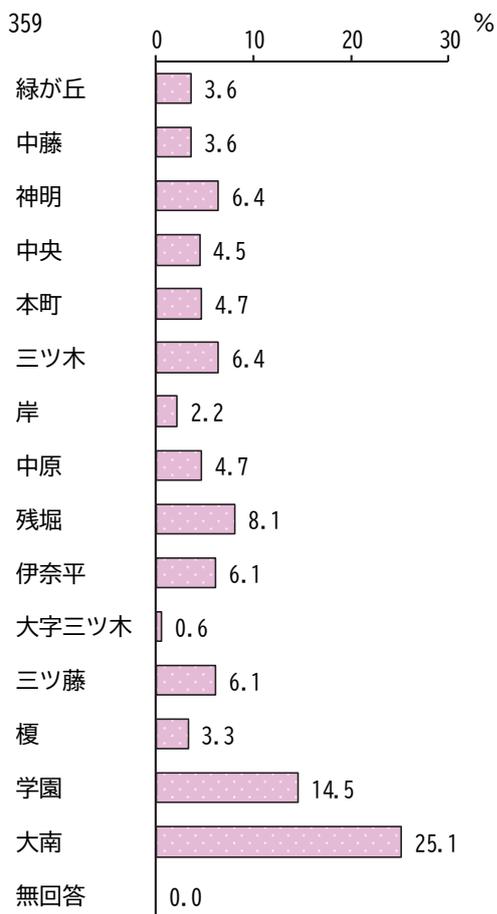
### （1）お住まいの地区について

問1 武蔵村山市のどちらにお住まいですか。（1つに○）

「大南」の割合が25.1%と高く、次いで「学園」の割合が14.5%となっています。

No.	地区名	配布数	回収数	回収率
1	緑が丘	51	13	25.5
2	中藤	29	13	44.8
3	神明	59	23	39.0
4	中央	51	16	31.4
5	本町	50	17	34.0
6	三ツ木	71	23	32.4
7	岸	31	8	25.8
8	中原	59	17	28.8
9	残堀	90	29	32.2
10	伊奈平	76	22	28.9
11	大字三ツ木	11	2	18.2
12	三ツ藤	73	22	30.1
13	榎	31	12	38.7
14	学園	118	52	44.1
15	大南	199	90	45.2
	その他	1	—	—
	全体	1,000	359	35.9

回答者数 = 359

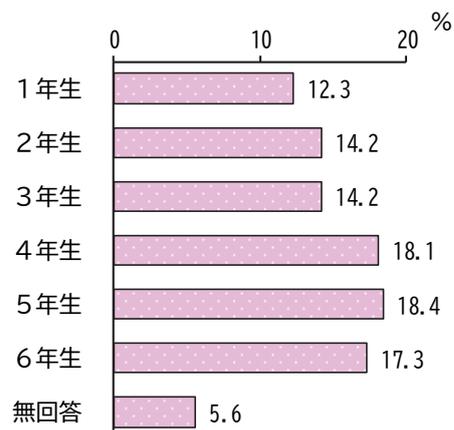


### （2）お子さんご家族の状況などについて

問2 お子さんは、小学何年生ですか。（1つに○）

「5年生」の割合が18.4%と高く、次いで「4年生」の割合が18.1%、「6年生」の割合が17.3%となっています。

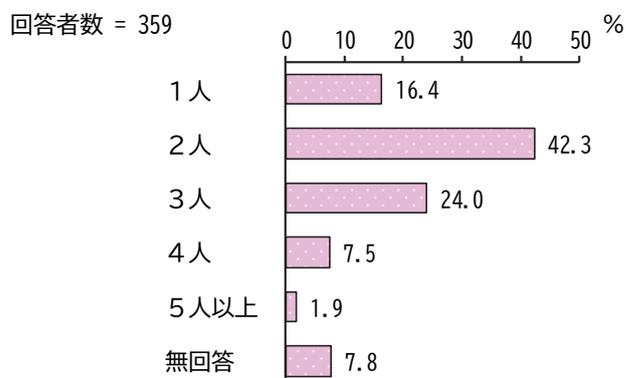
回答者数 = 359



問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください。お子さんが2人以上いらっしゃる場合は、いちばん下のお子さんの生年月もご記入ください。

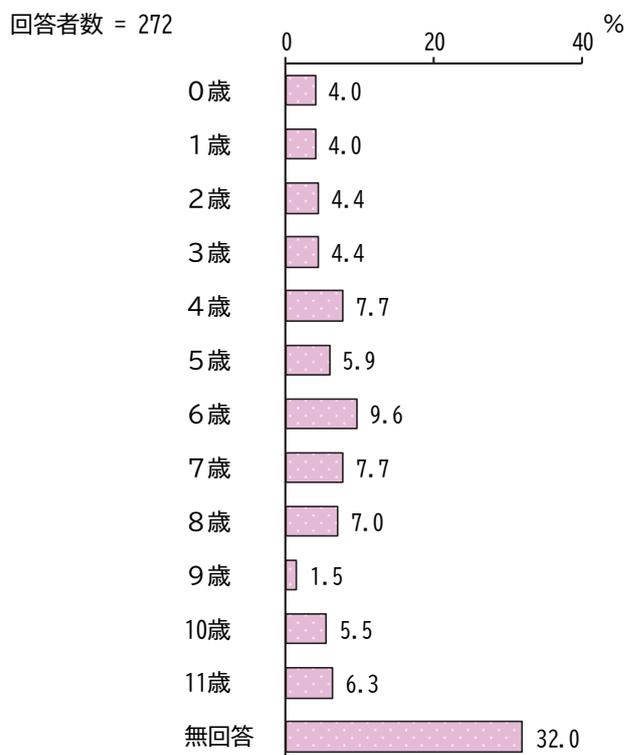
① きょうだい数

「2人」の割合が42.3%と高く、次いで「3人」の割合が24.0%、「1人」の割合が16.4%となっています。



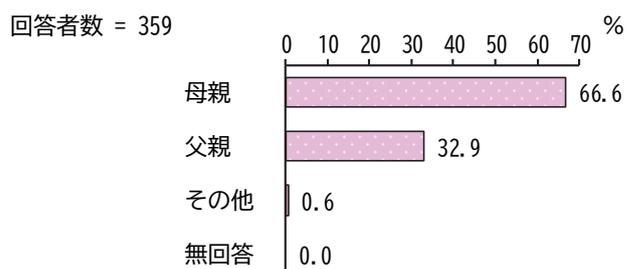
② 未子の年齢

「6歳」の割合が9.6%となっています。



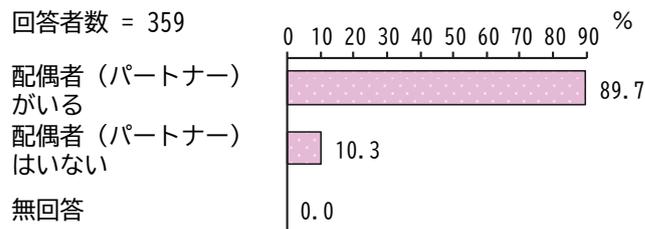
問4 この調査にご回答くださっている方はどなたですか。お子さんからみた関係をお答えください。(1つに○)

「母親」の割合が66.6%、「父親」の割合が32.9%となっています。



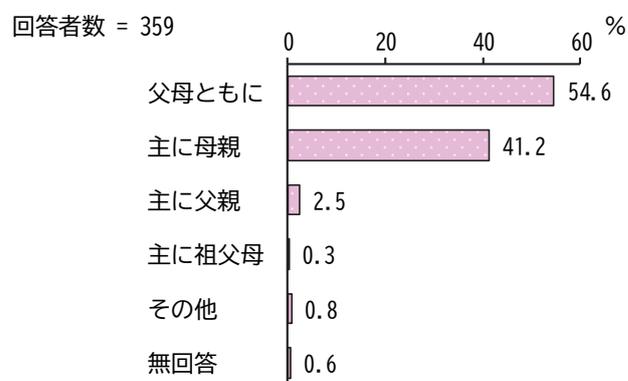
問5 この調査にご回答くださっている方には、配偶者（パートナー）はいらっしゃいますか。（1つに○）

「配偶者（パートナー）がいる」の割合が89.7%、「配偶者（パートナー）はいない」の割合が10.3%となっています。



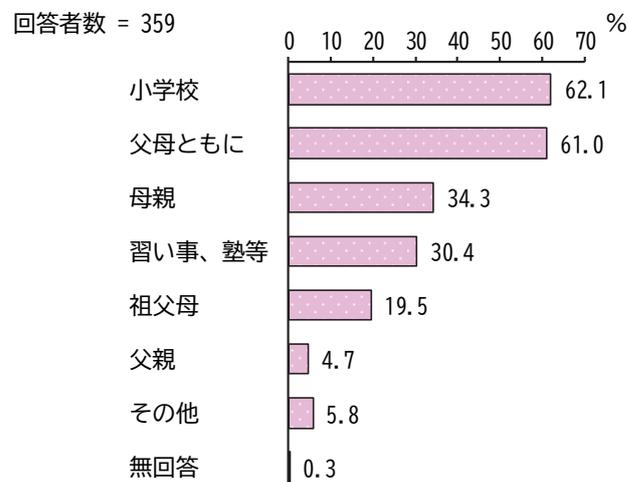
問6 お子さんの子育てを主にしている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（1つに○）

「父母ともに」の割合が54.6%と高く、次いで「主に母親」の割合が41.2%となっています。



問7 お子さんの子育てに日常的に関わっている方（施設）はどなた（どこ）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまるものすべてに○）

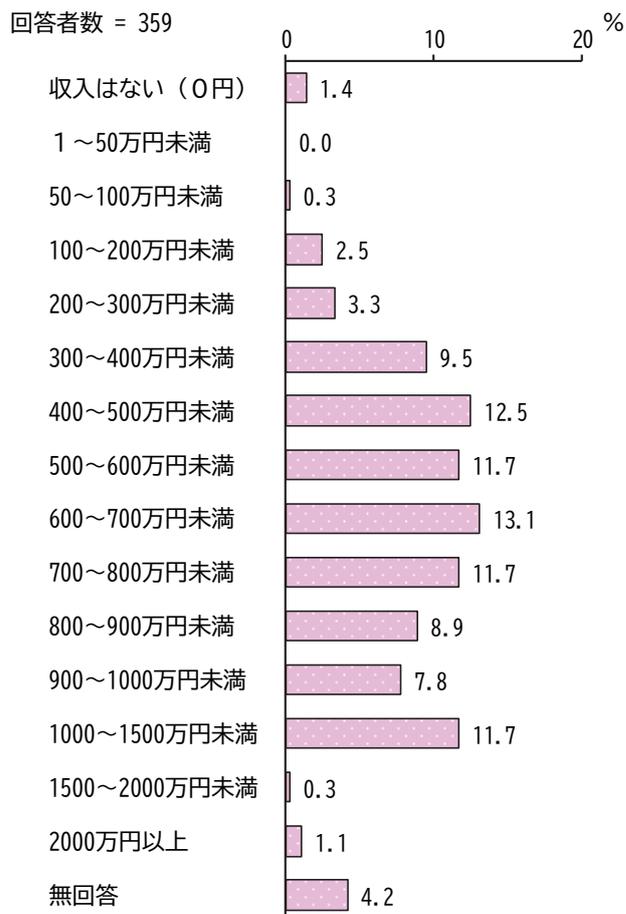
「小学校」の割合が62.1%と高く、次いで「父母ともに」の割合が61.0%、「母親」の割合が34.3%となっています。



### (3) ご家族の収入などについて

#### 問8 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（1つに○）

「600～700万円未満」の割合が13.1%と高く、次いで「400～500万円未満」の割合が12.5%、「500～600万円未満」、「700～800万円未満」、「1000～1500万円未満」の割合が11.7%となっています。



#### 【家庭類型別】

家庭類型別にみると、ひとり親家庭では「100～200万円未満」の割合が21.6%と高く、次いで「200～300万円未満」及び「300～400万円未満」の割合がそれぞれ18.9%となっています。

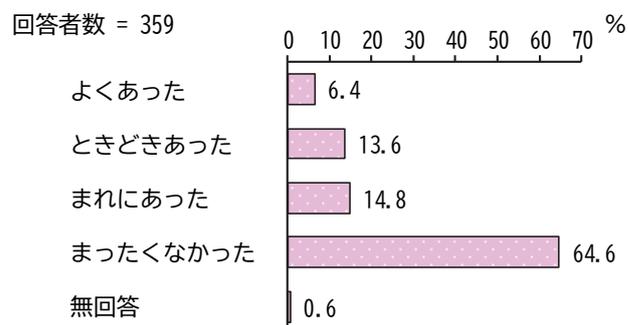
単位：%

区分	回答者数(件)	収入はない(0円)	1～50万円未満	50～100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～600万円未満	600～700万円未満	700～800万円未満	800～900万円未満	900～1000万円未満	1000～1500万円未満	1500～2000万円未満	2000万円以上	無回答
全体	359	1.4	-	0.3	2.5	3.3	9.5	12.5	11.7	13.1	11.7	8.9	7.8	11.7	0.3	1.1	4.2
ひとり親家庭	37	10.8	-	-	21.6	18.9	18.9	8.1	5.4	5.4	2.7	-	2.7	2.7	-	-	2.7
共働き家庭	229	-	-	0.4	0.4	1.7	8.3	13.1	13.5	13.5	13.1	10.5	8.3	13.1	0.4	1.7	1.7
専業主婦・主夫	59	-	-	-	-	-	3.4	13.6	11.9	11.9	11.9	10.2	10.2	11.9	-	-	15.3
その他	34	2.9	-	-	-	2.9	17.6	11.8	5.9	20.6	11.8	5.9	5.9	11.8	-	-	2.9

※クロス集計のため、有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。

問9 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料や衣服が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品や高価な衣服・貴金属・宝飾品は含みません。(1つに○)

「まったくなかった」の割合が 64.6%と高く、次いで「まれにあった」の割合が14.8%、「ときどきあった」の割合が 13.6%となっています。



### 【家庭類型別】

家庭類型別にみると、ひとり親家庭では、「ときどきあった」の割合が高くなっています。

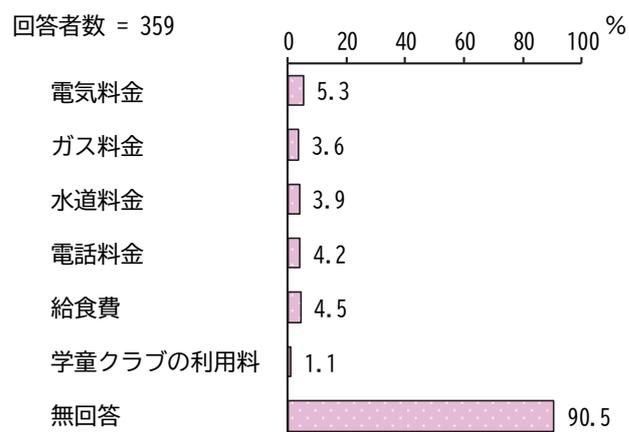
単位：%

区分	回答者数(件)	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった	無回答
全体	359	6.4	13.6	14.8	64.6	0.6
ひとり親家庭	37	10.8	37.8	21.6	27.0	2.7
共働き家庭	229	4.8	10.9	14.0	69.9	0.4
専業主婦・主夫	59	8.5	3.4	15.3	72.9	-
その他	34	8.8	23.5	11.8	55.9	-

※クロス集計のため、有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。

問10 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

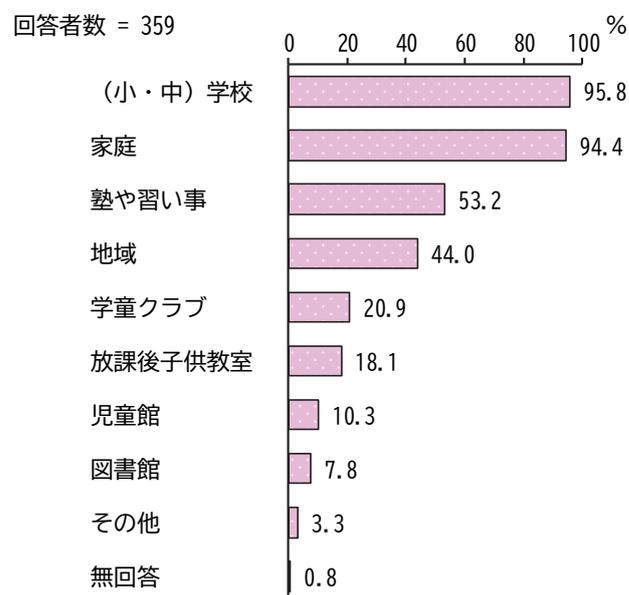
「電気料金」の割合が5.3%となっています。



#### (4) 子どもの育ちを取り巻く環境について

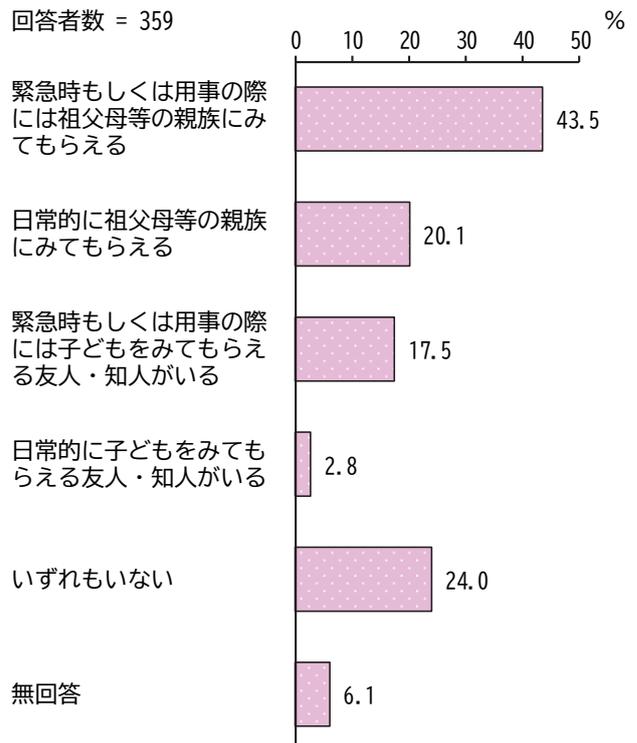
問11 お子さんの子育てに影響すると思う環境はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「(小・中) 学校」の割合が95.8%と最も高く、次いで「家庭」の割合が94.4%、「塾や習い事」の割合が53.2%となっています。



問 12 日頃、お子さんをみてもらえる親族や知人等はいですか。  
(あてはまるものすべてに○)

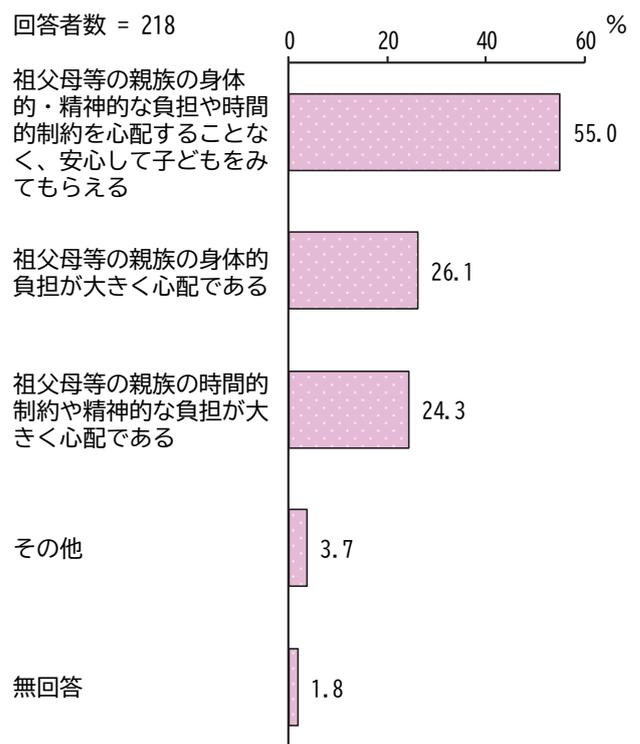
「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 43.5%と高く、次いで「いずれもない」の割合が 24.0%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 20.1%となっています。



問 12 で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。

問 12-1 祖父母等の親族にみてもらっている状況についてお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)

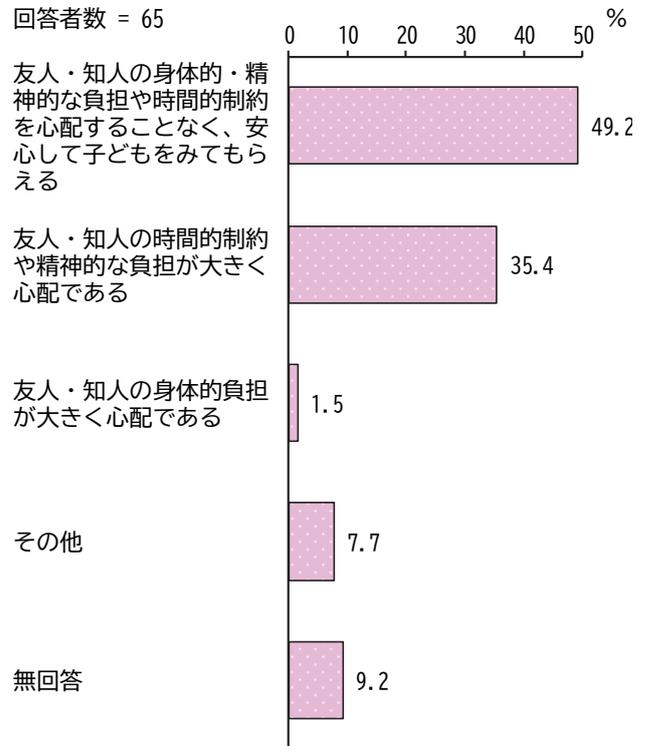
「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が 55.0%と高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が 26.1%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が 24.3%となっています。



問12で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。

問12-2 友人・知人にみてもらっている状況についてお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)

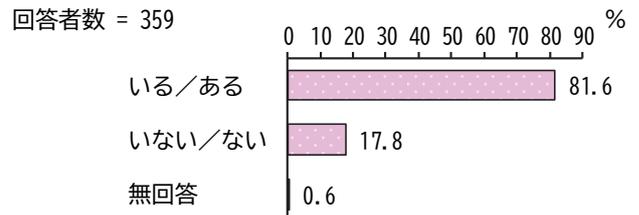
「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が49.2%と高く、次いで「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が35.4%となっています。



すべての方にうかがいます。

問13 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(1つに○)

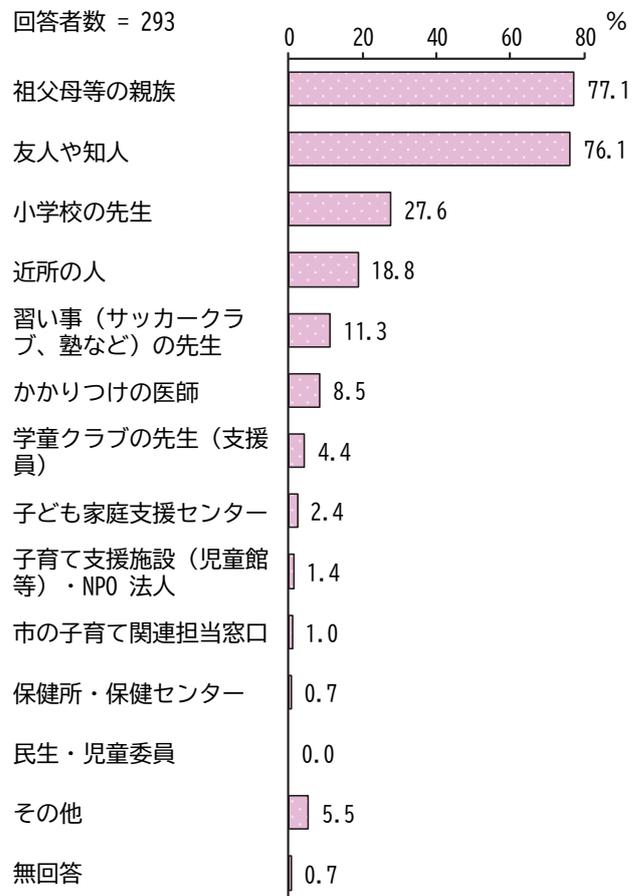
「いる／ある」の割合が81.6%、「いない／ない」の割合が17.8%となっています。



問13で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問13-1 お子さんの子育てについて、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

「祖父母等の親族」の割合が77.1%と高く、次いで「友人や知人」の割合が76.1%、「小学校の先生」の割合が27.6%となっています。



問 14 子育てを楽しんでいると感じることは多いですか。(1つに○)

「楽しいと感じることの方が多い」の割合が59.1%と高く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」の割合が30.1%となっています。

回答者数 = 359

楽しいと感じることの方が多い

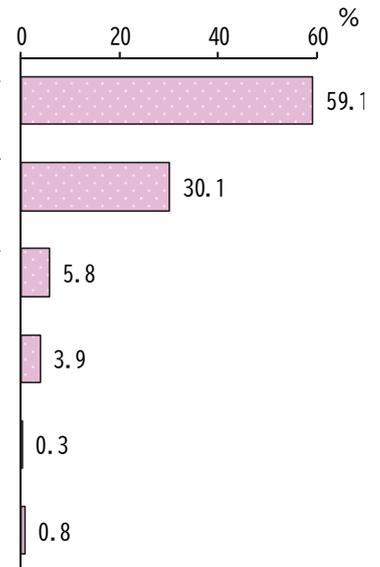
楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい

辛いと感じることの方が多い

わからない

その他

無回答



【家庭類型別】

家庭類型別でみると、ひとり親家庭では、「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」の割合が43.2%となっています。

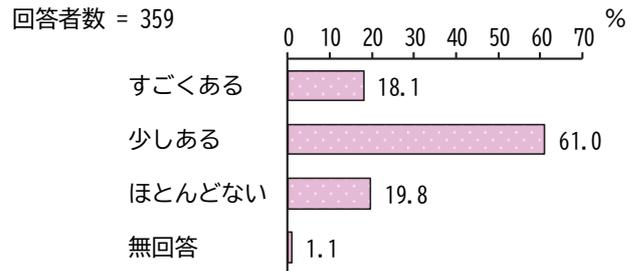
単位：%

区分	回答者数(件)	楽しいと感じることの方が多い	楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい	辛いと感じることの方が多い	わからない	その他	無回答
全体	359	59.1	30.1	5.8	3.9	0.3	0.8
ひとり親家庭	37	48.6	43.2	5.4	2.7	-	-
共働き家庭	229	63.3	27.5	3.1	4.4	0.4	1.3
専業主婦・主夫	59	59.3	23.7	13.6	3.4	-	-
その他	34	41.2	44.1	11.8	2.9	-	-

※クロス集計のため、有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。

問15 あなたは、子育てをしていて、不安や悩みなどはありますか。(1つに○)

「少しある」の割合が61.0%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が19.8%、「すごくある」の割合が18.1%となっています。

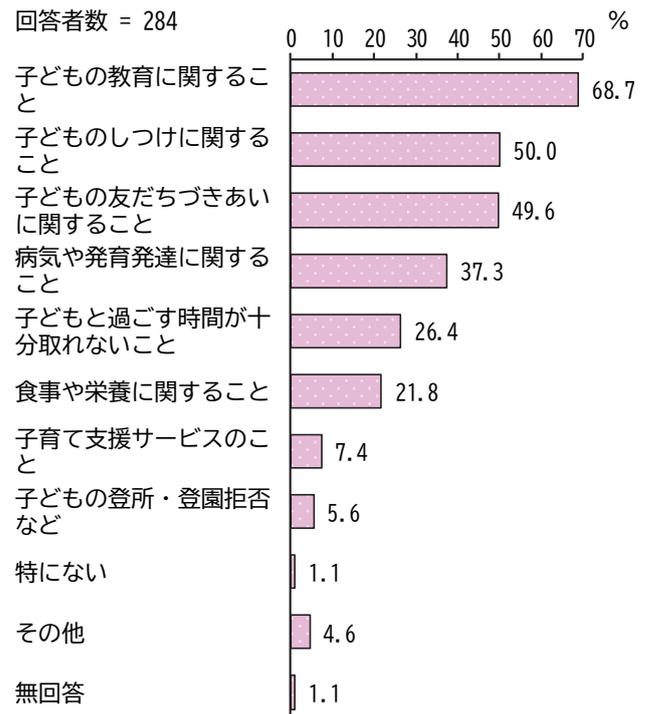


問15で「1. すごくある」、「2. 少しある」に○をつけた方にうかがいます。

問15-1 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。  
((1)、(2)それぞれあてはまるものすべてに○)

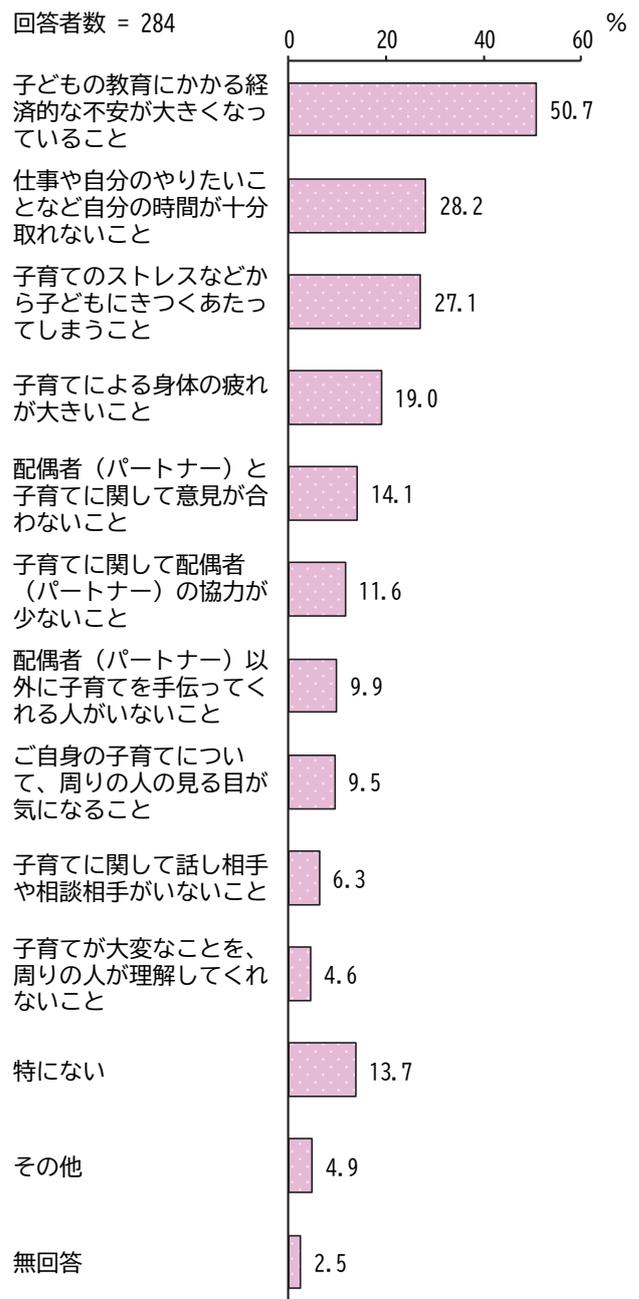
(1) 子どもに関すること

「子どもの教育に関すること」の割合が68.7%と高く、次いで「子どものしつけに関すること」の割合が50.0%、「子どもの友だちづきあいに関すること」の割合が49.6%となっています。



## (2) ご自身に関すること

「子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の割合が 50.7%と高く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が 28.2%、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」の割合が 27.1%となっています。



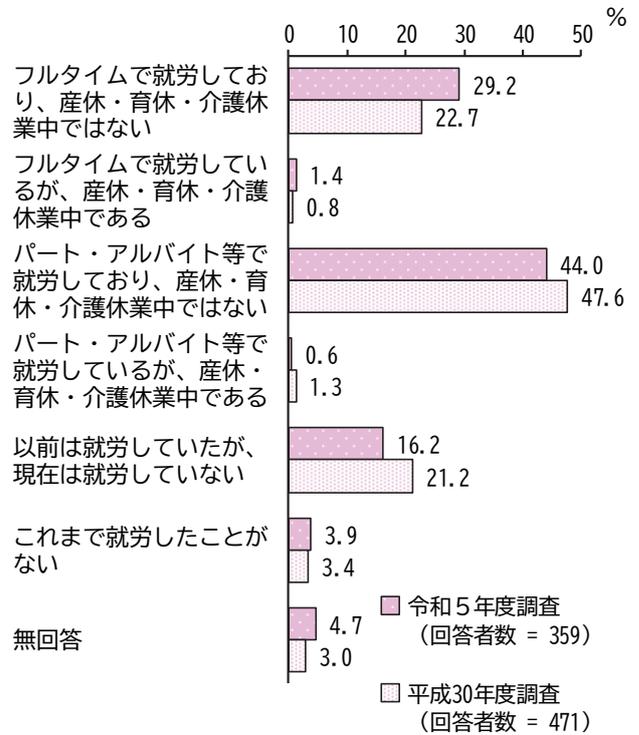
(5) お子さんの保護者の就労状況について

問 16 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）は下記のどれですか。

(1) 「お母さん」について（1つに○）

「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が44.0%と高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が29.2%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が16.2%となっています。

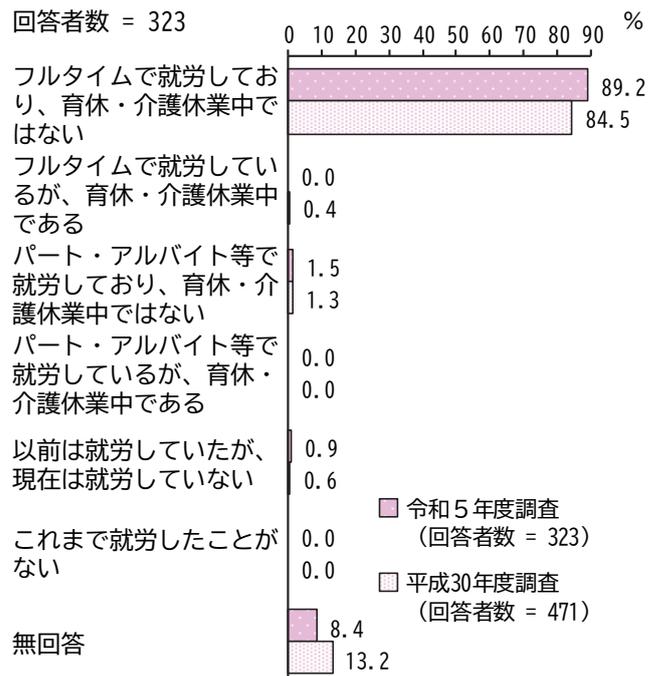
平成30年度調査と比較すると「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加している一方で、「パート・アルバイトで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合及び「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。



(2) 「お父さん」について（1つに○）

「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が89.2%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

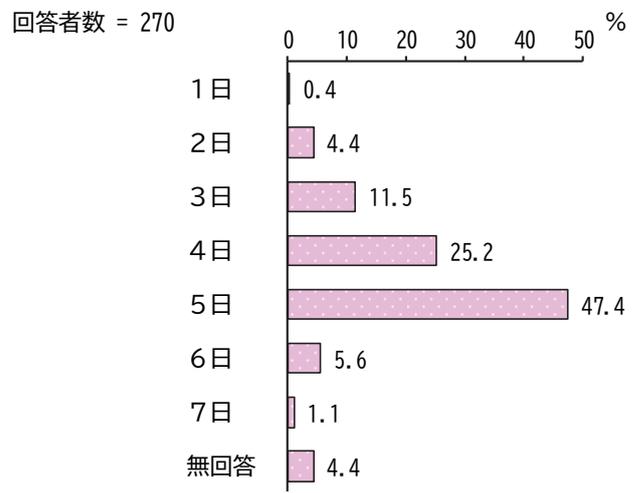


問16の(1)で「1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」～「4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」(就労している)に○をつけた「お母さん」にかがいます。

問16-(1)-1 1週当たりの「就労日数」、また1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。(数字を記入)

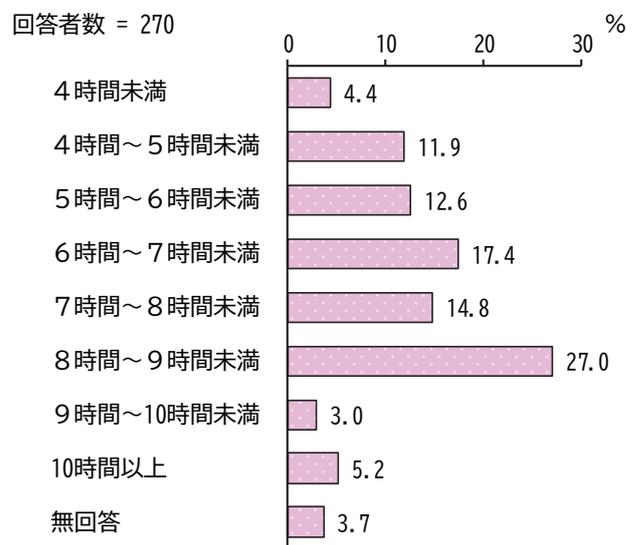
① 1週当たりの就労日数

「5日」の割合が47.4%と高く、次いで「4日」の割合が25.2%、「3日」の割合が11.5%となっています。



② 1日当たりの就労時間(残業時間を含む)

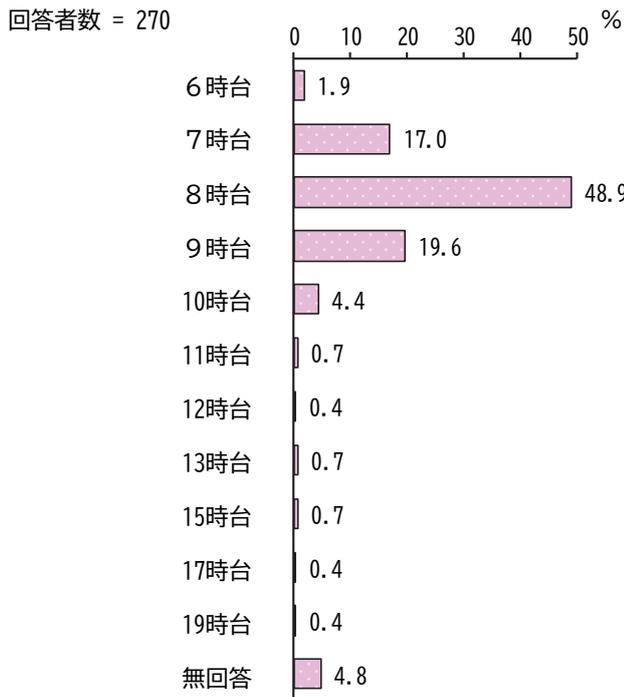
「8時間～9時間未満」の割合が27.0%と高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合が17.4%、「7時間～8時間未満」の割合が14.8%となっています。



問 16－（1）－2 家を出る時刻と帰宅の時刻は何時頃かをお答えください。  
 （数字を記入。必ず「8時頃～18時頃」のように、24時間制でお答えください。）

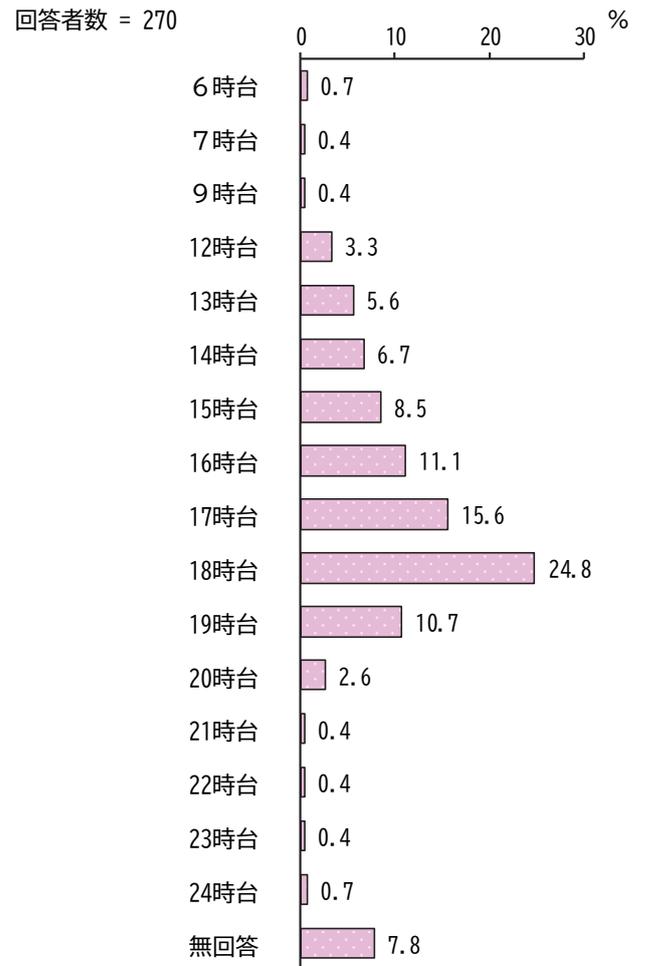
① 家を出る時刻

「8時台」の割合が48.9%と高く、次いで「9時台」の割合が19.6%、「7時台」の割合が17.0%となっています。



② 帰宅時刻

「18時台」の割合が24.8%と高く、次いで「17時台」の割合が15.6%、「16時台」の割合が11.1%となっています。

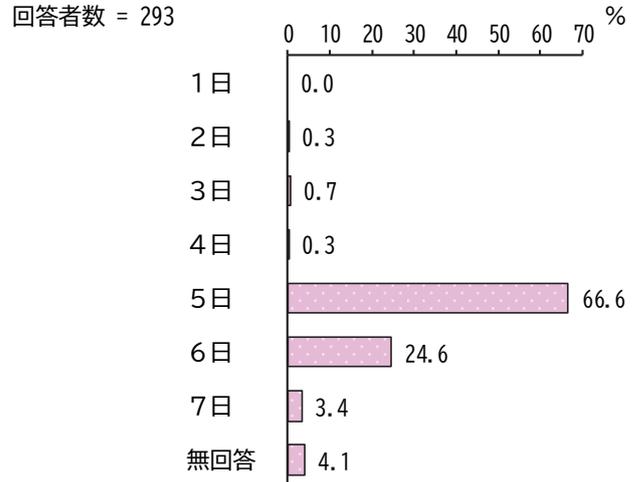


問16の(2)で「1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」～「4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」(就労している)に○をつけた「お父さん」にかがいます。

問16-(2)-1 1週当たりの「就労日数」、また1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。(数字を記入)

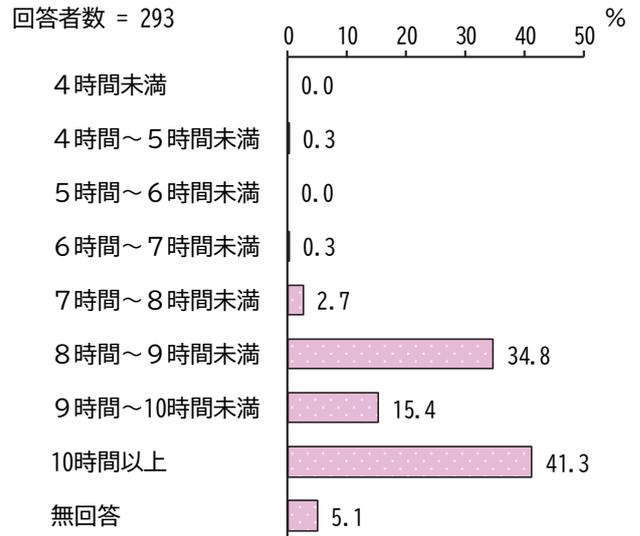
① 1週当たりの就労日数

「5日」の割合が66.6%と最も高く、次いで「6日」の割合が24.6%となっています。



② 1日当たりの就労時間(残業時間を含む)

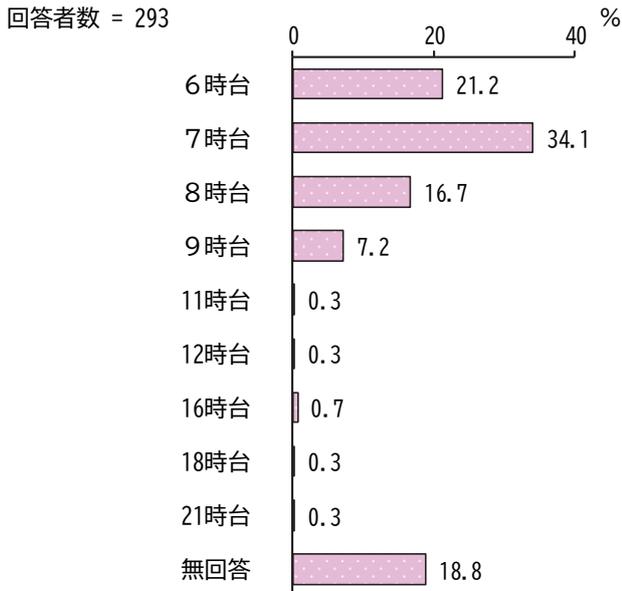
「10時間以上」の割合が41.3%と高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が34.8%、「9時間～10時間未満」の割合が15.4%となっています。



問 16－（2）－2 家を出る時刻と帰宅の時刻は何時頃かをお答えください。  
 （数字を記入。必ず「8時頃～18時頃」のように、24時間制でお答えください。）

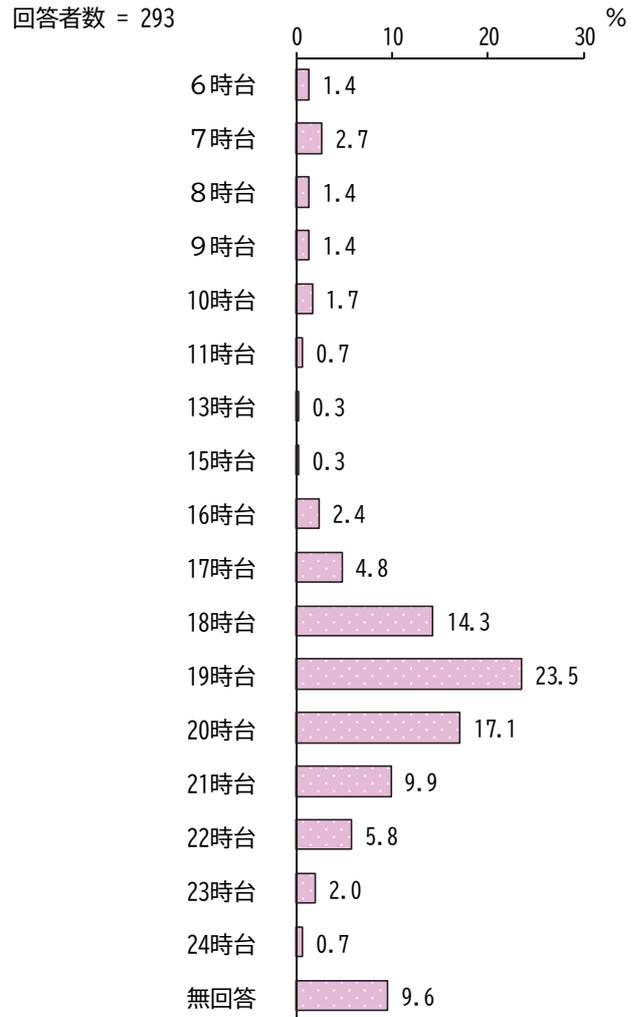
① 家を出る時刻

「7時台」の割合が34.1%と高く、次いで「6時台」の割合が21.2%、「8時台」の割合が16.7%となっています。



② 帰宅時刻

「19時台」の割合が23.5%と高く、次いで「20時台」の割合が17.1%、「18時台」の割合が14.3%となっています。

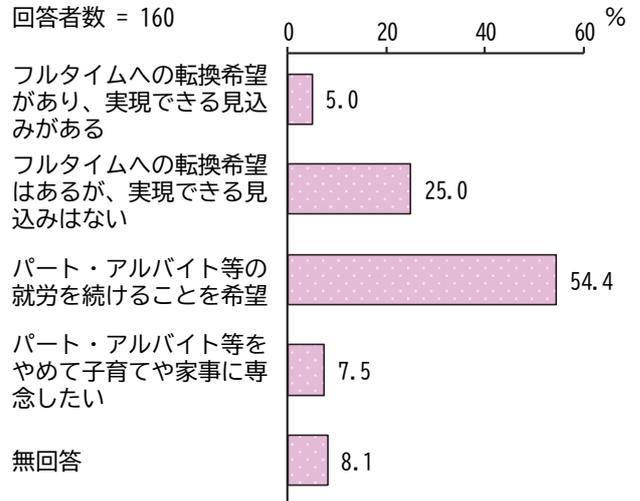


問16の(1)または(2)で「3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」または「4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」(パート・アルバイト等で就労)に○をつけた方にうかがいます。

問16-3 フルタイムへの転換希望はありますか。(1つに○)

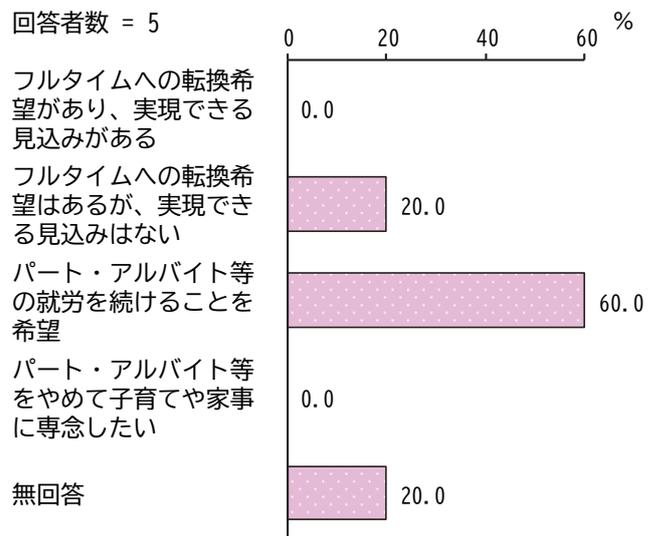
(1) お母さん

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が54.4%と高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が25.0%となっています。



(2) お父さん

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が3件(60.0%)となっています。「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が1件(20.0%)となっています。

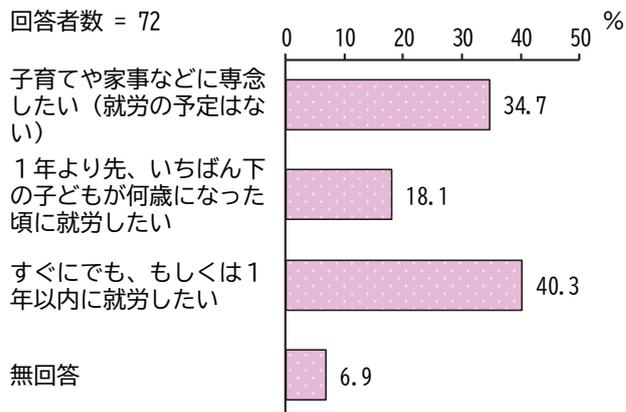


問16の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」(現在就労していない)、または「6. これまで就労したことがない」(就労したことがない)に○をつけた方にうかがいます。

問16-4 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する( )内には数字をご記入ください。

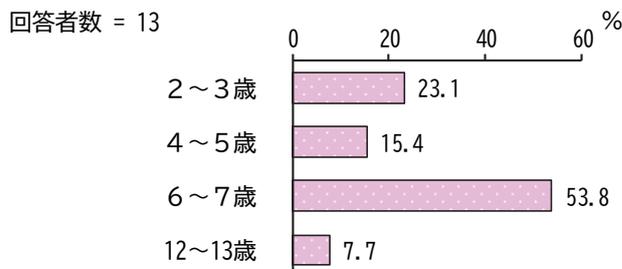
(1) お母さん

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が40.3%と高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が34.7%、「1年より先、いちばん下の子どもが何歳になった頃に就労したい」の割合が18.1%となっています。



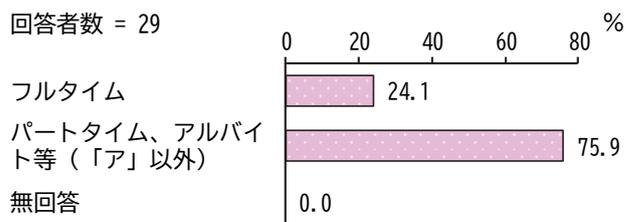
<一番下の子どもが何歳になった頃に就労したいか>

「6~7歳」の割合が53.8%と高く、次いで「2~3歳」の割合が23.1%、「4~5歳」の割合が15.4%となっています。



<希望する就労形態>

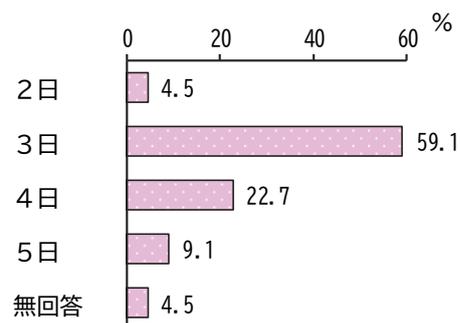
「フルタイム」の割合が24.1%、「パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)」の割合が75.9%となっています。



<パートタイム、アルバイト等で希望する週あたり就労日数>

「3日」の割合が 59.1%と高く、次いで「4日」の割合が 22.7%となっています。

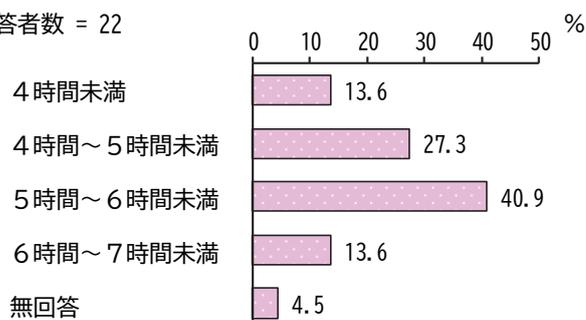
回答者数 = 22



<パートタイム、アルバイト等で希望する1日あたり就労時間>

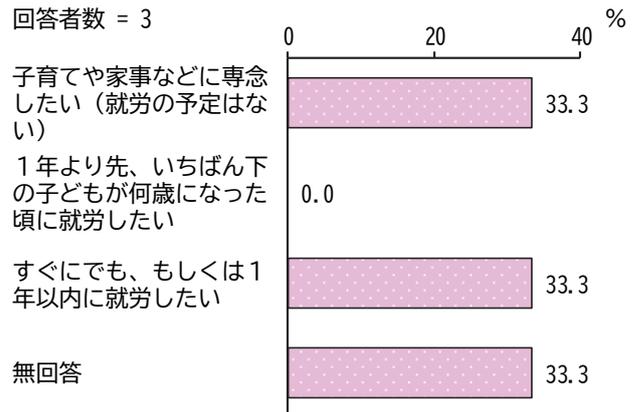
「5時間～6時間未満」の割合が 40.9%と高く、次いで「4時間～5時間未満」の割合が 27.3%、「4時間未満」、「6時間～7時間未満」の割合が 13.6%となっています。

回答者数 = 22



## (2) お父さん

「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」がそれぞれ1件(33.3%)となっています。

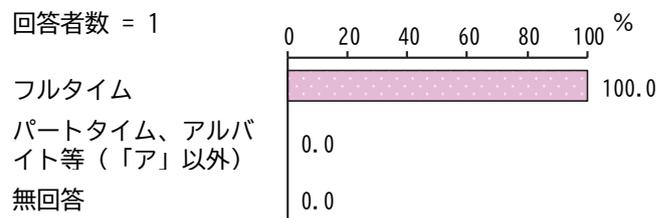


### <一番下の子どもが何歳になった頃に就労したいか>

有効回答がありませんでした。

### <希望する就労形態>

「フルタイム」が1件(100%)、「パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)」が0件となっています。



### <パートタイム、アルバイト等で希望する週あたり就労日数>

有効回答がありませんでした。

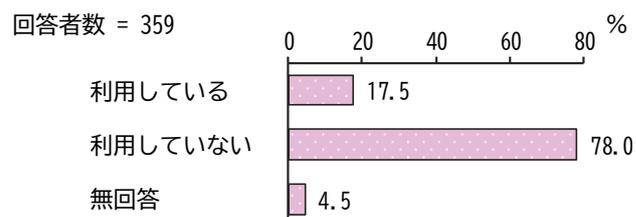
### <パートタイム、アルバイト等で希望する1日あたり就労時間>

有効回答がありませんでした。

## (6) お子さんの「学童クラブ」の利用等について

問 17 お子さんは現在、学童クラブを利用していますか。(1つに○)

「利用している」の割合が 17.5%、「利用していない」の割合が 78.0%となっています。



### 【子どもの年齢別】

全ての区分で「利用していない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	利用している	利用していない	無回答
全 体	359	17.5	78.0	4.5
1～3年生	146	33.6	62.3	4.1
4～6年生	193	5.2	90.2	4.7

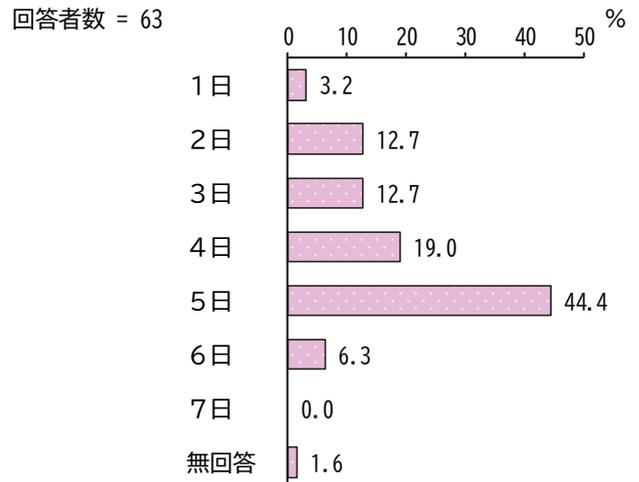
※クロス集計のため、有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。

問 17-1、問 17-2は、問 17で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいます。

問 17-1 現在、平日に学童クラブを、どのくらい利用していますか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、具体的な数字でご記入ください。  
時間は、必ず「9時～18時」のように24時間制でご記入ください。曜日等により時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

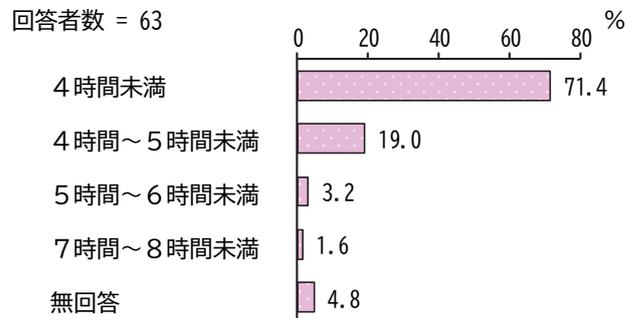
① 1週当たりの利用日数

「5日」の割合が44.4%と最も高く、次いで「4日」の割合が19.0%、「2日」、「3日」の割合が12.7%となっています。



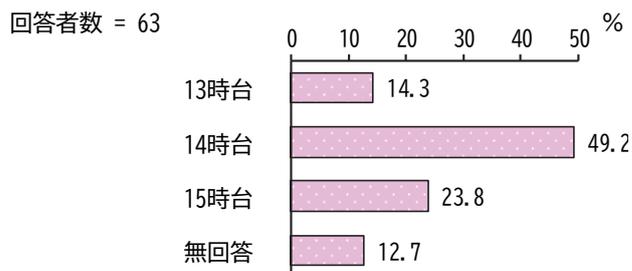
② 1日当たりの利用時間

「4時間未満」の割合が71.4%と高く、次いで「4時間～5時間未満」の割合が19.0%となっています。



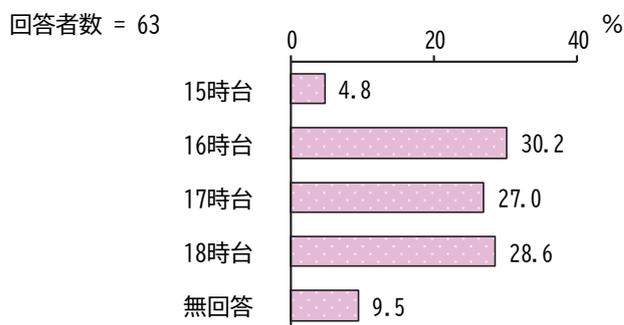
### ③ 利用開始時間

「14 時台」の割合が 49.2%と高く、次いで「15 時台」の割合が 23.8%、「13 時台」の割合が 14.3%となっています。



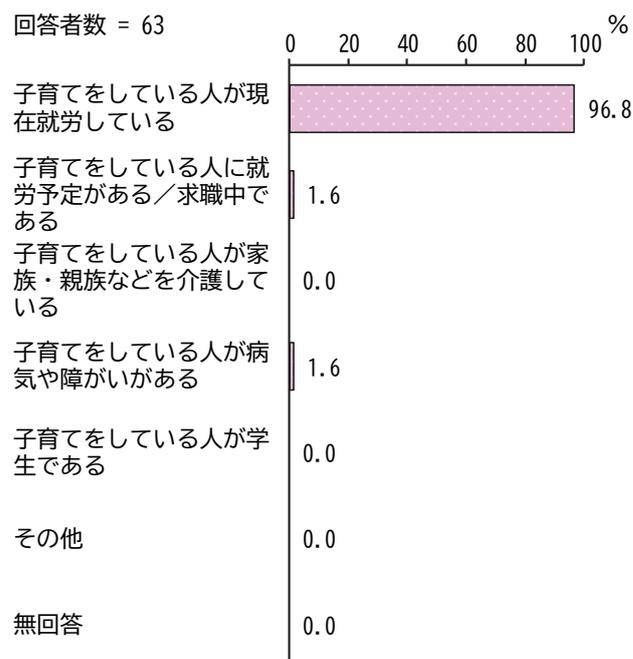
### ④ 利用終了時間

「16 時台」の割合が 30.2%と高く、次いで「18 時台」の割合が 28.6%、「17 時台」の割合が 27.0%となっています。



問 17-2 平日に学童クラブを利用されている理由についてうかがいます。主な理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

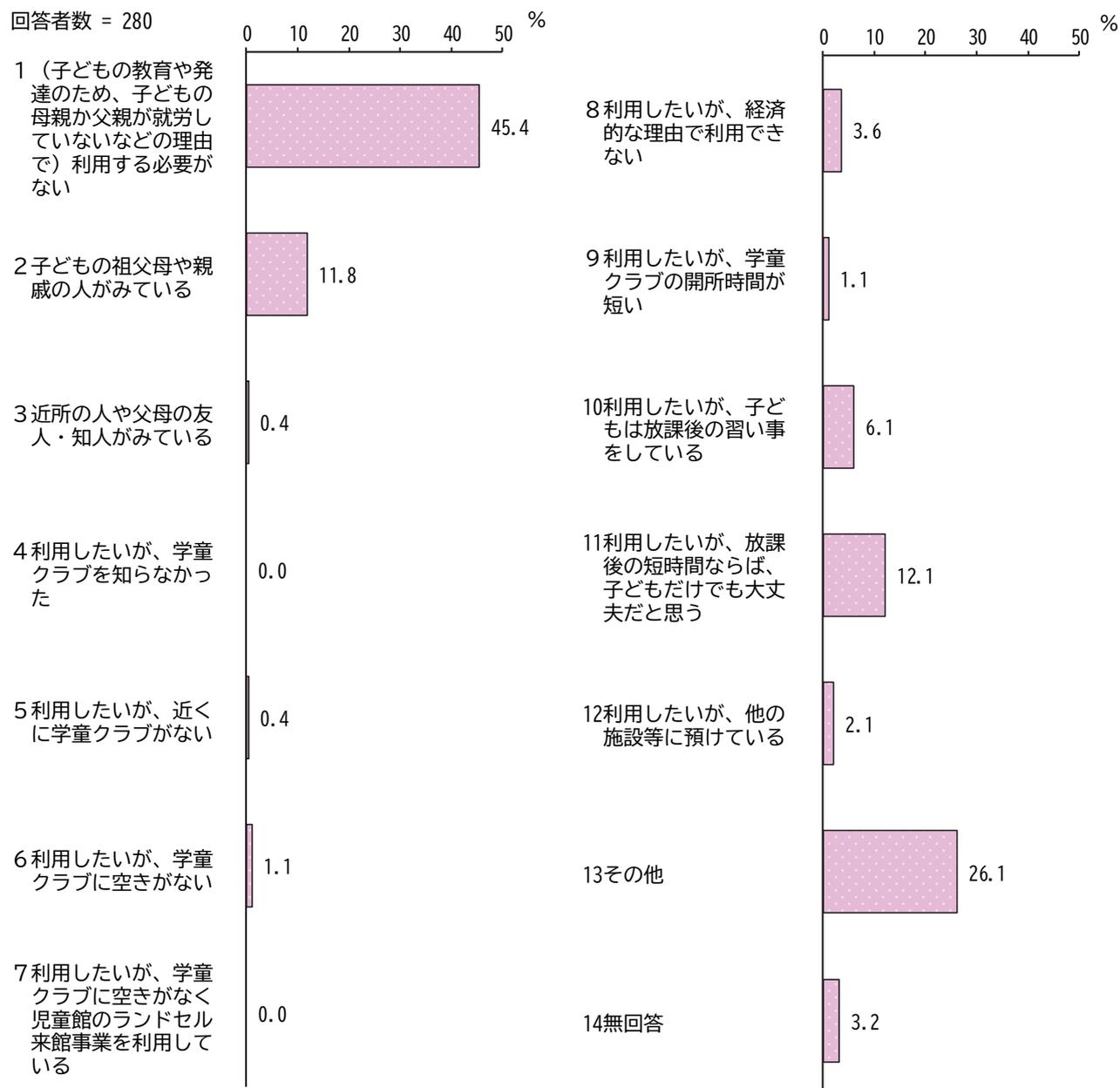
「子育てをしている人が現在就労している」の割合が 96.8%と最も高くなっています。



問 17-3、問 17-4は、問 17で「2. 利用していない」に○をつけた方にかがいます。

**問 17-3 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)**

「1 (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」の割合が45.4%と高く、次いで「11 利用したいが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思う」の割合が12.1%、「2子どもの祖父母や親戚の人がみている」の割合が11.8%となっています。



【家庭類型別】

家庭類型別では、ひとり親家庭で「2子どもの祖父母や親戚の人がみている」の割合が高くなっています。また、専業主婦・主夫で「1（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない」の割合が高くなっています。

単位：%

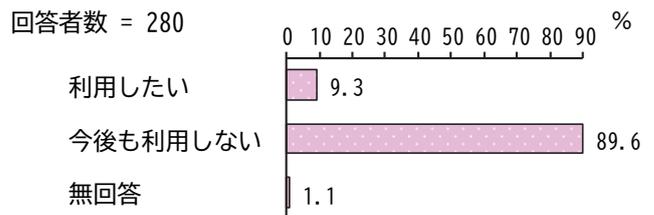
区分	回答者数（件）	1（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない	2子どもの祖父母や親戚の人がみている	3近所の人や父母の友人・知人がみている	4利用したいが、学童クラブを知らなかった	5利用したいが、近くに学童クラブがない	6利用したいが、学童クラブに空きがない	7利用したいが、学童クラブに空きがなく児童館のランドセル来館事業を利用している
全体	280	45.4	11.8	0.4	-	0.4	1.1	-
ひとり親家庭	28	25.0	32.1	-	-	-	-	-
共働き家庭	170	33.5	10.6	-	-	0.6	0.6	-
専業主婦・主夫	57	84.2	1.8	-	-	-	1.8	-
その他	25	60.0	20.0	4.0	-	-	4.0	-

区分	8利用したいが、経済的な理由で利用できない	9利用したいが、学童クラブの開所時間が短い	10利用したいが、子どもは放課後の習い事をしている	11利用したいが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思う	12利用したいが、他の施設等に預けている	13その他	14無回答
全体	3.6	1.1	6.1	12.1	2.1	26.1	3.2
ひとり親家庭	7.1	-	3.6	14.3	-	28.6	3.6
共働き家庭	3.5	1.8	6.5	14.1	2.9	34.7	4.7
専業主婦・主夫	1.8	-	1.8	3.5	-	10.5	-
その他	4.0	-	16.0	16.0	4.0	-	-

※クロス集計のため、有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。

問 17-4 今後、学童クラブを利用したいとお考えですか。(1つに○)

「利用したい」の割合が9.3%、「今後も利用しない」の割合が89.6%となっています。

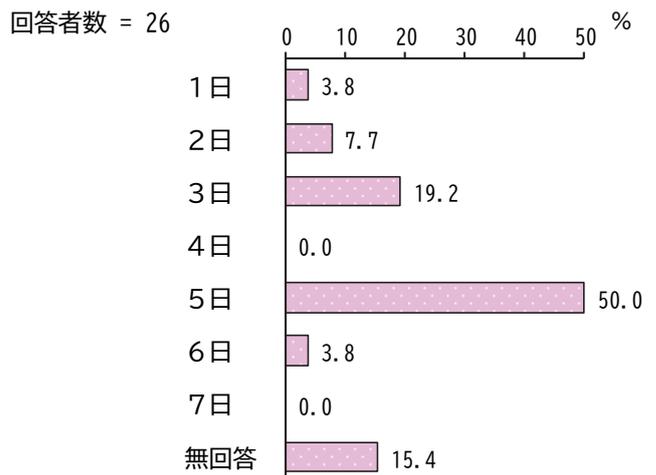


問 17-5、問 17-6は、問 17-4で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 17-5 希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず「9時～18時」のように24時間制でご記入ください。

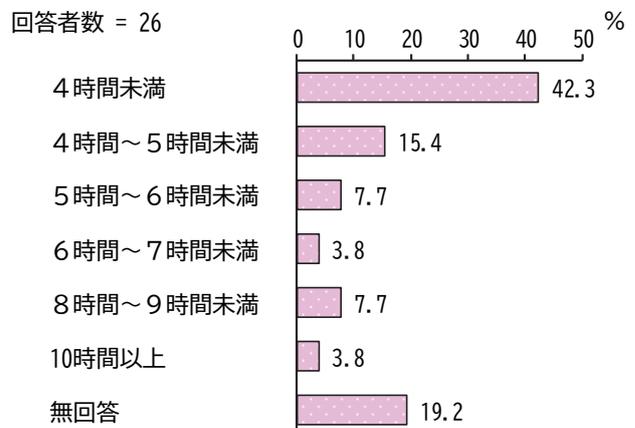
① 1週当たりの利用日数

「5日」の割合が50.0%と高く、次いで「3日」の割合が19.2%となっています。



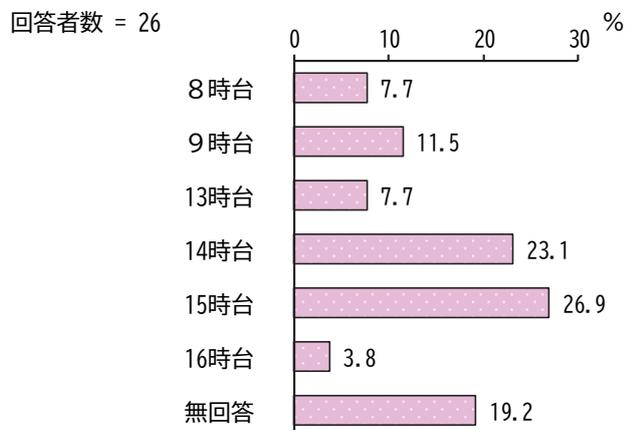
② 1日当たりの利用時間

「4時間未満」の割合が42.3%と高く、次いで「4時間～5時間未満」の割合が15.4%となっています。



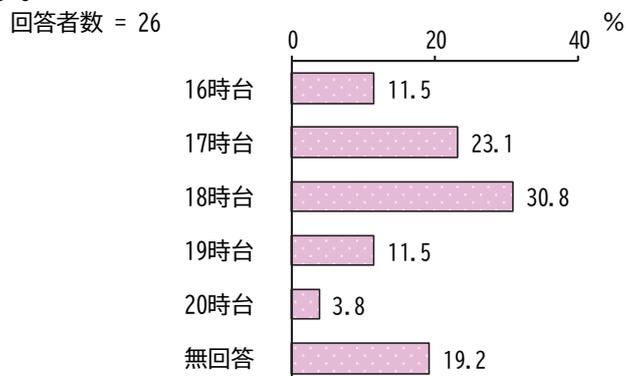
### ③ 利用開始時間

「15 時台」の割合が 26.9%と高く、次いで「14 時台」の割合が 23.1%、「9 時台」の割合が 11.5%となっています。



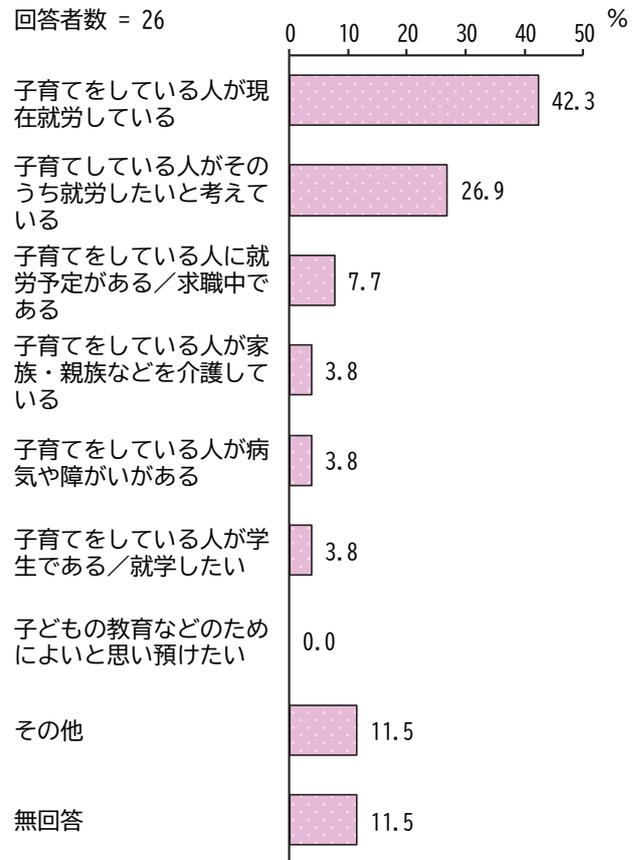
### ④ 利用終了時間

「18 時台」の割合が 30.8%と高く、次いで「17 時台」の割合が 23.1%、「16 時台」、「19 時台」の割合が 11.5%となっています。



問 17-6 学童クラブを現在は利用していないが、今後は利用したい理由についてうかがいます。主な理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「子育てをしている人が現在就労している」の割合が42.3%と高く、次いで「子育てをしている人がそのうち就労したいと考えている」の割合が26.9%となっています。



すべての方にかかっています。

問 18 土曜日や日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。(1つに○)  
 希望がある場合は、利用したい時間帯を、「9時～18時」のように24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が 83.0%  
 と最も高くなっています。

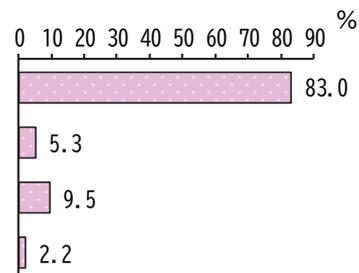
回答者数 = 359

利用する必要はない

ほぼ毎週利用したい

月に1～2回は利用したい

無回答



【子どもの年齢別】

全ての区分で「利用する必要はない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回は利用したい	無回答
全体	359	83.0	5.3	9.5	2.2
1～3年生	146	74.0	7.5	15.1	3.4
4～6年生	193	89.6	2.6	6.2	1.6

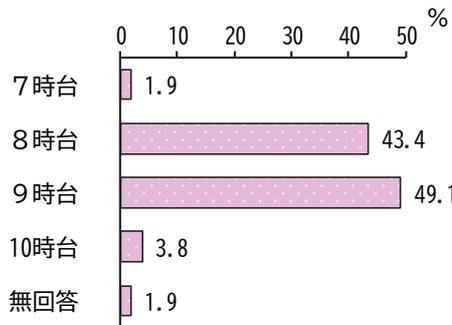
※クロス集計のため、有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。

<利用したい時間帯>

① 開始時間

「9時台」の割合が49.1%と高く、次いで「8時台」の割合が43.4%となっています。

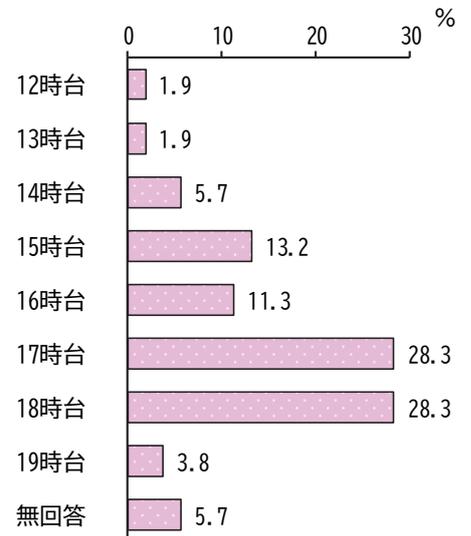
回答者数 = 53



② 終了時間

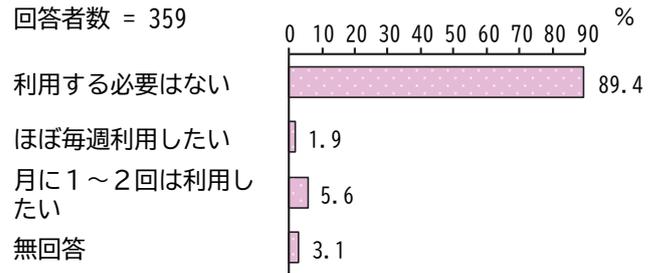
「17時台」、「18時台」の割合が28.3%と高く、次いで「15時台」の割合が13.2%となっています。

回答者数 = 53



## (2) 日曜・祝日

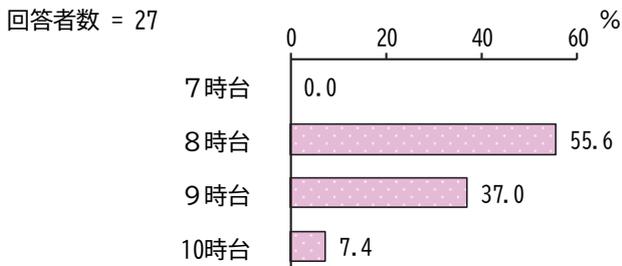
「利用する必要はない」の割合が 89.4%と最も高くなっています。



### <利用したい時間帯>

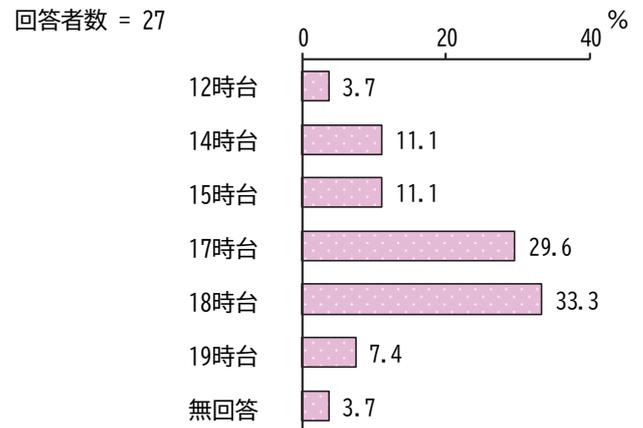
#### ① 開始時間

「8時台」の割合が 55.6%と高く、次いで「9時台」の割合が 37.0%となっています。



#### ② 終了時間

「18時台」の割合が 33.3%と高く、次いで「17時台」の割合が 29.6%、「14時台」、「15時台」の割合が 11.1%となっています。

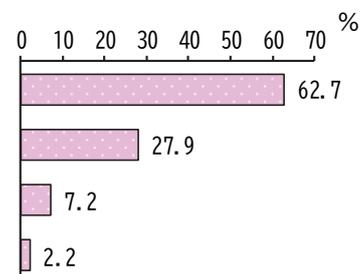


問19 お子さんの夏休み・冬休みなどの休業期間中の学童クラブの利用希望はありますか。(1つに○) また、利用したい時間帯を「9時～18時」のように24時間制でご記入ください。

「利用する必要はない」の割合が62.7%と高く、次いで「ほぼ毎週利用したい」の割合が27.9%となっています。

回答者数 = 359

利用する必要はない  
 ほぼ毎週利用したい  
 月に1～2回は利用したい  
 無回答

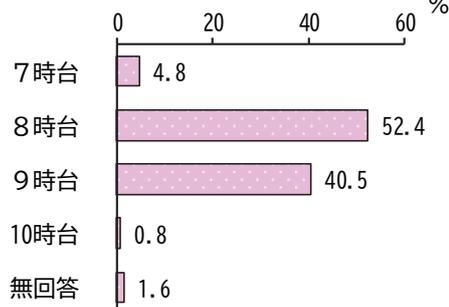


<利用したい時間帯>

① 開始時間

「8時台」の割合が52.4%と高く、次いで「9時台」の割合が40.5%となっています。

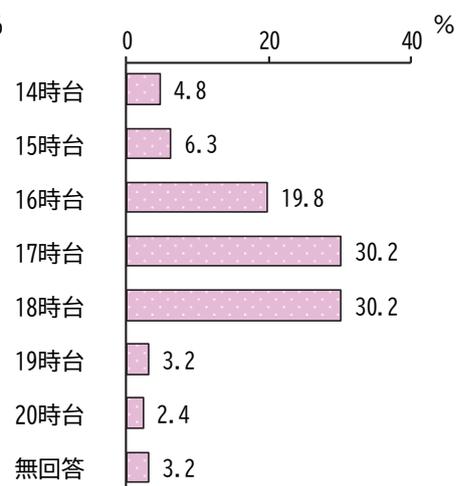
回答者数 = 126



② 終了時間

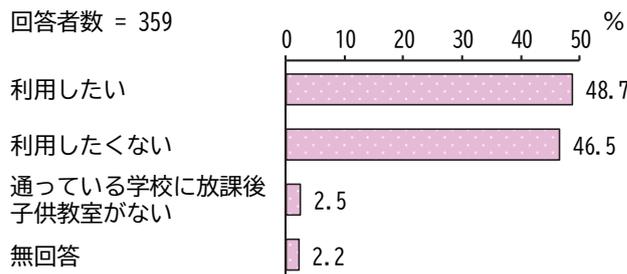
「17時台」、「18時台」の割合が30.2%と高く、次いで「16時台」の割合が19.8%となっています。

回答者数 = 126



問 20 学童クラブと同じような放課後の事業として「放課後子ども教室」がありますが、利用したいとお考えになりますか。(1つに○)

「利用したい」の割合が 48.7%と高く、次いで「利用したくない」の割合が 46.5%となっています。

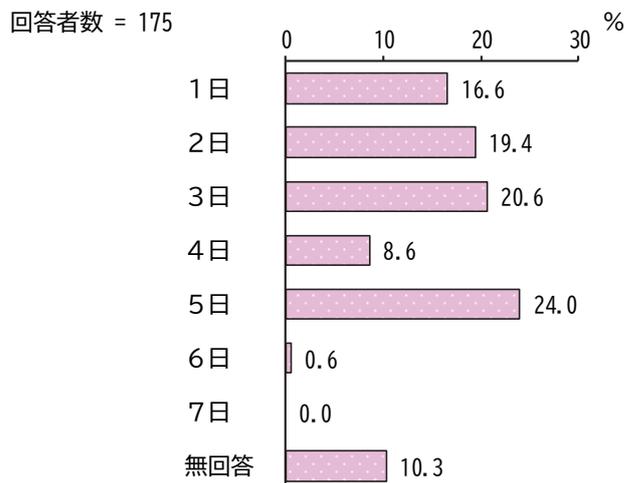


問 20 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 20-1 希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）かを、具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず「9時～18時」のように 24 時間制でご記入ください。

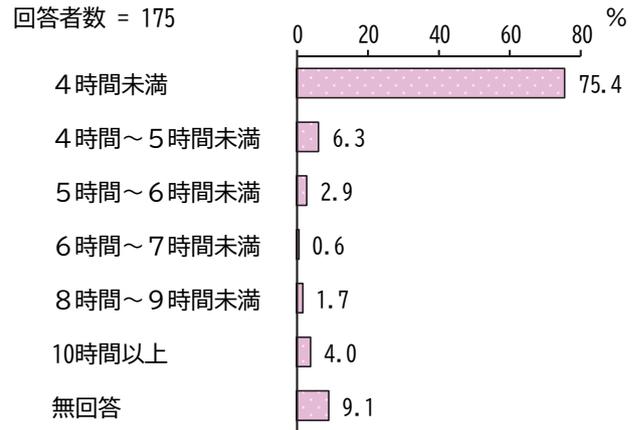
① 1 週当たりの利用日数

「5日」の割合が 24.0%と高く、次いで「3日」の割合が 20.6%、「2日」の割合が 19.4%となっています。



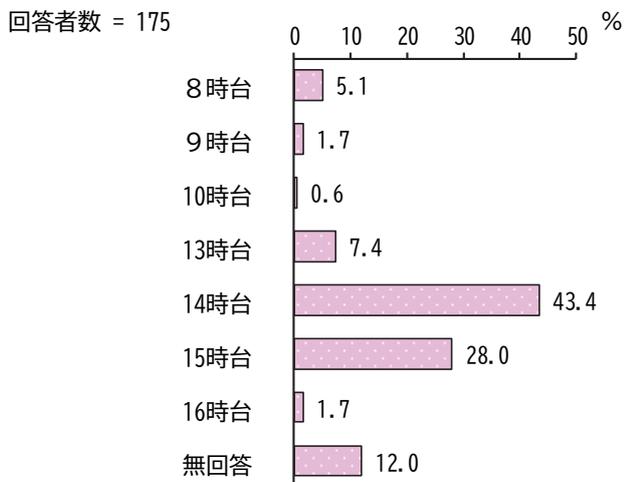
### ② 1日当たりの利用時間

「4時間未満」の割合が75.4%と高くなっています。



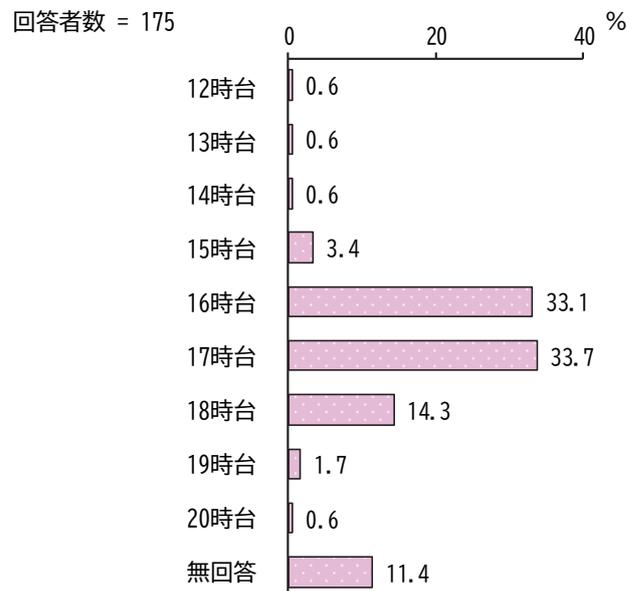
### ③ 利用開始時間

「14時台」の割合が43.4%と高く、次いで「15時台」の割合が28.0%となっています。



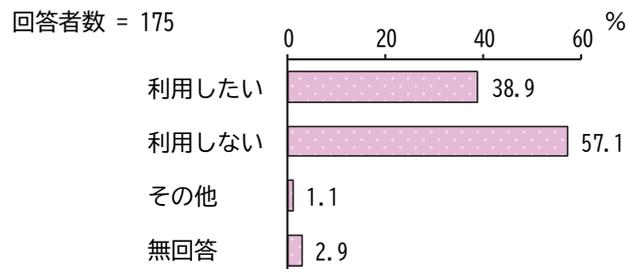
### ④ 利用終了時間

「17時台」の割合が33.7%と最も高く、次いで「16時台」の割合が33.1%、「18時台」の割合が14.3%となっています。



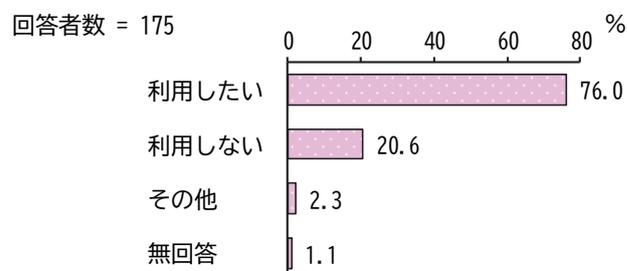
問 20-2 土曜日に、放課後子ども教室の利用希望はありますか。(1つに○)

「利用したい」の割合が 38.9%、「利用しない」の割合が 57.1%となっています。



問 20-3 夏休み・春休みなど学校休業日に、放課後子ども教室の希望はありますか。(1つに○)

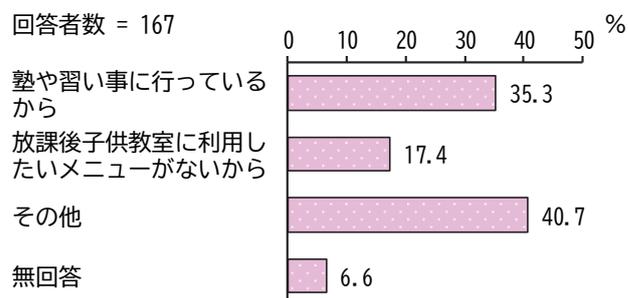
「利用したい」の割合が 76.0%、「利用しない」の割合が 20.6%となっています。



問 20 で「2. 利用したくない」に○をつけた方にうかがいます。

問 20-4 利用したくない理由を教えてください。(1つに○)

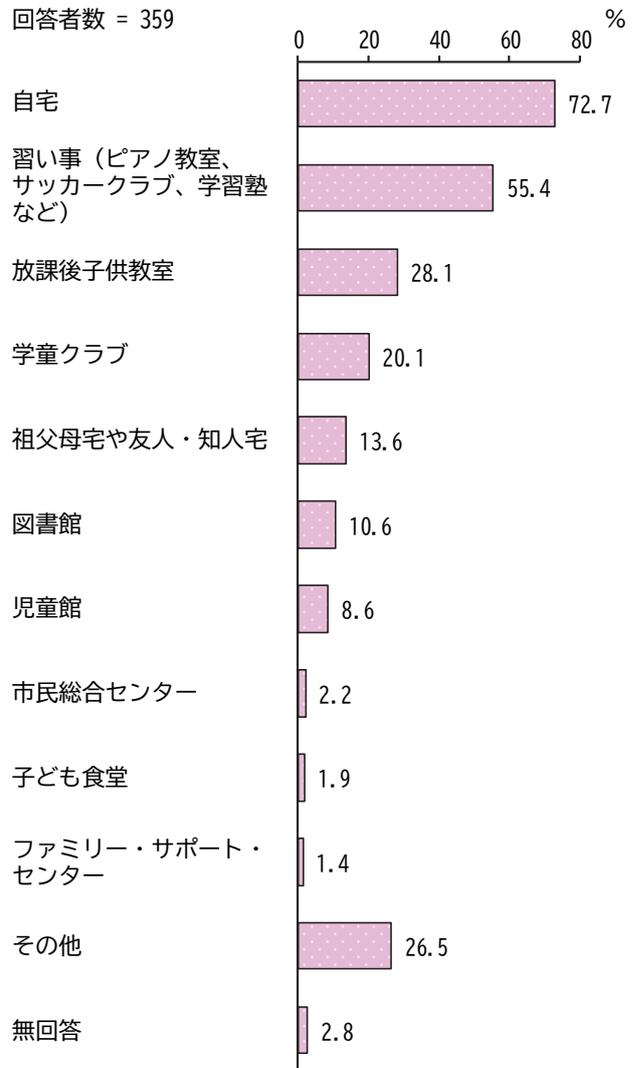
「塾や習い事に行っているから」の割合が 35.3%、「放課後子ども教室に利用したいメニューがないから」の割合が 17.4%となっています。



すべての方にうかがいます。

問 21 お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。  
 時間は必ず「18時」のように24時間制でご記入ください。

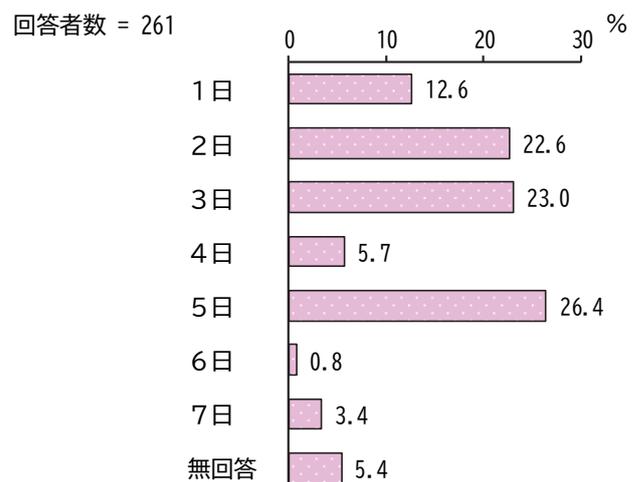
「自宅」の割合が72.7%と高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が55.4%、「放課後子ども教室」の割合が28.1%となっています。



<放課後を過ごさせたい日数>

1. 自宅

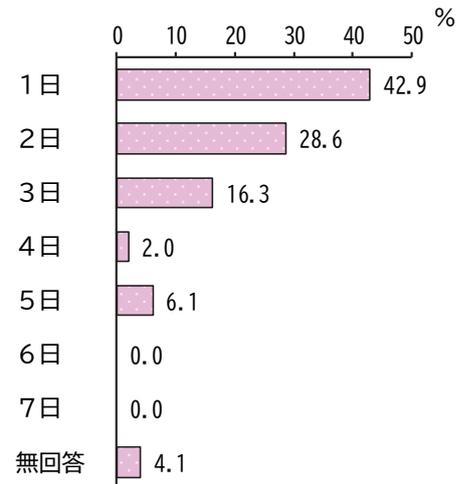
「5日」の割合が26.4%と高く、次いで「3日」の割合が23.0%、「2日」の割合が22.6%となっています。



## 2. 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が42.9%と高く、次いで「2日」の割合が28.6%、「3日」の割合が16.3%となっています。

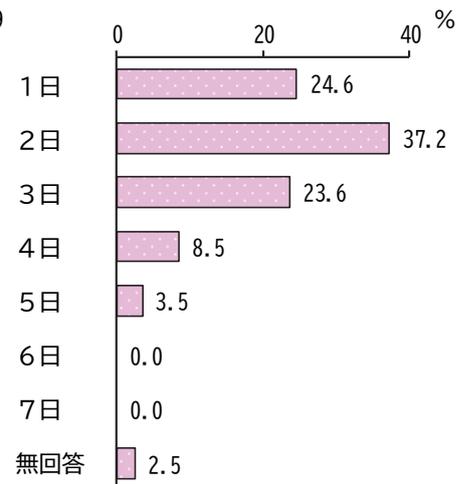
回答者数 = 49



## 3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

「2日」の割合が37.2%と高く、次いで「1日」の割合が24.6%、「3日」の割合が23.6%となっています。

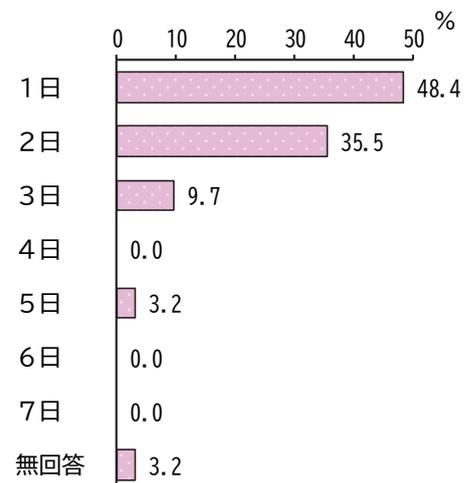
回答者数 = 199



## 4. 児童館

「1日」の割合が48.4%と高く、次いで「2日」の割合が35.5%となっています。

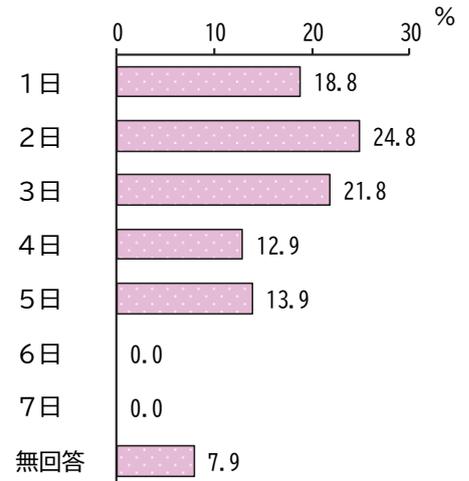
回答者数 = 31



## 5. 放課後子ども教室

「2日」の割合が24.8%と高く、次いで「3日」の割合が21.8%、「1日」の割合が18.8%となっています。

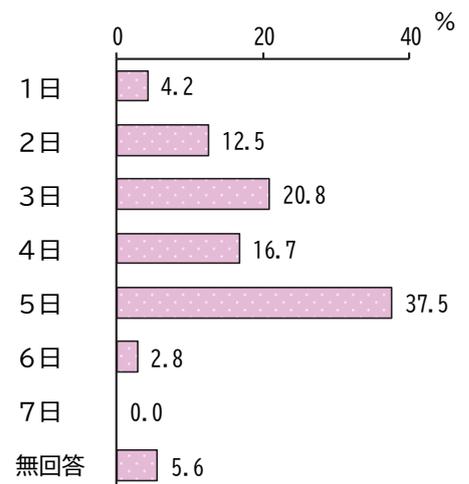
回答者数 = 101



## 6. 学童クラブ

「5日」の割合が37.5%と高く、次いで「3日」の割合が20.8%、「4日」の割合が16.7%となっています。

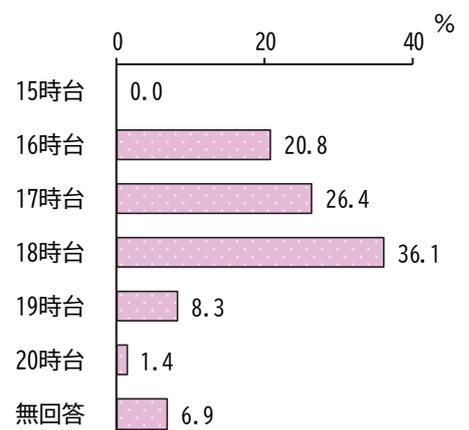
回答者数 = 72



### ◆下校時から何時まで学童クラブで過ごさせたいか

「18時台」の割合が36.1%と高く、次いで「17時台」の割合が26.4%、「16時台」の割合が20.8%となっています。

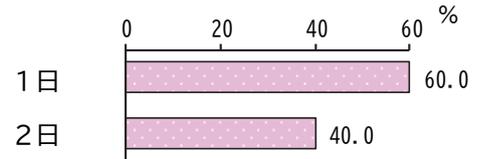
回答者数 = 72



### 7. ファミリー・サポート・センター

「1日」が3件(60.0%)となっています。  
「2日」が2件(40.0%)となっています。

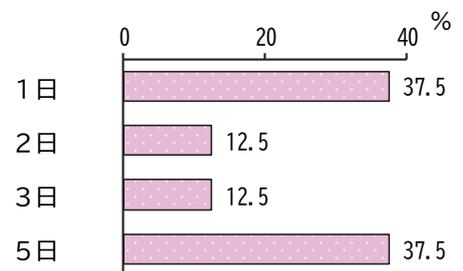
回答者数 = 5



### 8. 市民総合センター

「1日」、「5日」がそれぞれ3件(37.5%)  
となっています。「2日」、「3日」がそれぞれ  
1件(12.5%)となっています。

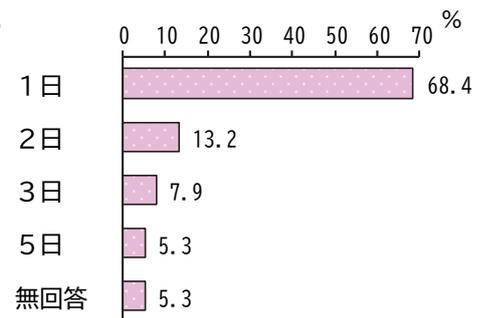
回答者数 = 8



### 9. 図書館

「1日」の割合が68.4%と最も高く、次いで  
「2日」の割合が13.2%となっています。

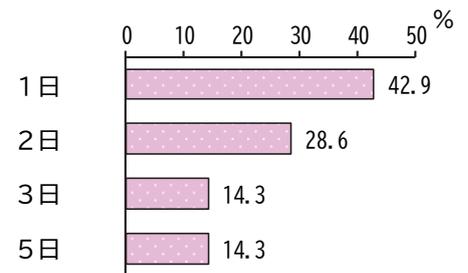
回答者数 = 38



## 10. 子ども食堂

「1日」が3件(42.9%)となっています。  
「2日」が2件(28.6%)、「3日」、「5日」  
がそれぞれ1件(14.3%)となっています。

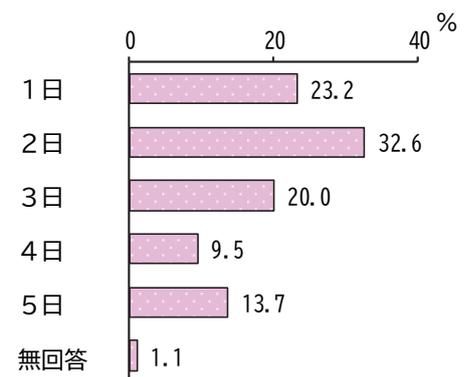
回答者数 = 7



## 11. その他 (公民館、公園など)

「2日」の割合が32.6%と高く、次いで  
「1日」の割合が23.2%、「3日」の割合が  
20.0%となっています。

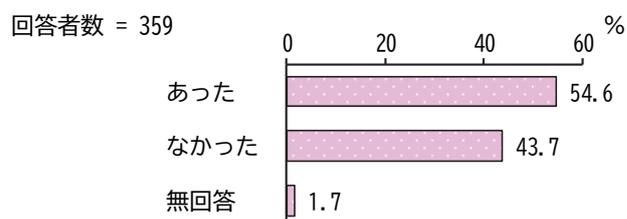
回答者数 = 95



## (7) お子さんの病気の際の対応について

問 22 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだり、学童クラブなどの預かりサービスを利用できなかったりしたことはありましたか。(1つに○)

「あった」の割合が 54.6%、「なかった」の割合が 43.7%となっています。



### 【子どもの年齢別】

子どもの年齢別で見ると、1～3年生で「あった」の割合が高くなっています。

単位：%

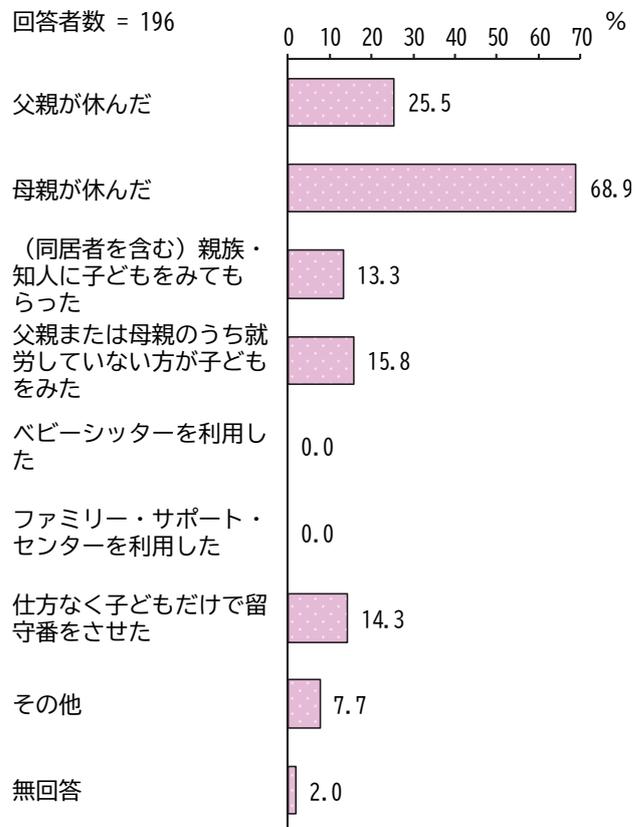
区分	回答者数(件)	あった	なかった	無回答
全体	359	54.6	43.7	1.7
1～3年生	146	62.3	36.3	1.4
4～6年生	193	51.3	47.7	1.0

※クロス集計のため、有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。

問22で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問22-1 お子さんが病気やケガの際に、この1年間で行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数を数字でご記入ください。

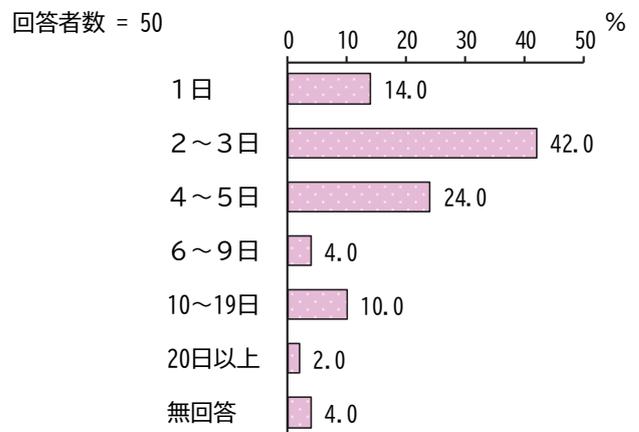
「母親が休んだ」の割合が68.9%と高く、次いで「父親が休んだ」の割合が25.5%、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が15.8%となっています。



### <1年当たりの日数>

#### ア. 父親が休んだ

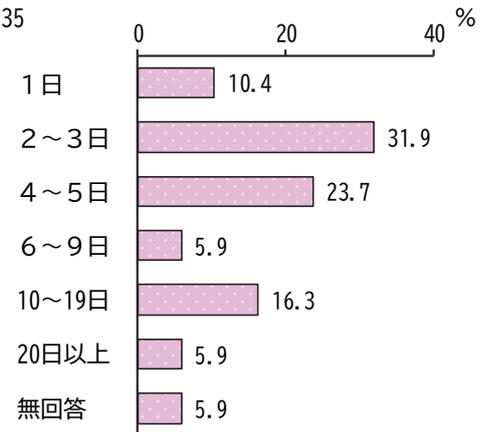
「2～3日」の割合が42.0%と高く、次いで「4～5日」の割合が24.0%、「1日」の割合が14.0%となっています。



### イ. 母親が休んだ

「2～3日」の割合が31.9%と高く、次いで「4～5日」の割合が23.7%、「10～19日」の割合が16.3%となっています。

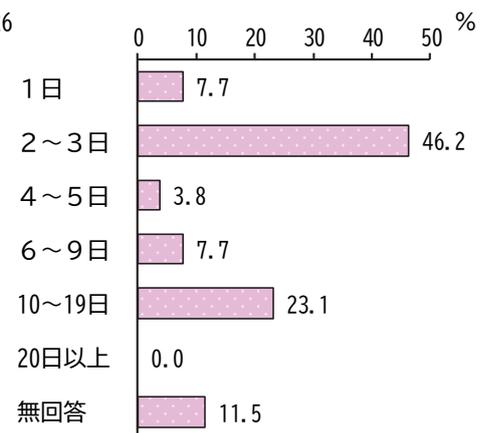
回答者数 = 135



### ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった

「2～3日」の割合が46.2%と高く、次いで「10～19日」の割合が23.1%となっています。

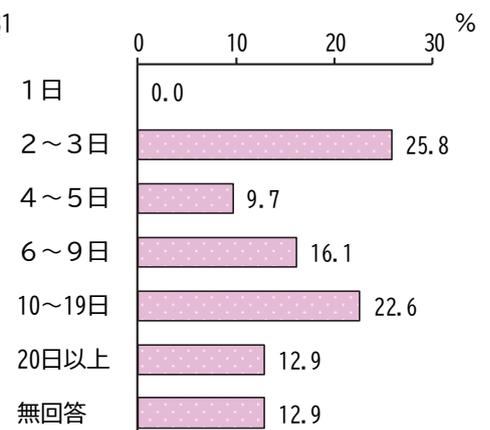
回答者数 = 26



### エ. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた

「2～3日」の割合が25.8%と高く、次いで「10～19日」の割合が22.6%、「6～9日」の割合が16.1%となっています。

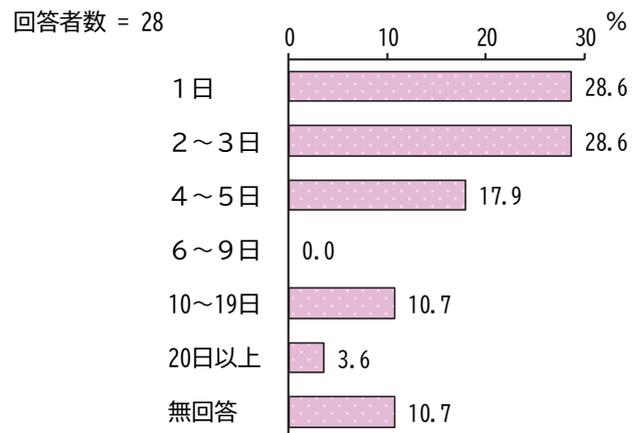
回答者数 = 31



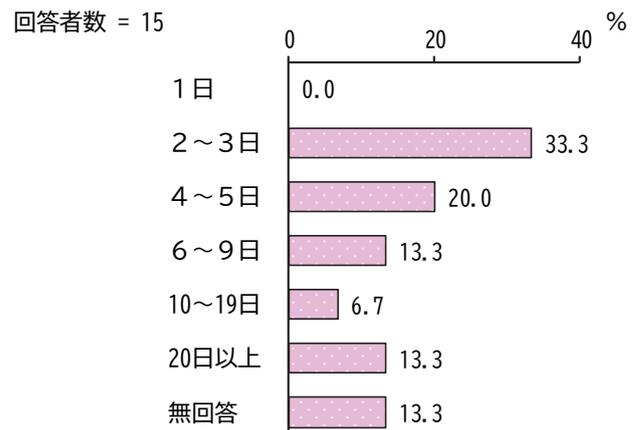
オ. ベビーシッターを利用した  
有効回答がありませんでした。

カ. ファミリー・サポート・センターを利用した  
有効回答がありませんでした。

キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた  
「1日」、「2～3日」の割合が28.6%と高く、次いで「4～5日」の割合が17.9%となっています。



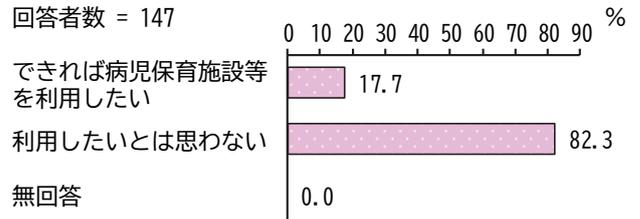
ク. その他  
「2～3日」の割合が33.3%と高く、次いで「4～5日」の割合が20.0%、「6～9日」、「20日以上」の割合が13.3%となっています。



問 22-1 で「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

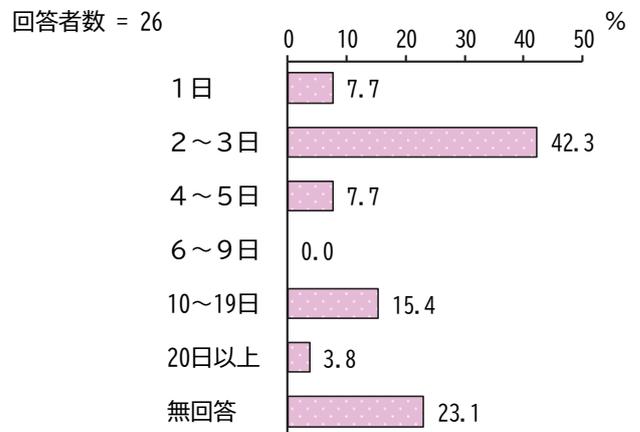
問 22-2 その際、「できれば病児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数について数字でご記入ください。

「できれば病児保育施設等を利用したい」の割合が17.7%、「利用したいとは思わない」の割合が82.3%となっています。



<できれば病児保育施設等を利用したい 年間の日数>

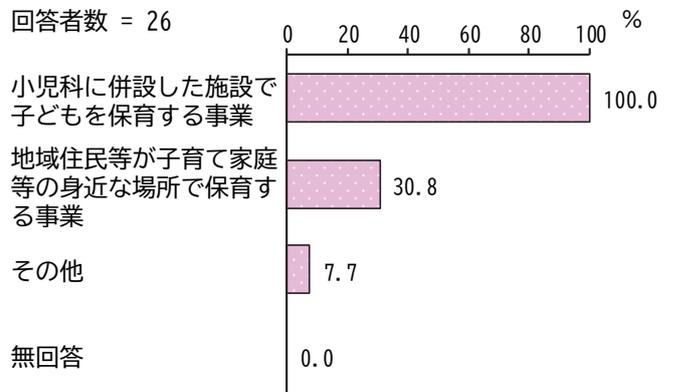
「2～3日」の割合が42.3%と高く、次いで「10～19日」の割合が15.4%となっています。



問 22-2 で「1. できれば病児保育施設等を利用したい」を選択した方にうかがいます。

問 22-3 上記の目的で子どもを預ける場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

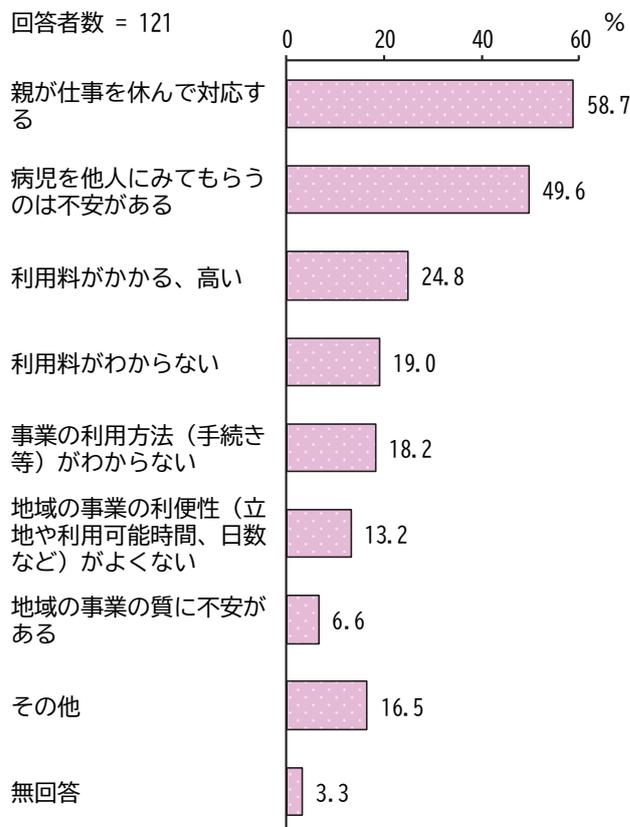
「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が100.0%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」の割合が30.8%となっています。



問 22-2 で（病児保育施設等を）「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問 22-4 そう思われる理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

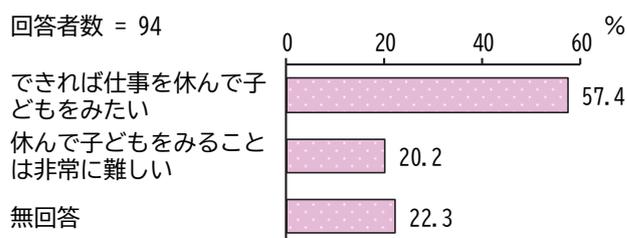
「親が仕事を休んで対応する」の割合が 58.7%と高く、次いで「病児を他人にみてもらうのは不安がある」の割合が 49.6%、「利用料がかかる、高い」の割合が 24.8%となっています。



問 22-1 で「ウ.（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」～「ク. その他」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問 22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、「ウ」～「ク」の日数のうち仕事を休んで子どもをみたかった日数について数字でご記入ください。

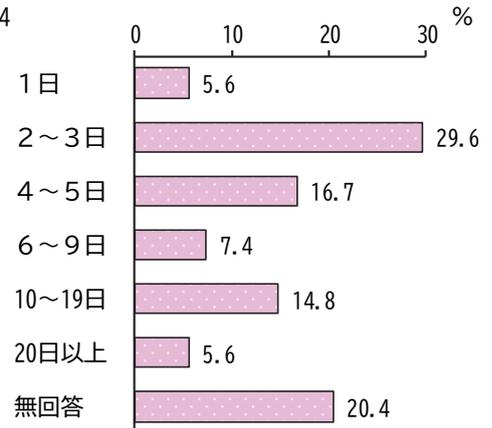
「できれば仕事を休んで子どもをみたい」の割合が 57.4%、「休んで子どもをみることは非常に難しい」の割合が 20.2%となっています。



<できれば仕事を休んで子どもをみたい 年間の日数>

「2～3日」の割合が29.6%と高く、次いで「4～5日」の割合が16.7%、「10～19日」の割合が14.8%となっています。

回答者数 = 54



問22-5で「2. 休んで子どもをみることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問22-6 そう思われる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「子どもの看護を理由に休みが取れない」、「休暇日数が足りないので休めない」の割合がそれぞれ31.6%と高くなっています。

回答者数 = 19

- 子どもの看護を理由に休みが取れない
- 休暇日数が足りないので休めない
- 自営業なので休めない
- その他
- 無回答



(8) お子さんの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

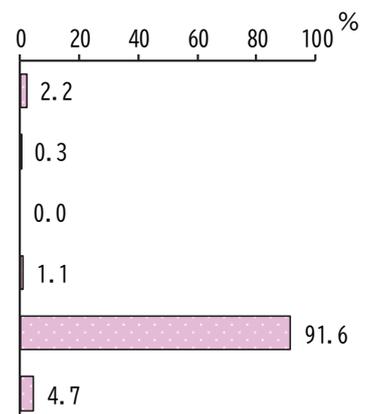
すべての方にうかがいます。

問23 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用・親の通院・不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)を数字でご記入ください。

「利用していない」の割合が91.6%と最も高くなっています。

回答者数 = 359

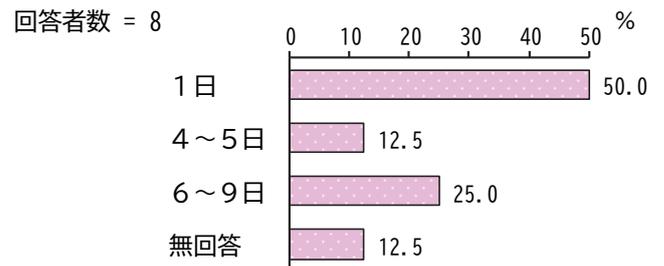
- ファミリー・サポート・センター
- ベビーシッター
- 夜間養護等事業：トワイライトステイ
- その他
- 利用していない
- 無回答



<年間の日数>

1. ファミリー・サポート・センター

「1日」が4件(50.0%)となっています。  
「6～9日」が2件(25.0%)、「4～5日」  
が1件(12.5%)となっています。

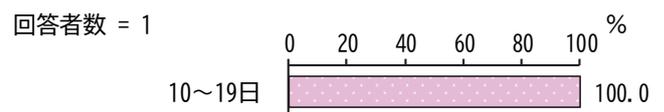


2. 夜間養護等事業：トワイライトステイ

有効回答がありませんでした。

3. ベビーシッター

「10～19日」が1件(100%)となっ  
ています。



4. その他

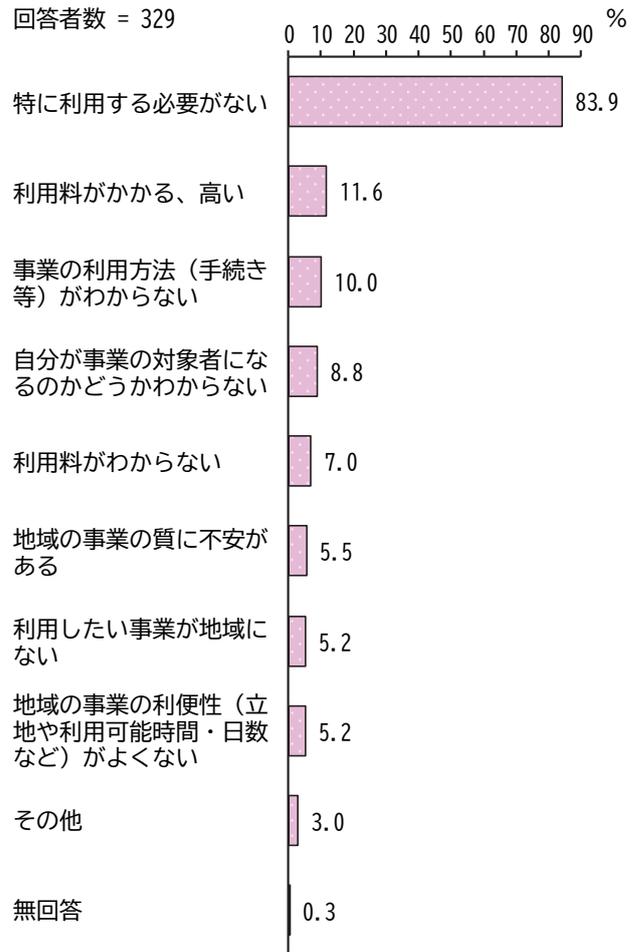
「4～5日」、「6～9日」、「10～19日」、  
「20日以上」がそれぞれ1件(25.0%)とな  
っています。



問23で「5. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問23-1 現在利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

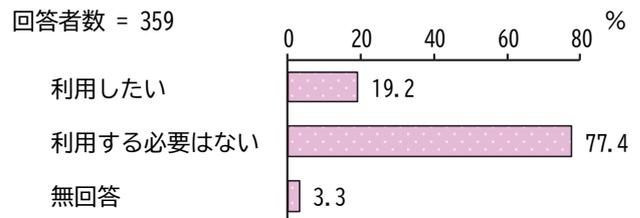
「特に利用する必要がない」の割合が83.9%と最も高く、次いで「利用料がかかる、高い」の割合が11.6%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が10.0%となっています。



すべての方にうかがいます。

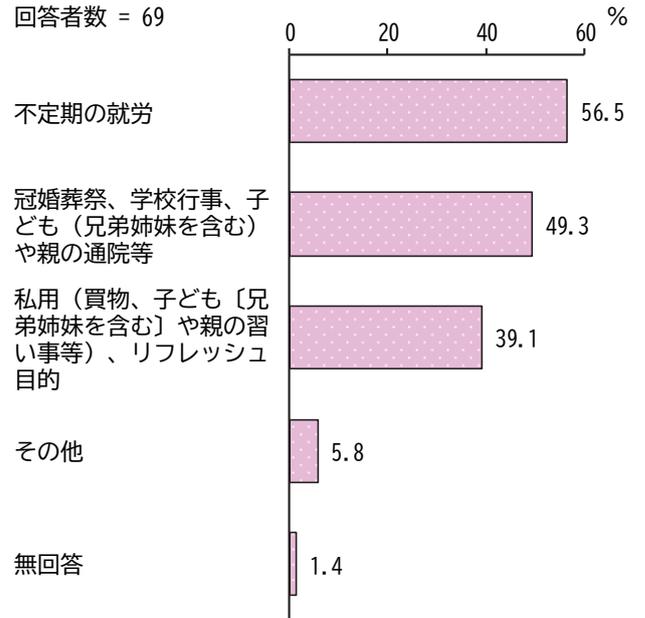
問24 お子さんについて、私用・親の通院・不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号1つに○をつけ、「利用したい」場合は必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください）。

「利用したい」の割合が19.2%、「利用する必要はない」の割合が77.4%となっています。



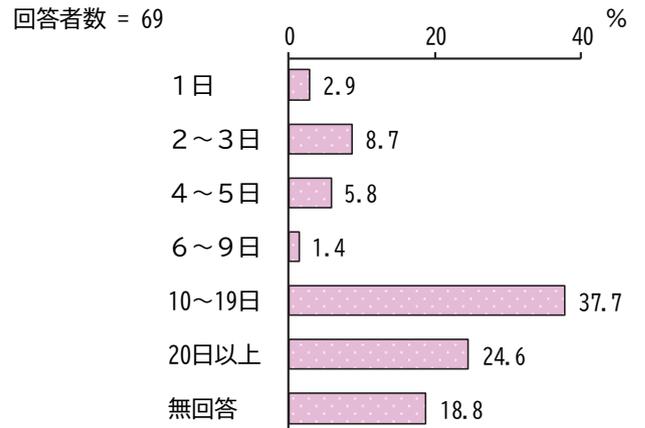
<利用目的>

「不定期の就労」の割合が56.5%と高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が49.3%、「私用（買物、子ども〔兄弟姉妹を含む〕や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が39.1%となっています。



<利用したい 年間の日数>

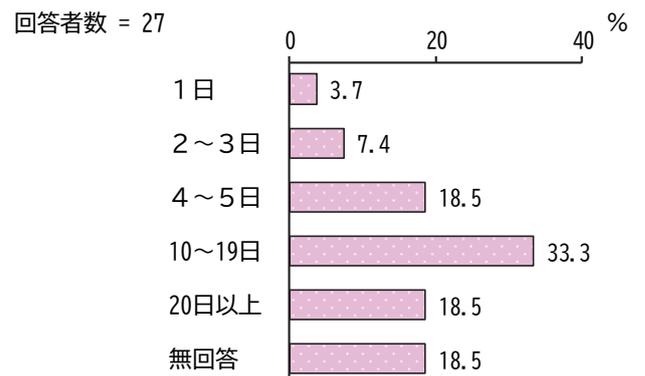
「10～19日」の割合が37.7%と高く、次いで「20日以上」の割合が24.6%となっています。



<年間の日数>

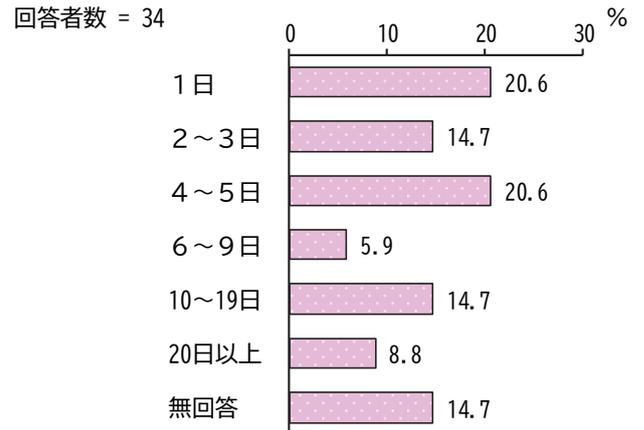
ア. 私用（買物、子ども〔兄弟姉妹を含む〕や親の習い事等）、リフレッシュ目的

「10～19日」の割合が33.3%と高く、次いで「4～5日」、「20日以上」の割合が18.5%となっています。



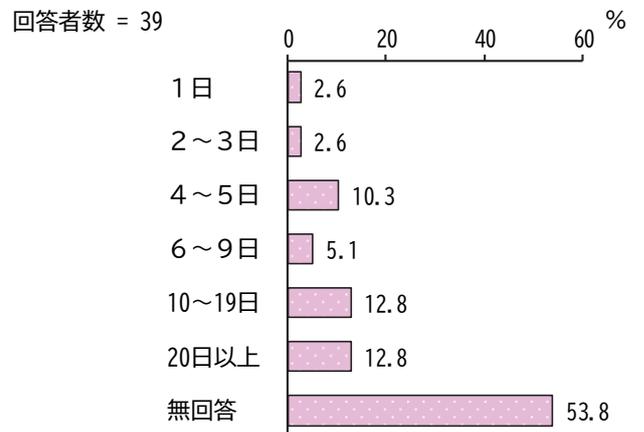
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等

「1日」、「4～5日」の割合が20.6%と高く、次いで「2～3日」、「10～19日」の割合が14.7%となっています。



ウ. 不定期の就労

「10～19日」、「20日以上」の割合が12.8%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が10.3%となっています。



エ. その他

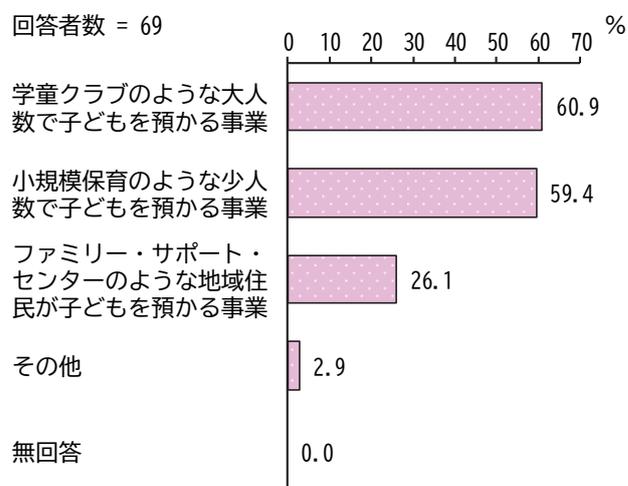
「4～5日」、「20日以上」がそれぞれ1件（25.0%）となっています。



問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 24-1 問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまるものすべてに○)

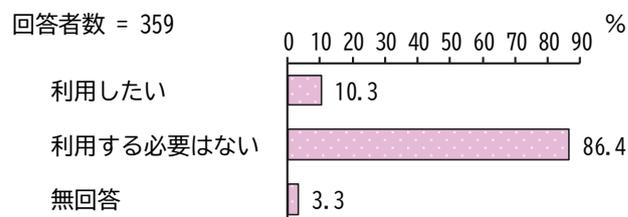
「学童クラブのような大人数で子どもを預かる事業」の割合が 60.9%と高く、次いで「小規模保育のような少人数で子どもを預かる事業」の割合が 59.4%、「ファミリー・サポート・センターのような地域住民が子どもを預かる事業」の割合が 26.1%となっています。



すべての方にうかがいます。

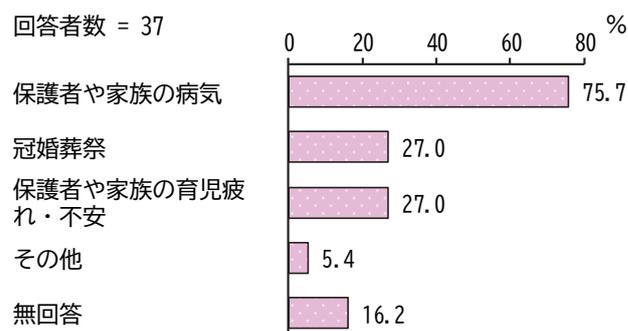
問 25 お子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭など)により、泊りがけで家族以外に預ける必要がある場合、短期入所生活援助事業(ショートステイ)の利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数を( )内に数字でご記入ください。

「利用したい」の割合が 10.3%、「利用する必要はない」の割合が 86.4%となっています。



<利用したい理由>

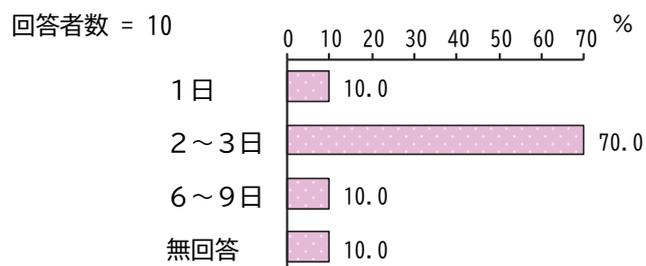
「保護者や家族の病気」の割合が 75.7%と最も高く、次いで「冠婚葬祭」、「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が 27.0%となっています。



## <年間の泊数>

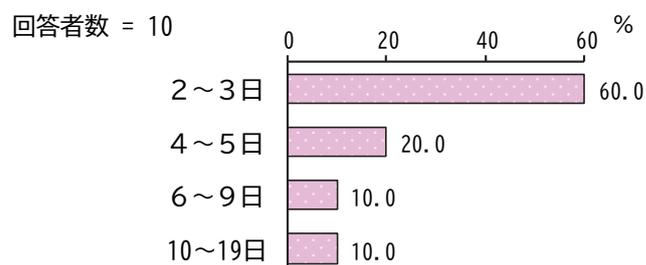
### ア. 冠婚葬祭

「2～3日」の割合が70.0%と最も高く、次いで「1日」、「6～9日」の割合が10.0%となっています。



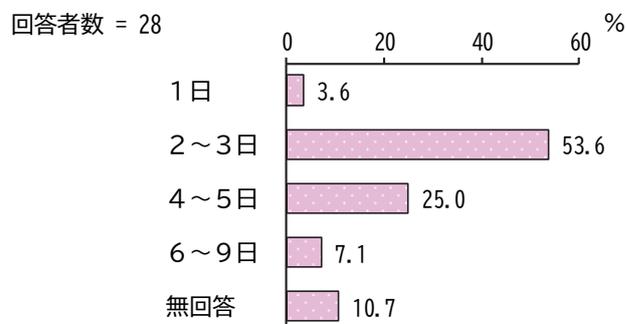
### イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安

「2～3日」の割合が60.0%と高く、次いで「4～5日」の割合が20.0%、「6～9日」、「10～19日」の割合が10.0%となっています。



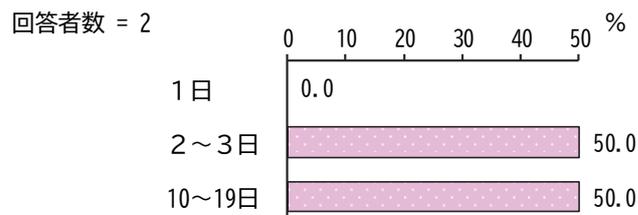
### ウ. 保護者や家族の病気

「2～3日」の割合が53.6%と高く、次いで「4～5日」の割合が25.0%となっています。



### エ. その他

「2～3日」、「10～19日」がそれぞれ1件(50.0%)となっています。

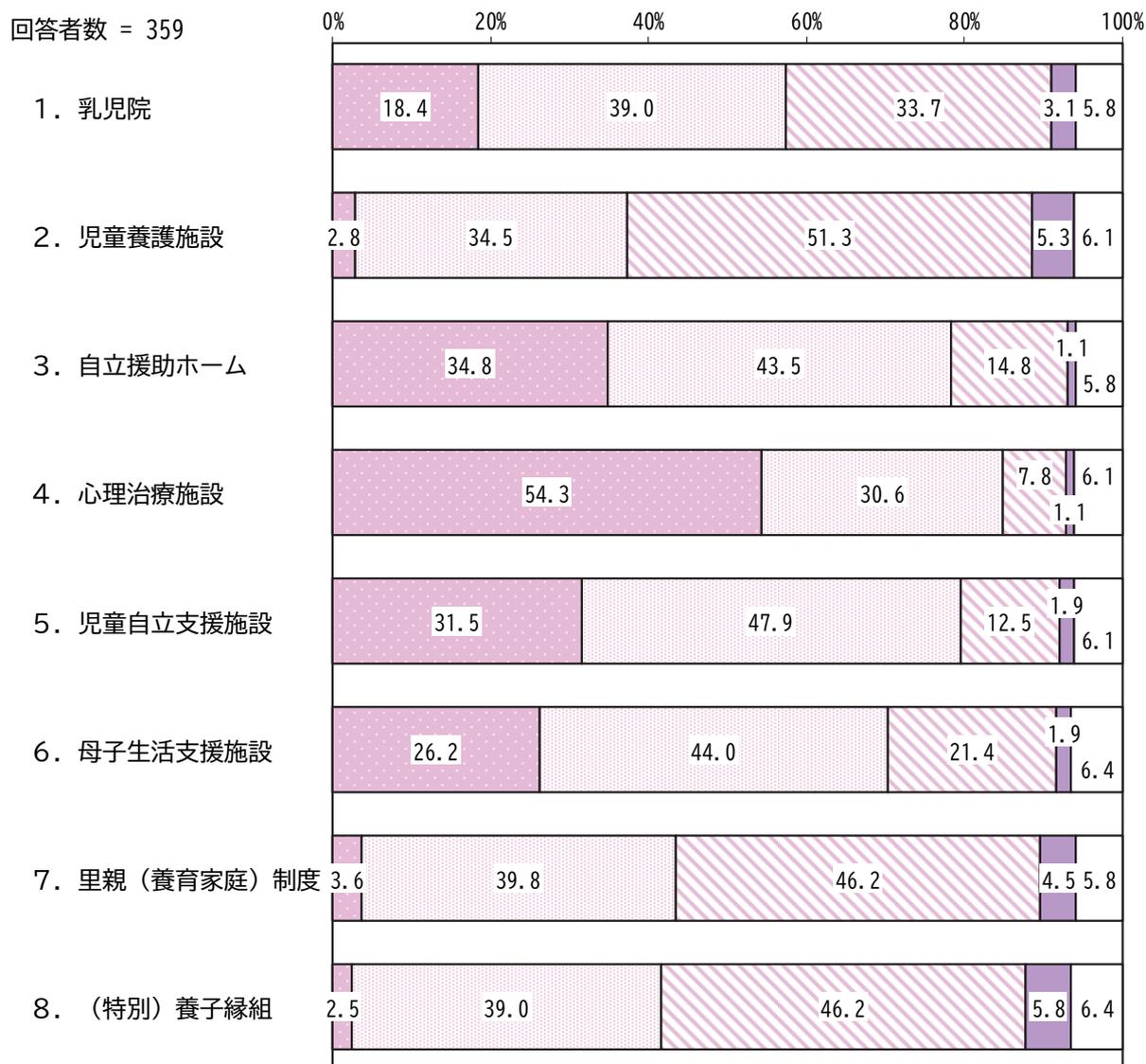


## (9) 社会的養護施設について

問 26 社会的養護とは、「保護者のない児童や、保護者に監護させることが適当でない児童を、公的責任で社会的に養育し、保護するとともに、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行うこと」であります。次の施設・制度の認知度についてあてはまるアルファベットを各施設・制度毎に（ ）内に記入してください。

『2. 児童養護施設』、『7. 里親（養育家庭）制度』、『8.（特別）養子縁組』で「聞いたことはある（意味は知らない）」「少し説明できる」「制度の詳細まで説明できる」をあわせた“知っている”の割合が高くなっています。

一方、『4. 心理治療施設』で「言葉自体を聞いたことがない」の割合が高くなっています。

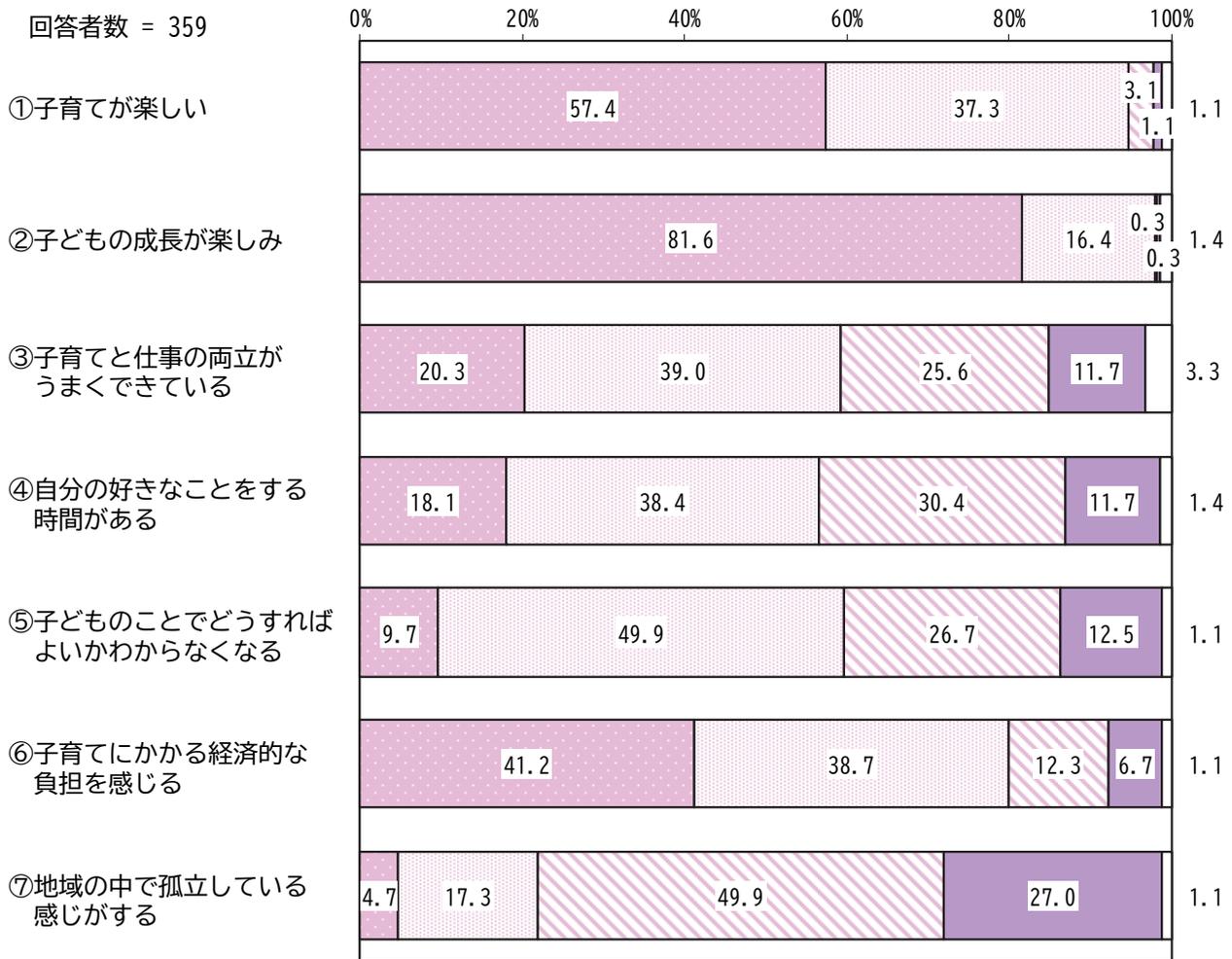
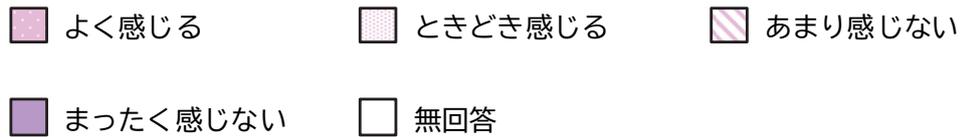


(10) 子どもの育ちをめぐる環境について

問 27 子育てをしていて以下のようなことを感じることはありますか。  
 (①～⑦のそれぞれで1つに○)

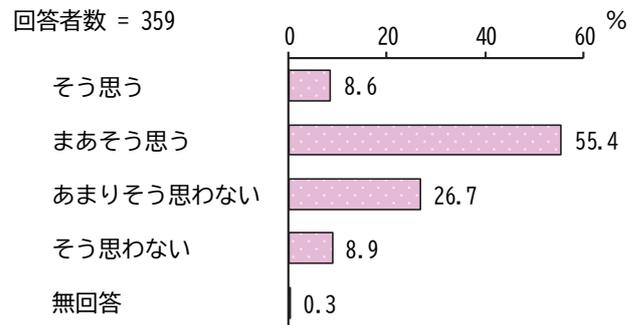
『①子育てが楽しい』、『②子どもの成長が楽しみ』で「よく感じる」と「ときどき感じる」をあわせた“感じる”の割合が高くなっています。

一方、『⑦地域の中で孤立している感じがする』で「あまり感じない」と「まったく感じない」をあわせた“感じない”の割合が高くなっています。



問 28 武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思われませんか。  
(1つに○)

「まあそう思う」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」の割合が 26.7%となっています。



【家庭類型別】

家庭類型別で見ると、全ての区分で、「まあそう思う」の割合が高くなっています。

単位：%

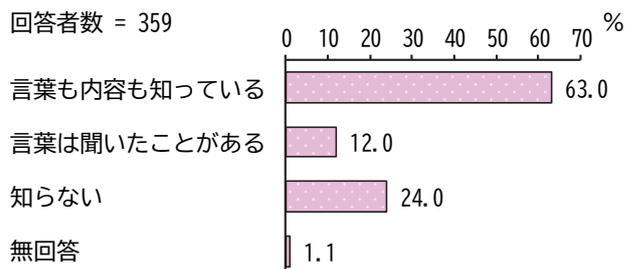
区分	回答者数 (件)	そう 思う	ま あ そ う 思 う	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答
全体	359	8.6	55.4	26.7	8.9	0.3
ひとり親家庭	37	8.1	43.2	35.1	13.5	-
共働き家庭	229	8.7	55.0	26.6	9.2	0.4
専業主婦・主夫	59	6.8	71.2	18.6	3.4	-
その他	34	11.8	44.1	32.4	11.8	-

※クロス集計のため、有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。

## (11) ヤングケアラーについて

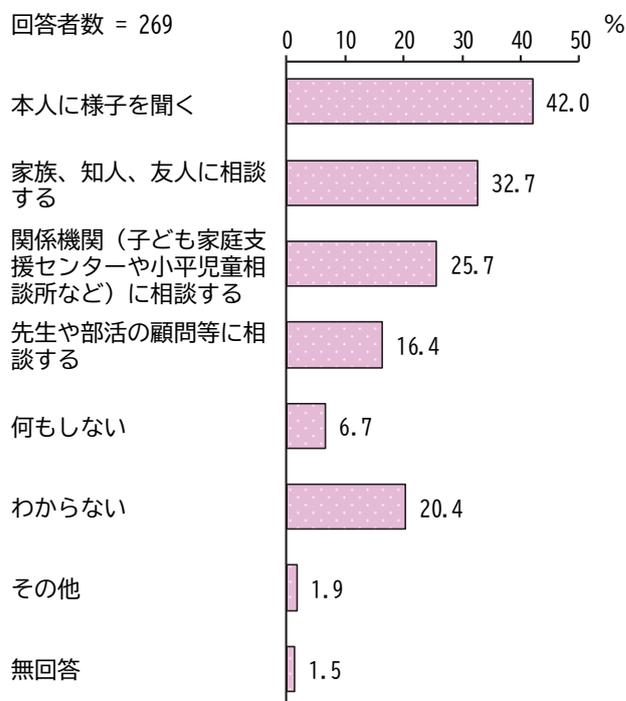
### 問 29 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。(1つに○)

「言葉も内容も知っている」の割合が63.0%と高く、次いで「知らない」の割合が24.0%、「言葉は聞いたことがある」の割合が12.0%となっています。



### 問 30 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。(あてはまるものすべてに○)

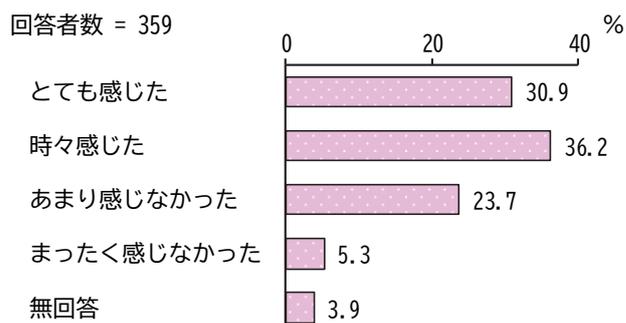
「本人に様子を聞く」の割合が42.0%と高く、次いで「家族、知人、友人に相談する」の割合が32.7%、「関係機関（子ども家庭支援センターや小平児童相談所など）に相談する」の割合が25.7%となっています。



## (12) 産後について

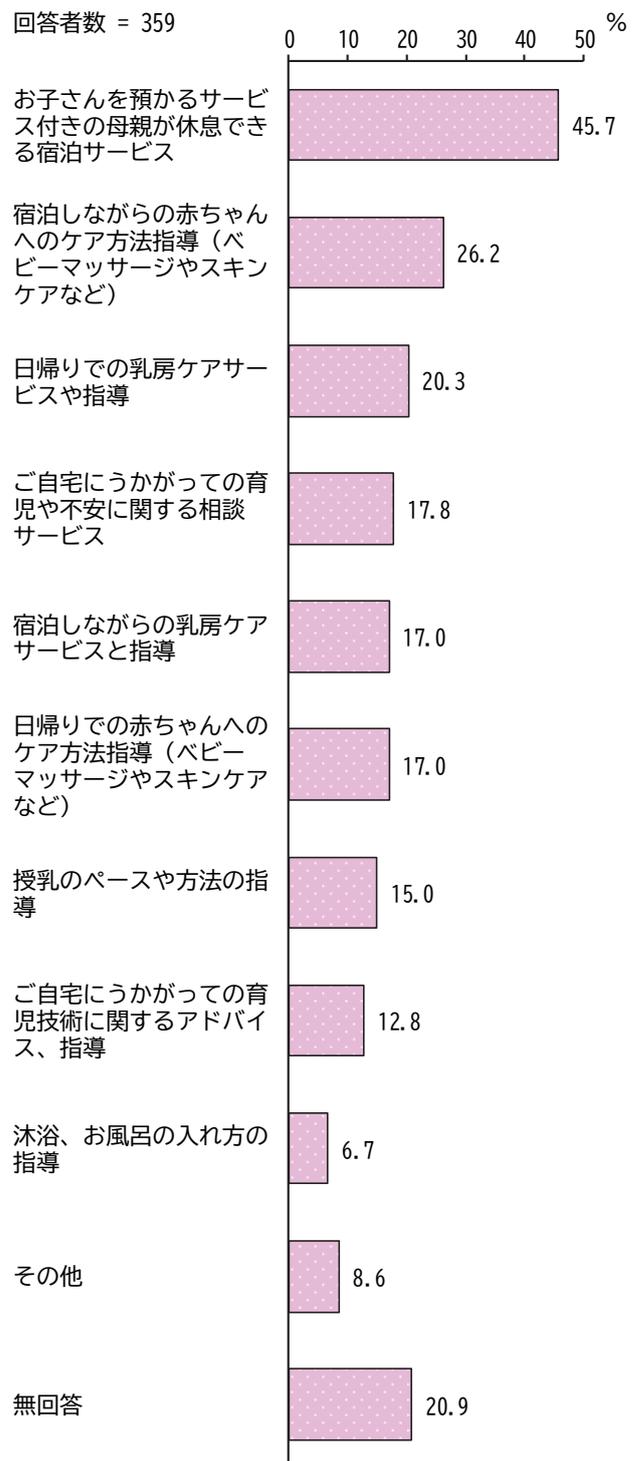
### 問 31 あなたは産後に不安や負担は感じましたか。(1つに○)

「時々感じた」の割合が36.2%と高く、次いで「とても感じた」の割合が30.9%、「あまり感じなかった」の割合が23.7%となっています。



問 31-1 産後にどのような支援を受けたかった、受けたいですか。  
 (あてはまるものすべてに○)

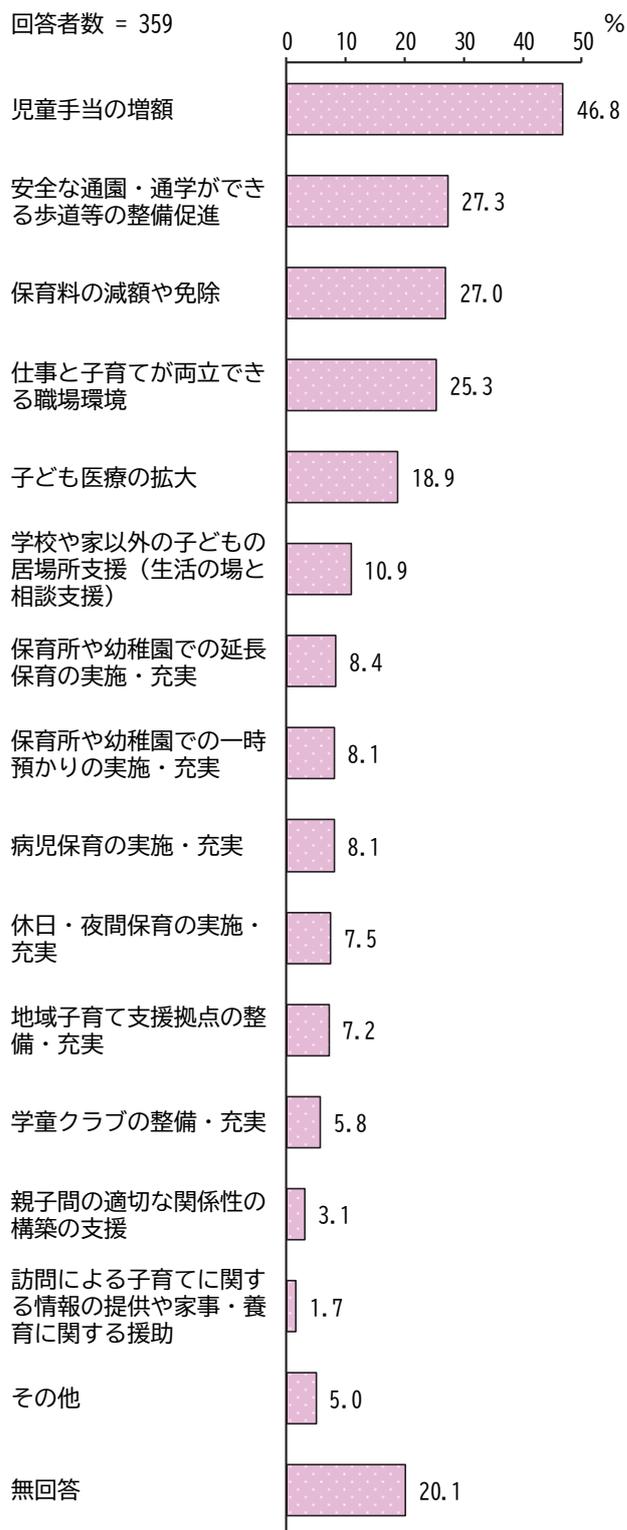
「お子さんを預かるサービス付きの母親が休息できる宿泊サービス」の割合が45.7%と高く、次いで「宿泊しながらの赤ちゃんへのケア方法指導(ベビーマッサージやスキンケアなど)」の割合が26.2%、「日帰りでの乳房ケアサービスや指導」の割合が20.3%となっています。



(13) 子育て支援策について

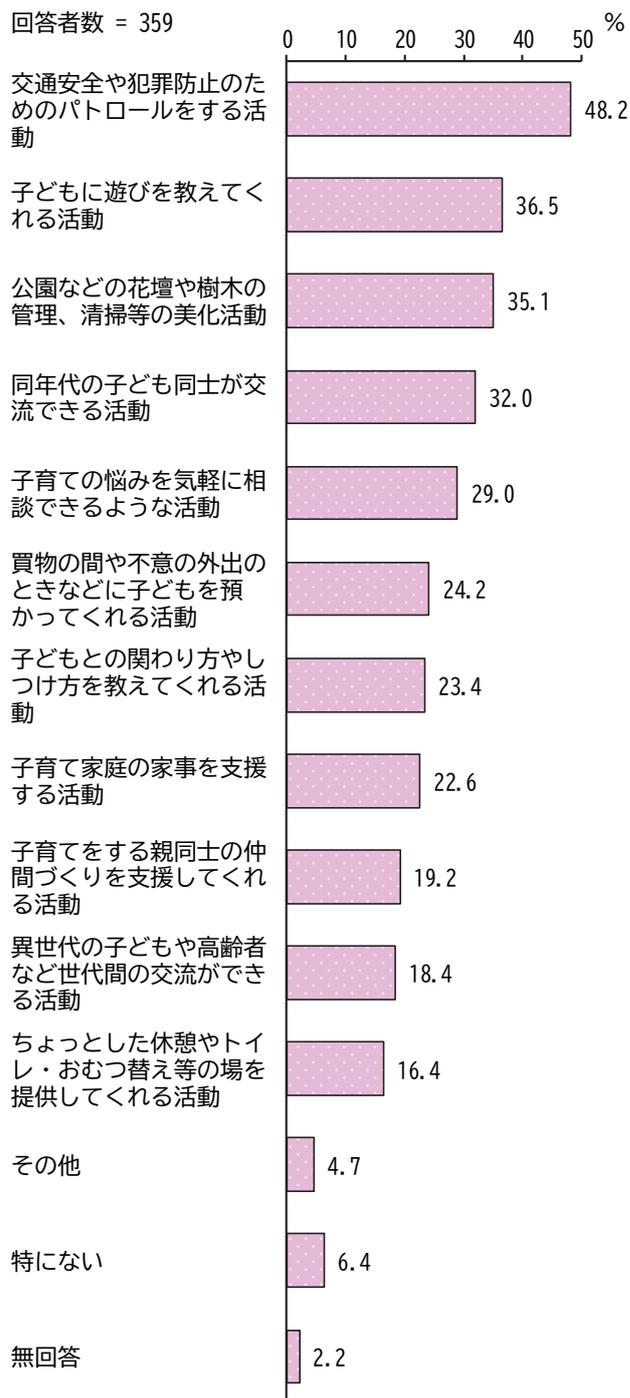
問 32 あなたが必要と思われる子育て支援策は次のどれですか。(3つまで○)

「児童手当の増額」の割合が 46.8%と高く、次いで「安全な通園・通学ができる歩道等の整備促進」の割合が 27.3%、「保育料の減額や免除」の割合が 27.0%となっています。



問 33 子を持つ親にとって、身近な地域にどのような活動があるとよいと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

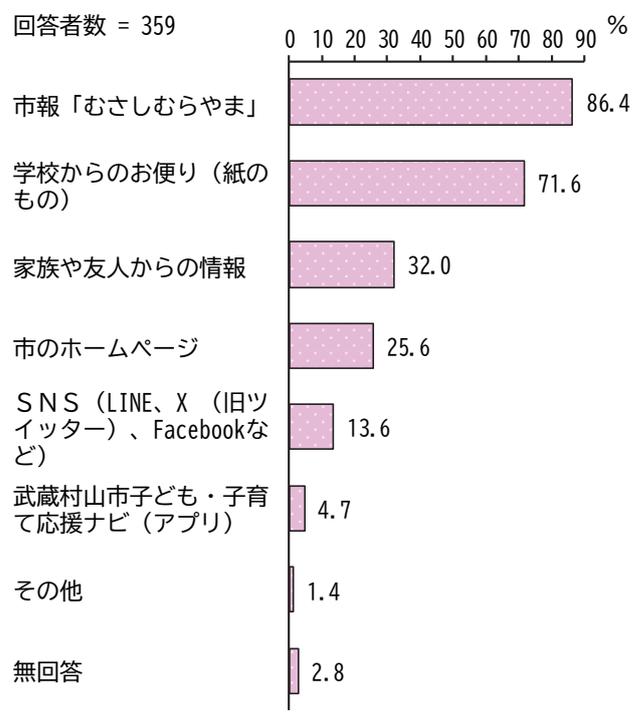
「交通安全や犯罪防止のためのパトロールをする活動」の割合が 48.2%と高く、次いで「子どもに遊びを教えてくれる活動」の割合が 36.5%、「公園などの花壇や樹木の管理、清掃等の美化活動」の割合が 35.1%となっています。



問 34 子どもに関する市の施策や行事などの情報をどのような方法で受け取っていますか。また、今後、どのような方法で受け取りたいですか。  
(A、Bそれぞれあてはまるものすべてに○)

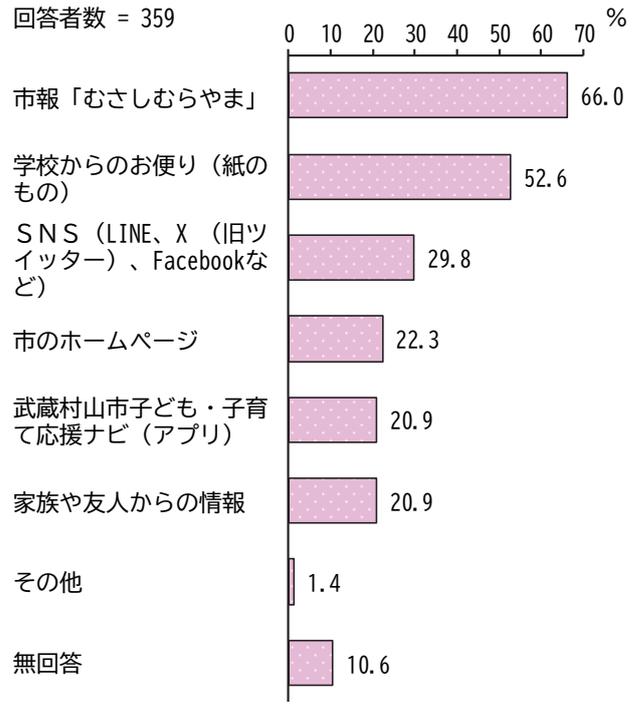
A 現在の受け取り方法

「市報「むさしむらやま」」の割合が86.4%と最も高く、次いで「学校からのお便り（紙のもの）」の割合が71.6%、「家族や友人からの情報」の割合が32.0%となっています。



B 今後、受け取りたい方法

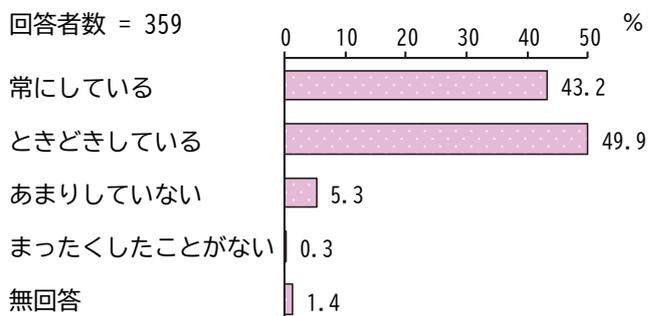
「市報「むさしむらやま」」の割合が66.0%と高く、次いで「学校からのお便り（紙のもの）」の割合が52.6%、「SNS（LINE、X（旧ツイッター）、Facebook など）」の割合が29.8%となっています。



## (14) 子どもの権利について

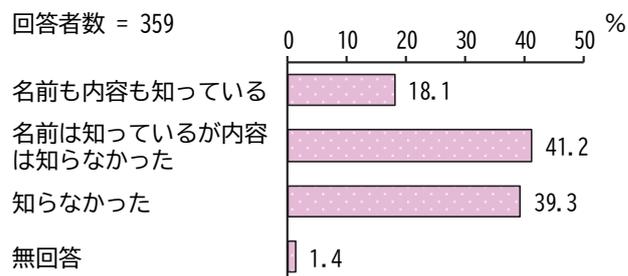
問 35 あなたは子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。(1つに○)

「ときどきしている」の割合が 49.9%と高く、次いで「常にしている」の割合が43.2%となっています。



問 36 あなたは、児童の権利に関する条約（通称：子どもの権利条約）を知っていますか。(1つに○)

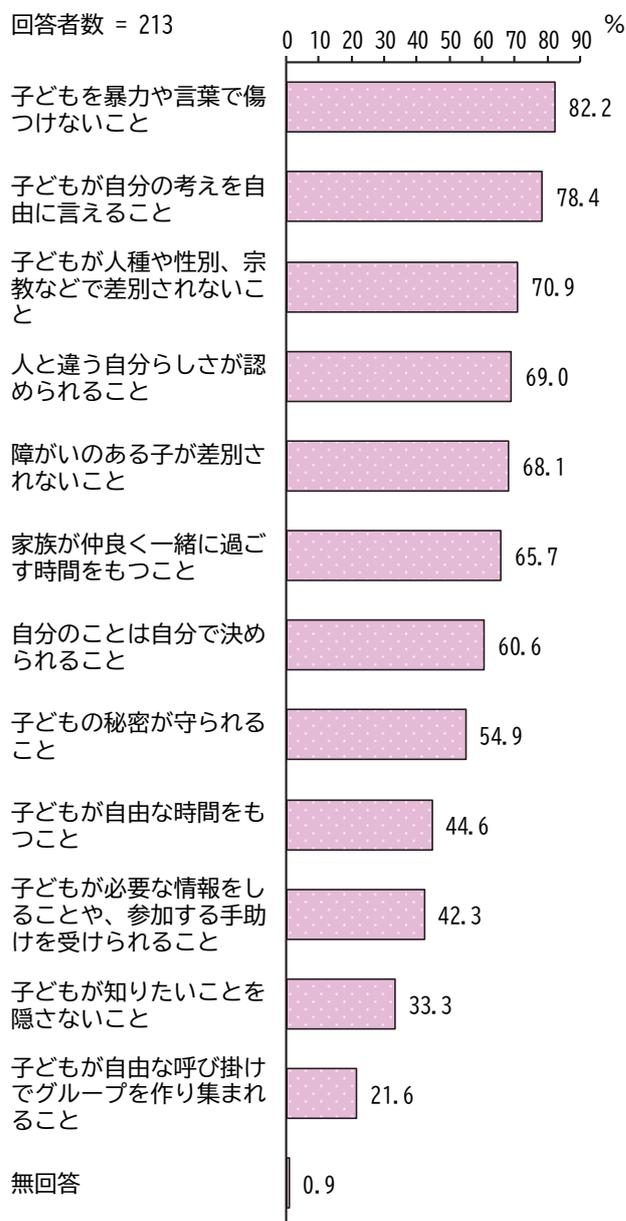
「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が 41.2%と高く、次いで「知らなかった」の割合が 39.3%、「名前も内容も知っている」の割合が18.1%となっています。



問 36 で「1. 名前も内容も知っている」、「2. 名前は知っているが内容は知らなかった」に○をつけた方にうかがいます。

問 36-1 子どもの権利条約の中で特に大切だと思うことはどれですか。  
(あてはまるものすべてに○)

「子どもを暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が 82.2%と最も高く、次いで「子どもが自分の考えを自由に言えること」の割合が 78.4%、「子どもが人種や性別、宗教などで差別されないこと」の割合が 70.9%となっています。



## IV 主な自由意見

### 1 就学前児童（0～5歳）の保護者

#### 【分類別の意見】

#### 1 制度・事業・市の取組・費用

- ・ おむつ、ミルク無料。消耗品はいくらあっても足りない。【0歳・4歳・5歳】
- ・ 給食費の無償化。【0歳・5歳】
- ・ 子育て世帯への経済的な支援と、仕事と両立するための支援を沢山して欲しい。低所得世帯だけでなく、一般的な家庭にも。【0歳・5歳】
- ・ 中学から制服自由化、もしくは無料にして欲しい。【0歳】
- ・ 高校や専門学校や大学など、学びに関することにお金がかかり過ぎるのはもう少しどうにかなったらい。助成金や学費の無償化などがあれば助かる。【0歳・3歳・5歳】
- ・ 義務教育中の無償化。子どもの義務であり平等である期間は、どのような子でも安心して通えるようになるといいと思う。【1歳・3歳】
- ・ 子どもへの犯罪被害がなくなるような取り組みがあるといいと思う。性犯罪の厳罰化。【1歳・5歳】
- ・ 若い人たちがこれから子育てを考えるにはやはりお金がかかる、子どもを産むのも悩むようだ。額を増やすか無償化など安心して妊娠、出産ができる環境であると幸い。【1歳・3歳】
- ・ 児童手当の所得制限の廃止、第三子への支援拡充を望む。子ども医療費が無料なのはありがたい。【1歳】
- ・ 子どもが多い世帯では、税制上などもっと手厚く優遇して欲しい。【1歳】
- ・ 不安や心配のない社会ならそれで良い。【1歳】
- ・ 子どもの貧困を無くす。差別のない日本となるような取り組みを期待したい。【2歳】
- ・ 定型発達という言葉がなくなって欲しい。いじめがなくならず、「定型」以外を受け入れない日本の学校には行かせたくない。もっとお金があれば日本以外の選択ができる。【2歳】
- ・ 児童手当が支給されないのに保育料が高い。【2歳】
- ・ 出産費用が高く、次の子が考えられない。【3歳】
- ・ 児童手当はとても助かり安心出来る。習い事や休日にたくさん色々な所に連れて行きたいので現在貯金しているが、もう少し児童手当が増えたら嬉しい。【3歳】

- ・ 母子家庭、低所得者以外にも多子世帯へも給付を検討して欲しい。【4歳】
- ・ 児童手当が0～3歳（¥15,000）というのを逆に3歳～（¥15,000）にした方が助かると思う。【4歳】
- ・ 給付金、援助を拡充して欲しい。【4歳】
- ・ 収入の少ない親を持った子どもが幸せになるにはどうしたらいいのか。母1人では解決できない。父親がいても収入がほぼない。【4歳】
- ・ 金銭面の援助、季節行事の充実イベントの実施、産後ケアの充実、所得制限なしの援助を希望。高齢出産した人への金銭的援助や身体や美容ケアの充実をして欲しい。【4歳】
- ・ 乳児健診をやった時のこと、お母さんや子どもと関わる場にはきちんと常識があり、親身になってくれる方に働いて欲しい。【4歳】
- ・ 持家、賃貸に関わらず、児童手当とは別に住宅に関する支援があればいいと思う。持家には住宅に関わる減税、賃貸には賃料カットなど。【4歳】
- ・ 教育費の無償化、子育て世代の就業時間の短縮などフランスの少子化対策のような取り組みをして欲しい。【4歳】
- ・ 学童保育の料金に関して、保育料と同じように3人目から無料にして貰えると助かる。【4歳】
- ・ 家事を手伝ってくれる制度があるのは知っていたが手軽に利用できる感じではなかった。出産前にそういったことを確認して予約などの手配をしてくれる制度があれば良かった。【4歳】
- ・ 経済面でももう少しお母さん目線で考えて欲しい。【5歳】
- ・ ひとり親家庭や非課税世帯はかなり支援されていたが、一般的な家庭は全く支援がないのだなと痛感している。保育所の二子以降無料はありがたい。【5歳】
- ・ 子どもの医療費も（病院他）負担なしにならないか（立川は200円→0円になった）。物価がどんどんあがっていくので子育てに対してもう少し手当を増やして欲しい。【5歳】
- ・ 保育園の給食費の無償化や高校無償化制度を、年収の制限なく実施して欲しい。【5歳】
- ・ 保育園の給食費に関して、同じ保育園にいる子どもの数で子どもの数がカウントされるため、3人目の給食費無償化を受けられない。【5歳】
- ・ 両親が必死になって働かなければ家庭を維持ができない社会の仕組みの改善。【5歳】
- ・ 高校受験に向けて学習塾の助成金等あったら嬉しい。【5歳】

## 2 預け先確保・待機児童

- ・ 保育園に入れるため求職したいが、子どもがいる状態での求職は難しい。【0歳】
- ・ できれば兄弟揃って同じ保育園に通わせたい。【0歳】
- ・ 保育園の待機児童が多いと思う。保育園を充実させてもらいたい。【1歳・4歳】
- ・ 病児保育が事前申し込みのため、使えない。病み上がり、療育期間に使いたい。【1歳】
- ・ 放課後の子どもの居場所も、もっと充実して欲しい。学童や子ども教室もあるが、もっと選択肢が欲しい。もっと市としても支援して欲しい。【1歳】
- ・ 学校の空き部屋を使って、市民の高齢の方と交流。手芸、工芸、昔あそびなど、地域で子育てをバックアップして欲しい。学習、研究などそんなクラブがあってもいいのでは？【1歳】
- ・ 親が休みの日でも気軽に預けられる施設やサービスを増やして欲しい。数時間でも自分の時間があるだけで、気持ちも切り替えられる、育児に対する気持ちがかなり変わる。【1歳】
- ・ 病児保育を扱っている所が少ない。正社員で働いている身としては欠勤が増え、肩身が狭く感じる。全国で見直して欲しい。【2歳・不明】
- ・ 家庭支援センターが伊奈平地区からだと遠いので、もう少し近くに別館等でもいいのであると土、日等に利用できて嬉しい。【2歳】
- ・ 病児保育や代わりに病院につれていってくれる制度があれば助かる。もしあるのであれば教えて欲しいし、なければ作って欲しい。【3歳】
- ・ 全ての学童を学校内もしくは近くに作って欲しい。【5歳】
- ・ 子どもが自閉症の傾向があり療育を必要としているため、療育の施設(児童発達支援や放課後デイサービス)がもっと増えるといいなと思う。【5歳】

## 3 窓口・相談・情報・手続き

- ・ 色々な制度や補助金があるのは知っているが、そのどれもが所得等による制限があるため受けられないことが多い。【0歳】
- ・ 市役所をもっと明るくキレイに、子どもたちが遊べるスペースを作って欲しい。【0歳】
- ・ 母親の名前で手続きや手当などが受けられるようにして欲しい。【0歳】

- ・ 子どもを産み育てる前からどんな制度があって、産後はこんなサービスが受けられる制度があってわかりやすく周知していると、利用したいなと思えるのではないか。【0歳】
- ・ 保健師が福祉の窓口として他の部署ともっと連携し、障がい児育児の総合窓口が欲しい。療育や児発、手帳の交付、助成金など情報が散逸していて、とてもわかりにくい。【0歳】
- ・ 産まれてから買物に行く時間がないので、赤ちゃんに必要なオムツやミルク、おしりふきを定期的に送ってくれると助かる。【1歳】
- ・ 今後習い事を始めたいと考えているが、市内で、どんな事が出来るのか知りたい。【1歳】
- ・ 丁寧な説明、資料を用いた説明をするなど改善して行くべき。【1歳】
- ・ 子育てひろばの先生方にとってもお世話になっている。おかげで友達も増え、楽しく過ごせている。【2歳】
- ・ お金に関してと、パートナーとの関わり方について悩みが付きにくい。そういった相談窓口があれば嬉しい。【2歳】
- ・ 取り組みや制度について、ポスターやSNSなどでもっと情報を発信、目にとまりやすくして欲しい。【3歳】
- ・ 病気や障害がある子の幼保（特に幼稚園）への受入れがかなり厳しい。そうなってしまった場合のサポートがほぼない。役所の方もしてもらえると助かる。【3歳】
- ・ 保育園に預ける手続きについて、市の窓口の人によって話が違い、入園した後にトラブルになり大変だった。窓口の人は言った事に責任を持ちしっかり対応して欲しい。【3歳】
- ・ 隣接した市町村との情報共有と相互利用を推進して欲しい。【3歳】
- ・ 母子手帳をもらいに行くのに大変な思いをした。現在は場所も変わりオンライン対応もされていると知った。意見や時代の流れに対応して進化していく武蔵村山市を応援。【5歳】
- ・ 市内に“気軽”に発達相談できるところ、療育を受けられる場所を増やして欲しい。【5歳】

#### 4 子ども・子育て・教育

- ・ 子どもは私達の未来である。みんなで支えて協力できるのが理想である。【0歳】
- ・ 色々な理由で心に問題を抱えている子どもが、寂しさや苛立ちから起こす問題や心の隙間も埋めてあげられるようなケア(カウンセリングなど)は、今の時代には必須だと思う。【0歳】

- ・ “学ぶ”ということは子ども全員が持っている権利だと思う。図書館の利用のしやすさや、学習塾に通わずとも学校で大学までの受験勉強を補えるようにする工夫などの充実。【1歳】
- ・ 柔軟に対応できる保育者、教育者の育成を願う。親たち、地域の方への子どもへの理解度などを高められる場もあると親の成長にもつながると思う。【3歳・4歳・5歳】
- ・ 子どもが気がねなく自由に教育が受けられる地域になって欲しい。【5歳】
- ・ 感謝と思いやりの心を育て、あたり前な事ができるありがたさを教えていき、元気に育ってくれることが私たちの思う理想の子育てである。【5歳】
- ・ 子どもの出生率が下がっているにも関わらず、日本の自殺率は上がっているという現状。楽しいことをたくさん見つけて自己肯定感を養っていくのが重要ではないかと思う。【5歳】
- ・ 学童に預けられてもなくて家に居場所がない子ども達のために、特別なプログラムを考えるべきだ。【5歳】

## 5 仕事と子育て・就労・育休

- ・ 予定日あたりから父親に1カ月ぐらい育休を取得して、色々サポートしてというのが理想。全ての会社に男性の育休取得を推奨して欲しい。【0歳・1歳】
- ・ 子育て支援センターや都の赤ちゃんファースト、その他補助金などのサービスが大変ありがたい。個人事業主向けの産休、育休制度や保育園入園児の待遇の改善の検討。【0歳】
- ・ リモートでできる仕事はリモートにして、家族と関わる時間が増える世になって欲しい。【1歳】
- ・ 就学後も時短勤務ができるようになって欲しい。【3歳】
- ・ 子どもがいる家庭が生きづらい世の中になっている所が残念。小さい子どもがいると働きづらい。【3歳】
- ・ 子育てと仕事の両立が難しく精神的に余裕もない。体力もない。在宅が出来ない仕事の子育ての理解がないので、もっと子どもを温かく見守って育てていきたい。【4歳】
- ・ 病気の時に誰も頼れない。【4歳】

- ・ 子を持つ母親たちが父親と同様に会社員として責任感を持って仕事をするのは難しいのが現実。【4歳】
- ・ 育児休業から仕事に復帰する際、子どもを保育園に入れてから1ヶ月で復帰しないといけない。3ヶ月くらい欲しかった。【4歳】
- ・ 子育て世代は家事、育児、介護、税金等多くの負担を抱えている。その負担を減らすためには仕事と育児をうまく両立させるための制度が必要。【5歳】

## 6 健康・医療・障害

- ・ 小児科にかかった際に親も診察してもらえる病院が増えて欲しい。【1歳】
- ・ もっと小児科を増やして欲しい。時間がかかりすぎるので小児科だけの病院が欲しい。【3歳】
- ・ 武蔵村山にも小児医療センターの様な病院があると良い。【3歳】
- ・ 親に子育て支援してもらうためにも介護支援を充実して欲しい。【3歳】
- ・ 伊奈平地区の病院にかたよりのがあるので、皮膚科等の専門医が近くにあるといいなと思う。【2歳】

## 7 施設・設備・サービス拡充

- ・ 公園の設備をきちんと管理して欲しい。【0・1歳】
- ・ 0歳が参加しやすいイベント、キャンペーンがあるといい。〇月生まれから〇月生まれ！！というように少人数でのイベントが良い。【0歳】
- ・ 様々な病気が流行し、種類が増える中で、支援センターや図書館など子どもが手や口を触れて遊び利用する場所は清潔であると安心。雰囲気的な清潔感も。【0歳】
- ・ 身内が近くにいない者にとっては不測の事態に子どもの預け先がなく頭を悩ませる事がある。【0歳】
- ・ 赤ちゃん用のブランコをどの公園にも置いて欲しい。【1歳】
- ・ 全保育所に、屋根ありの駐輪スペースがほしい。【1歳】
- ・ 近所の公園では、スベリ台の遊具しかなく、別の遊具が欲しい。【1歳】
- ・ 子どもが安全に楽しく遊べる大きな施設がもっとあると良い。【1歳】
- ・ 陣痛タクシー制度を復活して欲しい。【1歳】
- ・ 市内だけでも全ての幼稚園に養護教諭を配置して欲しい。【4歳】
- ・ 発達には個人差が多いので、幼稚園には誰でも入れる、カウンセラーなど園や学校で問題が起きたとき相談できる人がいると親も子どもも安心でき、先生の負担も減ると思う。【2歳】

- ・ 子ども向けイベントを各地で行って欲しい→子ども手当の拡大、子ども達が自分らしくいられるよう、子どもに関われる大人が1人でも増えれば嬉しい。【2歳】
- ・ 武蔵村山市にはおむつの子も遊べるような”じゃぶじゃぶ池”がないので作って欲しい。埼玉のようなパパママ応援カード等があると嬉しい。【2歳】
- ・ 学校内、有料で良いので習い事などできると安心する。(例スポーツ、英語、ピアノ、そろばんなど)【3歳】
- ・ 療育に通いたくても定員オーバーで利用できずにいる人達の話をよく聞くので、そういった病院や施設が充実することを願う。【3歳】
- ・ 子どもが体調を崩した際に、その日の朝に病児保育に預けられる制度があるとありがたい。【3歳】
- ・ 休日の児童館開放。公民館などでの、未就学児対象のリトミック教室や体操教室などの開催。【3歳】
- ・ 市が預ける施設への料金の見直し等を、行って欲しい。そして保育士さんたちのお給料は保証してあげて欲しい。病児保育。【4歳】
- ・ 病児保育や産後のケア等をもっともっと手続きを簡単にして欲しい。【4歳】
- ・ 公園の整備に力を入れて欲しい。図書館の整備。【5歳】
- ・ 赤ちゃんや子どもがいることで、制限されることをできるようにする街が望ましい。数時間の息抜きができれば、すごく子育てがしやすくなる。【5歳】
- ・ 一時保育施設は遠く、車がないと厳しい。車があっても駐車場のある公園が少なく困る。幼稚園の入園金が高い。一時保育もリフレッシュ利用しやすい環境になれば良いと思う。【5歳】
- ・ 幼稚園の質がどれも一緒。勉強に力を入れている所や音楽など他の市では色々あるがとくに何にもない。保育園も同様である。環境を整えて欲しい。【5歳】
- ・ 子どもへの性被害が増えないよう商業施設や公園での見守り強化をお願いしたい。【5歳】
- ・ 居心地の良い図書館が欲しい！佐賀の武雄市図書館のような素敵な図書館が武蔵村山にできたら街が活気づきそうだ。子どもの体力向上の施設なども欲しい所。【5歳】
- ・ 旧ひまわり畑に、無料で遊べる、アスレチックが欲しい。夏は、水遊びもできると良い。お年よりの方も、座って休める、いこいの場的な、大きい公園があったらと思う。【5歳】
- ・ サービスが充実した中央図書館を希望。子どもを連れて本をゆっくり選べない。ゆっくり座れる児童コーナー、絵本、DVD、CDの充実、子ども用トイレ手洗い。【5歳】
- ・ 子ども食堂や学童環境の充実に入力して頂けると安心して仕事に行けて、収入も維持することが出来ると思う。【不明】

## 8 生活環境・地域環境・安全

- ・ 教育の充実 安心して登下校できる道路の整備。【0歳】
- ・ 特に住宅地での一時停止を守らない車が多いのが心配。交差点のミラーが付いていないところも事故につながりそうで心配。【0歳】
- ・ モノレールが早く完成したら良いと思う。子どもが高校生以上の歳になった時やはり電車があると無いとではできると変わってくると思う。【0歳】
- ・ 保育所の利用が母親のリフレッシュ目的や、日常の買い物などに利用しやすい環境が欲しい。子どもが安心して遊べる公園をなくさないで欲しい。【1歳】
- ・ 子どもが安全に遊べる公園や施設、安心して通学できる道路の整備。【1歳】
- ・ 歩道の整備強化（通学路）道が暗く感じる所がある。【1歳】
- ・ 道が狭くて危ない場所が多い。段差なども。【3歳】
- ・ 子どもに対して厳しい方が多いように思う。子どもが安心して遊べる場所が少ない。【3歳】
- ・ 武蔵村山市は、子どもの学力が非常に低く、治安が良くない。警察署を作って欲しい。【3歳】
- ・ 武蔵村山市は子育て支援より高齢者支援の方が充実していると思っている。【3歳】
- ・ 道の整備、公園の安全性の向上、遊具の充実、図書館の蔵書数を増やす。施設の充実、教育レベルの向上、モノレールをとにかく早く延ばす。水あそびできる公園。【3歳】
- ・ 残堀のいなげやの前の道の歩道が狭い。小学校の下校時車も多いので、道がキレイだといいい。【3歳】
- ・ 各地域でのイベントや祭りなどが近所の公園などで定期的にあるとつながりができて安心して子育てができる環境作りになると思う。【4歳】

- ・ 自然豊かで子育てには良い環境だが、高校や大学など、交通機関を使う時期に差し掛かると、改めてモノレールの延伸を早くして欲しいと望むばかりだ。【4歳】
- ・ 親の目から離れる保育所や学校で事件や事故があると怖いので、安心安全に子どもたちが暮らせる環境づくりをして欲しい。【4歳】
- ・ 子どもの安全確保 母親の精神状態の安定 おむつ費用の支援（他の自治体を参考。）  
【4歳】
- ・ 車がないと不便。大きなモールがあっても道路が混んでいる。子どもが少しおつかいに行けるようなお店が近くにあれば良いと思う。【5歳】
- ・ 武蔵村山に駅をつくらないと不便でしょうがない。駅がムリであればバスの本数を増やして欲しい。交通の便が悪いと子どももこの地域から離れていくと思う。【5歳】
- ・ 本当の子どもファースト。子育てを頑張る全ての親が報われる制度、支援をして欲しい。安全に通れる道路の整備。危険運転車の積極的な取締り、子どもの命を最優先に。【5歳】
- ・ 年配の方の子どもに対する意識改革をして頂きたい。お互い寄り添い、協力し合える環境が増えて欲しい。【5歳】
- ・ 治安のよい町づくりができると思う。住んでいる所は年配の方も多く、よく子どもたちを温かく見守ってくれるのでそのような地域が増えてくれればと思う。【5歳】
- ・ しっかりとパトロールしてもらいたい。保護者が安心して送り出せる公園を作るべき。  
【5歳】
- ・ モノレールを早く進めて欲しい。駅がないと高校に行くのに不便である。【5歳】

## 9 その他

- ・ 大変な職場だと思うがご尽力いただき感謝する。【2歳】
- ・ 十分助かっている。引き続き頑張ってもらいたい。【4歳】
- ・ アンケートに関する意見（項目が多い等）

## 2 小学生（1～6年生）の保護者

### 【分類別の意見】

#### 1 制度・事業・市の取組・費用

- ・ 子どもたちが未来に希望を持てる、この当たり前事が出来る国になって欲しいと心から願う。【小学1年生】
- ・ 給食費が3ヶ月免除になったのはとても助かった。学童クラブで1日保育のときお弁当注文ができるようになるととても便利だ。【小学1年生】
- ・ 給食費の無償化。【小学1・2・4年生】
- ・ 子育てに関する支援や経済的な補助を、収入だけではなく多子世帯向けにも拡充して欲しい。【小学1年生】
- ・ 子どもに対する手当は子どもの権利だと考えているので、平等にあるべきだと思う。親の収入での差を作るべきではないと考える。【小学2年生】
- ・ 子どもに関する手当を支給するより、給食費や教材費を手当てから出すような仕組みにならないのかなあと、いつも不思議に思っている。【小学2年生】
- ・ 不安なのは高校生以上の学費だと思う。子育てに関する施策は平等にして欲しい。【小学2年生】
- ・ 少子化問題の根本は資金力。特に「大学」はお金がかかる。教育ローン、奨学金などあるが武蔵村山市が同様にお金を貸す、市民ローンなど手軽に利用できるようにと思う。【小学2年生】
- ・ 給食費が無償だったのは大変ありがたかった。水田学習（5年生）もとても良い体験で、給食でも地場産品が提供され、温かい市だと思う。【小学2年生】
- ・ 子どもの人数に関わらず、国公立大学まで授業料を無償化にして欲しい。【小学2年生】
- ・ 子どもが3人いると負担が大きく更に子どもが小さい頃は母親が仕事に出る事も難しく、経済的な負担が大きい。【小学2年生】
- ・ お金で困ることのない世の中になって欲しい。【小学2年生】
- ・ 国は少子化対策といいながら本気で思っているのか。もっと費用負担を軽くして欲しい。【小学3年生】
- ・ グレーゾーンの子どもを持っていると長時間働けず、村山は便が悪いのに家賃が高い。子どものために学校を変えたくないの、子育て、シンママへの厚い対応を。【小学3年生】
- ・ 東京都の018サポートはとてもありがたい。蓄えとして残しておきたい。東京都23区内の医療費助成制度と同じ制度をぜひ。【小学3年生】
- ・ 子どもの帰宅前には自宅に帰ってきたいが、経済的な理由からフルタイムで働かざるをえない。給食費無料など課税世帯にも、支援して欲しい。【小学3年生】

- ・ 乳幼児期に市役所近くでやった健診は、待ち時間が長い。場所が狭い。小学校に入学してからの支援は現在もとても助かっており、感謝している。(給食費の無償など)【小学3年生】
- ・ 医療費、給食費を無料にして欲しい。【小学3年生】
- ・ 高校生までの医療費を無償化。高校生までの学費無償化。【小学3・5年生】
- ・ 医療費助成制度の年収の基準が他市より低く3割負担で支払っていたことがあった。アレルギーで頻繁に受診するため出産が辛かった。(眼科、皮膚科、内科、耳鼻科)【小学3年生】
- ・ 子育て世帯のゴミ袋無料。子育て世帯の自動車税、固定資産税割引。両親どちらかが、パートでも大丈夫な位、金銭的に助けてくれれば子どもにとっても良いと思う。【小学3年生】
- ・ 中学や高校、大学など大きくお金がかかる節目、節目に国から助成金が出るとありがたい。【小学3年生】
- ・ 児童手当の拡充、税金の負担減、子どもが多い家庭へのメリットとなる政策をもっと増やして欲しい。【小学3年生】
- ・ 子育てにおける費用面の補助。特に高校-大学の無償化を希望だ。【小学3年生】
- ・ ひとり親家庭の低所得でも、子どもを大学まで行かせたい。給付金で、誰もが希望すれば進学出来るように取り組んでもらいたい。【小学4年生】
- ・ 金銭面、延長保育などの面でも制度が整ってきて、ありがたい。教育費の無償化や補助の幅が広がったら、子どもをもつことへのハードルも下がるのではないかと思う。【小学4年生】
- ・ 大学資金や老後資金の事を考えるとどんどん産む気にはならないと思う。無償でなくても全体的に少しでも減額してくれればみんな不安が減るのになと思う。【小学4年生】
- ・ 経済的負担により現在や将来の選択肢が狭くなりなくなってしまっている状況を改善して欲しい。【小学4年生】
- ・ 子育てにはお金がかかるので税負担の軽減等があると働いている意味があるかと思う。税金を納めていない世帯に支援ばかりされるとかなり不公平感を感じる。【小学4年生】
- ・ 補助金の増額と申請のわかりやすさを求める。【小学4年生】
- ・ 手当、給付金等手厚くして欲しい。お金がないと心の余裕もなくなる。【小学5年生】
- ・ 給付金等ありがたいことなのだが、インフルやコロナ等ワクチンの補助金、補助をしてほしい。大きなことより、小さな身近なことを助けてもらえるとありがたいと思う。【小学5年生】
- ・ 保育料、授業料の無償化の推進と医療費補助は必須だと思う。より良い政策を期待している。【小学5・6年生】
- ・ 行政による制限の多いサービスだけでなく、民間が提供するものも含めたサービスを、子育て中の人が使いたいだけ使えるようにすればよいと思う。【小学6年生】

- ・ 経済的な支援が充実すれば、愛情を注がれて育った子どもは、安心できる自分の居場所があるため、登校拒否やいじめ等のネガティブな事象に繋がりにくくなると考える。【小学6年生】
- ・ 物価高にあわせて武蔵村山独自の子育て給付などがあると非常に助かる。または給食費の無償化を希望する。【小学6年生】
- ・ 子育てにお金がかかるとかかきすぎ。【小学6年生】
- ・ 児童手当の割増や子育て支援金の確立。ゴミ袋の無償化。【小学6年生】
- ・ 子どもにかかるお金の負担が軽減されるといい。給食費、学童料など。【小学6年生】
- ・ 妊娠期から大学等卒業するまで、経済的にも精神的にも物理的にも不自由なく、子どもを育てていける国になって欲しい。【小学6年生】
- ・ 児童扶養手当が減っていく。これからお金がかかるのに。【小学6年生】
- ・ お金に心配せず、多子家庭は税金類を安くするなど、子どもに回せるお金を作れるようにして欲しい。【小学6年生】
- ・ 子どもの支援について地域格差を感じている。(給食費、医療費の無償化等インフルワクチンの助成)【小学6年生】
- ・ 武蔵村山市は高齢者に力を入れているイメージがある。【小学6年生】
- ・ これからの子ども達の子育てしていくのに不十分な世の中が変わる事を願う。【不明】

## 2 預け先確保・待機児童

- ・ 放課後に子どもを確実に預けることができる場所。【小学1年生】
- ・ 学童が19時まで預かってもらえたらと思う。【小学2年生】
- ・ 学級閉鎖や学校閉鎖の時に学童や子ども教室、又は別の団体でも子どもを預かってくれる場がないと困る人沢山いると思う。【小学2年生】
- ・ 産後うつや夫婦関係など産後に起きてくる問題を減らすための取り組みをした方がいい。【小学3年生】
- ・ 世帯収入や子どもの人数に関係なく、病児保育(即時、一時預かり)を充実させて欲しい。朝起きて、子どもの発熱で会社を休まなければいけないという状態をなくして欲しい。【小学4年生】
- ・ 一時預かり制度が不十分である。病児保育はすぐに枠が埋まってしまい兄弟が多ければ病欠も多いため仕事をたくさん休まなくてはならず仕事と育児は両立できない。【小学4年生】

### 3 窓口・相談・情報・手続き

- ・ 子育て経験のある方を子ども家庭支援センターにおいた方がいいと思う。【小学1年生】
- ・ SNSを通じて情報を得たい。また、学校、地域、家庭が、共同して取り組めるような、政策には、賛同したい。【小学1年生】
- ・ いじめの対応【小学1年生】
- ・ 産後は赤ちゃんのケアについて知らないことが多く、医療の方にすぐ相談でき、子育てのアドバイスをもらいたい。【小学2年生】
- ・ もっと気楽に情報交換ができる場所があるといいなと思う。同年代の子どもを持つ親が抱える悩みをみんなが知っておけば、自分だけじゃないと思えて虐待などの問題も減る。【小学3年生】
- ・ 学校で先生と合わず不登校になった時期があった。自宅以外に行き場がなく自宅でできるケアがわからない。学校以外にどこに相談したらよいか分からない。【小学3年生】
- ・ 高校、大学に入る時にどのくらい教育費が必要かなど知りたい。モノレールが早々にできたら子どもの活動範囲も広がり、高校などの選べる範囲も広がると思う。【小学4年生】
- ・ 役所関係の提出書類やら手続きなどを、簡単に知ることができて提出も簡単だいいと思う。【小学4年生】
- ・ うちの小学校ではほぼ強制的に加入の子ども会なのに、子どもを留守番させ誰かに託して活動に参加するなど少し負担。【小学4年生】
- ・ 個々の障害の程度によって相談が適切に受けられる場所。適切な対処を教えてくれる相談員。【小学5年生】
- ・ でき得る限りのサポートをお願いしたい。色々な選択肢があったほうが良いとも思う。【小学5年生】
- ・ ファミリーサポートセンターが機能していない。【小学6年生】
- ・ 子どもに対して、どのように接したらよいか、何か問題がある場合などに、どのように対応したらよいか、アドバイスをもらえるような仕組みがあると、助かると思う。【小学6年生】

## 4 子ども・子育て・教育

- ・ 少子化対策が急務。手厚い子育て対策を望む。【小学1年生】
- ・ 小学校の給食献立を見て、品数の少なさ、食材の質素さに驚きを隠せない。子育て世帯への手当や対応を見ているとこれ以上は子どもを産むことはできないと思う。【小学1年生】
- ・ 産後の家事育児サポートを利用させて頂きとても助かった。今後宿泊ケアも使いたい。小学校では子ども放課後教室を無料で利用し子どもも親も安心して利用できている。【小学1年生】
- ・ 夜遅くまで小さい子どもが出歩く、小学校が始まっている時間帯に登校している児童を多々目撃する。非常に心配。【小学1年生】
- ・ 武蔵村山市は、東京都の中でも、子どもの大学進学率がかなり低い地域であると友人から聞いてがっかりした。武蔵村山市の魅力的な教育環境の充実を希望する。【小学1年生】
- ・ 子どもの泣き声に寛容な社会になって欲しい。子育てをしていて、毎日生活がギリギリの状態に苦しい。【小学1年生】
- ・ 正直、武蔵村山市は子育てがしにくいと思う。学童も利用料が高いので3人目以降無料と保育園みたいになると助かる。今後、良い市になってくれるよう期待する。【小学2年生】
- ・ 小学生のうちは、子どもは元気に外で遊ぶ事が心の成長にもつながるかと思う。【小学2年生】
- ・ いろいろな体験で、何か気づく、始められたりする。学校を通して、いろいろな行事は大事と思う。【小学3年生】
- ・ 学校教育の見直しを早急にして欲しい。保育園、幼稚園から小学校入学ともう少し一貫性が必要かなとも思う。【小学3年生】
- ・ 子ども達が主体的に過ごせる環境が整うと良いと感じている。またその中で大人が目を配りルール等を伝えられる見守りが強化されると安心する。【小学4年生】
- ・ 学校の教育レベルをしっかりすること。基礎学力を上げることが子どものためになる。【小学4年生】
- ・ 学級閉鎖時、元気な子を隔離して預かって欲しい。子どもの居場所が欲しい。【小学4年生】
- ・ 2年前に引っ越してきました。東京都とは思えない程、子ども達が生き生きとしていることに感動した。子育てにはとても良い環境だと思う。【小学5年生】

- ・ 教育面で外部組織を取り入れ、子どもの興味関心を広げて学力向上につながる取り組みに期待している。【小学5年生】
- ・ 子どもの教育費（交通費、制服代等も含め）の助成の充実を拡充。保育園を就労等の理由を問わず利用。公園や市の施設をもっと整備。老後も安心して住める市。【小学5年生】
- ・ 市の学力レベルをあげて欲しい。【小学5年生】
- ・ 子どもをルールでしぼりつけないで欲しい。（コロナ時のマスク着用等）【小学5年生】
- ・ 思いやりのある、ルールやマナーを守れる、人として常識のある人に育つようにして欲しい。【小学5年生】
- ・ 学校の授業とは違う、人と関わり、様々な新しい体験をたくさんして欲しい。【小学5年生】
- ・ 一人一台タブレット端末があるのに活用できてないのが残念。【小学5年生】
- ・ 子どもは子どもらしく育てていかないといけない。お腹をすかす事なく笑顔でいられる環境、虐待の疑いがあった時にすぐ気付いてあげられる地域の目がとても大事だと思う。【小学5年生】
- ・ 支援級の普及。【小学5年生】
- ・ 生活する地域のコミュニティなどを通じて、コミュニケーションの強化や相互理解が必要だと思う。大人がそういう姿勢をみせないと、今の子どもが大人になれない。【小学5年生】
- ・ 武蔵村山市の子どもの学力が全国に比べ、低いことが改善されるべきだと思う。【小学6年生】
- ・ 武蔵村山市の取り組みについて、中学、高校生への取り組みが、充実していない。商業施設、企業等とコラボして、子ども達が学べる魅力ある街づくりをして欲しい。【小学6年生】
- ・ 社会全体で子どもたちへの教育など支援できるところは支援し、低所得の家庭の子どもたちがいじめにあったりすることがないように、法整備をしっかりと作ってもらいたい。【小学6年生】
- ・ 武蔵村山市は他の市に比べて学力も低く遊ぶ場も駅がなくこれといったアピールのない街なのだからもっと力を入れて子育てしやすい街にして欲しい。【小学6年生】
- ・ 「皆に誇れる武蔵村山市」になるために、是非とも小さな問題にも大きな目を向けて自慢の市になって欲しい。【小学6年生】
- ・ 周りの理解、協力が必要だと思う。【小学6年生】

## 5 仕事と子育て・就労・育休

- ・ 急な病気になった時、仕事を急に休まないといけない時、すぐにアプリで連絡がとれ、あずかってもらえる場があれば母も心悩まず仕事ができるのではないかと。【小学1年生】
- ・ 母子家庭で4人を1人で育て金銭面でも大変。4人もいれば休まなくてはならない時も多く仕事を休めば給料も入らない。これがどうしたらいいか1番の悩み。【小学3年生】
- ・ 一度就労（平日週4）を試みたが、保育園に預けた子ども達が病気に良くかかり病児保育もあるが、現実的に使えるシステムとは言えない。【小学4年生】
- ・ 収入の増加で必然的に時間、身体、精神的負担がなくなる。【小学4年生】
- ・ やはり保護者が”安心”して子育てが出来る環境を作っていただけると有難いと感じる。【小学3年生】
- ・ 平日休みの職業柄、なかなか子ども達と遊びに出かけ、旅行などの機会が作りにくいので小学校を初め学校の平日休みがある、もしくは取れるなどの仕組みがあると嬉しい。【小学4年生】

## 6 健康・医療・障害

- ・ 障害を持つ子ども自身のサポート体制がまだまだ足りない。それをサポートする家族へのサポートもあるようで全く充実してないので家族は精神的にも体力的にもぎりぎり。【小学1年生】
- ・ 現在子育てをしながら、両親や祖父母の支援、介護をする生活が続いており、子育てに不安などはないが、我が子がヤングケアラーにならないよう必死。【小学3年生】
- ・ 親の収入に限らず、平等に学べる必要があると思う。武蔵村山では所得制限がなくなりましたが、医療費負担が異なるのは最も理解に苦しむ。【小学4年生】
- ・ 24時間途切れる事のない子どもの医療対応が出来ている地域作り。【小学6年生】

## 7 施設・設備・サービス拡充

- ・ 子どもが楽しく遊べる公園などの充実。給食の内容の見直し。給食費を多少値上げしてもいいので、もう少し充実した内容にして欲しい。【小学1年生】
- ・ 市内の児童館の施設は古く、せまいため、利用したいが昼休みがあったり、14時から利用できなかったり、制約が多くとても利用しにくい。【小学1年生・不明】
- ・ 市内については、高齢者向けの施設、サービスや事業が充実している印象があるが、子ども向けのサービスや公園などのインフラを充実させて欲しい。【小学2年生】
- ・ 公園を増やし、総合体育館に外灯を増やして欲しい。【小学2・5年生・不明】
- ・ 簡単（気軽）に一時預かりをしてもらえる施設が近所に増えると、親の負担が少しでも減るのではと考える。（500円／1時間とか）【小学2年生】
- ・ 公園の遊具を見直してほしい。インクルーシブな遊具がひとつあるだけでも幼児でも遊ばせたいと思う。【小学2年生】
- ・ 子どものための教室（走り方など）の実施は大変ありがたい。スケボーやBMXなど近代のスポーツを気軽に練習できる様な舗装の整った公園や施設が市内にできて欲しい。【小学2年生】
- ・ 体育施設や図書館の充実。【小学2年生】
- ・ 子ども達が遊べる楽しい公園を是非作って頂きたい。未来ある子ども達のために、公園の増設を是非検討お願い。【小学2年生】
- ・ 新しい遊具を取り入れて頂きたい。校舎の建て替え、学力向上。図書館の本の数が少ないことと、建て替え。MMシャトルの本数を増やしてもらえると有難い。【小学3年生】
- ・ 教育内容とはまた別だが、小学校のトイレも早急に見直して欲しい。色々なことが時代と共にアップデートが必要に感じる。【小学3・5年生】
- ・ 公園の遊具が古く危ない物が多いなと感じていたが最近徐々にきれいに新しくなり喜ばしく思う。できれば大型遊具をドンと設置して欲しい希望もある。【小学3年生】
- ・ 保育園、学童がとにかく狭い。園庭、多目的室、医務室がない。【小学4年生】
- ・ 小学校、中学校の少人数クラス、病児保育の拡充 子ども食堂の拡充、給食費の完全無料化 一人親家庭の支援など。一つでも多く実現されることを願う。【小学4年生】
- ・ 未就学児～低学年までのお子さんがある家庭では、お母さんが常に疲れていると思うので、市で2～3時間くらいなら預けられる施設とかあったら楽じゃないかな？とは思う。【小学4年生】
- ・ 小学生の学童クラブ、児童館の詳細がホームページ（市のHP）で分かるようにしてもらえると助かる。【小学4年生】
- ・ 普通学級以外の学級の制度、支援等を充実させて欲しい。（小学校～高校卒業まで）【小学5年生】
- ・ 武蔵村山市のほぼ中心に位置するあの場所を行政、子育て、福祉活動の中心に設定すれば、より良い活動が展開できるものと思う。【小学6年生】

- ・ 学童を利用していたが、部屋の狭さや夏休みに体を動かすことができないなど十分ではない。給食費無償化等、図書館も古いので、1ヶ所だけでも設備をととのえて欲しい。【小学6年生】
- ・ 悪い事をしていたら、近所の方や地域の方が叱ってくれるような、みんなで子育てをしている感覚になれたら良いと思う。【小学6年生】
- ・ 夜間の緊急対応（医療機関の受入れが不十分）図書館、市役所、体育館など公共利用できる施設（設備）が古い。【小学6年生】
- ・ 放課後、静かに勉強できる場所や宿題や勉強を教えてくれる場所が出来ると助かる。塾や習い事の負担が大きい。市の施設も公園も古く汚い所が多くきちんと管理して欲しい。【小学6年生】
- ・ 子どもが自分達で集まって遊べる場所がない。自由にスポーツが出来る場所、健康増進の場が欲しい。【小学6年生】
- ・ 私自身が小さい子どもを育てている時に、伊奈平地域にも親子や幼児、小学生等誰でも遊びにいけるようなキレイで明るい児童館があったら良いなあと思っていた。【小学6年生】

## 8 生活環境・地域環境・安全

- ・ 榎地区の道路の整備、公園作りに期待している。小学校の周りは通学路が狭く見通しが悪い箇所が多いので心配している。【小学1年生】
- ・ 子ども同士が仲良く遊べるような環境整備（安全な公園等）が必要だと思う。子どもは、「親の教育」より、「子ども同士の関係性」の中で学び成長すると思う。【小学1年生】
- ・ 児童館の充実、公園、学校設備の充実。【小学1年生】
- ・ 道路（車道←自転車の道が狭い）歩道も狭い。公園が暗いイメージがある。日当たりの良いとっても広い公園があると助かる。【小学2年生】
- ・ 歩道が基本的に狭く、道路も狭いことから、自転車での外出は恐ろしく感じている。【小学2・3年生】
- ・ 武蔵村山市はモノレールや電車がないのでバスを充実させて頂きたい。バス停が遠すぎる。【小学3年生】
- ・ 新青梅街道沿いの車道は整っているが、歩道が狭いので、整備して欲しい。【小学3年生】
- ・ 日頃から通学が遠く、特に下校時の犯罪や事故を危惧している。なるべく学童を利用し、待ち合わせをして迎えに行き1人での下校を減らしている。【小学3年生】
- ・ 道路工事や新築工事ばかりで、子どもが外で過ごせる公園が少ない。【小学4年生】
- ・ 武蔵村山は子育てしやすいとは思わない。もっと安全で子育てしやすいサービスや公園の充実や美化活動に力を入れて欲しい。【小学4年生】

- ・ 学校開放は、とても嬉しかった。それは、遊ぶ場所があるから。いろいろ相談場所を作るより、子どものことも考え、健やかに育てていく手助けをして欲しい。【小学6年生】
- ・ 歩道、自動車、自転車の道がそれぞれ分かれていて安心、安全に行動できる道路。信号も歩車分離が望ましい。【小学6年生】
- ・ とにかく安心して、できる町になって欲しい。【小学6年生】

武蔵村山市  
子育て支援に関するニーズ調査報告書

---

発行年月：令和6年3月

発行：武蔵村山市

編集：武蔵村山市 子ども家庭部 子ども青少年課

〒208-8501

東京都武蔵村山市本町一丁目1番地の1

電話：042-565-1111（代表）

